

白石遺跡（第8次・9次調査）

— 崎山地区防災集団移転促進事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 —

2019.3

岩手県宮古市教育委員会

序

本州最東端に位置する岩手県宮古市には現在のところ682か所の遺跡が確認されています。私たちは先人が残した遺跡を保護することが市民へ課せられた責務であると考えております。

一方で住宅や道路を始めとする土地開発は現代において快適な生活を送るためには不可欠な行為であります。その中で遺跡における開発行為については協議、調整を重ねることにより遺跡の保存と土地開発が調和できるよう努めておりますが、やむを得ず失われる遺跡については記録保存を目的とする発掘調査を行っているところであります。

本書は宮古市が事業主体者としている防災集団移転促進事業に伴って実施された発掘調査の報告です。東日本大震災大津波により崎山地区の高台移転の建設地において縄文時代の遺構・遺物が多数発掘されました。中でも今から4,500年前に遡る縄文時代中期、後期の竪穴住居跡や貯蔵穴、土器や石器が出土したことなど大きな成果を得ることが出来ました。

本書が広く活用され、考古学や地域の歴史研究に寄与し、埋蔵文化財に対する関心が高まる事を切に希望いたします。

最後となりましたが、今回の発掘調査と報告書作成に御協力賜りました派遣職員の方々、関係機関の皆様に衷心より感謝申し上げます。

平成 31 年 3 月

宮古市教育委員会
教育長 伊藤 晃二



第 8 次 調 査 区



96 号 土 坑 出 土 土 器



第 9 次 調 査 区



白 石 遺 跡 出 土 土 器

例 言

1. 本書は宮古市崎山地区に所在する白石遺跡についての発掘調査報告書である。
2. この調査は、宮古市を事業主体とする防災集団移転促進事業に伴う記録保存を目的とした緊急事前調査として実施されたものである。
3. 調査に係る費用は発掘調査及び平成26年度資料整理作業が事業主体である宮古市が負担し、平成28年度～30年度が復興庁復興交付金の埋蔵文化財調査事業（A-4-1事業）で支出した。
4. 調査主体は宮古市教育委員会である。発掘調査は第8次調査を八木（盛岡市派遣職員）が、第9次調査を江口、千葉、高上（高松市派遣職員）が担当した。また、第9次調査では公益財団法人青森県埋蔵文化財調査センター職員が発掘調査支援として調査を担当している。本書の執筆・編集は江口が担当し、文化課担当職員がこれを補佐した。
5. 調査座標は公共座標X系を基準としたものである。座標値はX=-35,000m、Y=97,000mを原点とした。また、図版中は調査用の局地的な座標であることを明示するためにRを冠した。レベル数値は標高値である。
6. 土層観察及び文中の色調表記にあたっては『新版標準土色帖』（小山正忠、竹原秀雄編著1990年度版）を使用した。
7. 図版中の記号・略号の表記およびスクリーントーンの表示は以下のとおりである。

P…土器 S…石 ■…焼土 ■…石器の使用面

8. 遺物の観察は全て肉眼観察によるものである。
9. 本書に収録した調査記録及び出土資料は、宮古市教育委員会で保管している。

目 次

序

例言

目次 図版目次 表目次 写真図版目次

1 調査経過	1
(1) 調査に至る経過	1
(2) 調査概要	1
(3) 調査体制	1
(4) 宮古市の位置と環境	3
(5) 白石遺跡と周辺の遺跡	3
2 調査内容	6
(1) 基本土層	6
(2) 遺構と遺物	6
(3) 調査のまとめ	130
参考文献	
写真図版	135
報告書抄録	189

図版目次

第1図 白石遺跡位置図・・・・・・・・・・	4	第37図 48号竪穴住居跡炉跡・42号竪穴住居跡	64
第2図 遺跡周辺地形図・・・・・・・・・・	5	第38図 42号竪穴住居跡炉跡・43号竪穴住居跡	65
第3図 周辺の遺跡分布図・・・・・・・・・・	5	第39図 44号竪穴住居跡、135号土坑	66
第4図 白石遺跡周辺地形図・・・・・・・・・・	7	第40図 44号竪穴住居跡ピット・炉跡	67
第5図 第8次調査区全体図・・・・・・・・・・	28	第41図 45号竪穴住居跡	68
第6図 第8次調査区南西部遺構配置図	29	第42図 46号竪穴住居跡・138号土坑	69
第7図 30号、31号竪穴住居跡	31	第43図 46号竪穴住居跡炉跡・47号竪穴住居跡	
第8図 31号竪穴住居跡	32	108号、109号土坑	70
第9図 32号竪穴住居跡	33	第44図 47号竪穴住居跡炉跡・49号竪穴住居跡	71
第10図 32号、33号竪穴住居跡	34	第45図 50号竪穴住居跡	72
第11図 34号竪穴住居跡	35	第46図 51号、52号竪穴住居跡	73
第12図 78号～85号土坑	36	第47図 51号、52号竪穴住居跡炉跡	74
第13図 86号～91号土坑	37	第48図 110号～118号土坑	75
第14図 92号～96号土坑	38	第49図 119号～126号土坑	76
第15図 97号～102号、107号土坑	39	第50図 127号～132号土坑	77
第16図 103号～106号土坑	40	第51図 133号、136号、137号土坑	78
第17図 第8次調査区ピット・焼土遺構	41	第52図 140号土坑、焼土遺構	79
第18図 第8次調査区遺物包含層	42	第53図 96号土坑出土土器	80
第19図 戦跡遺構地形図	43	第54図 第9次調査区出土土器	81
第20図 戦跡遺構全体図	44	第55図 30号～34号竪穴住居跡出土土器	82
第21図 第9次調査区全体図(1)	45	第56図 第8次調査区土坑出土土器	83
第22図 第9次調査区全体図(2)	47	第57図 8号竪穴住居跡出土土器(1)	84
第23図 8号竪穴住居跡	49	第58図 8号竪穴住居跡出土土器(2)	85
第24図 8号、10号、11号竪穴住居跡平面図	50	第59図 35号～37、39号竪穴住居跡出土土器	86
第25図 35号竪穴住居跡	51	第60図 41号、42号、44号竪穴住居跡出土土器	87
第26図 36号竪穴住居跡	52	第61図 44号、45号竪穴住居跡出土土器	88
第27図 37号竪穴住居跡	53	第62図 45号～48号竪穴住居跡出土土器	89
第28図 38号竪穴住居跡・139号土坑	54	第63図 51号、52号竪穴住居跡出土土器	90
第29図 38号竪穴住居跡炉跡	55	第64図 52号竪穴住居跡出土土器	91
第30図 39号竪穴住居跡	56	第65図 第9次調査区土坑出土土器(1)	92
第31図 39号竪穴住居跡ピット	57	第66図 第9次調査区土坑出土土器(2)	93
第32図 39号竪穴住居跡炉跡	58	第67図 第9次調査区遺構外出土土器(1)	94
第33図 40号竪穴住居跡	59	第68図 第9次調査区遺構外出土土器(2)	95
第34図 40号竪穴住居跡炉跡	60	第69図 第9次調査区遺構外出土土器(3)	96
第35図 41号、48号竪穴住居跡・134号土坑	61	第70図 第9次調査区遺構外出土土器(4)	97
第36図 48号竪穴住居跡ピット・炉跡	63	第71図 第9次調査区遺構外出土土器(5)	98

第72図 第9次調査区遺構外出土土器(6) 99	第84図 第9次調査区遺構外出土石器(1) 111
第73図 第9次調査区遺構外出土土器(7) 100	第85図 第9次調査区遺構外出土石器(2) 112
第74図 第8次調査区出土剥片石器 101	第86図 第9次調査区遺構外出土石器(3) 113
第75図 第9次調査区出土剥片石器 102	第87図 第9次調査区遺構外出土石器(4) 114
第76図 第8次調査区遺構内出土石器 103	第88図 第9次調査区遺構外出土石器(5) 115
第77図 第8次調査区遺構外出土石器(1) 104	第89図 第9次調査区遺構外出土石器(6) 116
第78図 第8次調査区遺構外出土石器(2) 105	第90図 第9次調査区遺構外出土石器(7) 117
第79図 第9次調査区遺構内出土石器(1) 106	第91図 第9次調査区遺構外出土石器(8) 118
第80図 第9次調査区遺構内出土石器(2) 107	第92図 第9次調査区遺構外出土石器(9) 119
第81図 第9次調査区遺構内出土石器(3) 108	第93図 第9次調査区遺構外出土石器(10) 120
第82図 第9次調査区遺構内出土石器(4) 109	第94図 第9次調査区出土石製品 121
第83図 第9次調査区遺構内出土石器(5) 110	

表目次

第1表 出土土器・土製品観察表 122	第3表 52号竪穴住居跡出土具集計表 130
第2表 出土石器・石製品観察表 128	

写真図版目次

写真1 白石遺跡周辺航空写真 137	写真20 34号竪穴住居跡炉跡土器 142
写真2 第8次調査区南西部近景 137	写真21 34号竪穴住居跡出土石棒 142
写真3 第8次調査区北西部近景 138	写真22 78号土坑 143
写真4 31号、32号竪穴住居跡 138	写真23 79号土坑 143
写真5 31号竪穴住居跡 139	写真24 80号土坑土層断面 143
写真6 30号竪穴住居跡炉跡 139	写真25 80号土坑 143
写真7 31号竪穴住居跡炉跡(1) 139	写真26 81号土坑 143
写真8 31号竪穴住居跡炉跡(2) 139	写真27 82号土坑 143
写真9 31号竪穴住居跡炉跡(3) 139	写真28 83号土坑 143
写真10 32号竪穴住居跡 140	写真29 84号土坑 143
写真11 32号竪穴住居跡炉跡(1) 140	写真30 85号土坑土層断面 144
写真12 32号竪穴住居跡炉跡(2) 140	写真31 85号土坑 144
写真13 32号竪穴住居跡炉跡(3) 140	写真32 86号土坑土層断面 144
写真14 32号竪穴住居跡ピット 140	写真33 86号土坑 144
写真15 33号竪穴住居跡 141	写真34 87号土坑土層断面 144
写真16 34号竪穴住居跡 141	写真35 87号土坑 144
写真17 34号竪穴住居跡土層断面 142	写真36 89号土坑 144
写真18 34号竪穴住居跡炉跡(1) 142	写真37 90号土坑 144
写真19 34号竪穴住居跡炉跡(2) 142	写真38 91号～95号土坑 145

写真39 91号土坑土層断面	145	写真76 36号、38号竪穴住居跡	152
写真40 91号土坑	145	写真77 50号～52号竪穴住居跡	152
写真41 92号土坑土層断面	145	写真78 8号竪穴住居跡(1)	153
写真42 92号土坑	145	写真79 8号竪穴住居跡(2)	153
写真43 93号土坑	145	写真80 35号竪穴住居跡	154
写真44 94号土坑	145	写真81 9次調査西部近景	154
写真45 95号土坑	145	写真82 35号竪穴住居跡炉跡	154
写真46 96号土坑土層断面	146	写真83 35号竪穴住居跡炉跡土器	154
写真47 96号土坑土器出土状況	146	写真84 35号竪穴住居跡炉跡作業状況	154
写真48 96号土坑	146	写真85 36号竪穴住居跡	155
写真49 97号土坑土層断面	146	写真86 36号竪穴住居跡土層断面(1)	155
写真50 97号土坑	146	写真87 36号竪穴住居跡土層断面(2)	155
写真51 98号土坑土層断面	146	写真88 36号竪穴住居跡炉跡	155
写真52 98号土坑	146	写真89 37号竪穴住居跡土器出土状況	155
写真53 99号土坑土層断面	146	写真90 38号竪穴住居跡(1)	156
写真54 100号土坑土層断面	147	写真91 38号竪穴住居跡(2)	156
写真55 100号土坑	147	写真92 38号竪穴住居跡土層断面(1)	156
写真56 100号土坑壁ピット	147	写真93 38号竪穴住居跡土層断面(2)	156
写真57 101号土坑土層断面	147	写真94 38号竪穴住居跡炉跡	156
写真58 101号土坑	147	写真95 39号竪穴住居跡	157
写真59 102号土坑土層断面	147	写真96 39号竪穴住居跡土層断面	157
写真60 102号土坑	147	写真97 39号竪穴住居跡炉跡土層断面	157
写真61 102号土坑	147	写真98 39号竪穴住居跡炉跡(1)	157
写真62 104号、105号土坑土層断面	148	写真99 39号竪穴住居跡炉跡(2)	157
写真63 104号、105号土坑	148	写真100 40号竪穴住居跡	158
写真64 104号土坑	148	写真101 40号竪穴住居跡炉跡	158
写真65 105号土坑	148	写真102 41号竪穴住居跡	158
写真66 106号土坑	148	写真103 41号竪穴住居跡土層断面	158
写真67 107号土坑土層断面	148	写真104 41号竪穴住居跡炉跡	158
写真68 107号土坑	148	写真105 42号竪穴住居跡	159
写真69 包含層掘り下げ状況	148	写真106 42号竪穴住居跡炉跡(1)	159
写真70 第9次調査区南西部近景(1)	149	写真107 42号竪穴住居跡炉跡(2)	159
写真71 第9次調査区南西部近景(2)	149	写真108 42号竪穴住居跡埋設土器土層断面	159
写真72 第9次調査区南西部近景(3)	150	写真109 42号竪穴住居跡埋設土器	159
写真73 第9次調査区南西部近景(4)	150	写真110 44号竪穴住居跡	160
写真74 39号、44号竪穴住居跡	151	写真111 44号竪穴住居跡土層断面	160
写真75 8号、39号、48号、44号竪穴住居跡	151	写真112 44号竪穴住居跡土器出土状況(1)	160

写真113 44号竪穴住居跡土器出土状況(2)	160	写真150 128号、129号土坑	167
写真114 44号竪穴住居跡炉跡	160	写真151 130号土坑	167
写真115 45号、46号竪穴住居跡(1)	161	写真152 132号土坑	167
写真116 46号竪穴住居跡(2)	161	写真153 133号土坑	167
写真117 46号竪穴住居跡炉跡1(1)	161	写真154 134号土坑土層断面	167
写真118 46号竪穴住居跡炉跡1(2)	161	写真155 134号土坑	167
写真119 46号竪穴住居跡炉跡2(1)	161	写真156 135号土坑	168
写真120 46号竪穴住居跡炉跡2(2)	161	写真157 136号土坑土層断面	168
写真121 45号竪穴住居跡埋設土器土層断面	161	写真158 137号土坑	168
写真122 45号竪穴住居跡埋設土器	161	写真159 138号土坑	168
写真123 47号竪穴住居跡	162	写真160 139号土坑	168
写真124 47号竪穴住居跡検出状況	162	写真161 132号土坑土層断面	168
写真125 47号竪穴住居跡炉跡検出状況	162	写真162 第54図5土器出土状況	168
写真126 47号竪穴住居跡炉跡土層断面	162	写真163 現地説明会	168
写真127 47号竪穴住居跡炉跡	162	写真164 出土遺物(1)	169
写真128 48号竪穴住居跡(1)	163	写真165 出土遺物(2)	170
写真129 48号竪穴住居跡(2)	163	写真166 出土遺物(3)	171
写真130 48号竪穴住居跡土層断面(1)	164	写真167 出土遺物(4)	172
写真131 48号竪穴住居跡土層断面(2)	164	写真168 出土遺物(5)	173
写真132 48号竪穴住居跡炉跡1検出状況	164	写真169 出土遺物(6)	174
写真133 48号竪穴住居跡炉跡1土層断面	164	写真170 出土遺物(7)	175
写真134 48号竪穴住居跡炉跡1	164	写真171 出土遺物(8)	176
写真135 48号竪穴住居跡炉跡2土層断面	164	写真172 出土遺物(9)	177
写真136 48号竪穴住居跡炉跡2	164	写真173 出土遺物(10)	178
写真137 49号竪穴住居跡炉跡	164	写真174 出土遺物(11)	179
写真138 50号竪穴住居跡	165	写真175 出土遺物(12)	180
写真139 50号竪穴住居跡炉跡	165	写真176 出土遺物(13)	181
写真140 114~123号土坑(1)	166	写真177 出土遺物(14)	182
写真141 114~123号土坑(2)	166	写真178 出土遺物(15)	183
写真142 108号土坑	166	写真179 出土遺物(16)	184
写真143 110号土坑土層断面	166	写真180 出土遺物(17)	185
写真144 110号土坑	166	写真181 出土遺物(18)	186
写真145 120号土坑	166	写真182 出土遺物(19)	187
写真146 126号土坑土層断面	166	写真183 出土遺物(20)	188
写真147 126号土坑	166		
写真148 127号土坑土層断面	167		
写真149 127号土坑	167		

1 調査経過

(1) 調査に至る経過

白石遺跡第8次・9次発掘調査は宮古市崎山地区において実施された東日本大震災復興事業「崎山地区集団移転促進事業」に伴う緊急の発掘調査である。宮古市教育委員会（以下、市教委）は平成24年1月、当事業計画地の現地踏査を行い、事前に試掘調査が必要であることを開発主体者である宮古市都市整備部都市計画課に伝えた。双方の協議の結果、試掘調査を実施することとなり、同年10月9日に試掘調査を実施した。試掘調査の結果、縄文時代の遺構・遺物を確認したことから埋蔵文化財の保護措置についての協議を都市計画課と行ったが、移転地に変更がないことから発掘調査を実施する必要となり、平成24年11月13日から第8次発掘調査を、翌25年3月15日から第9次発掘調査の着手に至ったものである。

市教委には平成24年9月27日及び12月6日付けで原因者である都市計画課から文化財保護法第94条第1項の規定による埋蔵文化財発掘通知書が提出され、市教委は同年10月1日及び12月11日付けで岩手県教育委員会に進達している。これに対し、岩手県教育委員会から10月10日及び12月13日付けで都市計画課に発掘調査を行う旨の勧告があり、市教委はこれを都市計画課に伝達している。なお、市教委は平成24年12月15日付けで文化財保護法第99条第1項の規定により埋蔵文化財発掘調査の実施を岩手県教育委員会に報告している。

(2) 調査概要

発掘調査地点	宮古市崎嶽ヶ崎13地割字白石地内
調査原因	崎山地区防災集団移転促進事業
発掘調査面積	4,900㎡（対象面積8,017㎡）
発掘調査期間	平成24年11月13日～平成24年12月21日（第8次調査） 平成25年3月15日～平成25年6月6日（第9次調査）
資料整理期間	平成25年6月10日～平成26年3月19日 平成28年4月7日～平成29年3月30日 平成29年4月13日～平成30年3月30日
発掘調査報告書刊行業務	平成30年度

(3) 調査体制

平成24年度、25年度			
調査主体	宮古市教育委員会	教育長	佐々木 敏夫
調査統括	竹下将男	宮古市教育委員会	文化課長
事務担当	高橋憲太郎	//	文化課副主幹
	鎌田祐二	//	文化課主査（24年度）、副主幹（25年度から）
調査員	八木光則	//	文化課主査（盛岡市派遣職員 24年度）調査担当
	似内啓邦	//	文化課主査（盛岡市派遣職員 25年度）
	村木 誠	//	文化課主査（名古屋市派遣職員 25年度）
	北野俊明	//	文化課主査（堺市派遣職員 25年度）
	竹内宇哲	//	文化課主任文化財調査員（名古屋市派遣職員 25年度）
	服部哲也	//	文化課主任文化財調査員（名古屋市派遣職員 25年度）
	高上 拓	//	文化課主任文化財調査員（高松市派遣職員 25年度）

		調査担当
土屋了介	//	文化課主任文化財調査員(小田原市派遣職員 25年度)
加納由美	//	文化課主任文化財調査員
布谷義彦	//	文化課主任文化財調査員
安原 誠	//	文化課主任文化財調査員
長谷川真	//	文化課主任文化財調査員
江口邦泰	//	文化課埋蔵文化財発掘調査員
		文化課主任文化財調査員(25年度から) 調査担当
千葉剛史	//	文化課文化財調査員(25年度から) 調査担当
阿部 豊	//	文化課埋蔵文化財発掘調査員
前川友宏	//	文化課埋蔵文化財調査員
赤沼みちる	//	文化課埋蔵文化財調査員

平成28年度～30年度

調査主体	宮古市教育委員会	教育長	伊藤 晃二
調査統括	高橋憲太郎	宮古市教育委員会	文化課長
事務担当	鎌田祐二	//	文化課副主幹
調査員	伊藤正人	//	文化課主任文化財調査員(名古屋市派遣職員 28年度)
	安原 誠	//	文化課主任文化財調査員(29年度まで)
			文化課学芸係長(30年度から)
	長谷川真	//	文化課主任学芸員
	江口邦泰	//	文化課主任文化財調査員 資料整理担当
	千葉剛史	//	文化課学芸員
	阿部 豊	//	文化課埋蔵文化財発掘調査員
	前川友宏	//	文化課埋蔵文化財調査員(29年度まで)
	赤沼みちる	//	文化課埋蔵文化財調査員

発掘調査作業員 在原正利、石崎衛司、一関順子、上野律子、白井 孝、大下義文、大程保見、大森 修、大森イヨ子、加藤有次、刈屋富子、木村常男、木村洋一、越田真理子、小成鷹介、小林功行、小松義一、坂下吉郎、坂本 晃、佐々木孝一、佐々木剛、佐々木亨、佐々木壽郎、佐々木則義、佐々木みさ子、佐藤重信、佐藤晴美、館崎禮子、鳥居義文、中澤大成、野崎秀人、堀内千明、前川政博、前川和幸、三浦 功、村木幹子、山崎英男、山崎日日雄、山根清美、山根保行、山屋秋英、米澤 豊、

資料整理作業員 石崎衛司、伊藤勝夫、上野律子、一関順子、大下義文、大程保見、大森イヨ子、木村洋一、越田真理子、坂下勝吉、崎尾由美子、佐々木厚子、佐々木剛、佐々木亨、佐々木みさ子、館崎禮子、鳥居義文、中屋鋪政富、野崎秀人、畠山憲子、山口忠夫、山屋秋英

(4) 宮古市の位置と環境 (第1図、第2図)

岩手県宮古市は三陸沿岸中部に位置し、北は岩泉町、西は盛岡市に隣接している。市の東端部に位置する鮭ヶ崎は本州最東端として知られている。平成17年には旧宮古市、旧田老町、旧新里村が合併し、平成22年には旧川井村が編入している。平成23年3月には東日本大震災大津波で甚大な被害を受け、現在は復興事業がすすめられている。

宮古市の沿岸部は隆起海岸が続き、海食により形成された自然景観は観光地として優れ、浄土ヶ浜は国の名勝に、三王岩は県の天然記念物に指定されている。市内を流れる河川は市の中央部を流れる閉伊川、宮古湾最奥部へ流れる津軽石川などがあり、河川流域の樹皮状に開析された丘陵地には数多くの遺跡が立地している。市内の地形は山地と丘陵地で占められている。山地は川井地区では標高1,000m級の大起伏山地が広がっているものの、山地帯の多くは重茂半島にある月山(455m)や十二神山(731m)を代表する小起伏山地からなる。丘陵地は閉伊川流域の千徳丘陵や八木沢丘陵、津軽石川流域の豊間根丘陵、隆起海岸により形成され、小河川が流れて開析された小本丘陵などがある。小本丘陵は市の北部に位置し、国の史跡である崎山貝塚を代表とする大中規模の遺跡が多数所在している。

(5) 白石遺跡と周辺の遺跡 (第3図)

白石遺跡は県立宮古病院から北東に約2.1km離れた崎嶽ヶ崎地区に所在する遺跡である。当遺跡はこれまで7次にわたり発掘調査及び試掘調査が行われている。白石遺跡第1次調査は当初第2次調査として報告された調査区である。これは隣接する大付遺跡との境界が明らかになったことによるものであり、当初の第1次調査が大付遺跡第4次調査として名称が変更になったためである。

白石遺跡第1次調査区と第6次調査区は遺跡北部の地点にあり、今次調査区北部と谷を挟んだ尾根にある。第1次調査区では遺構は検出されず、隣接する第6次調査区では墓坑1基、土坑(跡)9基、焼土遺構1基を検出している。第2次、第3次調査区は今次調査区の東に隣接する。第2次調査区は大木10式期を主体とする竪穴住居跡5棟、埋設土器を伴う炉跡1基、土坑6基、ピット群を検出している。第3次調査区は第2次調査区の南西隣にあり、大木10式期を主体とする竪穴住居跡6棟、炉跡1基、土坑2基を検出している。なお、今回の第9次調査区では第3次調査の調査済み部分を確認することが

できた。第4次、第5次調査区は第3次調査区の北北東約35mに位置する。第4次調査区は大木10式期を主体とする竪穴住居跡6棟、土坑5基、ピット群を検出している。第5次調査区は第4次調査区に隣接し、縄文時代中期末葉～後期前葉の竪穴住居跡7棟、炉跡1基、土坑53基を検出している。特筆される点としてキノコ形土製品、琥珀や剥片接合石器が出土している。第7次調査区は今次調査区の北西に隣接する。携帯電話基地局建設に伴い試掘調査が実施されたが、遺構は検出されなかった。以上、7次に亘る試掘・発掘調査により、谷を除く平坦地及び緩斜面上に縄文時代中期末葉を主体に後期前葉までの集落が確認された。

白石遺跡周辺の遺跡としては西に崎山貝塚が隣接している。崎山貝塚は縄文時代前期～中期大木9式期に形成された貝塚で、亀ヶ森(455m)の裾から東に延びる舌状台地の斜面部に層厚2mを超える貝塚が、台地縁辺部に中期大木7b式期～大木9式期の集落や環状溝が形成された市内屈指の拠点集落である。崎山貝塚の北には大木8b式期～大木9式期の集落が形成されたトロノ木I遺跡があり、その周辺にも緩斜面上に遺跡が点在している。

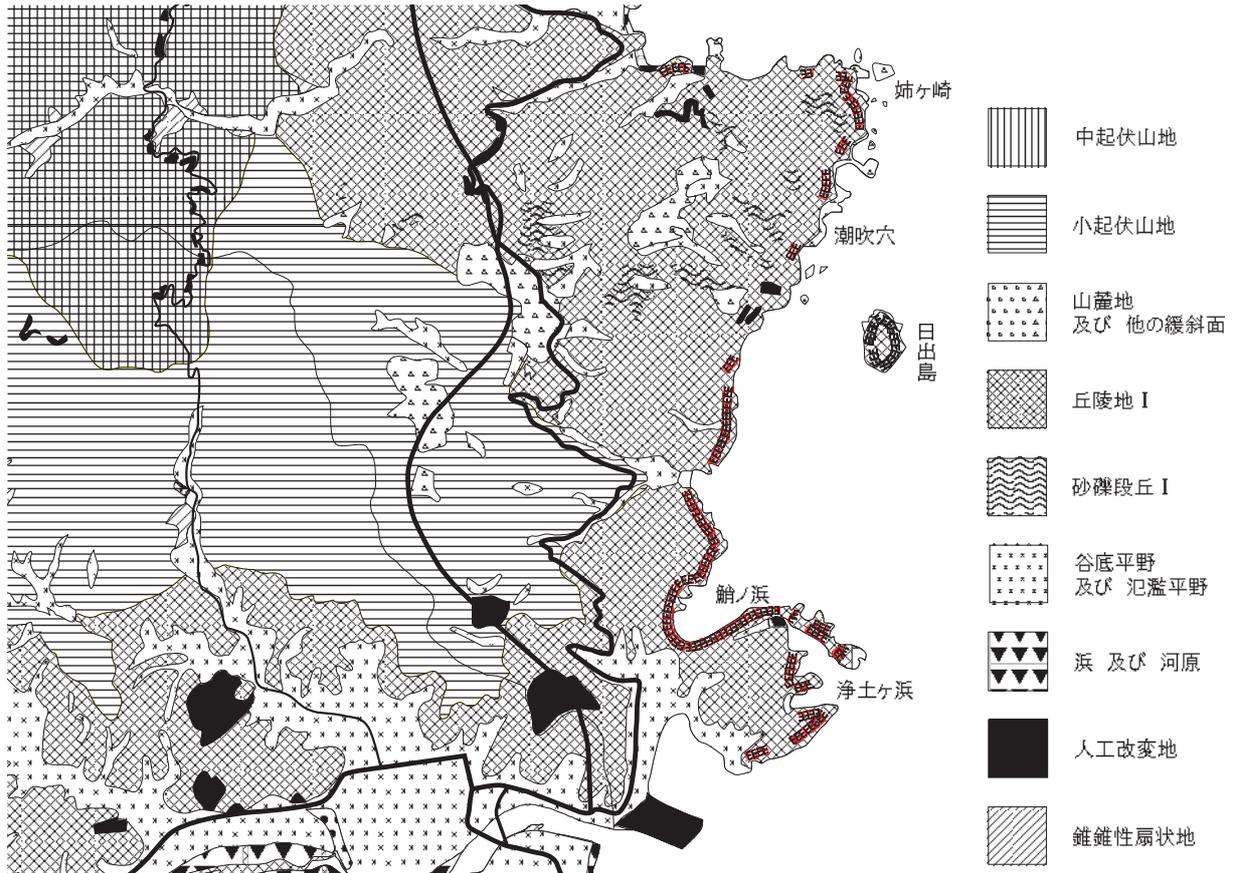
白石遺跡の東及び北東には台地や緩斜面上に遺跡が確認されている。東に隣接している大付遺跡は東西に楕円状に広がる遺跡で、ほぼ中央の谷により緩斜面の東部と台地の西部に分断される。昭和53年

に東部で実施された1次調査は縄文時代晩期大洞B式土器が共伴した屈葬人骨が発掘されたことで著名で、その他に竪穴住居跡1棟、縄文時代後・晩期の土器が確認されている。第2次以降は主に西部で発掘調査が実施され、縄文時代中期～晩期、弥生時代後期の遺構・遺物が報告されている。なお、東部では貝塚が形成され骨角器も出土していたが、宅地化が進んだことにより貝塚の範囲は詳らかではない。

周辺に所在するその他の遺跡では潮吹I遺跡、古里V遺跡、萩沢I遺跡で発掘調査が実施されている。潮吹I遺跡と古里V遺跡では縄文時代後期の竪穴住居跡が発掘されている。萩沢I遺跡は中世の製鉄関連遺構が発掘され、縄文時代の遺構・遺物が多く報告されている当該地区にあって、違った側面を垣間見せている。この他、わたのは遺跡が豊富な遺物が採集される遺跡として報告されている。



第1図 白石遺跡位置図 (S=1: 50,000)



第 2 図 遺跡周辺地形図 (S=1: 50, 000)



第 3 図 周辺の遺跡分布図 (S=1: 25, 000)

2 調査内容

(1) 基本土層

調査区は平成24年度調査区の第8次調査と平成25年度調査区の第9次調査に分かれる。第8次調査区は全調査区の北部に位置し、第9次調査区は全調査区の南部に位置する。なお、事業用地内の第9次調査区南隣接地は平成24年12月に実施した試掘調査の結果、遺構は確認されなかったため発掘調査の対象範囲からは除外となった。基本土層は以下の通りである。

- I層 表土層である。第9次調査の表層に堆積していた盛土層、第8次調査の表土層をI a層、第9次調査の旧表土層をI b層に分層される。第8次調査区はほぼ全域にわたり既に削平を受けていた。
- II層 第9次調査区の南端にのみ堆積している。褐色土を主体とし、焼土粒、カーボン塊が混入している。遺構はII層を除去してから確認される。縄文時代の遺物が出土している。
- III層 第8次調査区南東で確認された縄文時代の遺物を含む遺物包含層である。暗褐色土、暗灰褐色土を主体とする。縄文時代中期～後期の遺物が出土している。
- IV層 第9次調査区にのみ堆積している地山漸移層である。褐色土を主体とする。第8次調査区は削平を受けているため堆積は確認されない。遺構はIV層から掘り込まれている。
- V層 地山の粘質土である。第8次調査区はV層までが削平されている。

(2) 遺構

検出された遺構は竪穴住居跡24棟、土坑64基、焼土遺構12基、ピット9基である。第8次調査では縄文時代の竪穴住居跡4棟、土坑29基、焼土遺構6基、ピット9基である。第9次調査では縄文時代の竪穴住居跡20棟、土坑35基、焼土遺構6基、ピット1基である。各遺構の番号については第6次調査から引き継いでいる。

・竪穴住居跡 (SI-08、31～52)

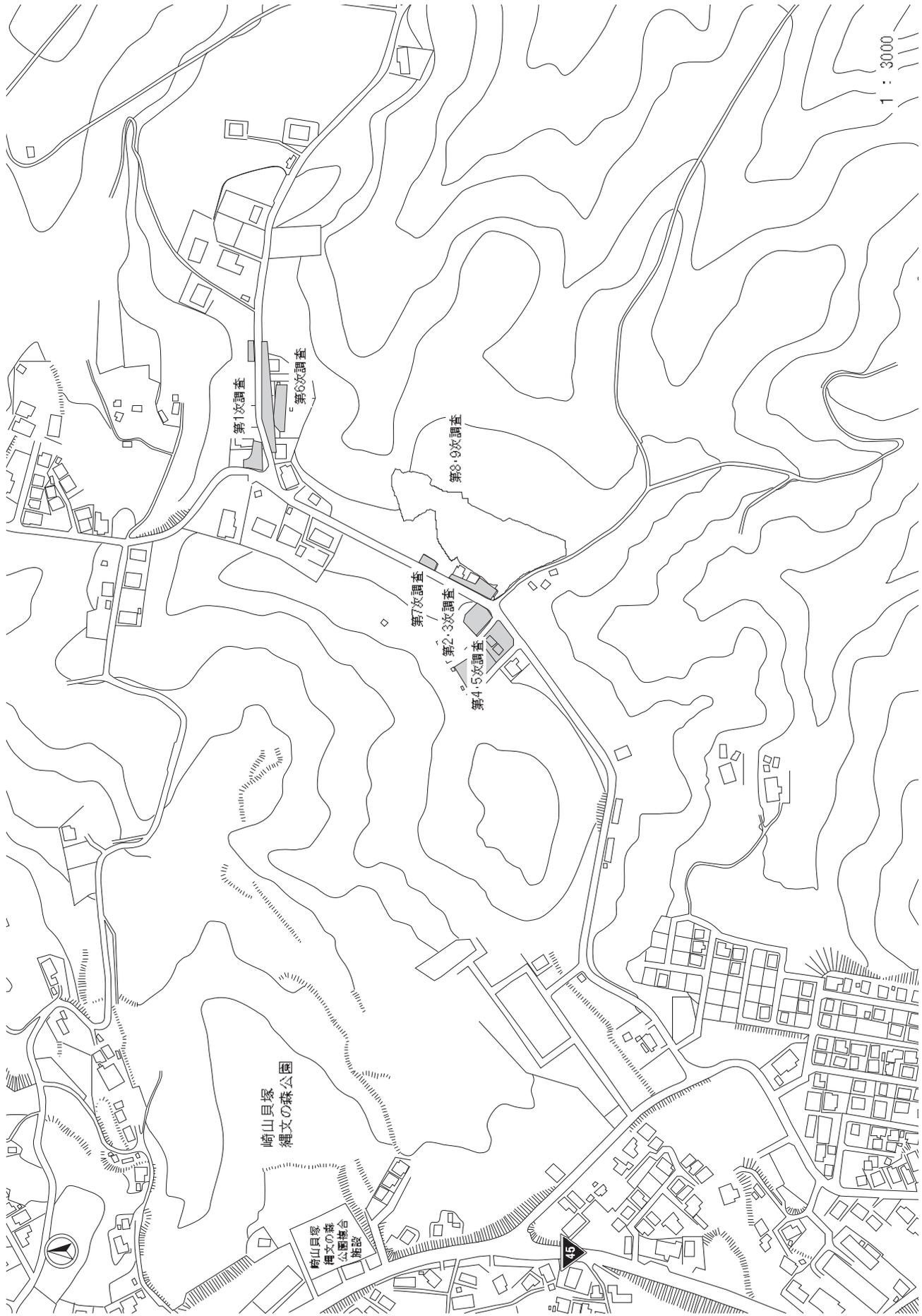
8号竪穴住居跡 (SI-08 第23図、第24図)

9次調査区北東、RX-709、RY+206周辺で検出された。平成元年に発掘調査が実施された第3次調査で検出された8号竪穴住居跡の残存部分である。規模は長軸4.9mを測り、検出面から床面までの深さは0.09mである。埋土はA層～E層の5層に大別され、自然堆積である。床面は概ね平坦である。床面の壁際には柱穴と考えられるピットが今回の調査で新たに8基検出された。炉跡は新たに検出されなかった。出土遺物は床面から石皿が出土した他、埋土中から縄文土器、石器が多量に出土した。

帰属時期については縄文時代中期末葉と考えられる。

31号竪穴住居跡 (SI-31 第7図、第8図)

8次調査区東、RX-667、RY+256周辺で検出された。周辺の攪乱の影響により部分的にしか残存していない。残存する規模は長軸4.32m、短軸2.64mを測り、検出面から床面までの深さは0.08mを測る。埋土はA層～C層の3層に大別され、自然堆積である。床面は概ね平坦である。床面の壁際には柱穴と考えられるピットが8基(P1～P8)検出され、P1は主柱穴である。北壁約1.8m寄りに石囲炉が検出された。炉跡の規模は長軸0.58m、短軸0.39mを測り、平面形は楕円形を呈する。遺構内出土遺物は少量で、図示できる大きさのものはほとんどなかった。



第4図 白石遺跡周辺地形図

帰属時期は周辺の状況から縄文時代中期～後期と考えられる。

32号竪穴住居跡 (SI-32 第9図、第10図)

8次調査区東、RX-672、RY+256周辺で検出され、31号竪穴住居跡の南に隣接している。周辺の攪乱の影響により部分的にしか残存していない。残存する規模は長軸3.68m、短軸2.63mを測り、検出面から床面までの深さは0.12mを測る。埋土はA層のみで3層に細別される。床面は概ね平坦である。床面の壁際には柱穴と考えられるピットが5基 (P1～P5) 検出され、P2、P3は支柱穴である。西壁約1.6m寄りに斜位に土器が埋設されている炉跡 (以下「斜位埋設土器炉」と記載) が検出された。炉跡の規模は長軸1.02m、短軸0.52mを測り、平面形は北東-南西方向に長軸をもつ楕円形を呈する。埋設された土器は炉跡の南西端から、胴部から底部まで横半分が欠損した状態で出土した。遺構内出土遺物は床面、埋土中から少量出土した。

帰属時期は周辺の状況から縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

33号竪穴住居跡 (SI-33 第10図)

8次調査区北、RX-660、RY+276周辺で検出された。周辺の攪乱の影響により部分的にしか残存していない。残存する規模は長軸2.88m、短軸2.04mを測り、検出面から床面までの深さは0.08mを測る。埋土はA層のみで2層に細別される。床面は概ね平坦である。床面の壁際には支柱穴と考えられるピットが1基 (P1) 検出された。北壁約1.2m寄りに焼土が検出され、炉跡と推定される。焼土の規模は径が0.64mを測り、平面形は不整円形を呈する。遺構内出土遺物は少量で、図示できる大きさのものはほとんどなかった。

帰属時期は周辺の状況から縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

34号竪穴住居跡 (SI-34 第11図)

8次調査区北東、RX-656、RY+286周辺で検出された。周辺の攪乱の影響により南東部が欠失している。平面形は不整円形を呈し、残存する規模は長軸3.4m、短軸3.1mを測り検出面から床面までの深さは0.10mを測る。A層～C層の3層に大別され、自然堆積である。床面には支柱穴と考えられるピットが6基 (P1～P6) 検出された。南壁約0.8m寄りに斜位埋設土器炉が検出された。炉跡の規模は長軸1.01m、短軸0.61mを測り、平面形は北東-南西方向に長軸をもつ楕円形を呈する。埋設された土器は炉跡の南西端から、胴部から底部まで横半分が欠損した状態で出土した。埋土はa層～d層の8層に大別される。遺構内出土遺物は床面で石棒 (第74図250) が出土した。

帰属時期は周辺の状況から縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

35号竪穴住居跡 (SI-35 第25図)

9次調査区中央、RX-690、RY+268周辺で検出された。周辺の攪乱の影響により部分的にしか残存していない。平面形は不明で検出面から床面までの深さは0.10mを測る。埋土はA層のみである。床面にはピットが13基 (P1～P13) 検出され、P1、P2、P3、P4は支柱穴である。西壁約1.6m寄りに斜位土器埋設土器炉が検出された。炉跡の規模は長軸が0.76m、短軸が0.64mを測り、平面形は不整楕円形を呈する。遺構内出土遺物は床面、埋土中から縄文土器が少量出土した。

帰属時期は周辺の状況から縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

36号竪穴住居跡 (SI-36 第26図)

9次調査区南西、RX-720、RY+213周辺で検出された。37号竪穴住居跡と重複し南東部は調査区外である。新旧関係は37号竪穴住居跡より新しい。平面形は不整形を呈し、残存する規模は長軸3.05m、短軸2.9mを測り検出面から床面までの深さは0.14mを測る。埋土はA層～D層の4層に大別され、自然堆積である。床面にはピットが11基 (P1～P11) 検出され、P3、P5、P9、P11は主柱穴と推定される。北西壁約0.77m寄りに二つに区画された複式炉が検出された。炉跡の規模は長軸0.78m、短軸0.54mを測り、長軸は北西-南東方向である。埋土はa層～d層の4層に大別される。遺構内出土遺物は大木10式の土器が床面から出土した他、石柱 (第93図389) が倒伏した状態で出土した。

帰属時期は出土遺物により縄文時代中期末葉と考えられる。

37号竪穴住居跡 (SI-37 第27図)

9次調査区南西、RX-718、RY+210周辺で検出された。前述のとおり36号竪穴住居跡に掘り込まれている。大部分は調査区外である。平面形は不明で検出面から床面までの深さは0.10mを測る。埋土はA層のみである。床面にはピットが5基 (P1～P5) 検出され、P3は主柱穴である。また、P5には古い主柱穴を利用した埋設土器が検出された。埋設土器は器面に縄文を施文している。炉跡は検出されていない。遺構内出土遺物は少量で、図示できる大きさのものはほとんどなかった。

帰属時期は出土遺物、周辺の状況から縄文時代中期末葉と考えられる。

38号竪穴住居跡 (SI-38 第28図、第29図)

9次調査区南西、RX-724、RY+216周辺で検出された。攪乱の影響で南部は欠失し、南東部は調査区外である。床面からは139号土坑が検出され、新旧関係は38号竪穴住居跡が新しい。平面形は不明で検出面から床面までの深さは0.18mを測る。埋土はA層～C層の3層に大別される。床面にはピットが8基 (P1～P8) 検出され、P4、P6、P7は主柱穴である。北西壁約0.77m寄りに石囲炉が検出されたが、攪乱により半分しか残存していない。埋土は単層である。構内出土遺物は少量で、図示できる大きさのものはほとんどなかった。

帰属時期は周辺の状況から縄文時代中期末葉と考えられる。

39号竪穴住居跡 (SI-39 第30図～第32図)

9次調査区西、RX-714、RY+208周辺で検出された。南東部は調査区外である。41号竪穴住居跡、42号竪穴住居跡、43号竪穴住居跡、44号竪穴住居跡と重複し、新旧関係は41号竪穴住居跡、42号竪穴住居跡、44号竪穴住居跡より古く43号竪穴住居跡より新しい。平面形は楕円形と推定され、残存する規模は長軸4.09m、短軸3.84mを測り検出面から床面までの深さは0.23mを測る。埋土はA層～E層の5層に大別され、自然堆積である。床面には主柱穴と考えられるピットが37基 (P1～P37) 検出され、P2、P5、P8、P10、P11、P16、P24、P25、P32は主柱穴である。その他、西部で短い周溝が検出された。北西壁約0.5m寄りに地床炉を伴う複式炉が検出された。炉跡の規模は長軸3.05m、短軸1.38mを測り、長軸は北西-南東方向である。埋土はa層～c層の3層に大別される。遺構内出土遺物は埋土から大木10式土器が出土している。

帰属時期は出土遺物から縄文時代中期末葉と考えられる。

40号竪穴住居跡 (SI-40 第33図、第34図)

9次調査区西、RX-716、RY+210周辺で検出された。壁、床面は確認されず、ピットの集中と焼土の確認から竪穴住居跡と判断した。ピットは焼土を中心に15基(P1~P15)検出され、P7は支柱穴である。炉跡は2ヶ所検出された。炉1は石囲炉による斜位埋設土器炉である。炉跡の規模は長軸0.6m、短軸0.45mを測り、平面形は北東-南西方向に長軸をもつ楕円形を呈する。埋設された土器は炉跡の南西端から、口縁部から胴部の部位である。炉2は炉1から南西0.8mの位置で検出された。石囲炉と考えられるが、遺存状況が悪く詳細は不明である。遺構内出土遺物はピットから出土している。

帰属時期は炉跡や周辺の状況から縄文時代中期末葉と考えられる。

41号竪穴住居跡 (SI-41 第35図~第37図)

9次調査区北西、RX-714、RY+208周辺で検出された。壁の一部と床、炉跡を検出されたことから竪穴住居跡と判断した。39号竪穴住居跡の上にあることから39号竪穴住居跡より新しい。ピットは確認されなかった。炉跡は石囲炉である。炉跡の規模は長軸0.64m、短軸0.57mを測る。埋土はA層~C層の3層に大別され、自然体積である。床面から縄文土器が出土している。遺構内出土遺物は埋土中及び床面から出土し、床面から大木10式土器が出土した(第60図51)。

帰属時期は周辺の状況から縄文時代中期末葉と考えられる。

42号竪穴住居跡 (SI-42 第37図、第38図)

9次調査区西、RX-710、RY+211周辺で検出された。壁は検出されず、炉跡と床面の一部が確認され、近くに埋設土器が検出されたことから竪穴住居跡と判断した。45号竪穴住居跡と重複しているが、残存状況が悪いため新旧関係は不明である。床は地山ではなく暗褐色土の構築土によって形成されていた。炉跡は石囲炉で床の構築土が軟弱だったためか斜めに傾いた状態で検出された。炉跡の規模は長軸1.0m、短軸0.65mを測る。埋土は単層である。埋設土器は炉跡の南西端約2.5mの地点で検出された。胴部から底部までの部分が正位の状態で出土した(第60図58)。遺構内出土遺物は少量で、図示できる大きさのものはほとんどなかった。

帰属時期は周辺の状況から縄文時代中期末葉と考えられる。

43号竪穴住居跡 (SI-43 第38図)

9次調査区北西、RX-713、RY+206周辺で検出された。壁、床は検出されず、炉跡と集中するピットが検出されたことから竪穴住居跡と判断した。39号竪穴住居跡、44号竪穴住居跡と重複しているが、残存状況が悪いため新旧関係は不明である。ピットは7基(P1~P7)検出され、P4は支柱穴である。炉跡は石囲炉で炉跡の規模は長軸0.96m、短軸0.88mを測る。埋土はa層~c層の3層に大別される。遺構内出土遺物は少量で、図示できる大きさのものはほとんどなかった。

帰属時期は周辺の状況から縄文時代中期末葉と考えられる。

44号竪穴住居跡 (SI-44 第39図、第40図)

9次調査区北西、RX-711、RY+208周辺で検出された。8号竪穴住居跡、39号竪穴住居跡、42号竪穴住居跡、44号竪穴住居跡、135号土坑と重複し、新旧関係は8号竪穴住居跡より古く39号竪穴住居跡、42号竪穴住居跡、44号竪穴住居跡、135号土坑より新しい。平面形は不整楕円形と推定され、

残存する規模は長軸3.83m、短軸3.50mを測り検出面から床面までの深さは0.33mを測る。埋土はC層～G層の5層に大別され、自然堆積である。床面にはピットが14基（P1～P14）検出され、P1、P2、P5、P9、P11は支柱穴である。東壁約1.25m寄りに地床炉が検出された。炉跡の規模は長軸0.87m、短軸0.81mを測る。埋土はa層、b層の2層に大別される。遺構内出土遺物は床面直上及び埋土中から出土し、埋土中から大木10式土器が出土している。北東壁には扁平な石が斜位の状態で出土している。帰属時期は出土遺物から縄文時代中期末葉と考えられる。

45号竪穴住居跡（SI-45 第41図）

9次調査区北西、RX-710、RY+210周辺で検出された。周辺の攪乱の影響により部分的にしか残存していない。8号竪穴住居跡、44号竪穴住居跡と重複し、新旧関係は45号竪穴住居跡が古い。平面形は不明で検出面から床面までの深さは0.19mを測る。埋土はC層、D層の2層に大別され、自然堆積である。床面には考えられるピットが7基（P1～P7）検出され、北西壁際には埋設土器が検出された。埋設土器は口縁部と底部を欠いた胴部がやや斜位に埋設されていた。炉跡は検出されなかった。遺構内出土遺物は埋土中から縄文土器が少量出土している。

帰属時期は出土遺物と周辺の状況から縄文時代中期末葉と考えられる。

46号竪穴住居跡（SI-46 第42図）

9次調査区北西、RX-708、RY+208周辺で検出された。周辺の攪乱の影響により部分的にしか残存していない。第3次調査で検出された12号竪穴住居跡の残存部分の可能性がある。135号土坑と重複し、新旧関係は135号土坑より新しい。平面形、規模は不明であるが、床面にピットと炉跡が検出されたことから竪穴住居跡と判断した。ピットは8基（P1～P8）検出された。炉跡は2基（炉1、炉2）検出された。炉2は地床炉で、炉跡の規模は長軸0.65m、短軸0.31mを測る。炉1は石囲炉で炉跡の規模は長軸1.07m、短軸0.93mを測る。埋土はどちらもa層、b層の2層に大別される。遺構内出土遺物は炉跡のみ出土している。

帰属時期は周辺の状況から縄文時代中期末葉と考えられる。

47号竪穴住居跡（SI-47 第43図、第44図）

9次調査区北西、RX-708、RY+199周辺で検出された。攪乱の影響により部分的にしか残存していない。西部は調査区外である。48号竪穴住居跡、108号土坑、109号土坑と重複し、新旧関係は48号竪穴住居跡より古い。108号土坑、109号土坑とは不明である。平面形、規模は不明であるが、床面にピットと炉跡が検出されたことから竪穴住居跡と判断した。ピットは12基（P1～P12）検出されP5、P6は支柱穴である。炉跡は地床炉を伴う複式炉で炉跡の規模は長軸2.45m、短軸1.32mを測る。埋土は1層である。遺構内出土遺物は少量で、図示できる大きさのものはほとんどなかった。

帰属時期は周辺の状況から縄文時代中期末葉と考えられる。

48号竪穴住居跡（SI-48 第35～37図）

9次調査区北西、RX-711、RY+203周辺で検出された。8号竪穴住居跡、47号竪穴住居跡、134号土坑と重複し、新旧関係は47号竪穴住居跡より新しく8号竪穴住居跡、134号土坑より古い。南東部は調査区外である。平面形は不明で、残存する規模は長軸4.75mを測り検出面から床面までの深さは0.42mを測る。埋土はA層～G層の7層に大別され、自然堆積である。床面にはピットが9

基（P1～P9）検出され、P1、P3、P7は支柱穴である。炉跡は2基検出された。南東壁約0.65m寄りには炉跡1の複式炉が検出された。炉跡の規模は長軸1.31m、短軸0.62m、0.87mを測り、長軸は北西－南東方向である。埋土はa層～e層の5層に大別される。中央西寄りには炉跡2の石囲炉が検出された。炉跡の平面形は正方形で、規模は最大長0.48mを測る。埋土はa層～c層の3層に大別される。遺構内出土遺物は床面直上及び埋土中から出土し、埋土中から大木10式土器が出土している。帰属時期は炉跡や出土土器から縄文時代中期末葉と考えられる。

49号竪穴住居跡（SI-49 第44図）

9次調査区中央部、RX-708、RY+213周辺で検出された。攪乱の影響により北部と東部の壁、床が欠失している。平面形は不整形と推定され、残存する規模は長軸3.03m、短軸2.12mを測り検出面から床面までの深さは0.21mを測る。埋土はA層～C層の3層に大別され、自然堆積である。ピットは検出されなかった。西壁約0.7m寄りに炉石が部分的に残存する石囲炉と考えられる炉跡が検出された。炉跡の規模は長軸0.67m、短軸0.61mを測る。埋土は単層である。また、炉跡に近接して埋設土器が検出された。埋設土器は底部のみで正位に埋設されていたが、残存状況が悪く図示できなかった。遺構内出土遺物は少量で、図示できる大きさのものはほとんどなかった。

帰属時期は出土遺物から縄文時代中期末葉と考えられる。

50号竪穴住居跡（SI-50 第45図）

9次調査区西、RX-696、RY+216周辺で検出された。攪乱の影響により東部の壁、床が欠失している。北壁は調査区外である。平面形は不明で、最大長は2.51mを測り検出面から床面までの深さは0.06mを測る。埋土は単層である。床面にはピットが2基（P1、P2）検出された。西壁約0.6m寄りに石囲炉と考えられる炉跡が検出された。炉跡の規模は長軸0.62m、短軸0.52mを測る。埋土は2層に大別される。遺構内出土遺物は少量で、図示できる大きさのものはほとんどなかった。

帰属時期は出土遺物から縄文時代中期末葉と考えられる。

51号竪穴住居跡（SI-51 第46図、第47図）

9次調査区西、RX-698、RY+219周辺で検出された。平面形は円形で、径2.92mを測り検出面から床面までの深さは0.37mを測る。埋土はA層～G層の7層に大別され、自然堆積である。床面には掘り込みの浅いピットが1基（P1）検出された。南東壁約0.63m寄りに礫が1点しか確認されていないが二つに区画された複式炉と考えられる炉跡が検出された。炉跡の規模は長軸0.86m、短軸0.47m、0.58mを測り、長軸は北西－南東方向である。埋土は3層に大別される。遺構内出土遺物は埋土中から大木10式土器を含む多くの縄文土器が出土している。

帰属時期は出土した土器と周辺の状況から縄文時代中期末葉と考えられる。

52号竪穴住居跡（SI-52 第46図、第47図）

9次調査区西、RX-700、RY+216周辺で検出された。周辺の攪乱と掘りすぎにより平面形は不明であるが、楕円形と推定される。推定される規模は長軸3.00m、短軸2.72mを測り検出面から床面までの深さは0.29mを測る。埋土はC層～F層の4層に大別され、混貝土層が堆積していることから人為堆積と考えられる。混貝土層からは縄文土器片、フジツボやイガイなどの貝殻が確認された。床面にはピットが8基（P1～P8）検出され、P1、P3、P4は支柱穴である。住居跡のほぼ中央、北

壁から約1.06mの位置から石囲炉と考えられる炉跡が検出された。炉跡の規模は長軸0.63m、短軸0.49mを測る。埋土はa層、b層の2層に大別される。遺構内出土遺物は非常に多く、埋土、床面直上から大木10式の土器が出土している。

帰属時期は出土した土器から縄文時代中期末葉である。

・土坑

78号土坑 (SK-78 第12図)

8次調査区西端、RX-669、RY+236周辺で検出された。周辺の攪乱の影響により上部は削平を受けている。平面形は円形で、規模は直径1.02m、検出面からの深さは0.32mを測る。埋土は3層に分層され自然堆積である。一部下端は間口よりもオーバーハングしており、断面形はフラスコ形と推定されることから貯蔵穴と考えられる。埋土中から縄文時代後期の土器(第55図6)が出土している。

帰属時期は縄文時代後期初頭と考えられる。

79号土坑 (SK-79 第12図)

8次調査区西端、RX-671、RY+238周辺で検出された。周辺の攪乱の影響により上部は削平を受けている。平面形は楕円形で、規模は長軸1.18m、短軸0.67m、検出面からの深さは0.24mを測る。埋土は単層である。

帰属時期は縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

80号土坑 (SK-80 第12図)

8次調査区西、RX-665、RY+248周辺で検出された。平面形は円形で、規模は間口の直径0.98m、検出面からの深さは0.76mを測る。埋土は10層に分層され自然堆積である。下端は間口よりもオーバーハングしており、断面形はフラスコ形であることから貯蔵穴と考えられる。

帰属時期は縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

81号土坑 (SK-81 第12図)

8次調査区西、RX-663、RY+253周辺で検出された。平面形は楕円形で、規模は長軸0.92m、短軸0.73m、テラスを有し検出面から最大の深さは0.40mを測る。埋土は4層に分層され自然堆積である。

帰属時期は縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

82号土坑 (SK-82 第12図)

8次調査区北、RX-659、RY+264周辺で検出された。周辺の攪乱の影響により上部は削平を受けている。平面形は楕円形で、規模は長軸0.76m、短軸0.68m、検出面からの深さは0.68mを測る。埋土は7層に分層され自然堆積である。一部下端は間口よりもオーバーハングしており、断面形はフラスコ形と推定されることから貯蔵穴と考えられる。

帰属時期は縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

83号土坑 (SK-83 第12図)

8次調査区中央、RX-667、RY+264周辺で検出された。平面形は楕円形で、規模は長軸1.18m、

短軸0.67m、検出面からの深さは0.13mを測る。埋土は2層に分層され自然堆積である。A1層から縄文時代後期の土器が出土している。

帰属時期は縄文時代後期初頭と考えられる。

84号土坑 (SK-84 第12図)

8次調査区中央、RX-666、RY+268周辺で検出された。平面形は円形で、規模は間口の直径0.37m、検出面からの深さは1.16mを測る。埋土は9層に分層され自然堆積である。一部下端は間口よりもオーバーハングしており、断面形はフラスコ形であることから貯蔵穴と考えられる。

帰属時期は縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

85号土坑 (SK-85 第12図)

8次調査区中央、RX-665、RY+270周辺で検出された。平面形は円形で、規模は間口の直径1.32m、検出面から底面までの最大の深さは1.25mを測り、底面中央部には深さ0.35mを測る円形のピットを有する。埋土は15層に分層され自然堆積である。一部下端は間口よりもオーバーハングしており、断面形はフラスコ形であることから貯蔵穴と考えられる。埋土中から縄文土器が出土している(第55図10)。

帰属時期は縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

86号土坑 (SK-86 第13図)

8次調査区中央、RX-664、RY+273周辺で検出された。平面形は円形で、規模は間口の直径1.12m、検出面からの深さは1.34mを測る。埋土は13層に分層され自然堆積である。一部下端は間口よりもオーバーハングしており、断面形はフラスコ形であることから貯蔵穴と考えられる。

帰属時期は縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

87号土坑 (SK-87 第13図)

8次調査区中央、RX-662、RY+274周辺で検出された。86号土坑の北西に近接し88号土坑と重複している。重複の新旧関係は不明である。平面形は円形で、規模は間口の直径1.04m、検出面からの深さは1.56mを測る。埋土は9層に分層され自然堆積である。一部下端は間口よりもオーバーハングしており、断面形はフラスコ形であることから貯蔵穴と考えられる。B1層から縄文土器が出土している。

帰属時期は縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

88号土坑 (SK-88 第13図)

8次調査区中央、RX-662、RY+274周辺で検出された。前述のとおり87号土坑と重複している。平面形は楕円形で、規模は長軸0.53m、検出面からの深さは0.39mを測る。埋土は3層に分層される。

帰属時期は縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

89号土坑 (SK-89 第13図)

8次調査区西、RX-670、RY+252周辺で検出された。平面形は楕円形で、規模は長軸1.25m、短軸1.11m、検出面からの深さは0.17mを測る。埋土は2層に分層され自然堆積である。

帰属時期は縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

90号土坑 (SK-90 第13図)

8次調査区西、RX-673、RY+249周辺で検出された。平面形は楕円形で、規模は長軸1.08m、短軸1.11m、検出面からの深さは0.59mを測る。埋土は9層に分層され自然堆積である。断面形は逆台形を呈する。埋土から縄文土器が出土している。

帰属時期は縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

91号土坑 (SK-91 第13図)

8次調査区西、RX-675、RY+250周辺で検出された。90号土坑の南東に近接している。平面形は円形で、規模は間口の直径0.99m、検出面から底面までの最大の深さは1.09mを測り、底面中央部には深さ0.31mを測る円形のピットを有する。埋土は12層に分層され自然堆積である。下端は間口よりもオーバーハングしており、断面形はフラスコ形であることから貯蔵穴と考えられる。

帰属時期は縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

92号土坑 (SK-92 第14図)

8次調査区西、RX-676、RY+248周辺で検出された。平面形は楕円形で、規模は長軸0.84m、短軸0.77m、検出面からの深さは0.73mを測る。埋土は11層に分層され自然堆積である。断面形は逆台形を呈する。埋土から縄文土器が出土している。

帰属時期は縄文時代と中期末葉～後期初頭と考えられる。

93号土坑 (SK-93 第14図)

8次調査区西、RX-677、RY+247周辺で検出された。94号土坑と重複している。重複の新旧関係は93号土坑が古い。残存する規模は長軸0.96m、検出面からの深さは0.67mを測る。底面には溝を有する。埋土は9層に分層され自然堆積である。一部下端は間口よりもオーバーハングしており、断面形はフラスコ形であることから貯蔵穴と考えられる。

帰属時期は縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

94号土坑 (SK-94 第14図)

8次調査区西、RX-677、RY+248周辺で検出された。前述のとおり93号土坑を掘り込んでいる。平面形は楕円形で、規模は長軸1.24m、短軸1.03m、検出面から底面までの最大の深さは0.95mを測り、底面中央部には深さ0.23mを測る円形のピットと溝を有する。埋土は17層に分層され自然堆積である。一部下端は間口よりもオーバーハングしており、断面形はフラスコ形であることから貯蔵穴と考えられる。

帰属時期は縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

95号土坑 (SK-95 第14図)

8次調査区西、RX-678、RY+247周辺で検出された。平面形は円形で、規模は間口の直径1.02m、検出面からの深さは0.15mを測る。埋土は2層に分層され自然堆積である。

帰属時期は縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

96号土坑 (SK-96 第14図)

8次調査区南西、RX-684、RY+245周辺で検出された。平面形は円形で、規模は間口の直径1.18m、検出面からの深さは0.89mを測る。埋土は8層に分層され自然堆積である。下端は間口よりもオーバーハングしており、断面形はフラスコ形であることから貯蔵穴と考えられる。C1層、C2層から縄文時代後期の土器が集中して出土している(第53図1、2)。

帰属時期は縄文時代後期初頭と考えられる。

97号土坑 (SK-97 第15図)

8次調査区南西、RX-682、RY+247周辺で検出された。平面形は楕円形で、規模は長軸0.97m、短軸0.83m、検出面から底面までの最大の深さは0.71mを測り、底面中央部には深さ0.16mを測る円形のピットを有する。埋土は12層に分層され自然堆積である。下端は間口よりもオーバーハングしており、断面形はフラスコ形であることから貯蔵穴と考えられる。

帰属時期は縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

98号土坑 (SK-98 第15図)

8次調査区南西、RX-683、RY+248周辺で検出された。平面形は楕円形で、規模は長軸1.02m、短軸0.85m、検出面から底面までの最大の深さは0.78mを測り、底面中央部には深さ0.27mを測る円形のピットを有する。埋土は10層に分層され自然堆積である。下端は間口よりもオーバーハングしており、断面形はフラスコ形であることから貯蔵穴と考えられる。

帰属時期は縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

99号土坑 (SK-99 第15図)

8次調査区南西、RX-684、RY+250周辺で検出された。周辺の攪乱の影響により上部は削平を受けている。平面形は円形で、規模は直径0.87m、検出面からの深さは0.25mを測る。埋土は4層に分層され自然堆積である。一部下端は間口よりもオーバーハングしており、断面形はフラスコ形と推定されることから貯蔵穴と考えられる。

帰属時期は縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

100号土坑 (SK-100 第15図)

8次調査区南西、RX-686、RY+247周辺で検出された。平面形は円形で、規模は間口の直径1.22m、検出面からの深さは0.89mを測る。埋土は10層に分層され自然堆積である。下端は間口よりもオーバーハングしており、断面形はフラスコ形であることから貯蔵穴と考えられる。

帰属時期は縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

101号土坑 (SK-101 第15図)

8次調査区南西、RX-687、RY+250周辺で検出された。平面形は円形で、規模は間口の直径0.86m、検出面からの深さは0.52mを測る。埋土は5層に分層され自然堆積である。下端は間口よりもオーバーハングしており、断面形はフラスコ形であることから貯蔵穴と考えられる。

帰属時期は縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

102号土坑 (SK-102 第15図)

8次調査区南西、RX-686、RY+252周辺で検出された。周辺の攪乱の影響により上部は削平を受けている。平面形は円形で、規模は間口の直径0.97m、検出面からの深さは0.31mを測る。埋土は4層に分層され自然堆積である。下端は間口よりもオーバーハングしており、断面形はフラスコ形であることから貯蔵穴と考えられる。

帰属時期は縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

103号土坑 (SK-103 第16図)

8次調査区南西、RX-681、RY+253周辺で検出された。周辺の攪乱の影響により上部は削平を受けている。平面形は楕円形で、規模は長軸1.19m、短軸0.96m、検出面から底面までの最大の深さは0.46mを測る。埋土は5層に分層され自然堆積である。下端は間口よりもオーバーハングしており、断面形はフラスコ形であることから貯蔵穴と考えられる。

帰属時期は縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

104号土坑 (SK-104 第16図)

8次調査区南西、RX-682、RY+254周辺で検出された。105号土坑、106号土坑と重複している。新旧関係は105号土坑、106号土坑より古い。平面形は円形で、規模は間口の直径1.36m、検出面からの深さは0.56mを測る。埋土は6層に分層され自然堆積である。下端は間口よりもオーバーハングしており、断面形はフラスコ形であることから貯蔵穴と考えられる。

帰属時期は縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

105号土坑 (SK-105 第16図)

8次調査区南西、RX-683、RY+254周辺で検出された。周辺の攪乱の影響により上部は削平を受けている。前述のとおり104号土坑、106号土坑と重複し、新旧関係は106号土坑より古い。平面形は楕円形で、規模は残存する長軸1.04m、短軸0.97m、検出面からの深さは0.41mを測る。埋土は7層に分層され自然堆積である。一部下端は間口よりもオーバーハングしており、断面形はフラスコ形であることから貯蔵穴と考えられる。

帰属時期は縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

106号土坑 (SK-106 第16図)

8次調査区南西、RX-682、RY+253周辺で検出された。104号土坑精査中に入れ子状で検出された。新旧関係は104号土坑、105号土坑より新しい。平面形は不明である。検出面からの深さは0.41mを測る。埋土は7層に分層され自然堆積である。一部下端は間口よりもオーバーハングしており、断面形はフラスコ形であることから貯蔵穴と考えられる。

帰属時期は縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

107号土坑 (SK-107 第15図)

8次調査区南西、RX-688、RY+255周辺で検出された。平面形は楕円形で、規模は長軸0.91m、短軸0.45m、検出面から底面までの最大の深さは1.14mを測り、底面中央部には深さ0.08mを測る円形のピットを有する。埋土は11層に分層され自然堆積である。下端は間口よりもオーバーハング

しており、断面形はフラスコ形であることから貯蔵穴と考えられる。

帰属時期は縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

108号土坑 (SK-108 第43図)

9次調査区北、RX-686、RY+240周辺、47号竪穴住居跡の床面から検出された。平面形は楕円形で、規模は長軸0.6m、短軸0.4m、検出面からの深さは0.13mを測る。埋土は単層である。埋土中から縄文土器が出土しているが、図示できるものはなかった。

帰属時期は縄文時代中期末葉と考えられる。

109号土坑 (SK-109 第43図)

9次調査区北、RX-684、RY+240周辺、47号竪穴住居跡の床面から検出された。平面形は楕円形で、規模は長軸0.6m、短軸0.4m、検出面からの深さは0.13mを測る。埋土は2層に分層され自然堆積である。b1層から縄文土器が出土している。

帰属時期は縄文時代中期末葉と考えられる。

110号土坑 (SK-110 第48図)

9次調査区北、RX-694、RY+248周辺で検出された。平面形は円形で、規模は間口の直径1.00m、検出面から底面までの最大の深さは0.61mを測り、底面中央部には深さ0.13mを測る円形のピットを有する。埋土は9層に分層され自然堆積である。断面形はフラスコ形であることから貯蔵穴と考えられる。埋土中から縄文土器が出土している。

帰属時期は縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

111号土坑 (SK-111 第48図)

9次調査区北、RX-693、RY+252周辺で検出された。112号土坑と一部重複している。新旧関係は111号土坑が古い。平面形は円形である。平面形は円形で、規模は間口の直径1.17m、検出面から底面までの最大の深さは0.27mを測る。埋土は6層に分層され自然堆積である。断面形は逆台形を呈する。

帰属時期は縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

112号土坑 (SK-112 第48図)

9次調査区北、RX-692、RY+253周辺で検出された。前述のとおり111号土坑と一部重複している。平面形は楕円形で、規模は長軸1.33m、短軸1.13m、検出面からの深さは0.37mを測る。埋土は8層に分層され自然堆積である。断面形は逆台形を呈する。

帰属時期は縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

113号土坑 (SK-113 第48図)

9次調査区東、RX-710、RY+259周辺で検出された。周辺の攪乱の影響により上部は削平を受けている。平面形は楕円形で、規模は長軸1.07m、短軸0.82m、検出面からの深さは0.37mを測る。埋土は3層に分層され自然堆積である。下端は間口よりもオーバーハングしており、断面形はフラスコ形であることから貯蔵穴と考えられる。埋土中から縄文土器が少量出土している。

帰属時期は縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

114号土坑 (SK-114 第48図)

9次調査区東、RX-699、RY+263周辺で検出された。周辺の攪乱の影響により上部は削平を受けている。平面形は楕円形で、規模は長軸1.31m、短軸1.13m、検出面からの深さは0.35mを測る。埋土は5層に分層され自然堆積である。断面形は逆台形を呈する。埋土中から縄文土器が1点出土している。

帰属時期は縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

115号土坑 (SK-115 第48図)

9次調査区東、RX-702、RY+265周辺で検出された。周辺の攪乱の影響により上部は削平を受けている。平面形は楕円形で、規模は長軸1.72m、短軸0.83m、検出面からの深さは0.37mを測る。埋土は4層に分層され自然堆積である。断面形は鉢形を呈する。

帰属時期は縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

116号土坑 (SK-116 第48図)

9次調査区東、RX-697、RY+268周辺で検出された。周辺の攪乱の影響により上部は削平を受けている。平面形は楕円形で、規模は長軸0.47m、短軸0.40m、検出面からの深さは0.23mを測る。埋土は3層に分層され自然堆積である。底面にピットを有する。

帰属時期は縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

117号土坑 (SK-117 第48図)

9次調査区東、RX-698、RY+269周辺で検出された。周辺の攪乱の影響により上部は削平を受けている。118号土坑と重複しているが新旧関係は不明である。平面形は楕円形で残存する規模は長軸1.28m、短軸0.72m、検出面からの深さは0.31mを測る。埋土は2層に分層される。埋土中から縄文土器が少量出土している。

帰属時期は縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

118号土坑 (SK-118 第48図)

3次調査区東、RX-698、RY+270周辺で検出された。周辺の攪乱の影響により上部は削平を受けている。117号土坑と重複している。平面形は楕円形で残存する規模は長軸1.29m、短軸0.81m、検出面からの深さは0.22mを測る。埋土は3層に分層され自然堆積である。埋土中から縄文土器が少量出土している。

帰属時期は縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

119号土坑 (SK-119 第49図)

9次調査区東、RX-699、RY+271周辺で検出された。周辺の攪乱の影響により上部は削平を受けている。平面形は円形である。平面形は円形で、規模は間口の直径1.24m、検出面から底面までの最大の深さは0.29mを測る。埋土は6層に分層され自然堆積である。底面にピットを有する。断面形は逆台形を呈する。

帰属時期は縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

120号土坑 (SK-120 第49図)

9次調査区東、RX-702、RY+268周辺で検出された。周辺の攪乱の影響により上部は削平を受けている。平面形は円形で、規模は間口の直径0.81m、検出面から底面までの最大の深さは0.25mを測る。埋土は4層に分層され自然堆積である。断面形は逆台形を呈する。

帰属時期は縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

121号土坑 (SK-121 第49図)

9次調査区東、RX-702、RY+268周辺で検出された。周辺の攪乱の影響により上部は削平を受けている。平面形は楕円形で規模は長軸1.05m、短軸0.51m、検出面からの深さは0.13mを測る。埋土は2層に分層され自然堆積である。

帰属時期は縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

122号土坑 (SK-122 第49図)

9次調査区東、RX-701、RY+269周辺で検出された。周辺の攪乱の影響により上部は削平を受けている。平面形は楕円形で規模は長軸1.09m、短軸0.91m、検出面からの深さは0.72mを測る。埋土は3層に分層され自然堆積である。埋土中から縄文土器が1点出土している。

帰属時期は縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

123号土坑 (SK-123 第49図)

9次調査区東、RX-702、RY+271周辺で検出された。東部は調査区外である。平面形は不明で、長軸は1.03mを測り、検出面からの深さは0.44mを測る。埋土は5層に分層され自然堆積である。断面形は逆台形を呈する。埋土中から縄文土器が少量出土している。

帰属時期は縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

124号土坑 (SK-124 第49図)

9次調査区東、RX-694、RY+272周辺で検出された。平面形は楕円形で、規模は長軸0.79m、短軸0.67m、検出面からの深さは0.11mを測る。埋土は単層である。断面形は皿形を呈する。

帰属時期は縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

125号土坑 (SK-125 第49図)

3次調査区北、RX-675、RY+239周辺で検出された。周辺の攪乱の影響により上部は削平を受けている。平面形は楕円形で規模は長軸1.51m、短軸1.25m、検出面からの深さは0.11mを測る。埋土は単層である。断面形は皿形を呈する。

帰属時期は縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

126号土坑 (SK-126 第49図)

9次調査区北、RX-683、RY+224周辺で検出された。平面形は楕円形で、規模は長軸0.97m、短軸1.1m、検出面から底面までの最大の深さは0.96mを測り、底面中央部には深さ0.26mを測る円

形のピットを有し、ピットを中心として5本の溝が放射状に掘り込まれている。埋土は13層に分層され自然堆積である。断面形は寸胴形で貯蔵穴と考えられる。

帰属時期は縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

127号土坑 (SK-127 第50図)

9次調査区北、RX-685、RY+223周辺で検出された。攪乱の影響により上部は削平を受けている。平面形は楕円形で、残存する規模は長軸1.21m、短軸0.91m、検出面から底面までの最大の深さは1.23mを測り、底面中央部には深さ0.15mを測る円形のピットを有する。埋土は22層に分層され自然堆積である。下端は間口よりもオーバーハングしており、断面形はフラスコ形であることから貯蔵穴と考えられる。埋土中から縄文後期の土器が集中して出土した(第54図4)。

帰属時期は縄文時代後期初頭と考えられる。

128号土坑 (SK-128 第50図)

9次調査区北、RX-681、RY+226周辺で検出された。西部は調査区外である。129号土坑と一部重複し、新旧関係は128号土坑が古い。平面形は不明で最大幅は0.54mを測り検出面から底面までの最大の深さは0.34mを測る。埋土は2層に分層され自然堆積である。

帰属時期は縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

129号土坑 (SK-129 第50図)

9次調査区北、RX-681、RY+227周辺で検出された。攪乱の影響により上部は削平を受けている。前述のとおり128号土坑を掘り込んでいる。平面形は楕円形で規模は長軸1.15m、短軸0.81m、検出面から底面までの最大の深さは0.73mを測る。埋土は7層に分層され自然堆積である。断面形は逆台形を呈する。埋土中から縄文土器が出土している。

帰属時期は縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

130号土坑 (SK-130 第50図)

9次調査区西、RX-714、RY+212周辺で検出された。平面形は楕円形で規模は長軸1.27m、短軸0.97m、テラスを有し検出面から底面までの最大の深さは0.61mを測る。埋土は2層に分層され自然堆積である。埋土中から縄文土器が出土している。

帰属時期は縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

131号土坑 (SK-131 第50図)

9次調査区北西、RX-678、RY+230周辺で検出された。平面形は円形で、規模は間口の直径0.46m、検出面からの深さは0.26mを測る。埋土は単層である。断面形は逆台形を呈する。

帰属時期は縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

132号土坑 (SK-132 第50図)

9次調査区西、RX-715、RY+213周辺で検出された。平面形は長楕円形で規模は長軸2.21m、短軸0.66m、検出面から底面までの最大の深さは1.13mを測る。埋土は3層に分層される。下端は両端が大きくオーバーハングしている。形状から陥し穴と考えられる。埋土中から縄文土器が少量出

土している。

帰属時期は縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

133号土坑 (SK-133 第51図)

9次調査区西、RX-711、RY+211周辺で検出された。平面形は楕円形で、規模は長軸1.19m、短軸0.83m、検出面からの深さは1.07mを測る。埋土は6層に分層され自然堆積である。一部下端は間口よりもオーバーハングしており、断面形はフラスコ形であることから貯蔵穴と考えられる。埋土中から縄文土器が少量出土している。

帰属時期は縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

134号土坑 (SK-134 第35図、第36図)

9次調査区西、RX-713、RY+204周辺で検出された。前述のとおり48号竪穴住居跡と重複し、48号竪穴住居跡より新しい。平面形は円形で、規模は間口の直径0.72m、検出面からの深さは0.56mを測る。埋土は6層に分層され自然堆積である。下端は間口よりもオーバーハングしており、断面形はフラスコ形であることから貯蔵穴と考えられる。埋土中から縄文土器が少量出土している。

帰属時期は縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

135号土坑 (SK-135 第39図、第40図)

9次調査区北西、RX-711、RY+209周辺で検出された。44号竪穴住居跡の床面で検出された。平面形は楕円形で規模は長軸0.73m、短軸0.46m、検出面から底面までの最大の深さは0.72mを測る。下端は間口よりもオーバーハングしており、断面形はフラスコ形であることから貯蔵穴と考えられる。埋土中から縄文土器が少量出土している。

帰属時期は縄文時代中期末葉と考えられる。

136号土坑 (SK-136 第51図)

9次調査区北西、RX-681、RY+225周辺で検出された。攪乱の影響により上部はかなり削平を受けている。平面形は不明、検出面からの深さは0.83mを測る。埋土は10層に分層され自然堆積である。下端は間口よりもオーバーハングしており、断面形はフラスコ形であることから貯蔵穴と考えられる。

帰属時期は縄文時代中期末葉～後期初頭と考えられる。

137号土坑 (SK-137 第51図)

9次調査区北西、RX-678、RY+226周辺で検出された。攪乱によりほとんど遺存していない。平面形、規模は不明である。埋土は3層に分層される。性格、時期は不明である。

138号土坑 (SK-138 第42図)

9次調査区西、RX-707、RY+209周辺で検出された。北部は調査区外である。46号竪穴住居跡のピット6の底面で検出された。平面形は不明で最大長は0.71m、検出面から底面までの最大の深さは0.53mを測る。埋土は4層に分層され自然堆積である。下端は間口よりもオーバーハングしており、断面形はフラスコ形であることから貯蔵穴と考えられる。埋土中から大木10式土器が出土している

(第65図118)。

帰属時期は縄文時代中期末葉と考えられる。

139号土坑 (SK-139 第51図)

9次調査区西、RX-723、RY+216周辺で検出された。38号竪穴住居跡の床面で検出された。平面形は長楕円形で規模は長軸2.23m、短軸0.26m、検出面から底面までの最大の深さは0.64mを測る。埋土は4層に分層される。下端は両端が大きくオーバーハングしている。形状から陥し穴と考えられる。

帰属時期は縄文時代中期末葉と考えられる。

・焼土遺構 (SX-01~12 第18図、第52図)

1号焼土 (SX-01 第18図)

8次調査区北、RX-663、RY+255周辺で検出された。周辺に床、ピットが確認されなかったことから屋外炉と考えられる。規模は長軸0.76m、短軸0.74mを測る。

2号焼土 (SX-01 第18図)

8次調査区西、RX-678、RY+243周辺で検出された。周辺に床、ピットが確認されなかったことから屋外炉と考えられる。規模は長軸0.57m、短軸0.42mを測る。

3号焼土 (SX-01 第18図)

8次調査区西、RX-677、RY+253周辺で検出された。周辺に床、ピットが確認されなかったことから屋外炉と考えられる。規模は長軸0.65m、短軸0.47mを測る。

4号焼土 (SX-01 第18図)

8次調査区中央、RX-673、RY+261周辺で検出された。周辺に床、ピットが確認されなかったことから屋外炉と考えられる。規模は長軸0.51m、短軸0.31mを測る。

5号焼土 (SX-01 第18図)

8次調査区南、RX-685、RY+257周辺で検出された。周辺に床、ピットが確認されなかったことから屋外炉と考えられる。規模は長軸0.40m、短軸0.36mを測る。

6号焼土 (SX-01 第18図)

8次調査区南、RX-685、RY+257周辺で検出された。周辺に床、ピットが確認されなかったことから屋外炉と考えられる。規模は長軸0.91m、短軸0.67mを測る。

7号焼土 (SX-07 第52図)

9次調査区西、RX-700、RY+221周辺で検出された。51号竪穴住居跡に隣接している。石囲炉と考えられる。残存する規模は長軸0.72m、短軸0.70mを測る。

8号焼土 (SX - 01 第52図)

9次調査区北、RX-680、RY+239周辺で検出された。周辺に床、ピットが確認されなかったことから屋外炉と考えられる。規模は長軸1.01m、短軸0.46mを測る。

9号焼土 (SX - 01 第52図)

9次調査区北、RX-678、RY+291周辺で検出された。周辺に床、ピットが確認されなかったことから屋外炉と考えられる。規模は長軸0.83m、短軸0.43mを測る。

10号焼土 (SX - 10 第52図)

9次調査区北、8号焼土に隣接している。斜位埋設土器炉である。規模は長軸0.57m、短軸0.41mを測る。

11号焼土 (SX - 01 第52図)

9次調査区東、RX-682、RY+224周辺で検出された。周辺に床、ピットが確認されなかったことから屋外炉と考えられる。規模は長軸0.41m、短軸0.30mを測る。

12号焼土 (SX - 01 第52図)

9次調査区西で検出された。北は調査区外である。周辺に床、ピットが確認されなかったことから屋外炉(石囲炉)と考えられる。規模は不明である。

・ピット (P1~10 第17図、第52図)

8次調査区西において9基(P1~P9)、9次調査区において1基検出された。P1~P4とP5~P9に分かれる。P1、P3、P6、は柱穴の可能性がある。

・戦跡遺構 (第19図)

8次調査区北東端で検出された。第二次世界大戦中に造られた軍事関連遺構と考えられる。中央を掘り込んだ際の土を周辺に、逆C字状の盛り土により築造している。全体の規模は長軸28m、短軸21mを測る。中央の窪みの規模は長軸14m、短軸5mを測る。逆C字状の盛り土の高さは最大で0.80mを測る。築造に関わる遺物は出土していないため詳細は不明である。同様のものは8次調査区外、当該戦跡遺構から約100m南に離れたところにも確認された。

(3) 出土遺物 (第53図~第73図)

縄文土器、石器、土製品、石製品が出土している。数量はパンコンテナー約100箱分である。

縄文土器 (8次調査区 第53図1・2、第55図、第56図 9次調査区 第54図3~5、第57図~第73図)

第53図、第54図は全容が分かるものを一括している。1、2は8次調査96号土坑の埋土中で集中した破片が接合した口縁部から胴部までの壺形土器である。口縁部は直立し胴部中位で最大径となり胴部が張り、緩やかに「く」の字に折れ窄まる器形である。口縁部には4単位の把手を有し、胴部は平行する縦位の隆帯による4単位の区画文の中に「×」状の縄文帯を施している。2は平縁の深鉢形土器で、口縁部で外反し胴部上半で膨らみ、底部に向かって窄まる。縄文を地文とし、幅の狭い口縁

部には「ノ」の字状連鎖状隆帯を施し、口縁部と胴部を横位の連鎖状隆帯で区画している。底部の底面には木葉痕を残している。3は52号竪穴住居跡で出土した3単位の波状口縁深鉢形土器である。器形は口縁部が外反し胴部上半で括れ、胴部下半から底部に向かって窄まる。幅の狭い口縁部文様帯と胴部を横位の沈線で区画し、胴部上半には長楕円状の無文帯及び連結した弧状の無文帯からなるモチーフを横位に展開している。4は127号土坑の埋土中に集中した、同一平面上に出土した口縁部から胴部までの4単位の波状口縁深鉢形土器である。口縁部はやや直立し胴部上半で強く括れ、胴部上半で膨らみ底部に向かって窄まる。口縁部と胴部を横位の隆帯で区画し、口縁部は幅の狭い縄文帯で波頂部の頸部には渦巻状の隆帯を、頸部から胴部下半にかけてはクランク状の隆帯を4単位、横位に展開している。また、胴部下半にはクランク状の隆帯の間に「U」字状の縄文帯を配し、「U」字状の縄文帯の上端には鱗状隆帯を貼り付けている。5は第9次調査区南西部で土圧で潰れた状態で出土した平口縁の深鉢形土器である。全面に地文（縄文）を施している。

第55図、第56図は第8次調査区から出土した土器で、第55図は竪穴住居跡内、第56図は土坑内である。6は胴部下半部で横位の沈線を引いている。8は32号竪穴住居跡炉跡から出土した斜位埋設土器である。13は78号土坑から出土した。口縁部は外反し胴部上半部で緩やかに膨れ、底部に向かって窄まる。「S」状または横位の連続刺突を伴う隆帯を施している。14と15は同一個体で83号土坑から出土した波状口縁深鉢形土器である。口縁部は外反し胴部上半部で緩やかに膨れ、底部に向かって窄まる。口縁部波頂部下から胴部上半部に逆「L」状の連続刺突を伴う隆帯を施し、胴部側の末端は環状にして収束している。

第57図～第66図は第9次調査区から出土した土器で、第57図～第64図は竪穴住居跡内、第65図、第66図は土坑内である。22～39は8号竪穴住居跡から出土した。22、23、26は同一個体で突起を有する平口縁の深鉢形土器である。口縁部は外反し胴部上半部で「く」の字に括れ、底部に向かって窄まる。口縁部には横位の連続刺突を施して胴部の文様帯と区画し、胴部の文様帯には充填縄文による円形文と連続刺突が沿う「ノ」状及び横位の隆帯を施している。24、25は同一個体の平口縁深鉢形土器である。隆帯により口縁部と胴部を区画し胴部に弧状の無文帯を施している。31は波状口縁深鉢形土器で沈線により口縁部と胴部を区画し、胴部には撚糸文を施している。51は41号竪穴住居跡床面から出土した。環状の突起を有し、胴部には円形状の無文帯とその中に環状の刺突を施している。84～88は51号竪穴住居跡から出土した。84は平口縁の深鉢形土器で、横「U」状の縄文帯を横位に展開し膨らみのある胴中央部には波状の沈線により胴下半と区画している。85は波状口縁深鉢形土器で胴上半部に口縁部無文帯と連結した「S」状の無文帯を施している。

第67図～第73図は遺構外の土器である。127、128は大木8b式、129～131は大木9式である。いずれも出土数は少ない。132～172は後続する大木10式、後期初頭に比定される。132～154、156～161は口縁部で、胴部文様帯と横位の隆帯、連鎖状や連続刺突による隆帯、沈線で区画されている。口縁部は無文の他、波頂部に「ノ」の字状の隆帯を貼付するもの、1列ないし2列の円形連続刺突文を施すもの、隆帯に沿って押圧による窪みを連続して施文しているものがある。また、環状に円形の刺突を施すものが見られる。胴部は曲線状・弧状のモチーフによる縄文帯や無文帯が横位に展開されるものが多く、縄文帯・無文帯の連結部に鱗状隆帯を貼付するものがある。132は地文上から弧状の沈線を引いたもので、時期が後期前葉に比定される可能性がある。180は連続刺突文を施した隆帯が渦巻状に貼付されている。

第68図162～第71図211は胴部のみのものである。上述のとおり縄文帯・無文帯による円形や曲

線状のモチーフが目立つ。

第71図215～第73図229は底部である。縄文もしくは無文で、底面に網代痕、木葉痕が残されているものがある。

230～236は弥生土器である。第9次調査区中央に落ち込む谷の堆積土に縄文土器と混在している。交互刺突文を施しているものがあることから後期に比定される。234は赤彩されている点の特筆される。

石器（第74図～第95図）

第74図242、243、251～255は石鏃である。凹基（242、243、251～253、255）、尖基（254）に分かれる。256～258は摘みを有する縦形の石匙である。259、260、263はヘラ状石器である。261は上下左右に挟りを加えたX字形の剥片石器である。264は剥片を利用した削器もしくは搔器である。262は先端部を欠損した石錐である。

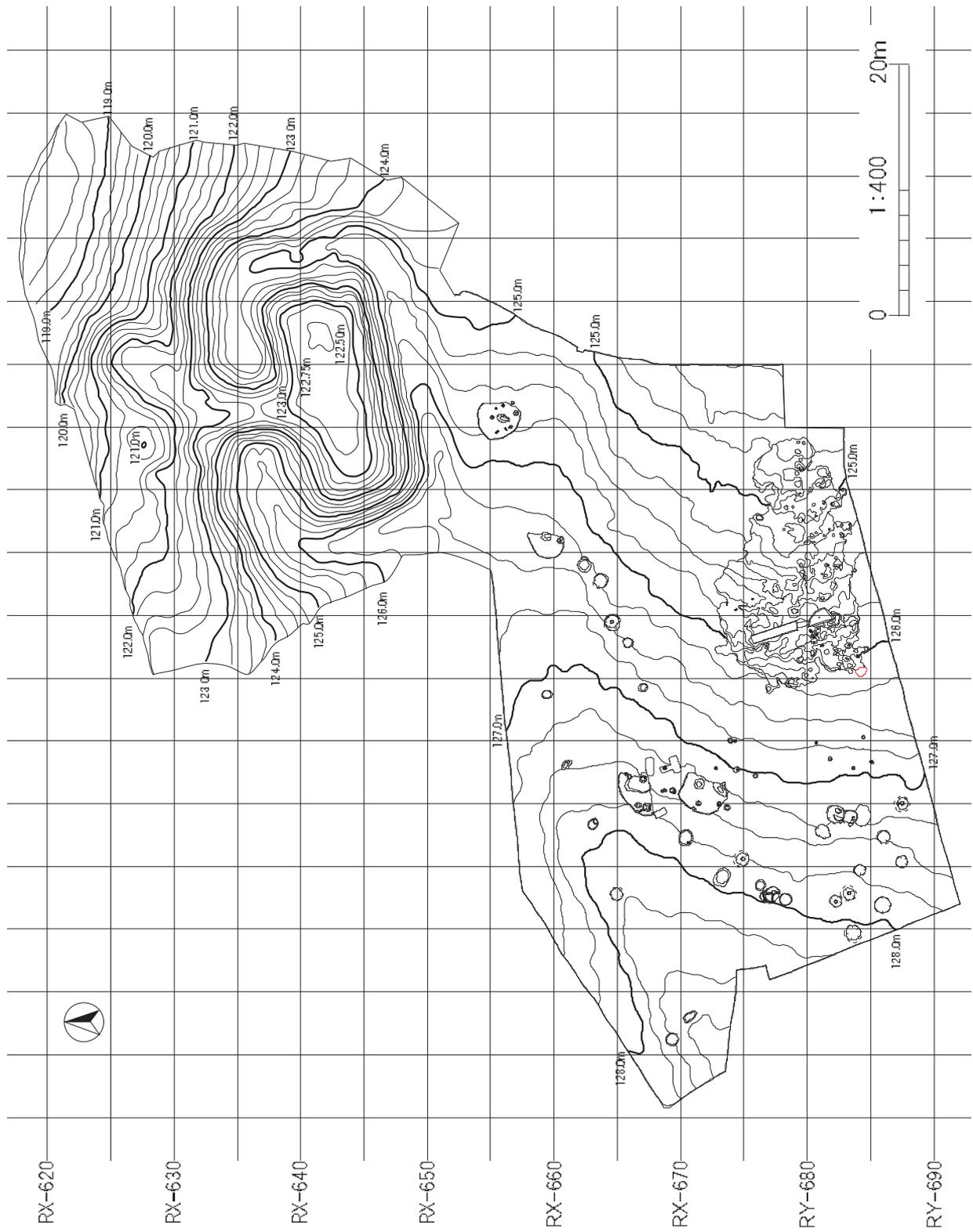
248、249、265、266、273～277、289、302、316、321～325は磨製石斧である。267、278、326～329は打製石斧である。268、298、372は使用面脇に調整痕を残す磨石である。269～271、279～286、290～294、300、303、304、308、310～312、315、317、320、330～363、387、388は磨石である。石器の中では最も多く出土している。磨面が一つのもの、二つのも、全周のものに分かれる。287、295～298、300、364～372、381は敲石である。288、299、306、307、309、318、319、374～379、382は凹石である。272、305、313、314、380、383～386は石皿で凹石として兼用されているものもある。301は扁平な面に敲打痕が見られる。

土製品（第73図237～241）

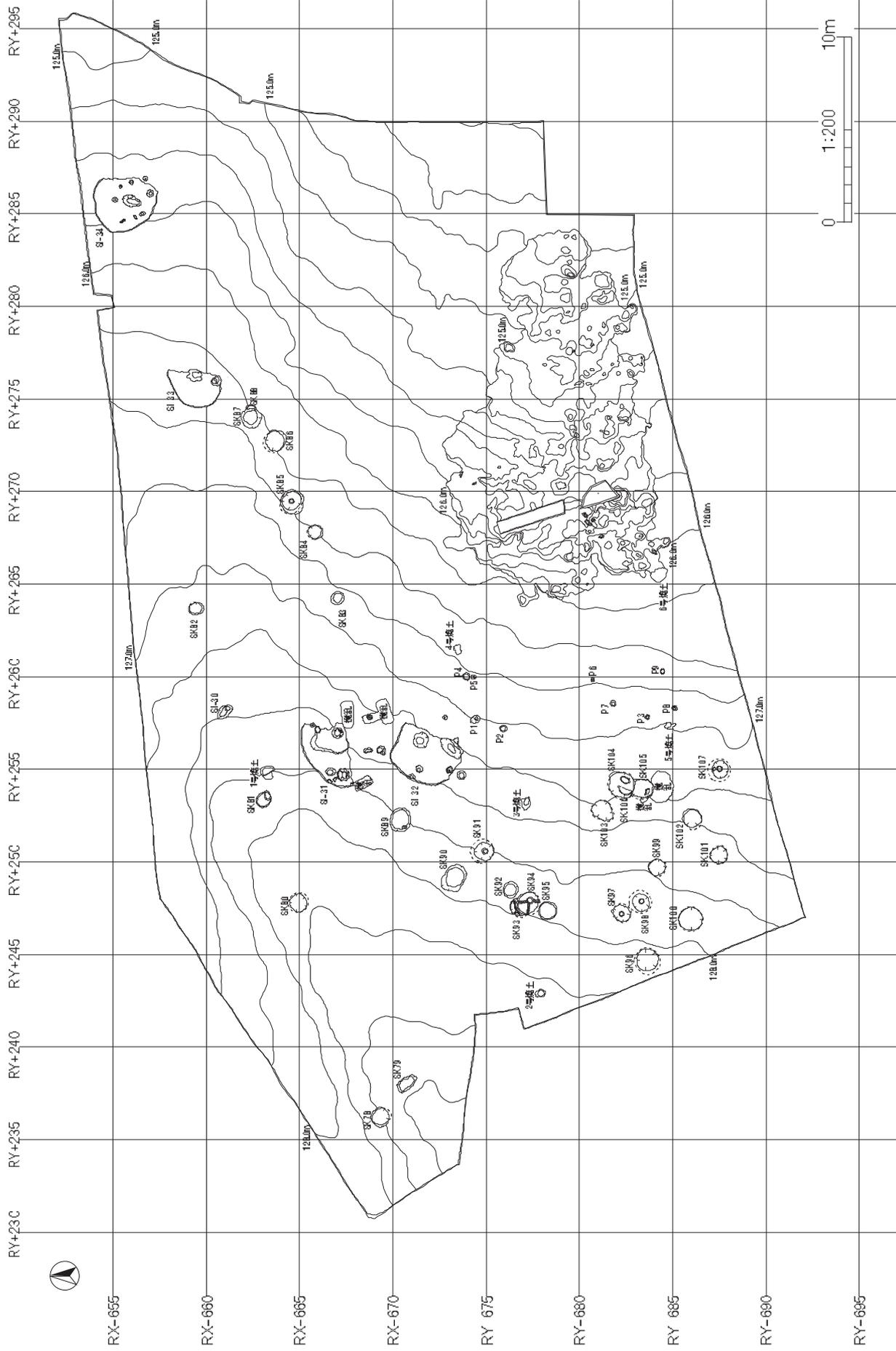
規模は第3表に掲載している。すべてミニチュアの縄文土器である。

石製品（第74図第250、第95図398～404）

規模、重量は第3表に掲載している。第74図第250と第95図390は石棒である。250は8次調査34号竪穴住居跡床面から出土した砂岩質の石棒で、両面に窪みを有する。どちらも先端部に十字の溝を有している。391～394は石製円盤である。395、396は装飾品と考えられ、薄く扁平な礫に2ヶ所の穿孔が認められる。



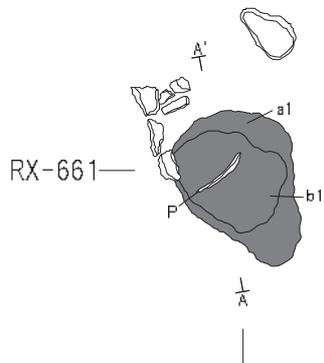
第5図 第8次調査区全体図



第6図 第8次調査区南西部遺構配置図

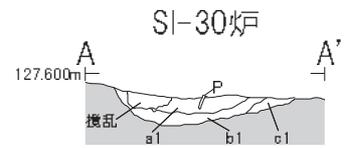
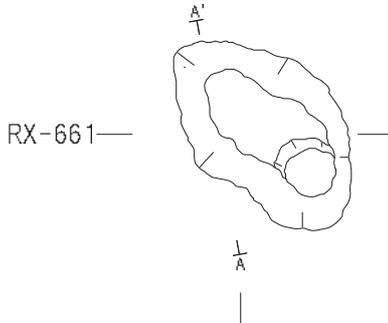
SI-30炉

RY+258

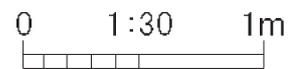


SI-30炉掘方

RY+258



SI-30 炉土層観察
 a1 5YR4/6 赤褐色土 焼土希性中 砂中 湧源
 b1 7.5YR4/6 褐色土 焼土希性中-強 砂混 (赤)
 c1 7.5YR4/6 褐色土 焼土 (黄)

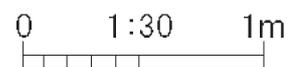
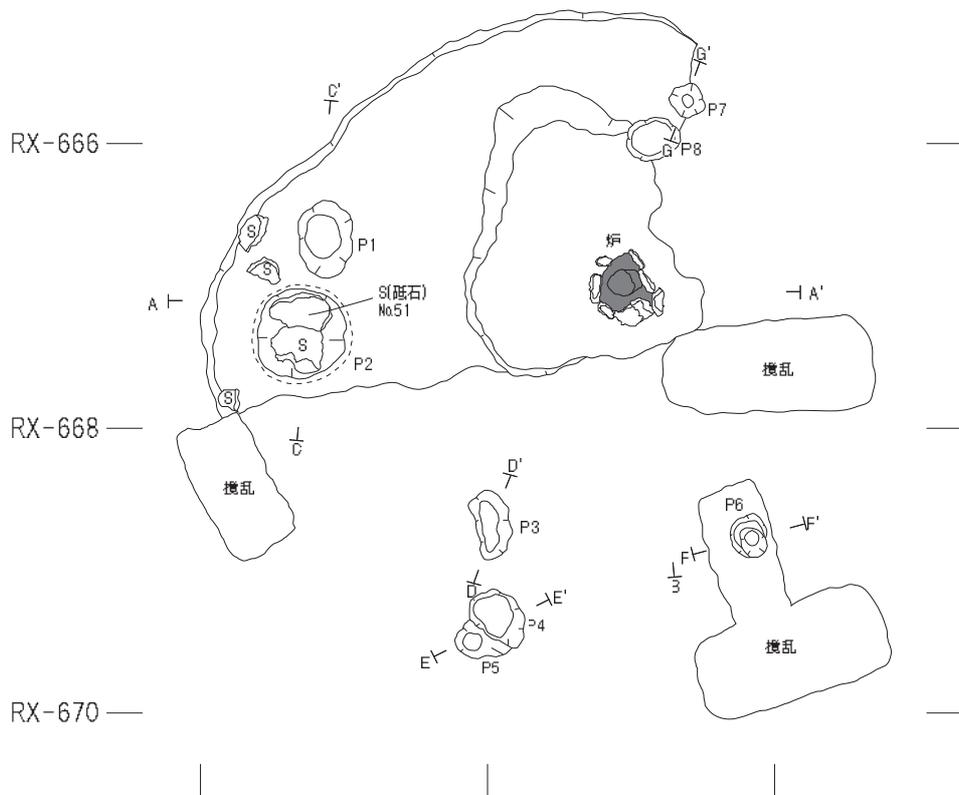


SI-31

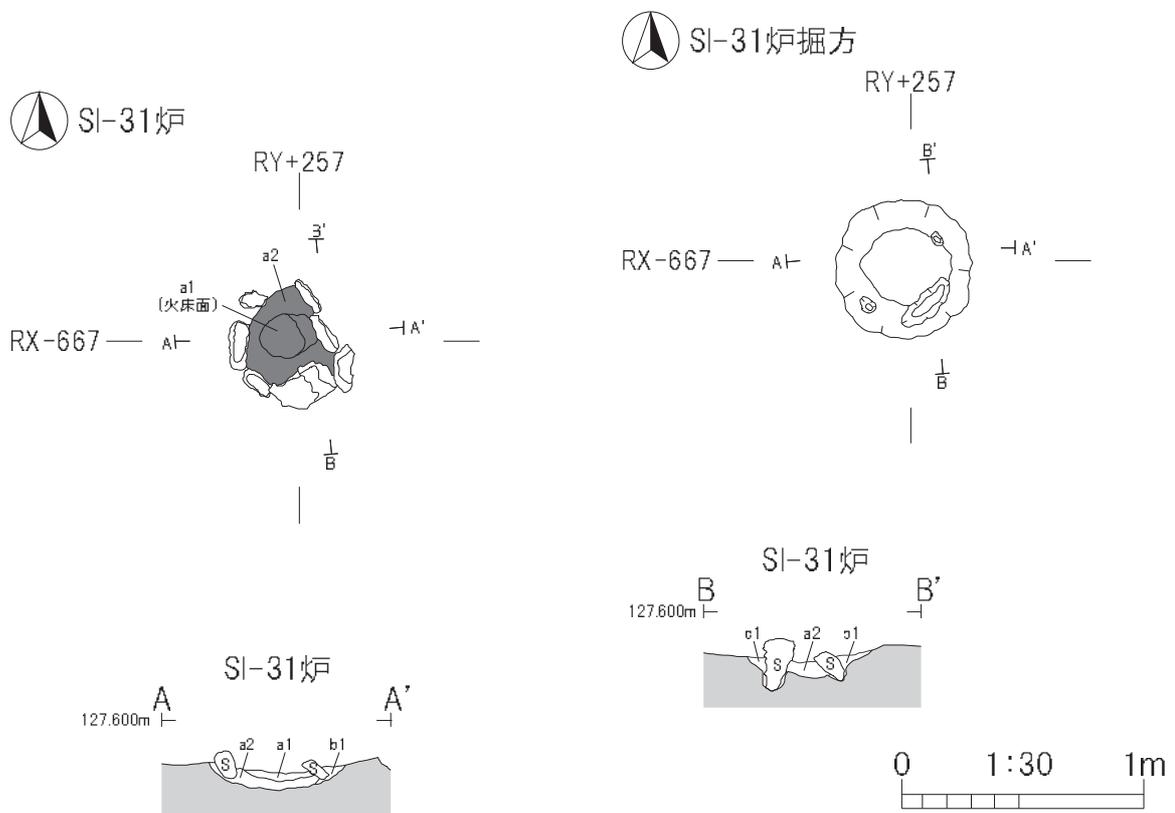
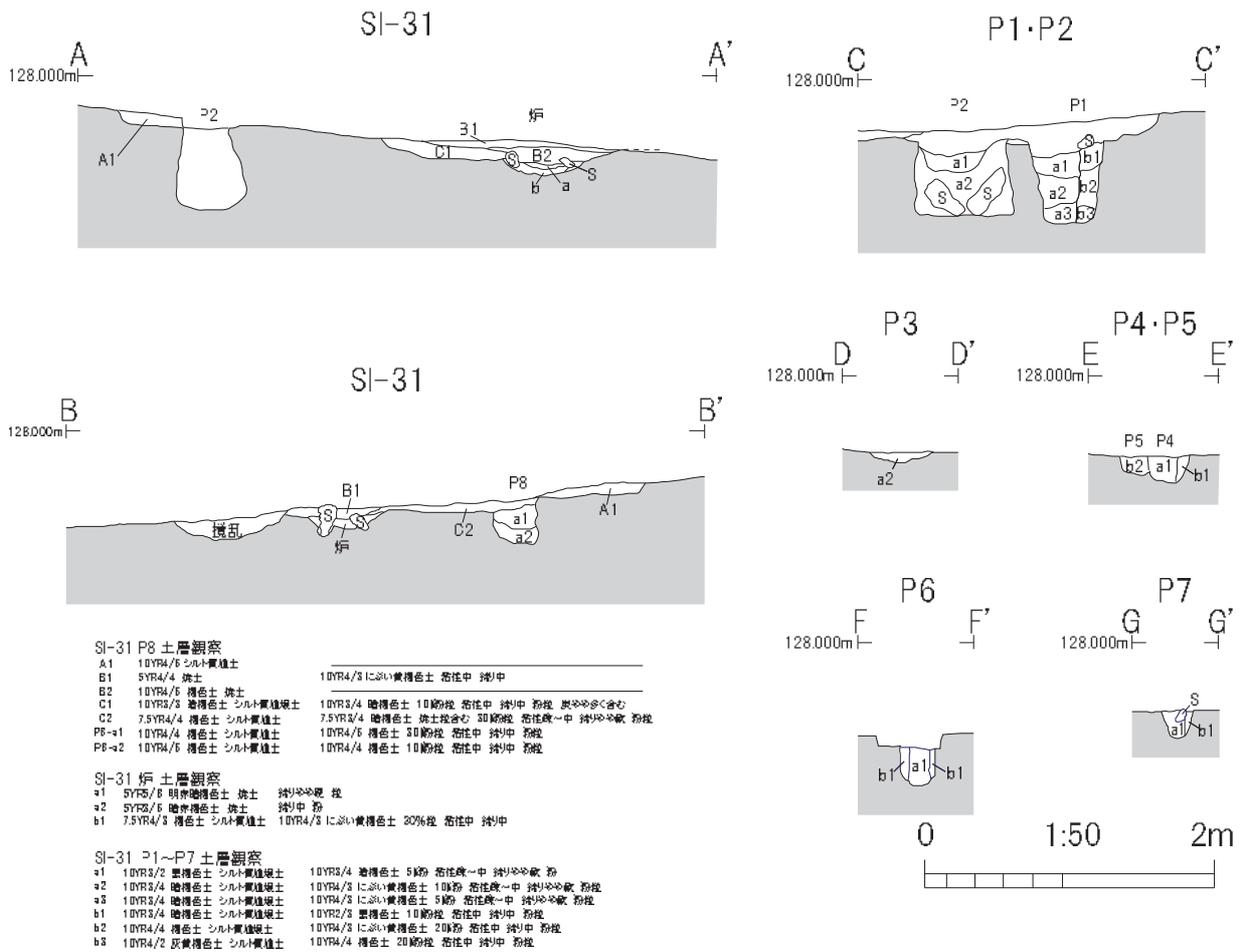
RY+254

RY+256

RY+258



第7図 30号、31号竪穴住居跡



第 8 図 31号竪穴住居跡

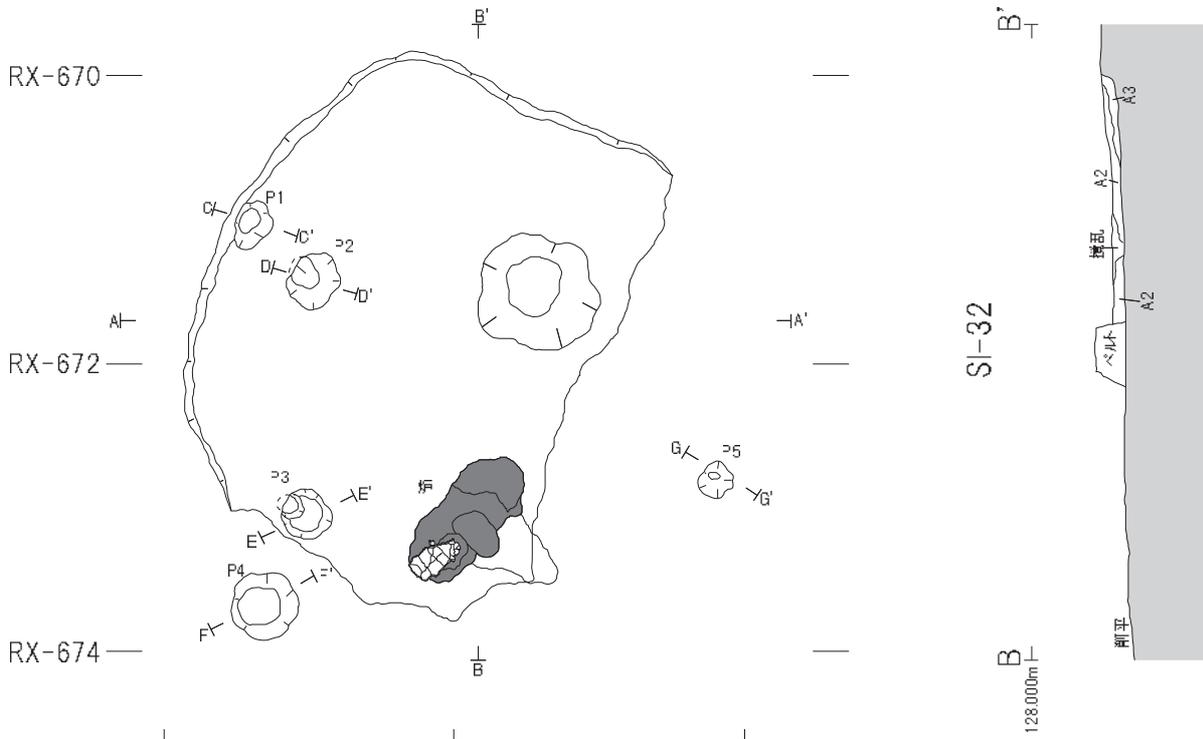


SI-32

RX+254

RX+256

RX+258



SI-32

128,000m

SI-32

A
128,000m

A'



SI-32 土層観察

- A1 7.5YR4/4 褐色土 シルト質凝結土 黄土状層 帯柱中 挿り中 粉粒
- A2 7.5YR4/4 褐色土 黄土 7.5YR4/4 褐色土 20粉粒 帯柱中 挿り中 粉粒
- A3 7.5YR5/3 暗褐色土 シルト質凝結土 黄土状層 炭灰含む 帯柱中 挿り中 粉粒

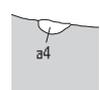
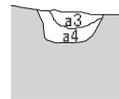
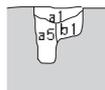
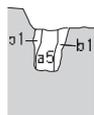
P1
C C'

P2
D D'

P3
E E'

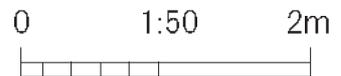
P4
F F'

P5
G G'



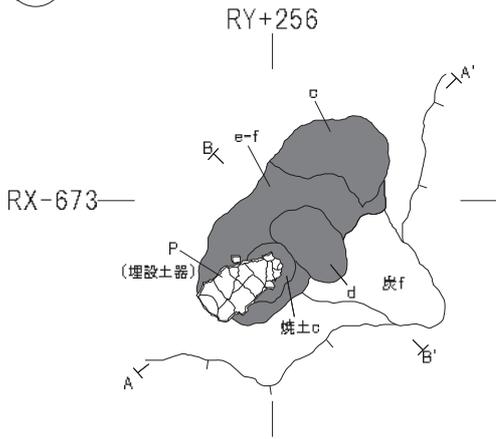
SI-32 P1~P5 土層観察

- a5 10YR2/3 暗褐色土 シルト質凝結土 10YR4/3 に近い黄褐色土 20粉粒 帯柱中 挿り中 粉粒
- a2 10YR2/3 暗褐色土 シルト質凝結土 10YR4/3 に近い黄褐色土 30粉粒 帯柱中 挿り中 粉粒
- a3 10YR2/4 暗褐色土 シルト質凝結土 10YR4/4 褐色土 帯柱中~密 挿り中~密
- a4 10YR2/4 褐色土 シルト質凝結土 帯柱中~密 挿り中~密
- a1 10YR2/4 暗褐色土 シルト質凝結土 10YR4/3 に近い黄褐色土 20粉粒 帯柱中 挿り中 粉粒
- b1 10YR4/3 に近い黄褐色土 シルト質凝結土 10YR4/4 暗褐色土 20粉粒 帯柱中 挿り中 粉粒

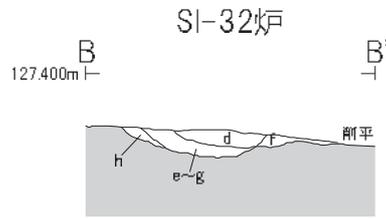
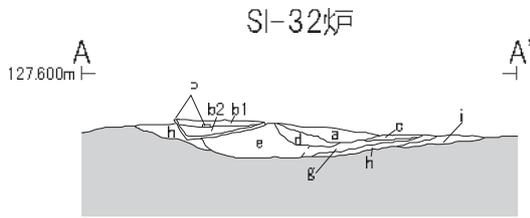
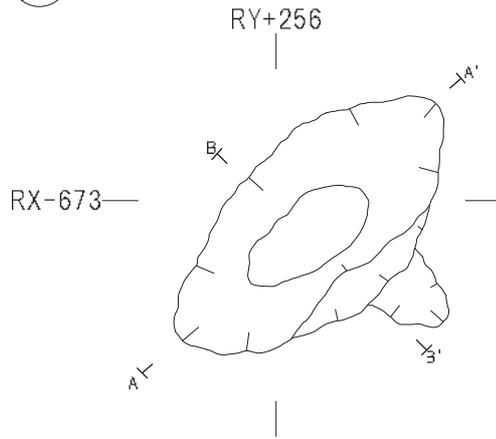


第9図 32号竪穴住居跡

SI-32 炉

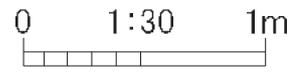


SI-32 炉

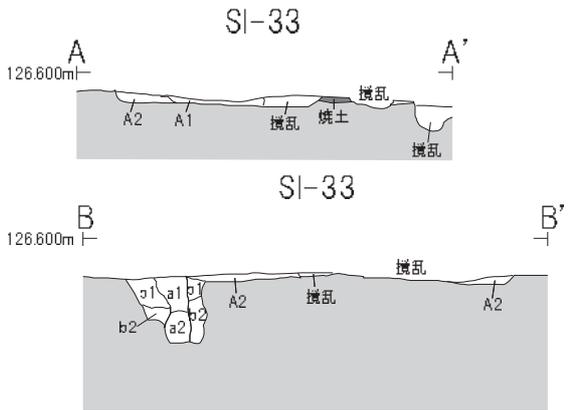
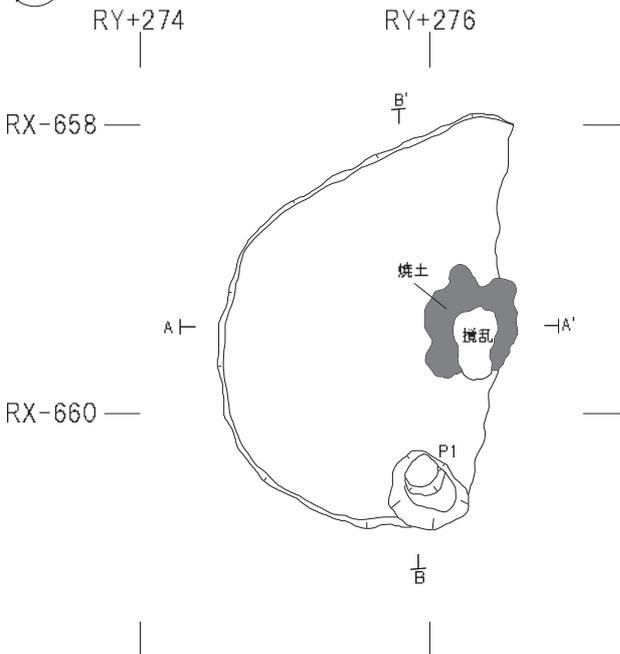


SI-32 炉 土層観察

- | | | |
|----|-----------------------|----------------------------------|
| a | 7.5YR4/4 褐色土 シルト質堆積土 | 焼土粒3% 帯住中 焼り中 粒 |
| b1 | 7.5YR4/4 褐色土 焼土 | 7.5YR4/4 褐色土 20%粉粒 帯住中 焼り中 粉粒 |
| b2 | 7.5YR3/3 暗褐色土 シルト質堆積土 | 焼土粒2% 炭、灰を含む 帯住中 焼り中 粉粒 |
| c | 2.5YR4/8 赤褐色土 焼土 | 粒内に粒CCある 帯住中粉粒 焼り中粉粒 |
| d | 5YR4/4 に近い赤褐色土 焼土 | 2.5YR4/8 赤褐色土 粒内に1% 帯住中粉粒 焼り中粉粒 |
| e | 2.5YR3/6 暗赤褐色土 焼土 | 5YR4/4 に近い赤褐色土 粒内に1% 帯住中粉粒 焼り中粉粒 |
| f | 5YR2/2 黒褐色土 | あーれ |
| g | 5YR4/8 赤褐色土 焼土 | 炭屑層 |
| h | 7.5YR4/6 褐色土 焼土 | 炭屑層 |
| i | 7.5YR4/6 褐色土 焼土 | 10YR3/3 暗褐色土10%粉粒 帯住中一密 焼り中粉粒 |

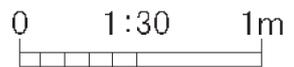


SI-33

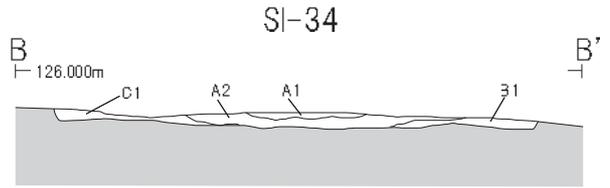
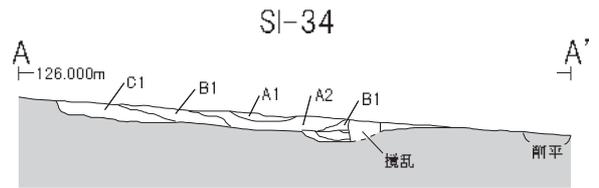
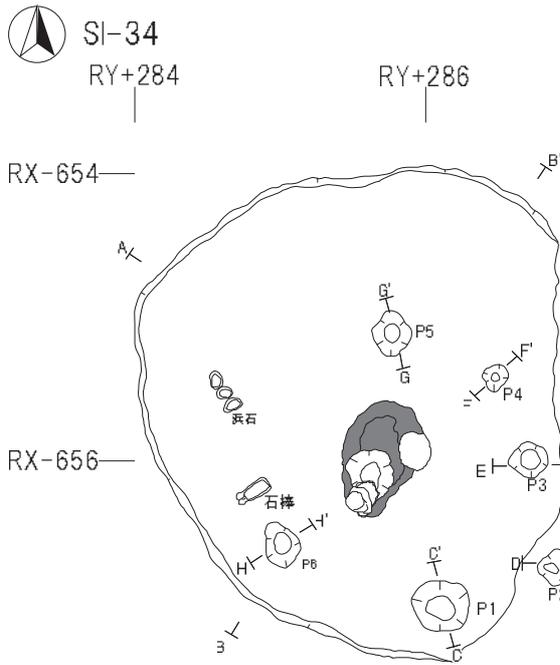


SI-33 土層観察

- | | | |
|----|-------------------------|---------------------------------|
| A1 | 10YR4/3 に近い赤褐色土 シルト質堆積土 | 10YR4/4 褐色土 10%粉 帯住中 焼り中 粉粒 |
| A2 | 10YR4/6 褐色土 シルト質堆積土 | 10YR4/4 褐色土 10%粉 帯住中 焼り中 粉粒 |
| a1 | 10YR3/4 暗褐色土 シルト質堆積土 | 10YR4/3 に近い赤褐色土 3%粉 帯住中 焼り中 粉粒 |
| a2 | 10YR2/4 暗褐色土 シルト質堆積土 | 10YR4/3 に近い赤褐色土 15%粉 帯住中 焼り中 粉粒 |
| b1 | 10YR2/4 暗褐色土 シルト質堆積土 | 10YR4/3 に近い赤褐色土 4%粉粒 帯住中 焼り中 粉粒 |
| b2 | 10YR4/3 に近い赤褐色土 シルト質堆積土 | 10YR3/4 暗褐色土 30%粉粒 帯住中 焼り中 粉粒 |

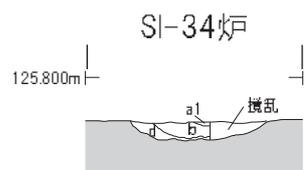
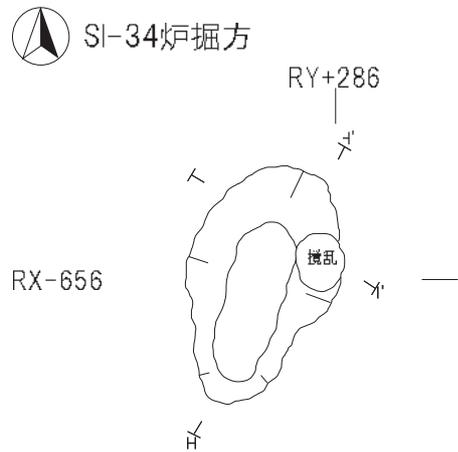
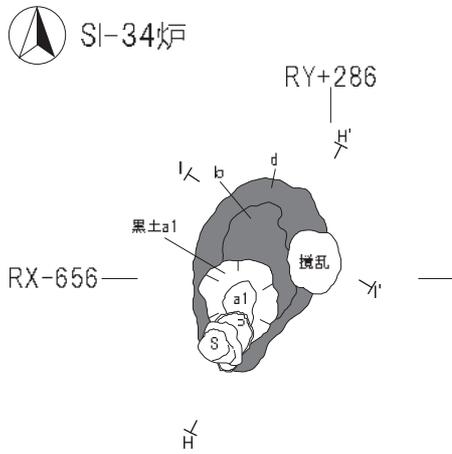
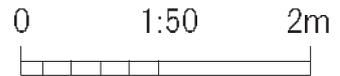
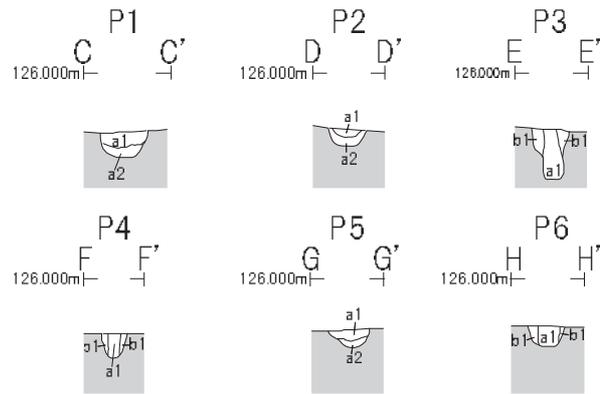


第10図 32号、33号竪穴住居跡

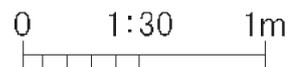


SI-34 土層観察
 A1 10YR3/4 暗褐色土 シルト質堆積土 10YR4/3 に近い黄褐色土 20粉 布在中 鉄屑中 粉粒 炭粉多
 A2 10YR4/3 に近い黄褐色土 シルト質堆積土 10YR3/3 暗褐色土 30粉 布在中 鉄屑中 粉粒 炭粉多
 B1 10YR3/4 暗褐色土 シルト質堆積土 10YR4/3 に近い黄褐色土 30粉 布在中 鉄屑中 粉粒
 C1 10YR4/4 暗褐色土 シルト質堆積土 10YR4/3 に近い黄褐色土 5粉 布在中 鉄屑中 粉粒

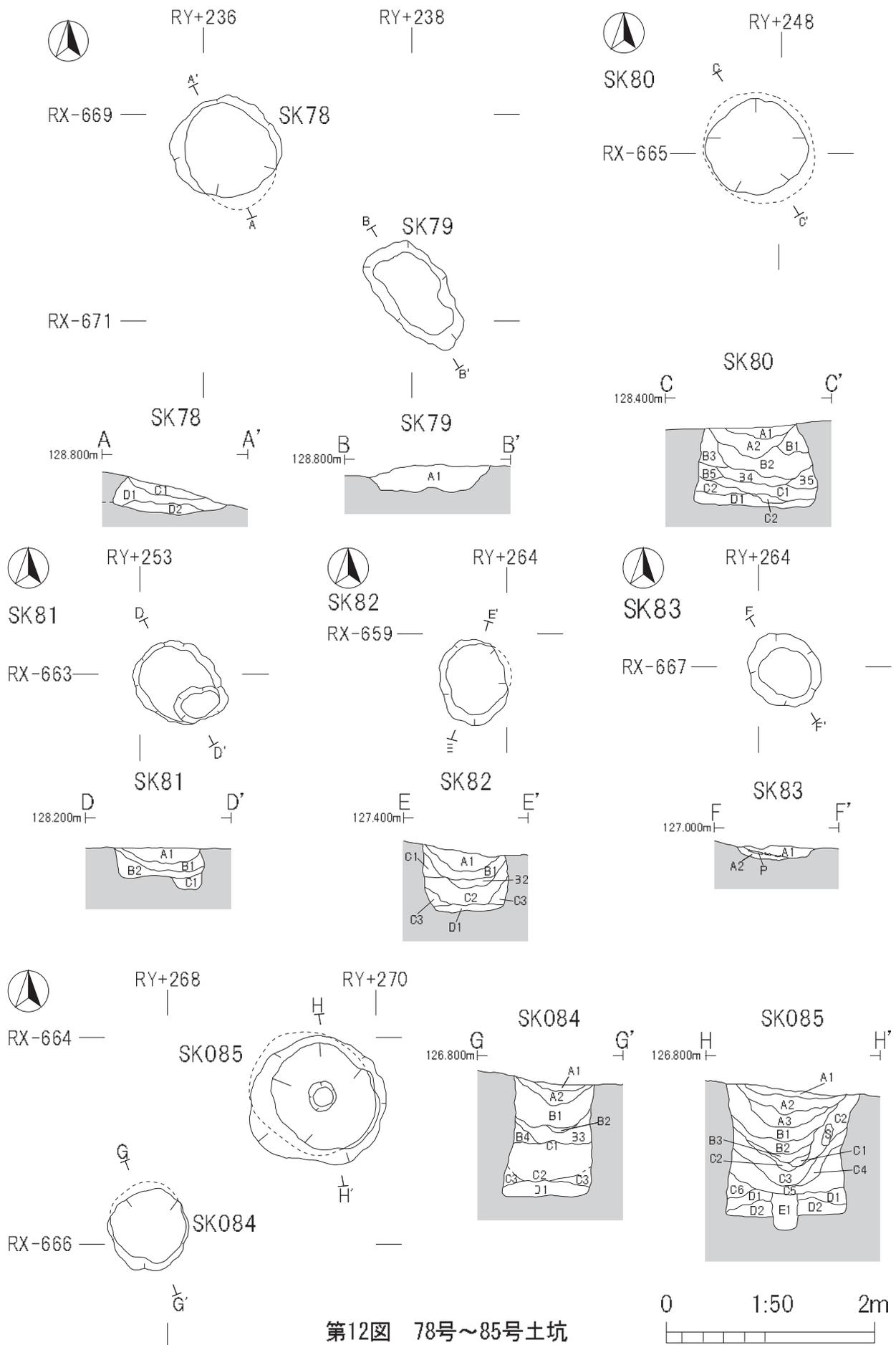
SI-34 P1 土層観察
 a1 10YR3/4 暗褐色土 シルト質堆積土 10YR4/3 に近い黄褐色土 10-20粉粒 布在中 鉄屑中 粉粒
 a2 10YR3/4 暗褐色土 シルト質堆積土 10YR4/3 に近い黄褐色土 5粉 布在中 鉄屑中 粉粒
 SI-34 P2 土層観察
 a1 P1と同
 a2 10YR4/3 に近い黄褐色土 シルト質堆積土 10YR3/4 暗褐色土 30粉粒 布在中 鉄屑中 粉粒
 SI-34 P3-P4-P6 土層観察
 a1 P1と同
 b1 10YR3/4 暗褐色土 シルト質堆積土 10YR4/3 に近い黄褐色土 30粉粒 布在中 鉄屑中 粉粒
 SI-34 P5 土層観察
 a1 P1と同
 a2 10YR4/4 褐色土 シルト質堆積土 10YR4/3 に近い黄褐色土 10粉粒 布在中 鉄屑中 粉粒



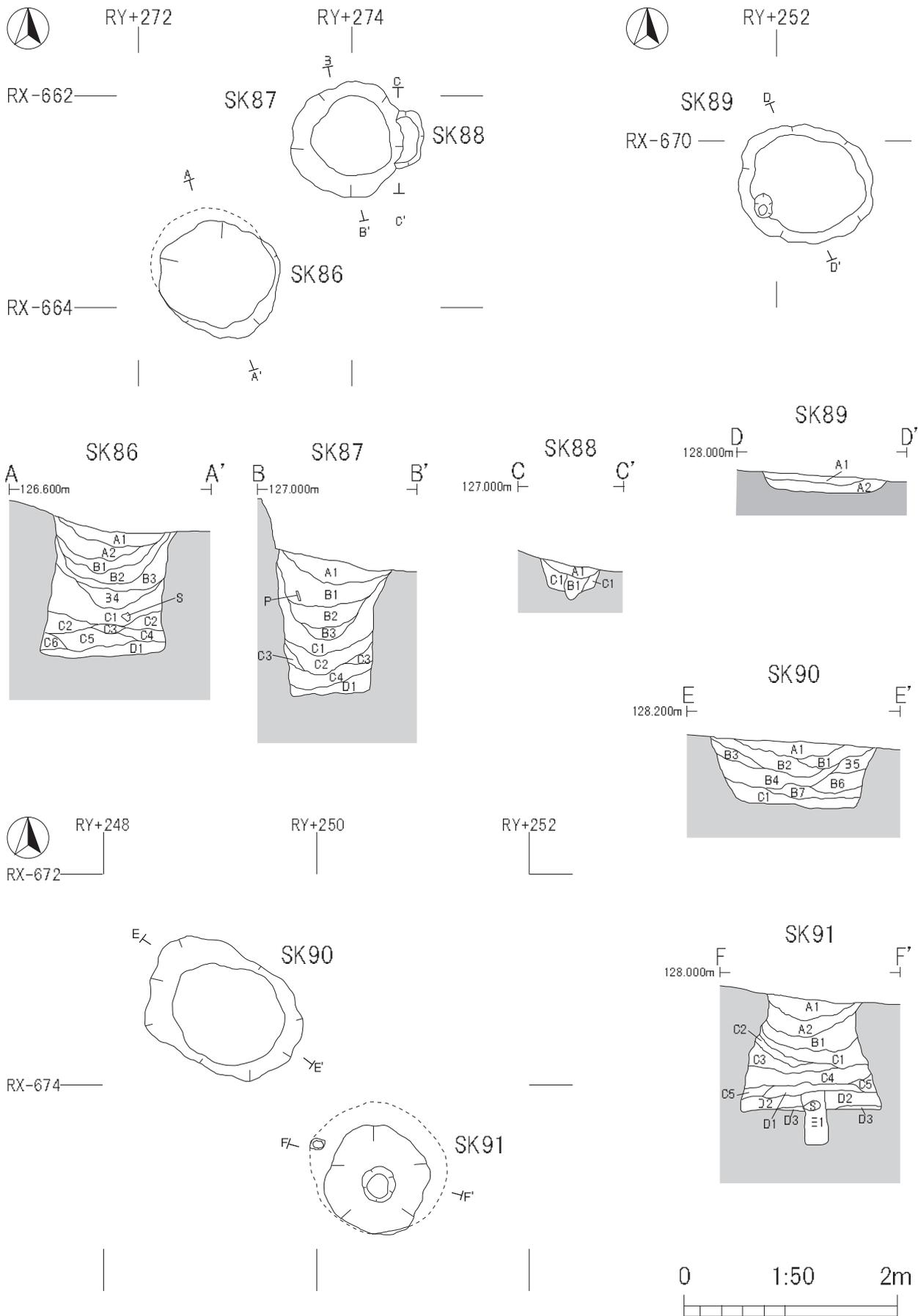
SI-34 炉 土層観察
 a1 10YR3/3 暗褐色土 シルト質堆積土 10YR4/3 に近い黄褐色土 10粉 布在中 鉄屑中 炭粉
 a2 7.5YR3/4 暗褐色土 シルト質堆積土 10YR4/3 に近い黄褐色土 10粉 布在中 鉄屑中 炭粉 炭土粒多
 a3 10YR3/2 暗褐色土 シルト質堆積土 10YR3/3 暗褐色土 10粉 布在中 鉄屑中 炭粉 炭土粒多
 a 5YR4/8 赤褐色土 焼土 鉄屑中 炭粉 粒
 b 5YR3/6 暗赤褐色土 焼土 布在中 鉄屑中
 c 7.5YR4/6 褐色土 焼土 布在中 鉄屑中 炭屑
 d 7.5YR3/2 暗褐色土 シルト質堆積土
 e 10YR4/3 暗褐色土 砂質堆積土 10YR3/4 暗褐色土 20粉粒 布在中 鉄屑中 粉粒



第11図 34号竪穴住居跡



第12图 78号~85号土坑

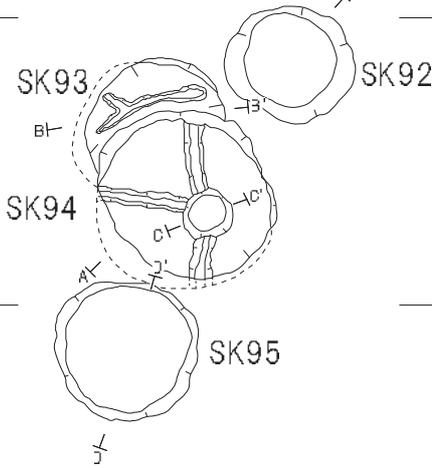


第13图 86号~91号土坑



RX-676

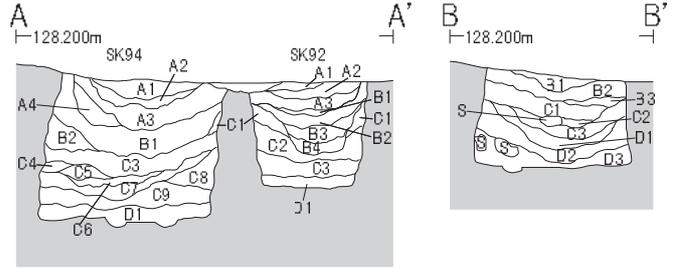
RY+248



RX-678

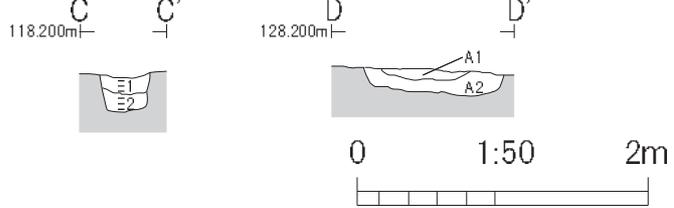
SK92・94

SK93



SK94底

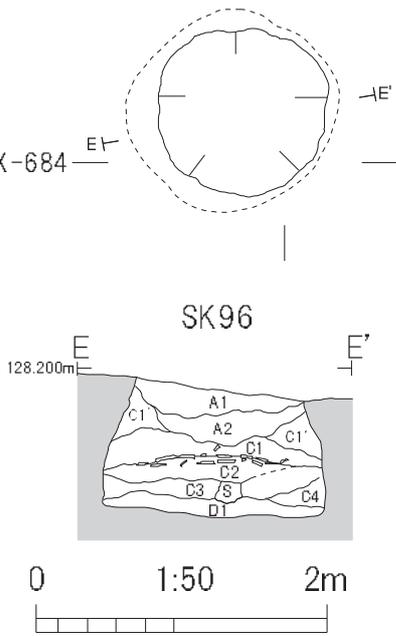
SK95



SK96

RY+245

RX-684



SK96土器分布図

RY+245

RY+246

RX-683

RX-684

RX-685

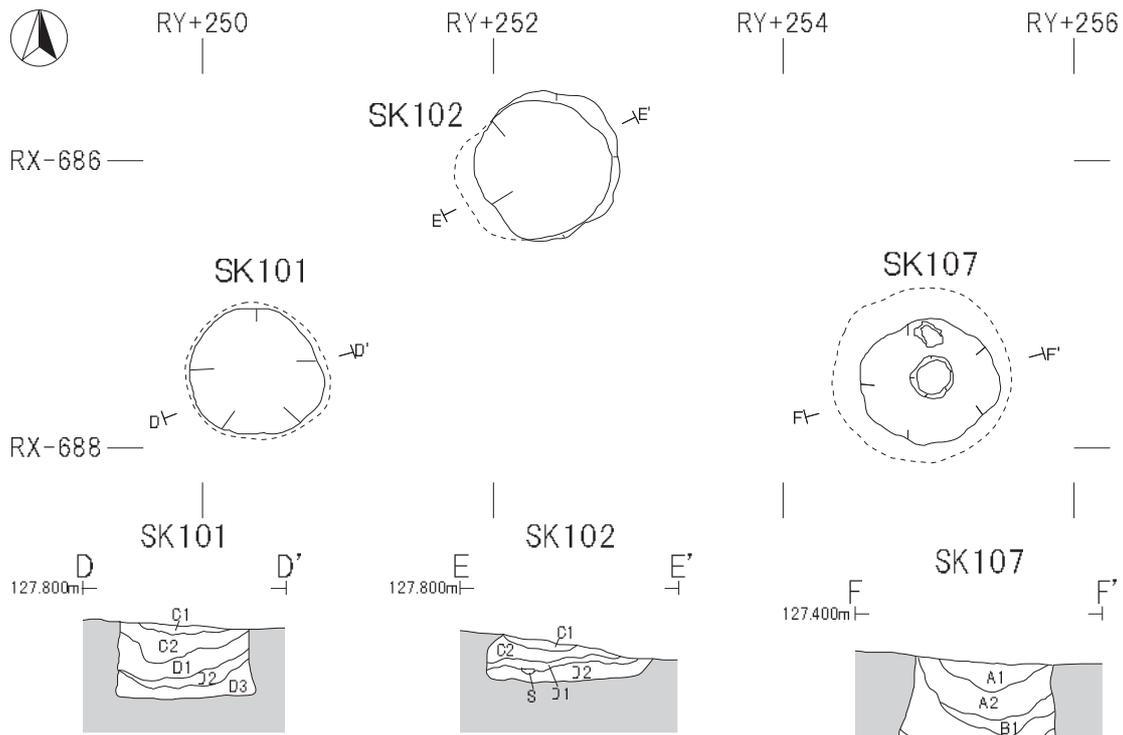
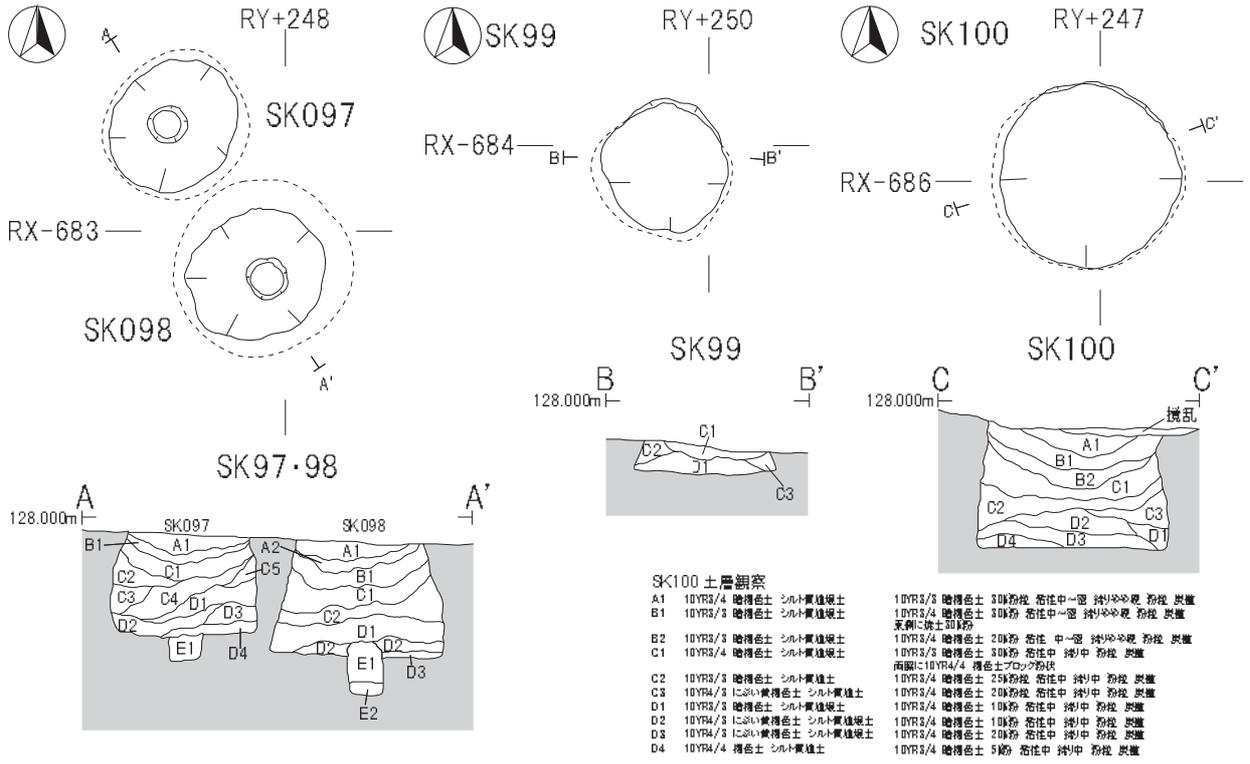


- SK78~90 92~94 96~99 104~106 土層調査
- A1 10YR4/4 褐色土 シルチ質埴土 10YR4/3 に近い黄褐色土 10Y粉 粘性中~強 埴砂中硬 粉
 - A2 記載なし
 - A3 記載なし
 - A4 記載なし
 - B1 10YR3/4 暗褐色土 シルチ質埴土 10YR4/3 に近い黄褐色土 20Y粉 粘性中 埴砂中 粉
 - B2 10YR3/4 暗褐色土 シルチ質埴土 10YR4/3 に近い黄褐色土 10~30Y粉 粘性中 埴砂
 - B3 10YR3/4 暗褐色土 シルチ質埴土 10YR4/3 に近い黄褐色土 40Y粉 粘性中 埴砂中 粉
 - B4 記載なし
 - B5 記載なし
 - B6 記載なし
 - B7 記載なし
 - C1 記載なし
 - C1 10YR4/4 褐色土 シルチ質埴土 10YR4/6 褐色土 30Y粉 粘性中~強 埴砂中硬 粉
 - C2 10YR4/5 褐色土 シルチ質埴土 粘性中~強 埴砂中硬 粉
 - C3 C1層に準ずる
 - C4 10YR4/4 褐色土 シルチ質埴土 10YR4/6 褐色土 5~20Y粉 粘性中~強 埴砂中硬 粉
 - C5 記載なし
 - C6 記載なし
 - C7 記載なし
 - C8 記載なし
 - C9 記載なし
 - D1 10YR4/5 褐色土 シルチ質埴土 粘性中 埴砂中 粉
 - D2 記載なし
 - D3 記載なし
 - D4 記載なし
 - E1 記載なし
 - E2 記載なし

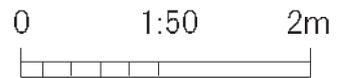
SK-95 土層調査

- A1 10YR4/3 に近い黄褐色土 シルチ質埴土 10YR3/4 暗褐色土 30Y粉 粘性中~強 埴砂中硬 粉 炭層
- A2 10YR4/3 に近い黄褐色土 シルチ質埴土 10YR3/4 暗褐色土 20Y粉 粘性中~強 埴砂中硬 粉 炭層

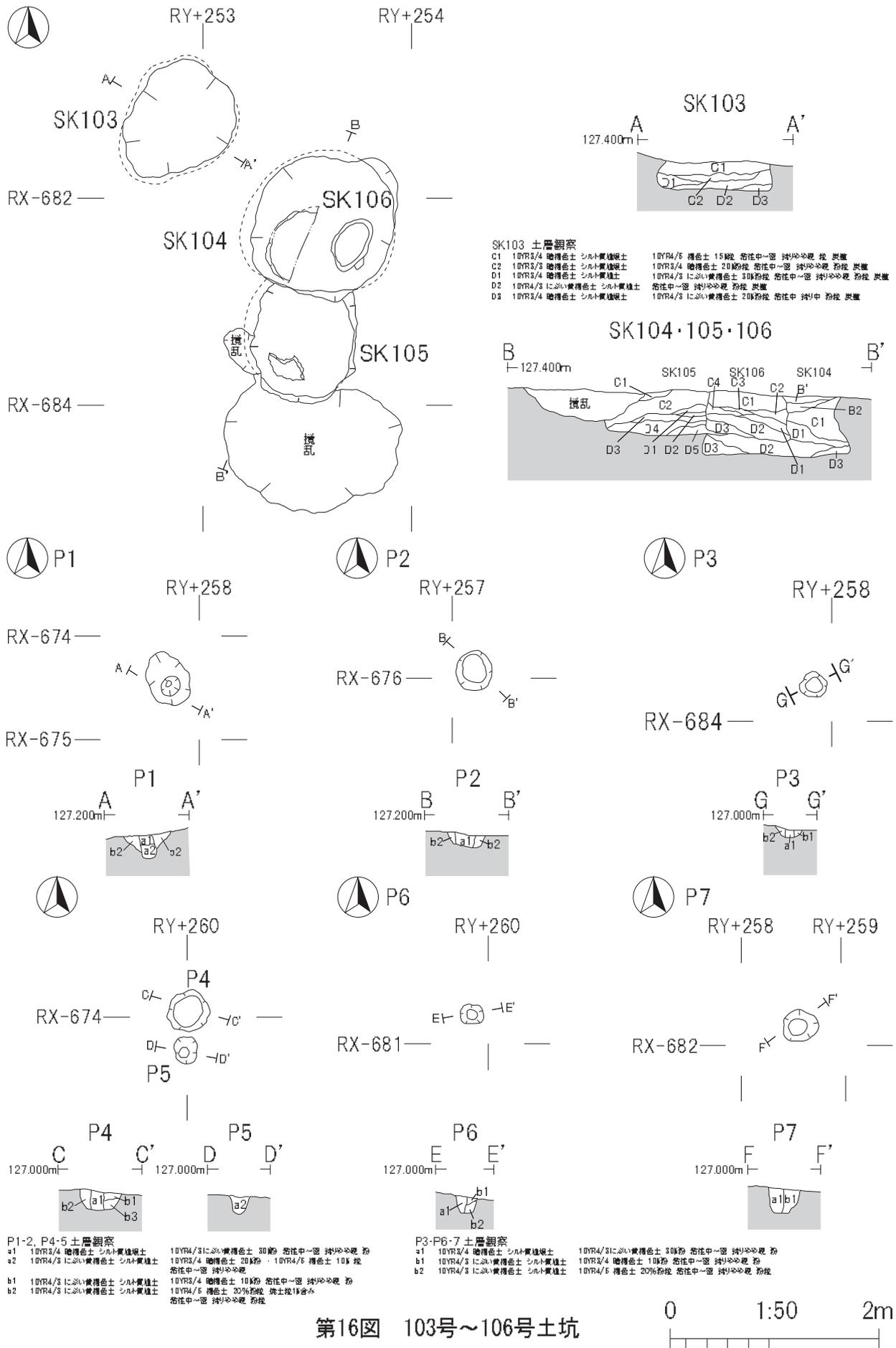
第14図 92号~96号土坑



- SK101 土層観察
- | | | |
|----|----------------------|--|
| C1 | 10YR3/4 暗褐色土 シルト質堆積土 | 10YR4/3 に近い黄褐色土 5～60%粉粒 粘性中～弱 挿入可視 粉粒 炭塵 |
| C2 | 10YR3/3 暗褐色土 シルト質堆積土 | 10YR4/3 に近い黄褐色土 7%粉粒 粘性中～弱 挿入可視 粉粒 炭塵 |
| D1 | 10YR4/6 褐色土 シルト質堆積土 | 10YR4/3 に近い黄褐色土 5%粉粒 粘性中～弱 挿入可視 粉粒 炭塵 |
| D2 | 10YR4/6 褐色土 シルト質堆積土 | 10YR4/3 に近い黄褐色土 5～60%粉粒 粘性中～弱 挿入可視 粉粒 炭塵 |
| D3 | 7.5YR4/6 褐色土 シルト質堆積土 | 10YR4/6 褐色土 30%粉粒 粘性中 挿入 粉粒 炭塵 |
- SK102 土層観察
- | | | |
|----|-------------------------|---|
| C1 | 10YR3/4 暗褐色土 シルト質堆積土 | 10YR3/3 暗褐色土 20%粉粒 粘性中～弱 挿入可視 粉粒 炭塵 |
| C2 | 10YR3/3 暗褐色土 シルト質堆積土 | 10YR4/3 に近い黄褐色土 20～40%粉粒 粘性中～弱 挿入可視 粉粒 炭塵 |
| D1 | 10YR4/3 に近い黄褐色土 シルト質堆積土 | 10YR3/3 暗褐色土 10%粉粒 粘性中～弱 挿入可視 粉粒 炭塵 |
| D2 | 10YR4/3 に近い黄褐色土 シルト質堆積土 | 10YR3/3 暗褐色土 30%粉粒 粘性中～弱 挿入可視 粉粒 炭塵 |
- SK107 土層観察
- | | | |
|----|-------------------------|-------------------------------------|
| A1 | 10YR3/4 暗褐色土 シルト質堆積土 | 10YR3/3 暗褐色土 30%粉粒 粘性中～弱 挿入可視 粉粒 炭塵 |
| A2 | 10YR3/4 暗褐色土 シルト質堆積土 | 10YR3/3 暗褐色土 10%粉粒 粘性中～弱 挿入可視 粉粒 炭塵 |
| B1 | 10YR4/3 に近い黄褐色土 シルト質堆積土 | 10YR3/4 暗褐色土 20%粉粒 粘性中 挿入 粉粒 炭塵 |
| C1 | 10YR3/4 暗褐色土 シルト質堆積土 | 10YR3/3 暗褐色土 40%粉粒 粘性中～弱 挿入可視 粉粒 炭塵 |
| C2 | 10YR3/4 暗褐色土 シルト質堆積土 | 10YR3/3 暗褐色土 20%粉粒 粘性中～弱 挿入可視 粉粒 炭塵 |
| C3 | 10YR3/3 暗褐色土 シルト質堆積土 | 10YR3/3 暗褐色土 10%粉粒 粘性中 挿入 粉粒 炭塵 |
| C4 | 10YR3/3 暗褐色土 シルト質堆積土 | 10YR3/3 暗褐色土 30%粉粒 粘性中 挿入 粉粒 炭塵 |
| D1 | 10YR4/6 褐色土 シルト質堆積土 | 粘性中 挿入 腐埃 |
| D2 | 10YR4/6 褐色土 シルト質堆積土 | 10YR4/3 に近い黄褐色土 20%粉粒 粘性中～弱 挿入 粉粒 |
| D3 | 10YR4/6 褐色土 シルト質堆積土 | 10YR4/3 に近い黄褐色土 5%粉粒 粘性中～弱 挿入 粉粒 |
| E1 | 10YR4/6 褐色土 シルト質堆積土 | 10YR4/3 に近い黄褐色土 20%粉粒 粘性中～弱 挿入可視 粉粒 |



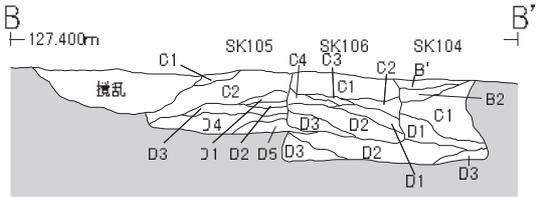
第15図 97号～102号、107号土坑



SK103 土層観察

- | | | |
|----|-------------------------|---|
| C1 | 10YR3/4 暗褐色土 シルト質凝結土 | 10YR4/5 褐色土 15%粉 粘性中～弱 粘り少～多 粉粒 炭塵 |
| C2 | 10YR3/5 暗褐色土 シルト質凝結土 | 10YR3/4 暗褐色土 20%粉 粘性中～弱 粘り少～多 粉粒 炭塵 |
| D1 | 10YR3/4 暗褐色土 シルト質凝結土 | 10YR4/5 に多い黄褐色土 30%粉粒 粘性中～弱 粘り少～多 粉粒 炭塵 |
| D2 | 10YR4/3 に多い黄褐色土 シルト質凝結土 | 粘性中～弱 粘り少～多 粉粒 炭塵 |
| D3 | 10YR3/4 暗褐色土 シルト質凝結土 | 10YR4/3 に多い黄褐色土 20%粉粒 粘性中 粘り中 粉粒 炭塵 |

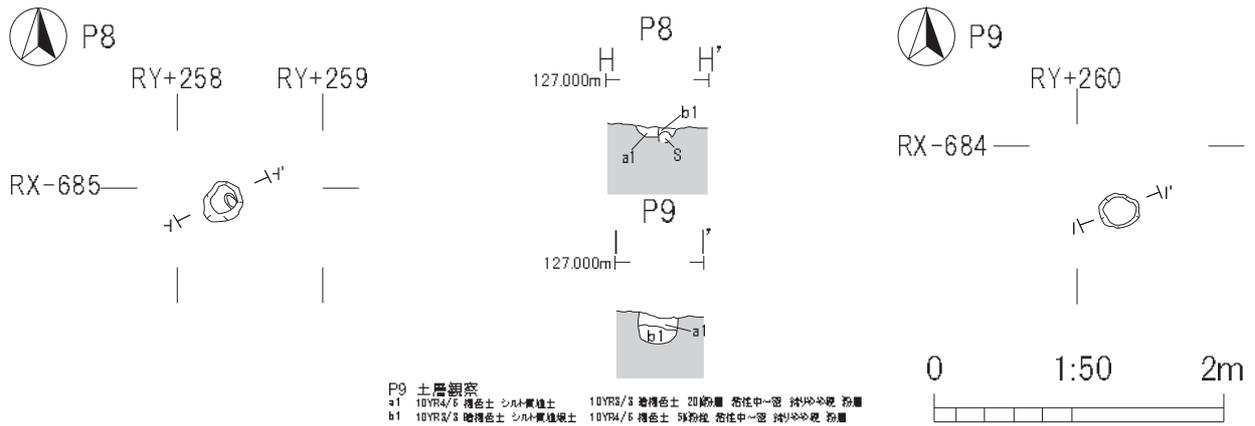
SK104・105・106



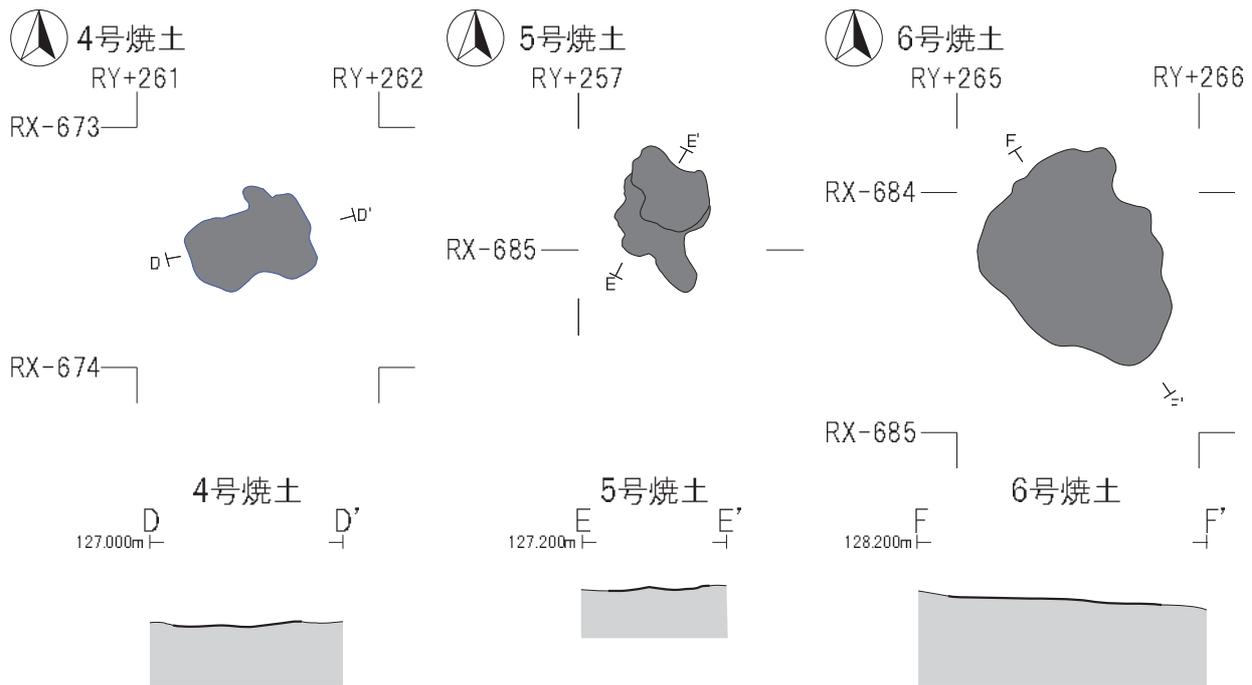
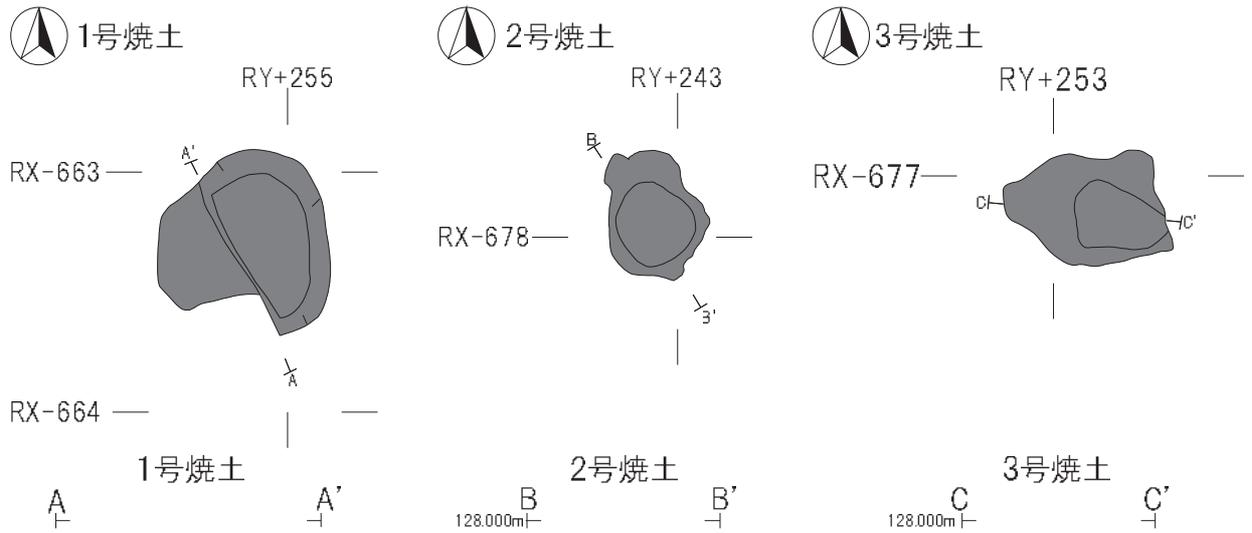
- P1-2, P4-5 土層観察
- | | | |
|----|-------------------------|--|
| a1 | 10YR3/4 暗褐色土 シルト質凝結土 | 10YR4/3 に多い黄褐色土 30%粉 粘性中～弱 粘り少～多 粉 |
| a2 | 10YR4/3 に多い黄褐色土 シルト質凝結土 | 10YR3/4 暗褐色土 20%粉・10YR4/5 褐色土 10%粉 粘性中～弱 粘り少～多 |
| b1 | 10YR4/3 に多い黄褐色土 シルト質凝結土 | 10YR3/4 暗褐色土 10%粉 粘性中～弱 粘り少～多 粉 |
| b2 | 10YR4/3 に多い黄褐色土 シルト質凝結土 | 10YR4/5 褐色土 20%粉粒 粘土粒1%含む 粘性中～弱 粘り少～多 粉粒 |

- P3-P6-7 土層観察
- | | | |
|----|-------------------------|------------------------------------|
| a1 | 10YR3/4 暗褐色土 シルト質凝結土 | 10YR4/3 に多い黄褐色土 30%粉 粘性中～弱 粘り少～多 粉 |
| b1 | 10YR4/3 に多い黄褐色土 シルト質凝結土 | 10YR3/4 暗褐色土 10%粉 粘性中～弱 粘り少～多 粉 |
| b2 | 10YR4/3 に多い黄褐色土 シルト質凝結土 | 10YR4/5 褐色土 20%粉粒 粘性中～弱 粘り少～多 粉粒 |

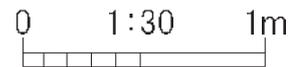
第16図 103号～106号土坑

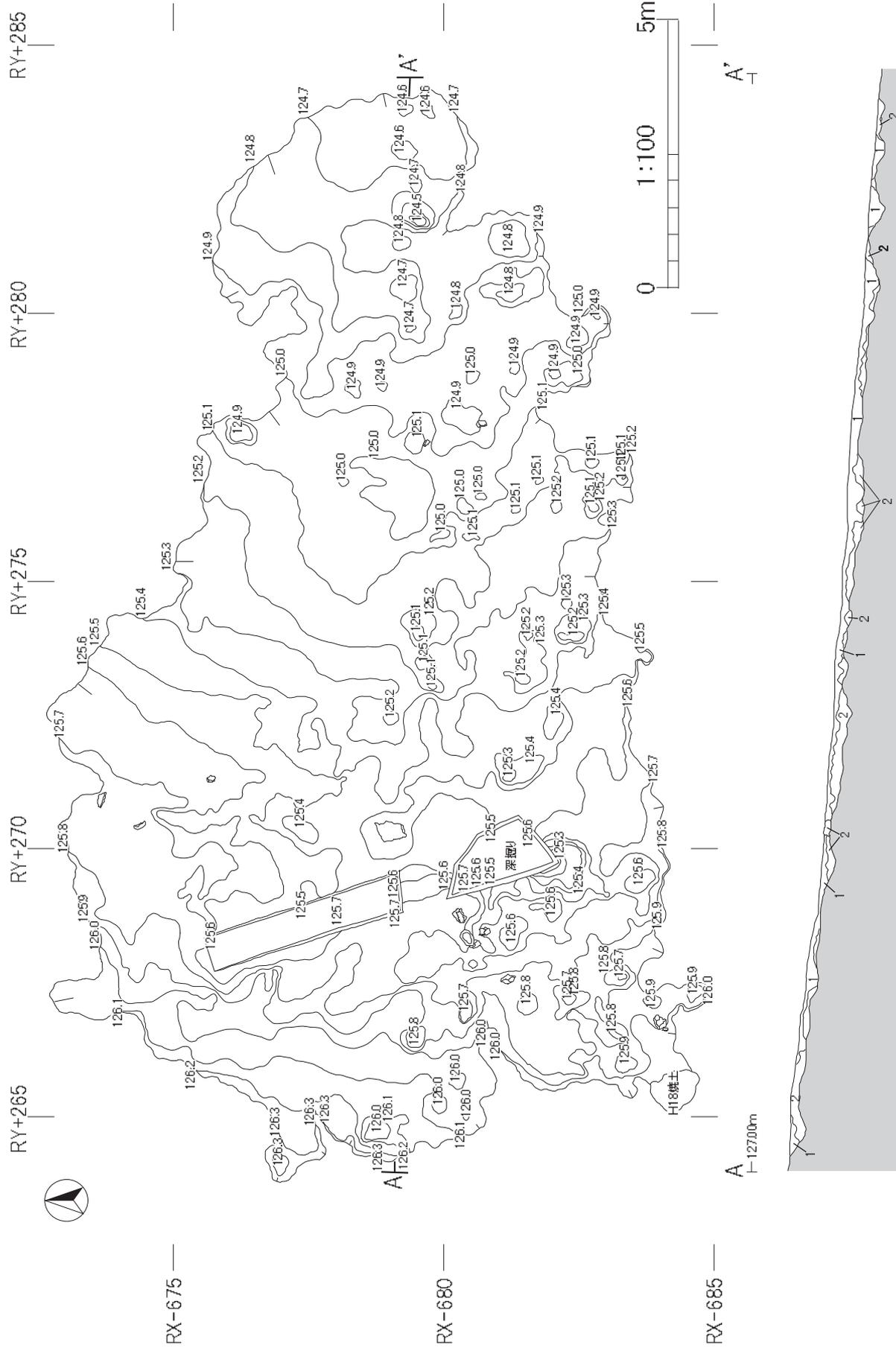


P9 土層観察
a1 10YR4/6 褐色土 シル+黄緑土 10YR3/5 暗褐色土 20断面 粘性中-強 雑砂中硬 粉層
b1 10YR2/5 暗褐色土 シル+黄緑土 10YR4/6 褐色土 5%粉粒 粘性中-強 雑砂中硬 粉層

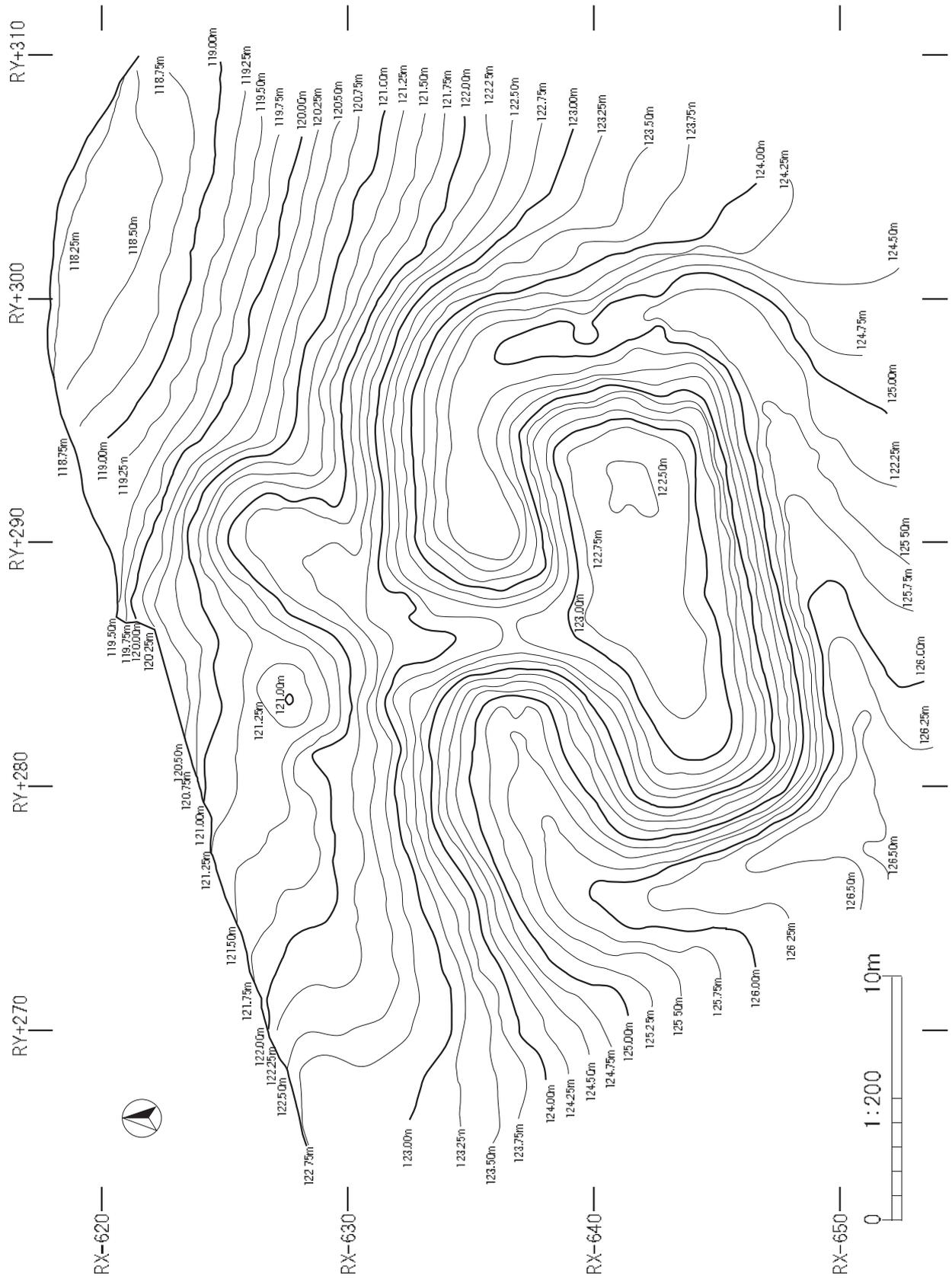


第17図 第8次調査区ピット・焼土遺構

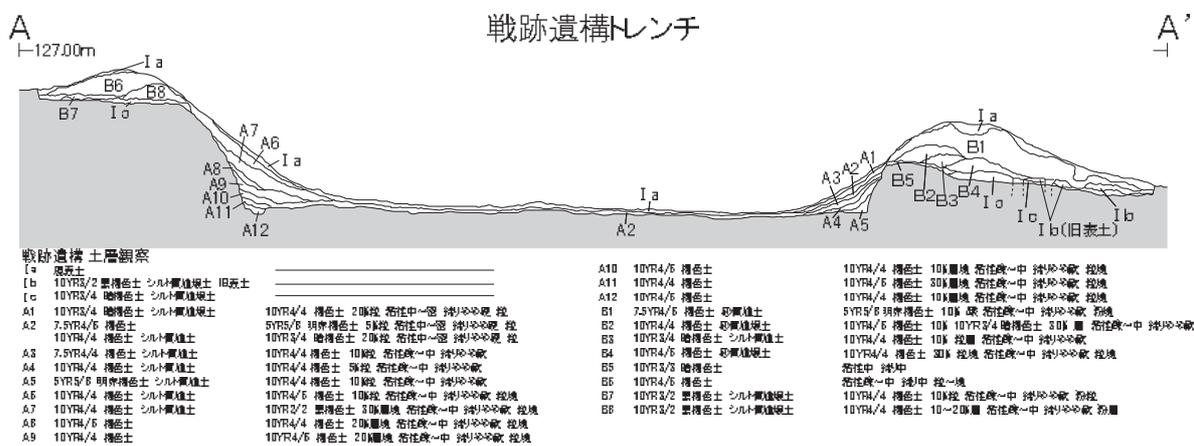
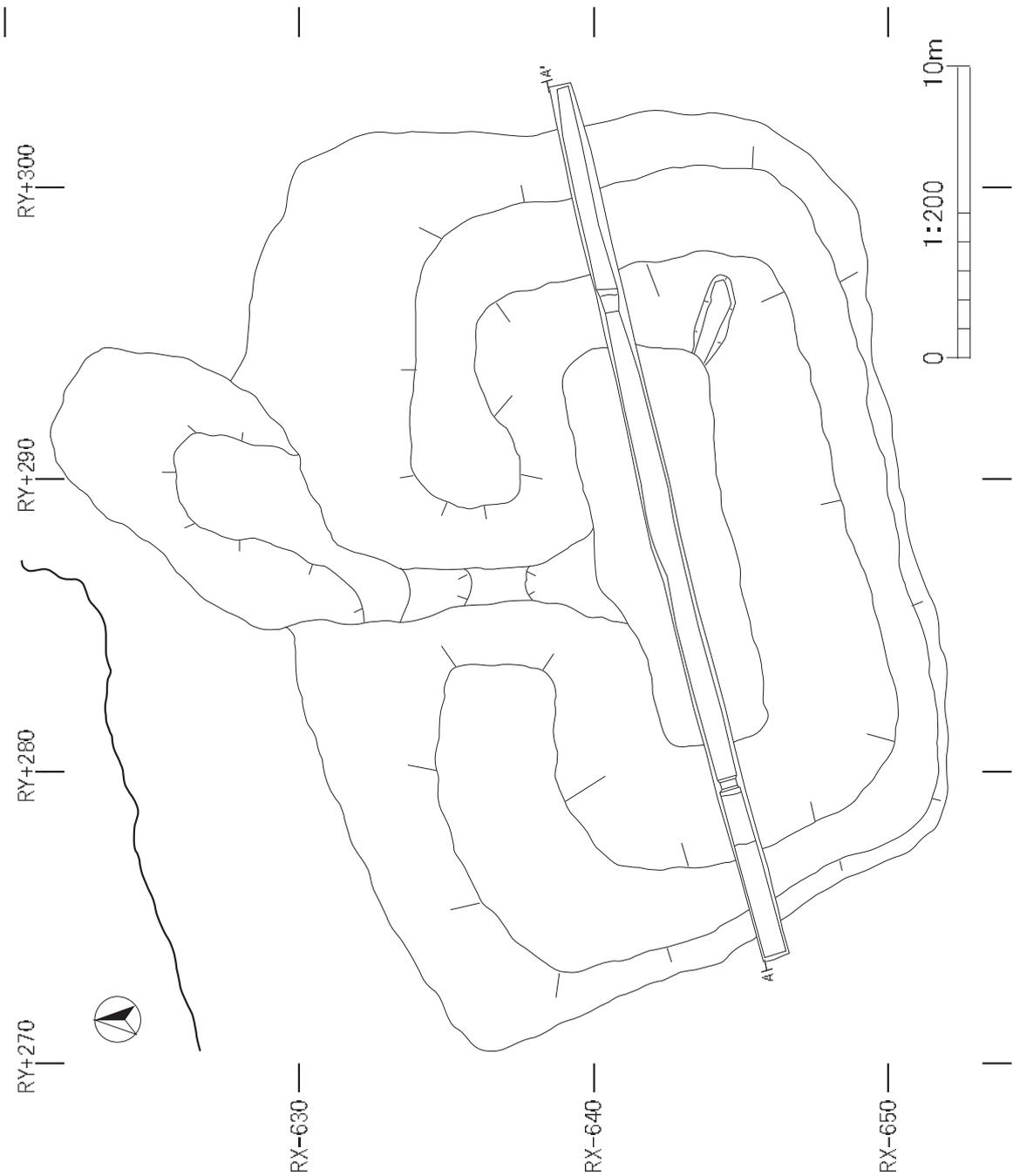




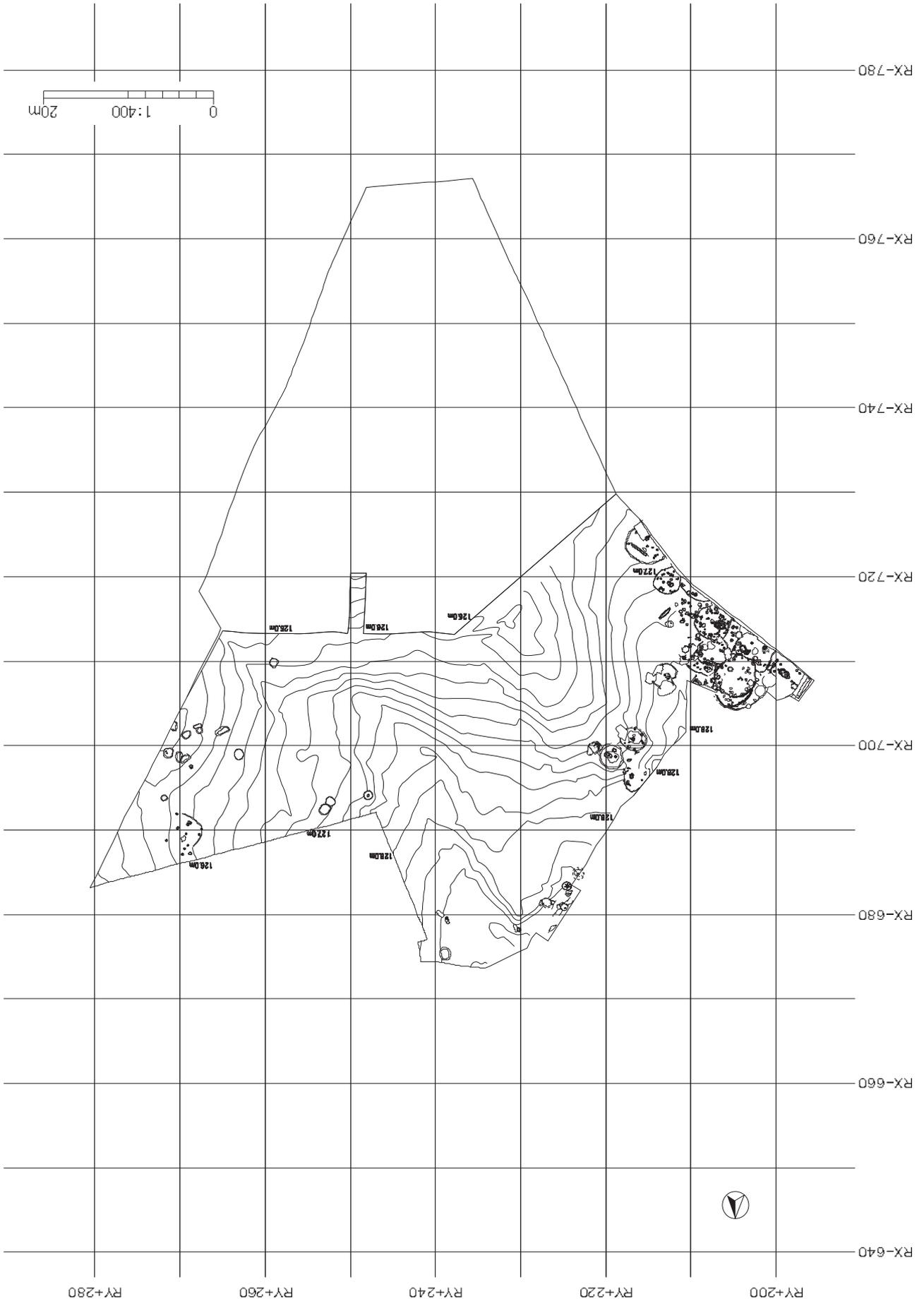
第18図 第8次調査区焼土遺構、遺物包含層



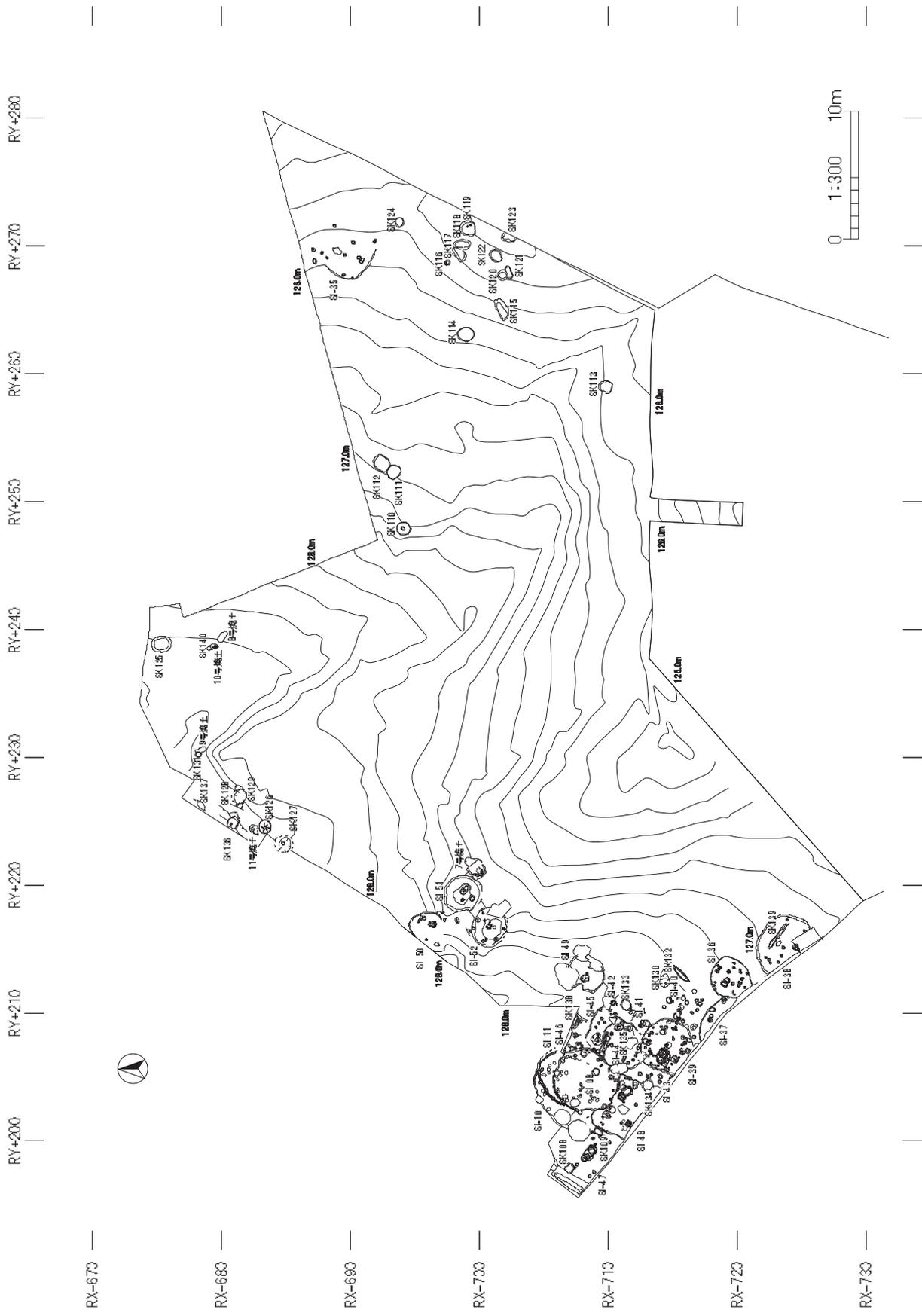
第19図 戦跡遺構地形図



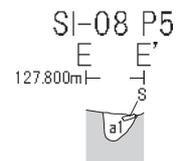
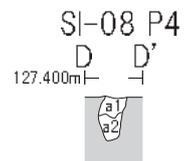
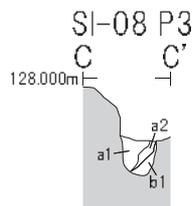
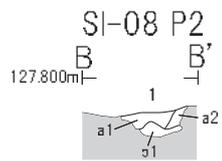
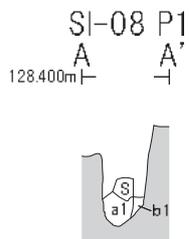
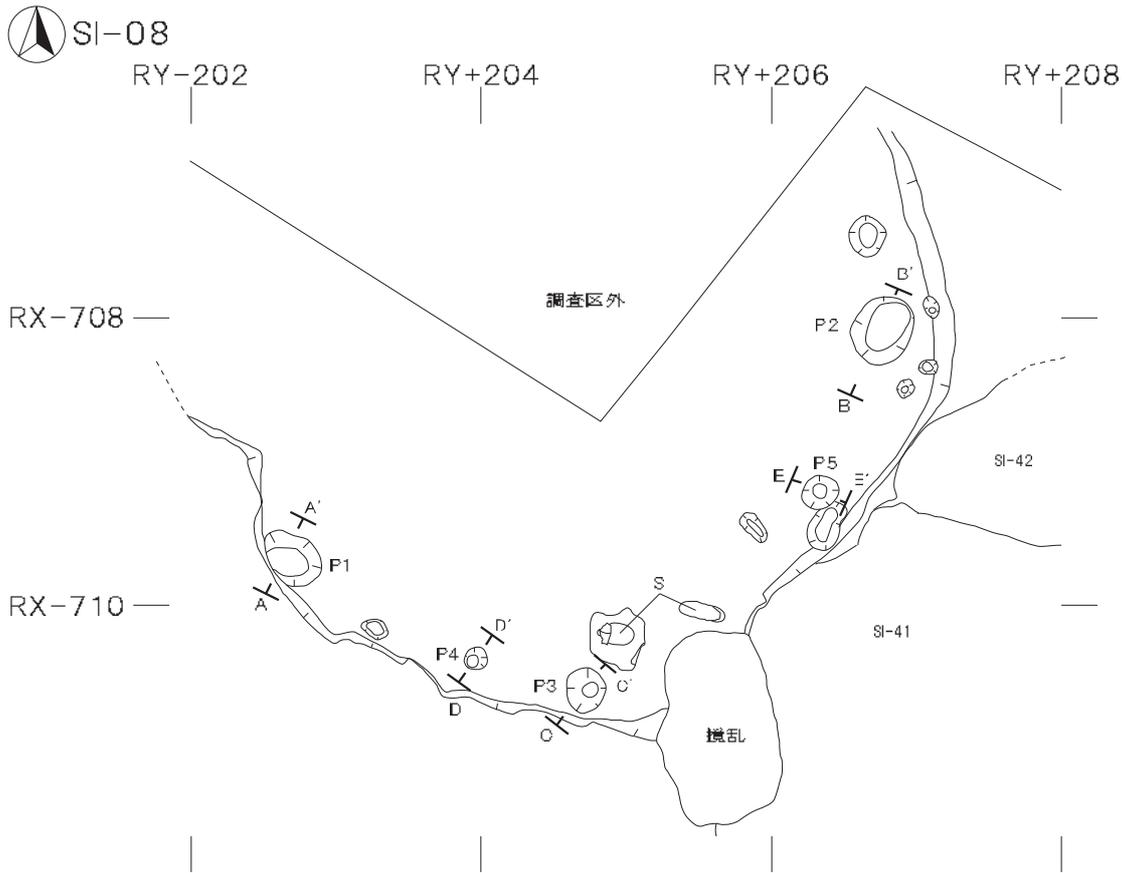
第20図 戦跡遺構全体図



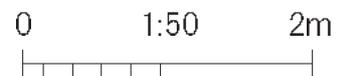
第21图 第9次調査区全体図 (1)



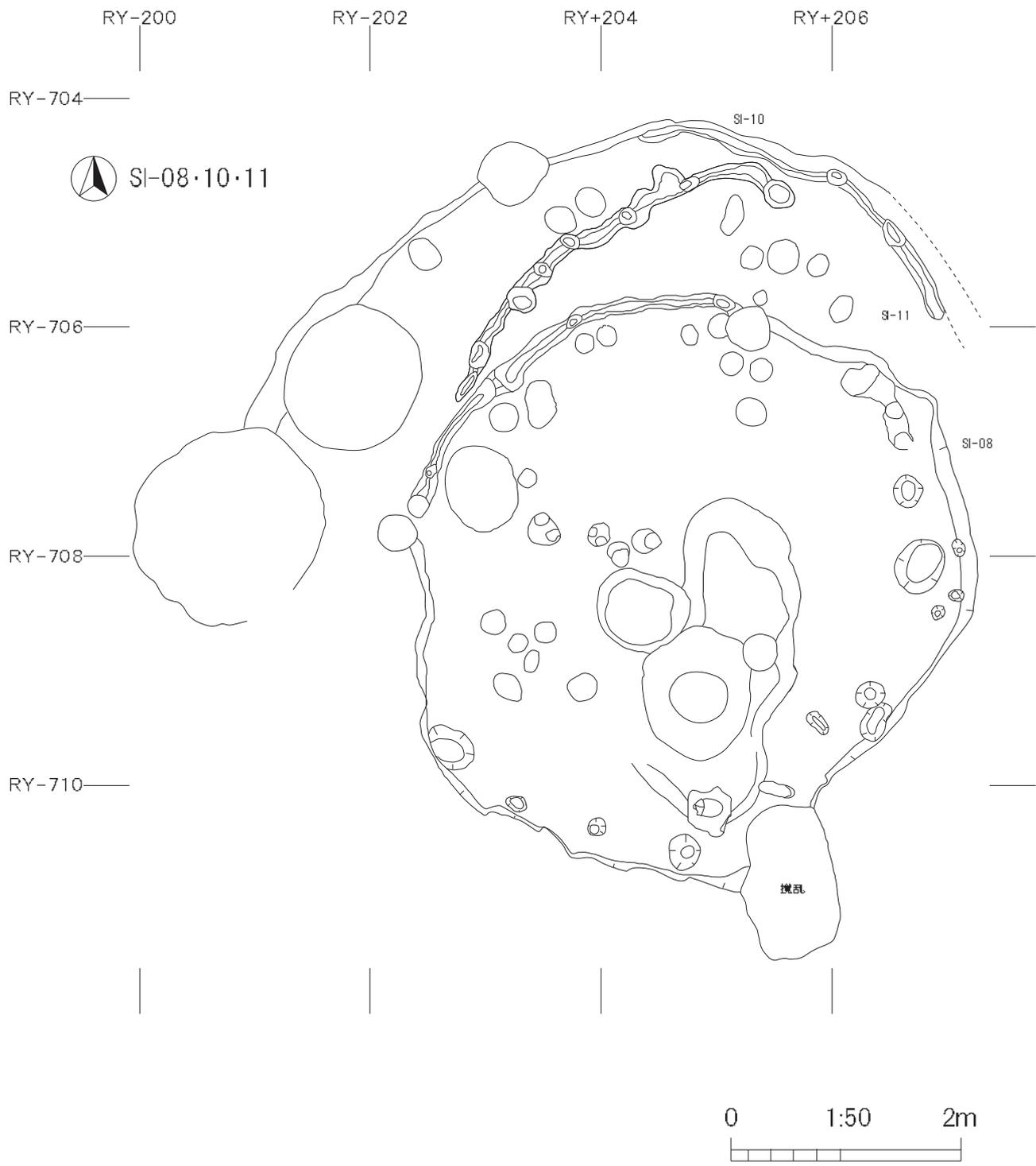
第22図 第9次調査区全体図 (2)



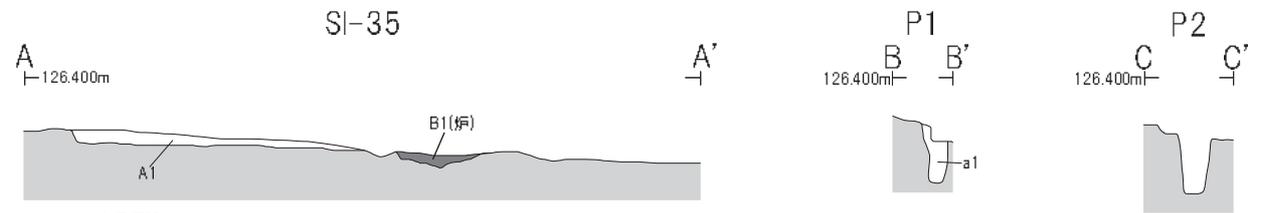
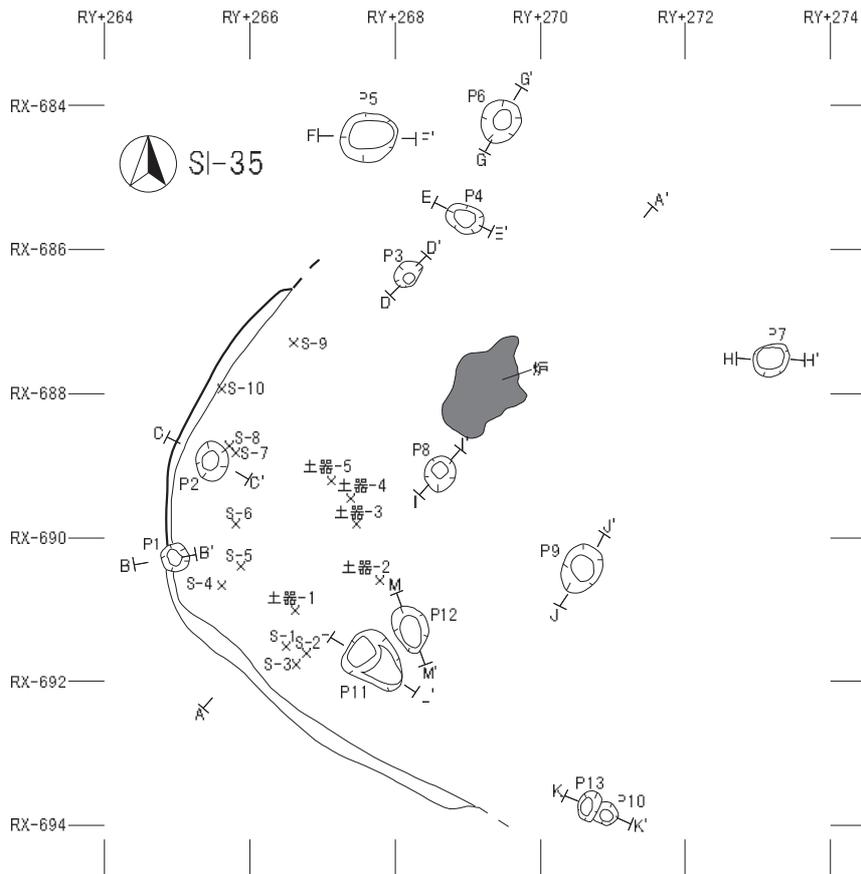
- SI-08 P1 土層観察**
 a1 10YR2/2 黄褐色土 シルト質堆積土 粒状2% 腐植中 鉄屑中 焼土粒1%, カーボン1%
 b1 10YR4/3 濃い黄褐色土 シルト質堆積土 粒状5% 腐植中少な 鉄屑少な
- SI-08 P2 土層観察**
 a1 10YR3/3 暗褐色土 シルト質堆積土 10YR5/6 黄褐色土 シルト質堆積土 粒状7% 腐植中 鉄屑中 カーボン2%
 a2 10YR4/3 褐色土 シルト質堆積土 腐植中少な 鉄屑少な カーボン1%
 b1 10YR4/6 褐色土 シルト質堆積土 10YR4/3 濃い黄褐色土 シルト質堆積土 粒状1% 腐植中 焼土粒1%, カーボン1%
- SI-08 P3 土層観察**
 a1 10YR3/3 暗褐色土 シルト質堆積土 10YR5/6 黄褐色土 シルト質堆積土 粒状7% 腐植中少な 鉄屑少な
 a2 10YR4/3 濃い黄褐色土 シルト質堆積土 10YR4/6 褐色土 シルト質堆積土 塊状5% 腐植中少な 鉄屑中
 b1 10YR4/6 褐色土 シルト質堆積土 腐植中 鉄屑中
- SI-08 P4 土層観察**
 a1 10YR3/3 暗褐色土 シルト質堆積土 10YR5/6 黄褐色土 シルト質堆積土 粒状7% 腐植中 鉄屑少な
 a2 10YR4/3 濃い黄褐色土 シルト質堆積土 腐植中 鉄屑
- SI-08 P5 土層観察**
 a1 10YR4/3 濃い黄褐色土 シルト質堆積土 10YR5/6 黄褐色土 シルト質堆積土 粒状7% 腐植中 鉄屑



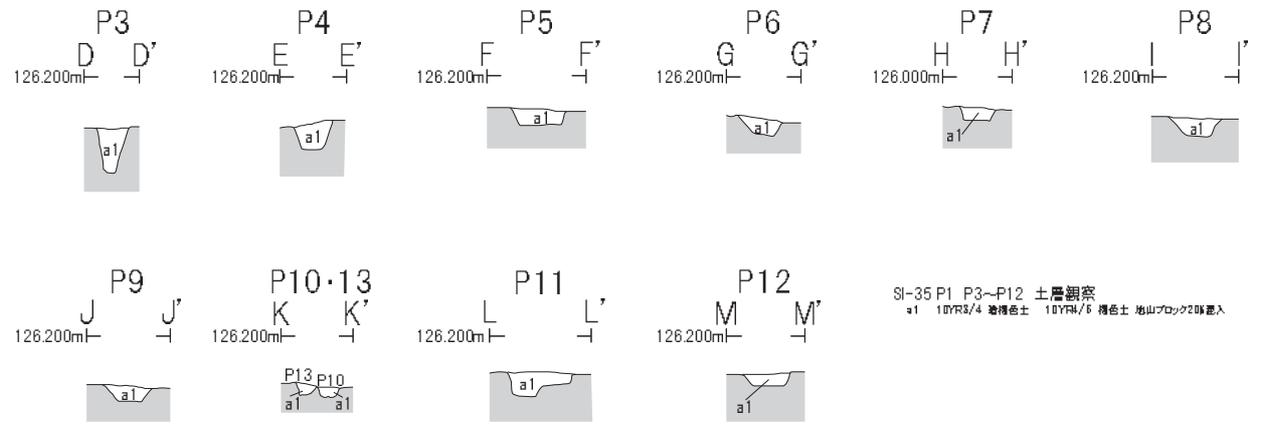
第23図 8号竪穴住居跡



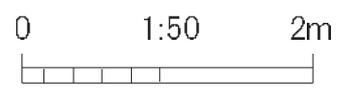
第24图 8号、10号、11号竖穴住居跡平面图



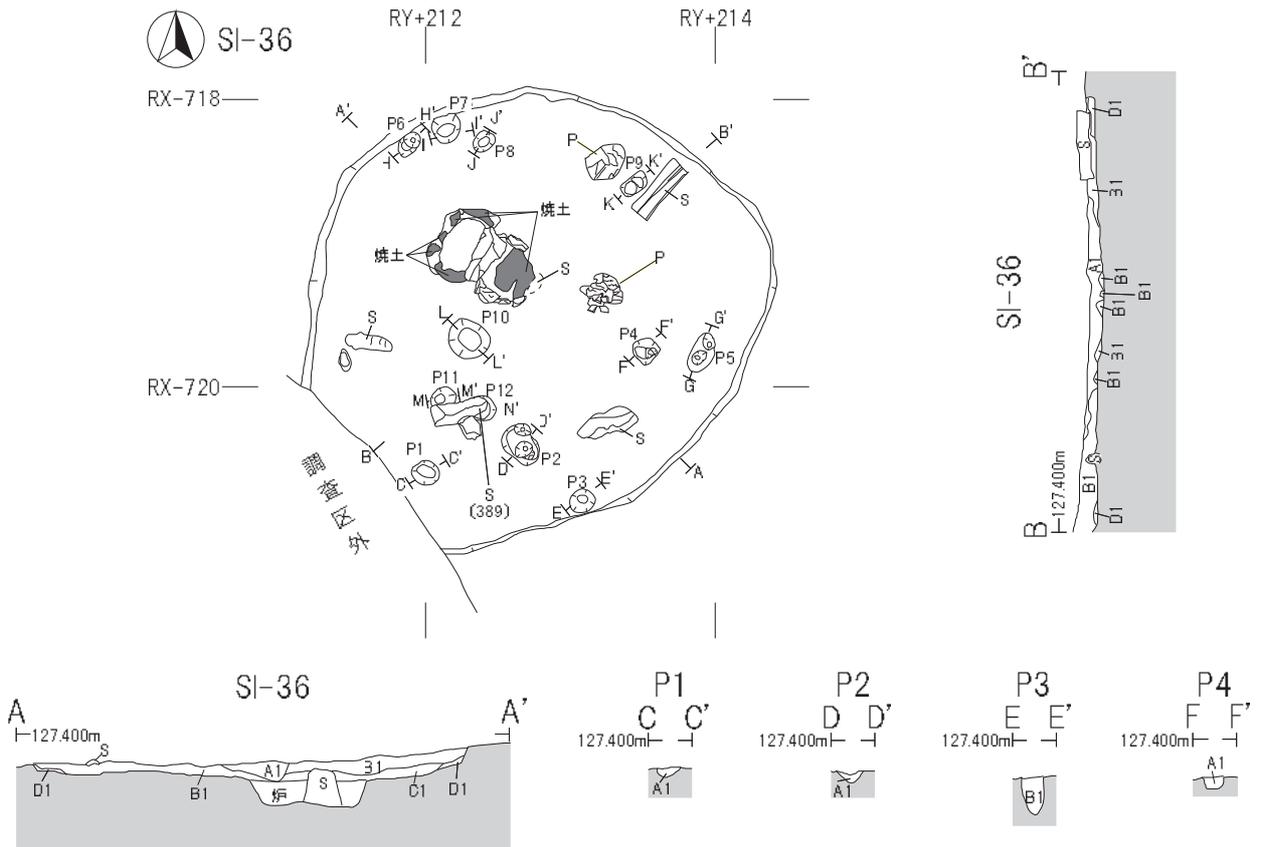
SI-35 土層観察
 A1 10YR3/4 黄褐色土 硬面砂 粘性度 粘分約 65mm 位の灰 粘土を少量含む
 B1 10YR3/4 黄褐色土 硬面砂 粘性度 粘分約 65mm 位の灰 粘土を少量含む



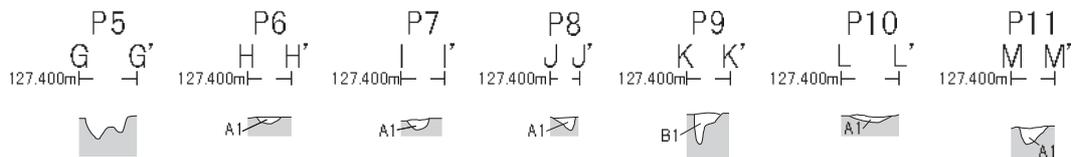
SI-35 P1 P3~P12 土層観察
 a1 10YR3/4 黄褐色土 10YR6/6 褐色土 地山ブロック20%混入



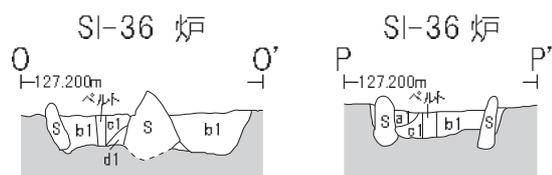
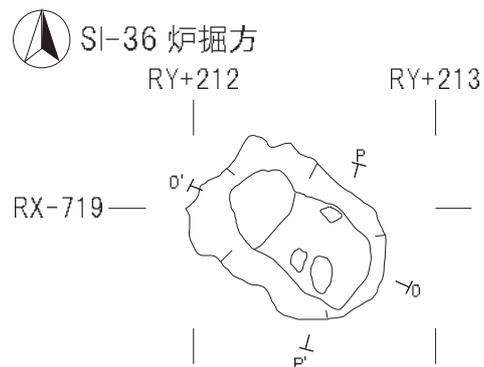
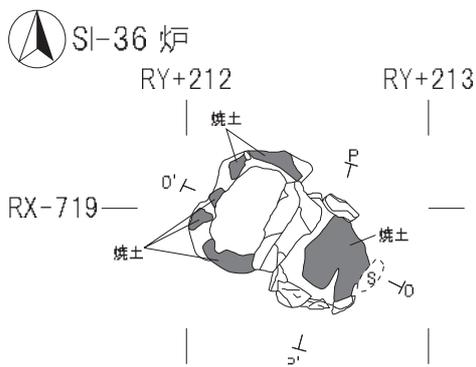
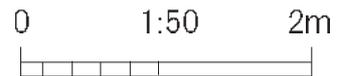
第25図 35号竪穴住居跡



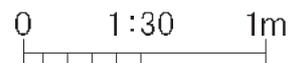
SI-36 土層観察
 A1 1DYR4/4 褐色土 シルト～堆積土 希性腐 鈍角礫 焼土 炭片を多量に含む
 B1 1DYR5/6 黄褐色土 堆積土 希性腐 鈍角礫 焼土片 炭片を少量含む
 C1 1DYR5/6 黄褐色土 粘土～堆積土 希性腐 鈍角礫 炭 焼土を少量含む
 D1 1DYR6/8 明黄褐色土 粘土～シルト 希性腐 鈍角礫 炭 焼土を少量含む



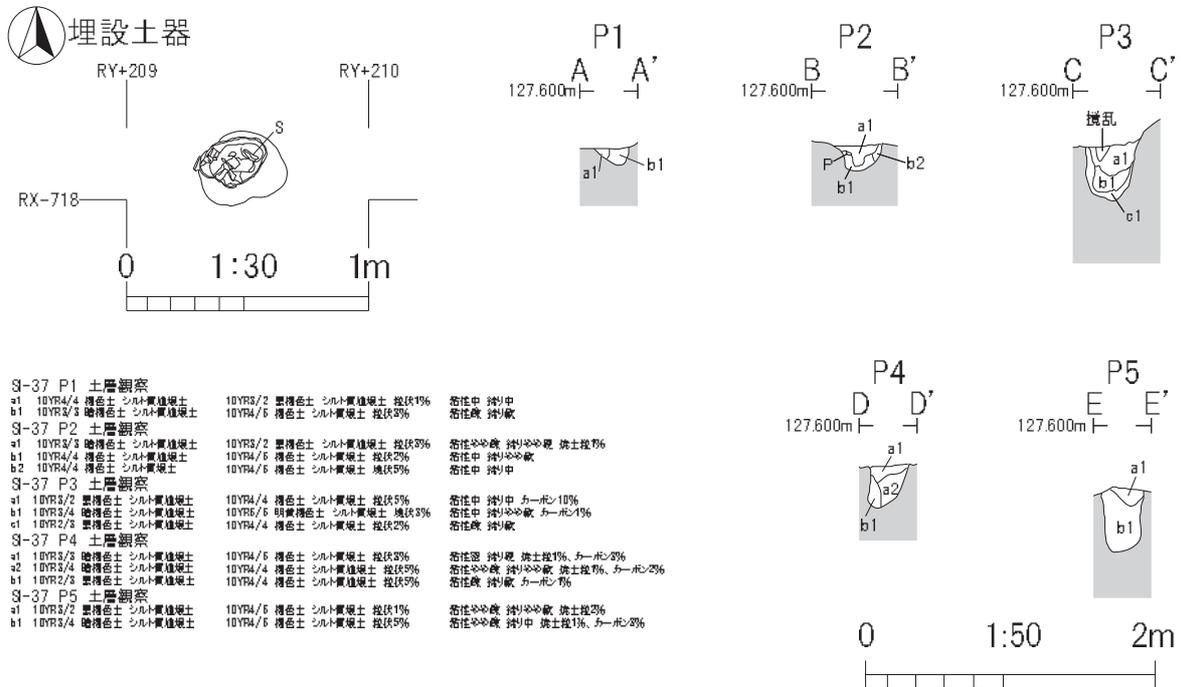
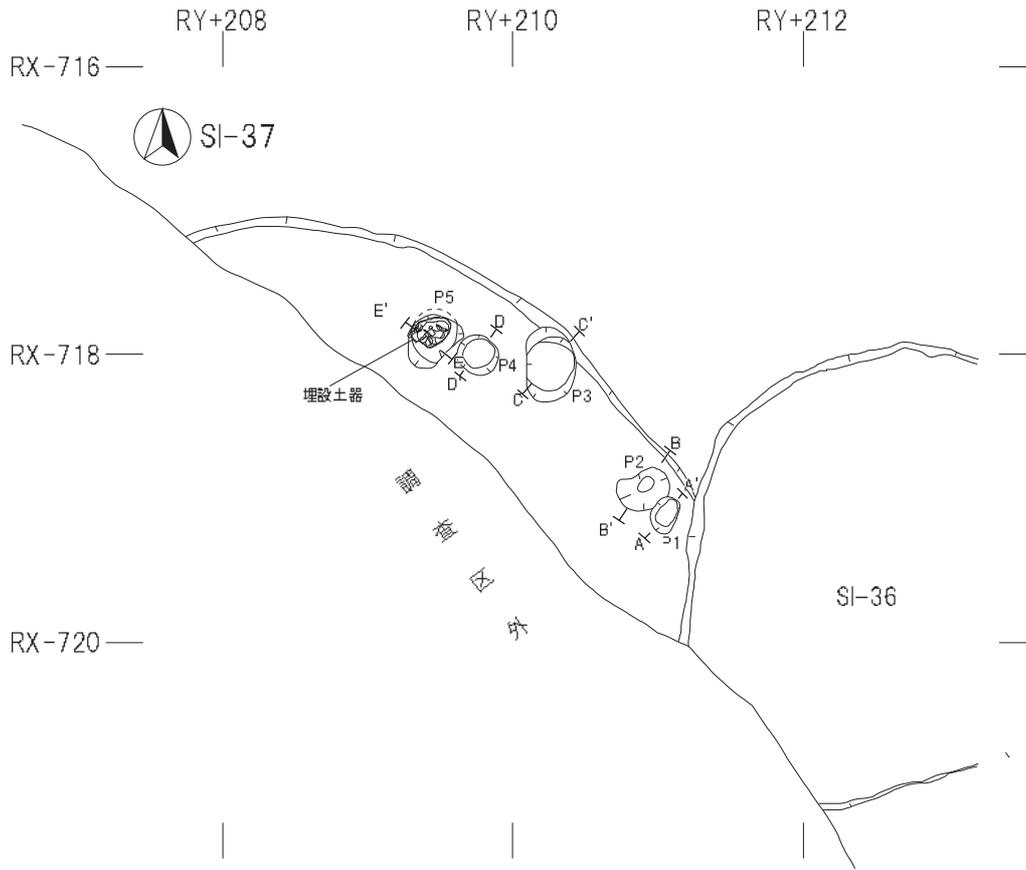
SI-36 P1~P4, P6~P11 土層観察表
 A1 2.5YR5/6 明黄褐色土 粘土～シルト 希性腐 鈍角礫
 B1 7.5YR4/4 褐色土 堆積土 希性腐 鈍角礫 炭の片を少量含む



SI-36 炉 土層観察
 a1 掘残土
 b1 7.5YR4/4 褐色土 希性腐 鈍角礫 φ0.2~0.5mの焼土塊を多量に含む
 c1 2.5YR5/6 明黄褐色土 希性腐 鈍角礫
 d1 1DYR5/6 黄褐色土 希性腐 鈍角礫 φ0.2~0.5mの焼土塊を多量に含む

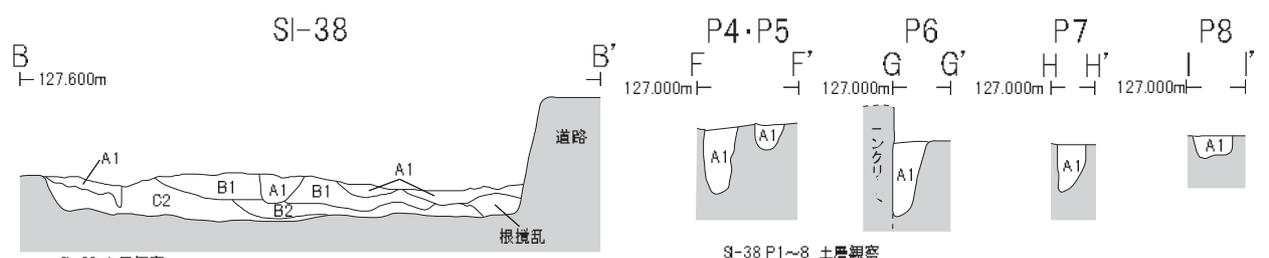
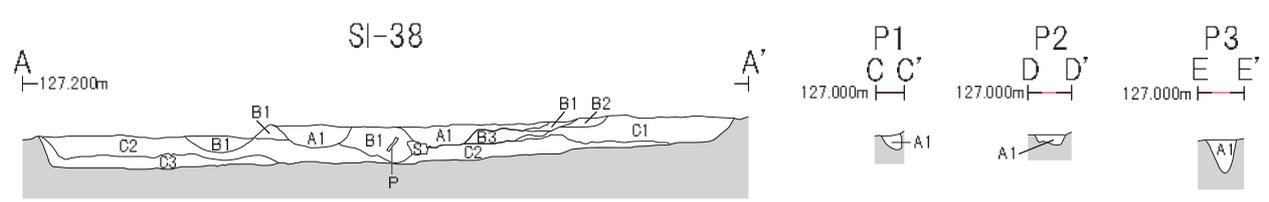
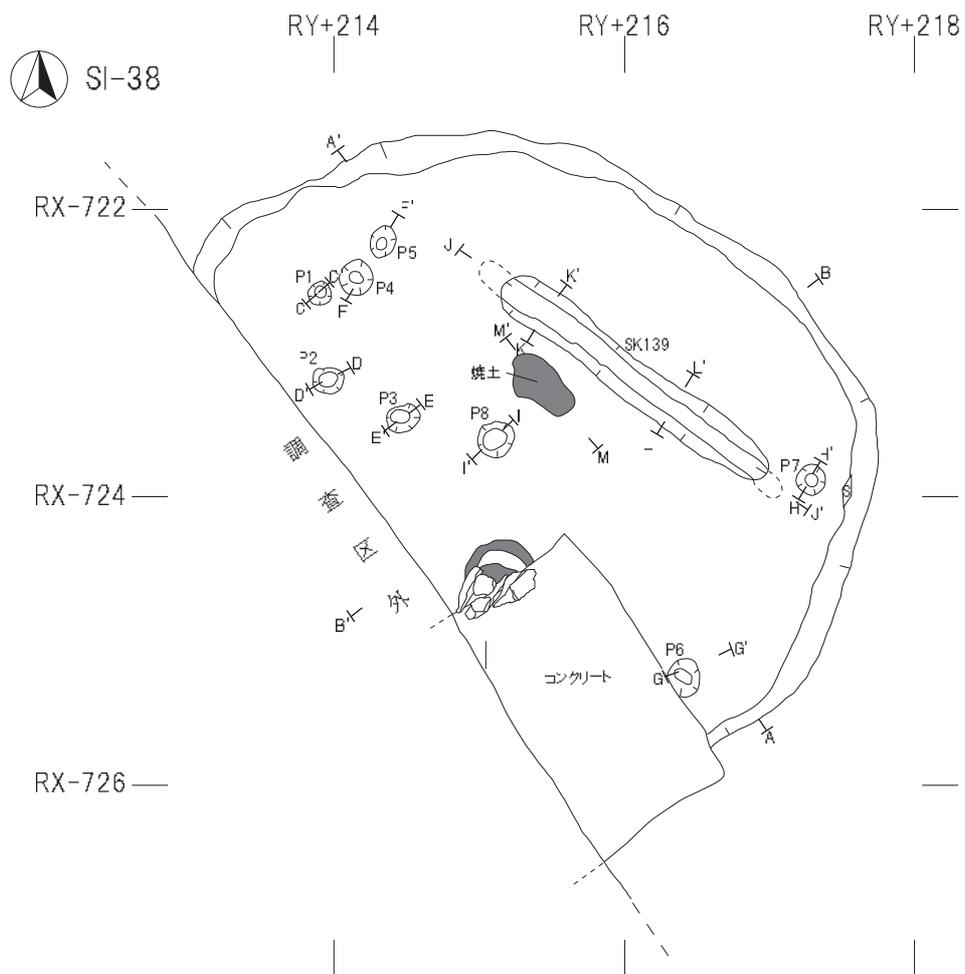


第26図 36号竪穴住居跡



- | | | |
|-------------------------|----------------------------|------------------------|
| SI-37 P1 土層観察 | | |
| a1 10YR4/4 褐色土 シルト質堆積土 | 10YR3/2 栗褐色土 シルト質堆積土 炭灰1% | 帯柱中 斜り中 |
| b1 10YR3/3 暗褐色土 シルト質堆積土 | 10YR4/6 褐色土 シルト質堆積土 炭灰3% | 帯柱底 斜り底 |
| SI-37 P2 土層観察 | | |
| a1 10YR3/3 暗褐色土 シルト質堆積土 | 10YR3/2 栗褐色土 シルト質堆積土 炭灰3% | 帯柱中 斜り中 斜り中 炭土炭灰 |
| b1 10YR4/4 褐色土 シルト質堆積土 | 10YR4/6 褐色土 シルト質堆積土 炭灰2% | 帯柱中 斜り中 炭灰 |
| b2 10YR4/4 褐色土 シルト質堆積土 | 10YR4/6 褐色土 シルト質堆積土 炭灰5% | 帯柱中 斜り中 |
| SI-37 P3 土層観察 | | |
| a1 10YR3/2 栗褐色土 シルト質堆積土 | 10YR4/4 褐色土 シルト質堆積土 炭灰5% | 帯柱中 斜り中 炭土炭灰 炭土炭灰 |
| b1 10YR3/4 暗褐色土 シルト質堆積土 | 10YR6/6 明黄褐色土 シルト質堆積土 炭灰3% | 帯柱中 斜り中 炭土炭灰 炭土炭灰 |
| c1 10YR2/3 栗褐色土 シルト質堆積土 | 10YR4/4 褐色土 シルト質堆積土 炭灰2% | 帯柱底 斜り底 |
| SI-37 P4 土層観察 | | |
| a1 10YR3/3 暗褐色土 シルト質堆積土 | 10YR4/6 褐色土 シルト質堆積土 炭灰3% | 帯柱中 斜り中 炭土炭灰 炭土炭灰 |
| a2 10YR3/4 暗褐色土 シルト質堆積土 | 10YR4/4 褐色土 シルト質堆積土 炭灰5% | 帯柱中 斜り中 炭土炭灰 炭土炭灰 炭土炭灰 |
| b1 10YR2/3 栗褐色土 シルト質堆積土 | 10YR4/4 褐色土 シルト質堆積土 炭灰5% | 帯柱底 斜り底 炭土炭灰 炭土炭灰 |
| SI-37 P5 土層観察 | | |
| a1 10YR3/2 栗褐色土 シルト質堆積土 | 10YR4/6 褐色土 シルト質堆積土 炭灰1% | 帯柱中 斜り中 炭土炭灰 炭土炭灰 |
| b1 10YR3/4 暗褐色土 シルト質堆積土 | 10YR4/6 褐色土 シルト質堆積土 炭灰5% | 帯柱中 斜り中 炭土炭灰 炭土炭灰 |

第27図 37号竪穴住居跡



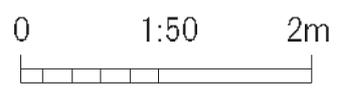
- SI-38 土層観察**
- | | | |
|----|------------------------|---------------------------|
| A1 | 10YR5/4 暗褐色土 塊状土 | 単色層として遺物を取り上げ |
| B1 | 10YR4/3 に近い黄褐色土 粘土～シルト | 粘性強 粘り強 |
| B2 | 10YR5/4 に近い黄褐色土 極細砂 | 粘性強 粘り強 |
| B3 | 10YR4/3 に近い黄褐色土 極細砂 | 粘性強 粘り強 |
| C1 | 10YR4/4 褐色土 シルト～極細砂 | 粘性強 粘り強 φ1～5mmの焼土・炭片を少量含む |
| C2 | 10YR4/6 褐色土 粘土 | 粘性強 粘り強 φ1～5mmの焼土・炭片を少量含む |
| C3 | 10YR4/6 褐色土 粘土 | 粘性強 粘り強 |

- SI-38 P1～8 土層観察**
- A 10YR4/5 褐色土シルト～極細砂 粘性強 粘り強 φ1～5mmの炭・焼土片を少量含む

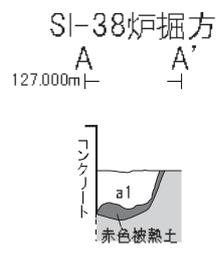
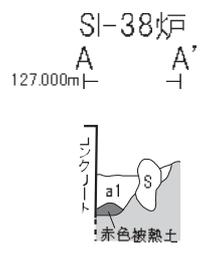
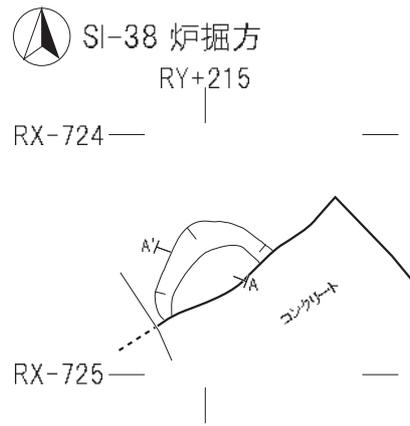
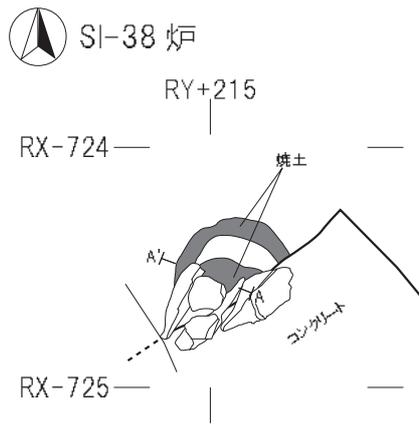


- SK139 土層観察**
- | | | |
|----|----------------------|---------|
| a1 | 10YR5/6 暗褐色土 シルト～極細砂 | 粘性強 粘り強 |
| b1 | 10YR4/6 褐色土 シルト～粘土 | 粘性強 粘り強 |
| c1 | 10YR5/6 黄褐色土 粘土～シルト | 粘性強 粘り強 |
| c2 | 10YR5/6 黄褐色土 粘土 | 粘性強 粘り強 |

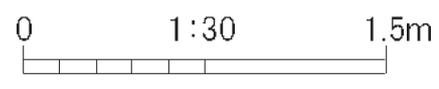
- 焼土 土層観察**
- 1 粘性強 粘り強 φ1～5mm程度の炭・焼土を少量含む



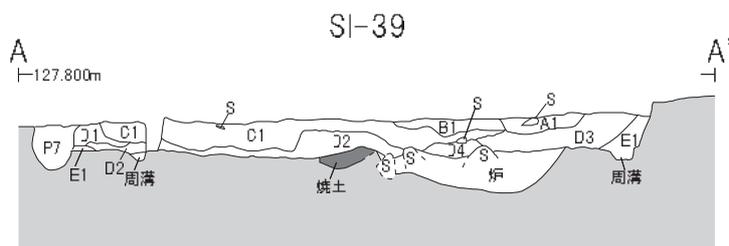
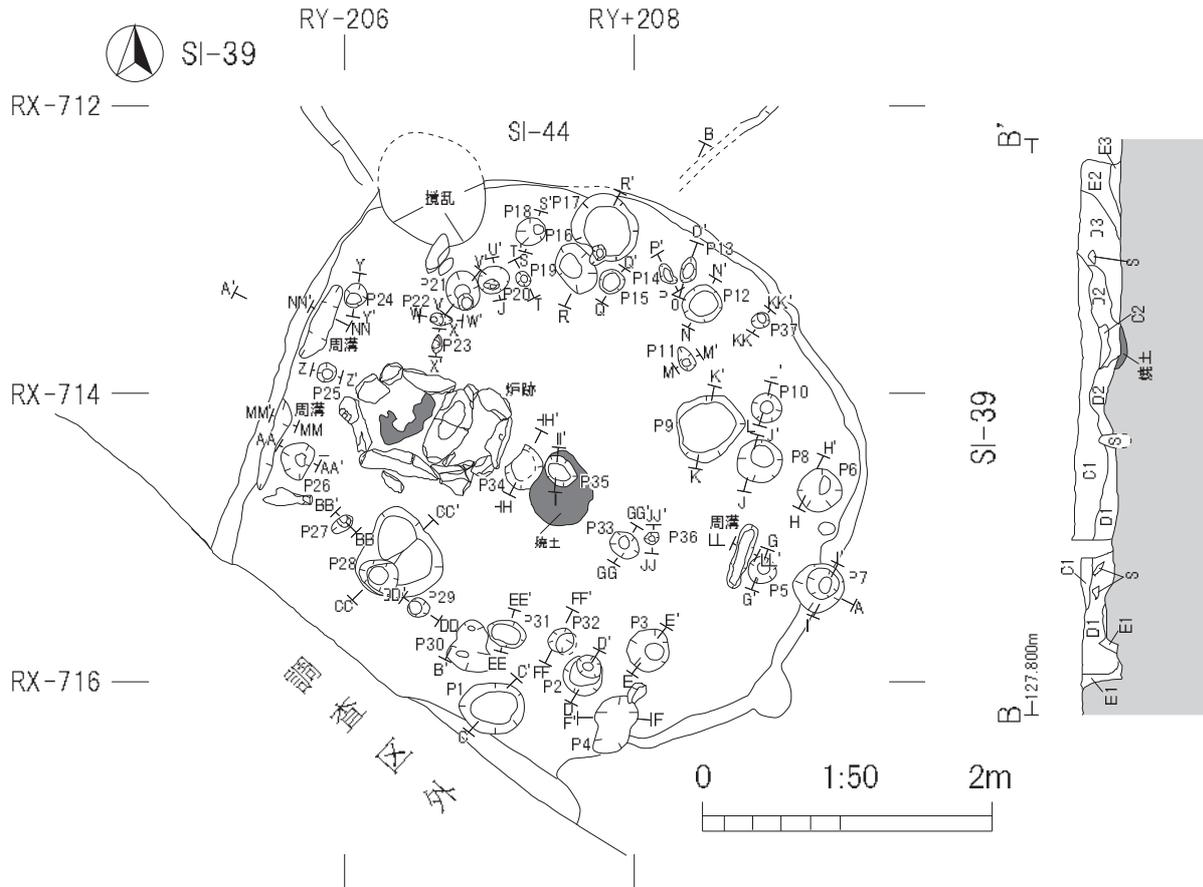
第28図 38号竪穴住居跡・139号土坑



SI-38 炉 土層観察
 a1 10YR5/4 暗褐色土シルト-粘土 布粒径 約0.1~1.0mmの炭 焼土が多少含む

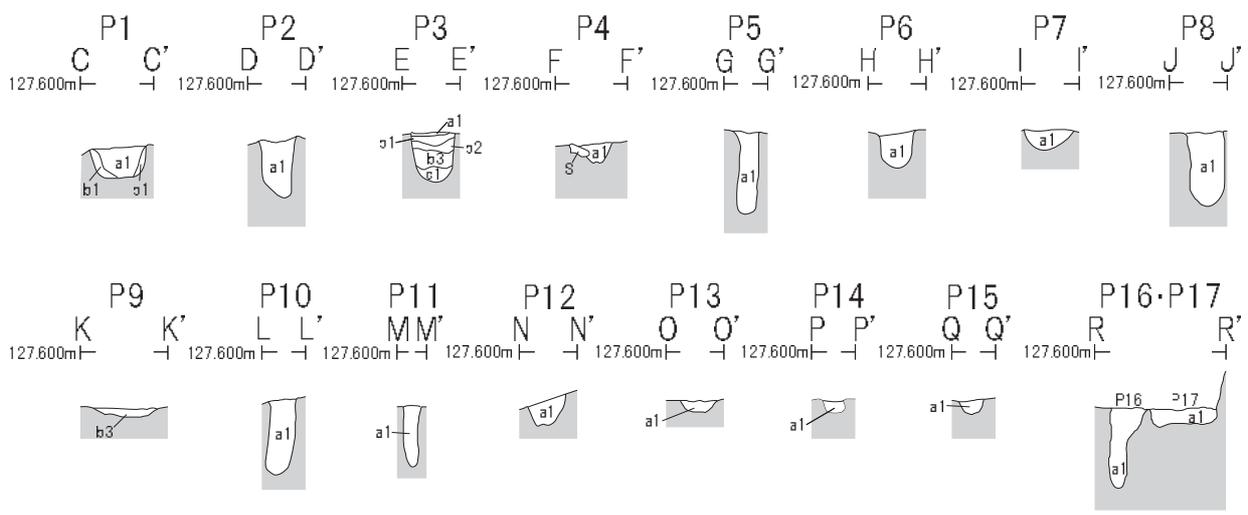


第29図 38号竪穴住居跡炉跡

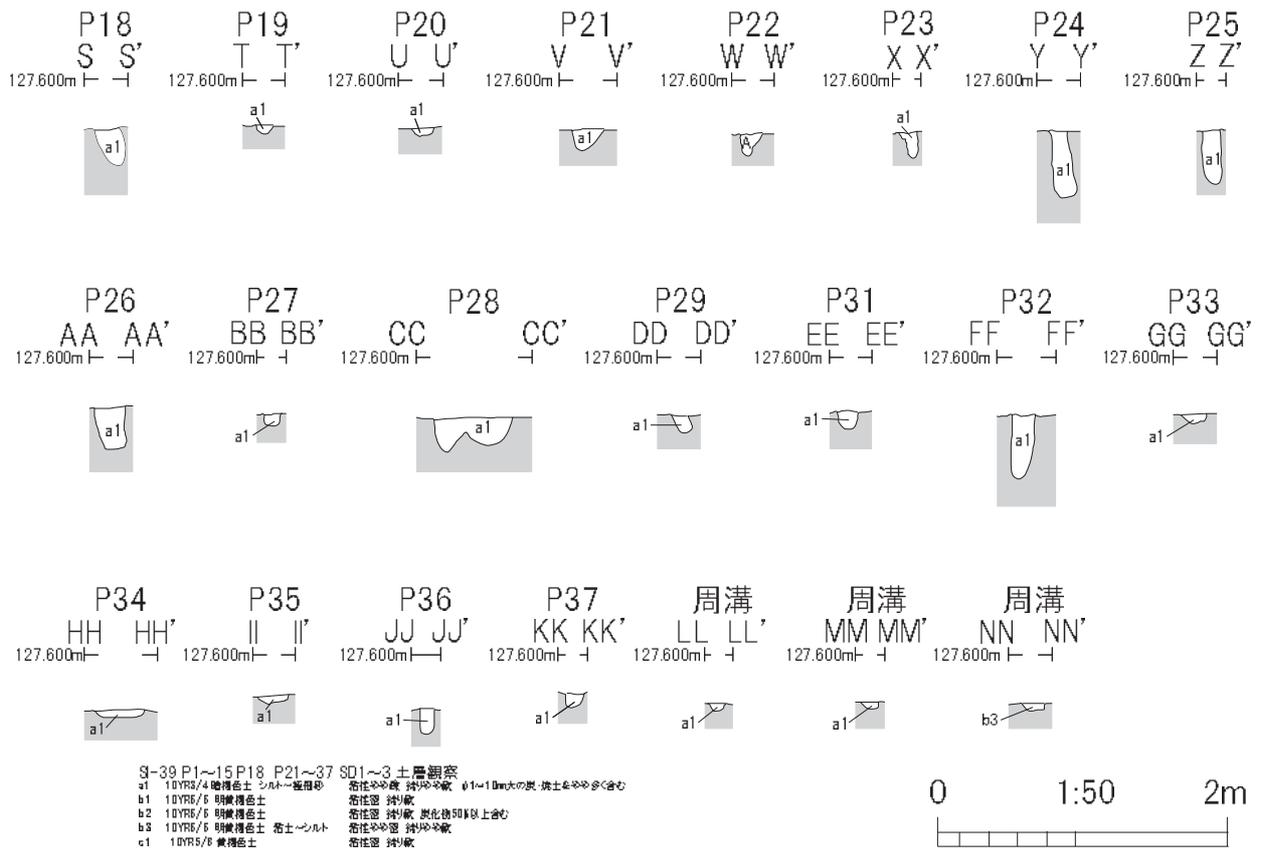


SI-39 土層観察

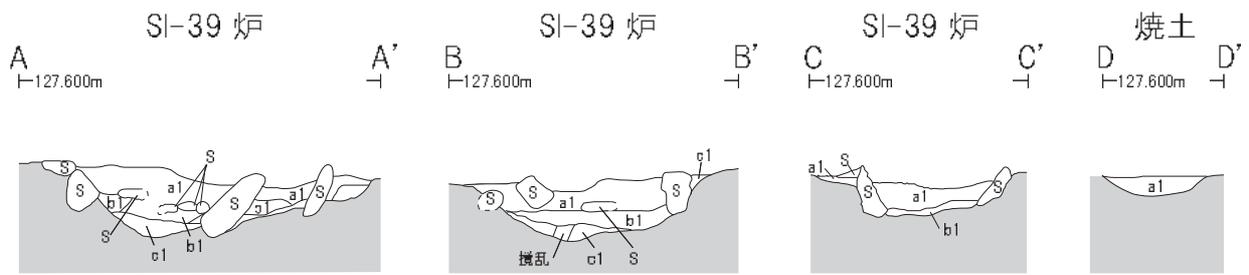
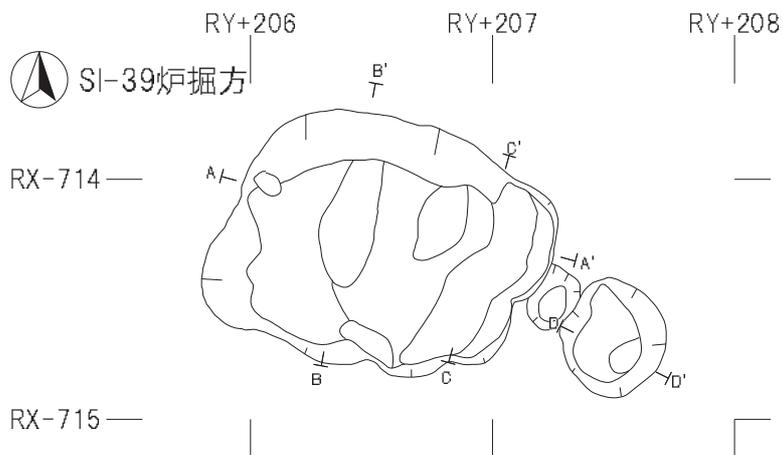
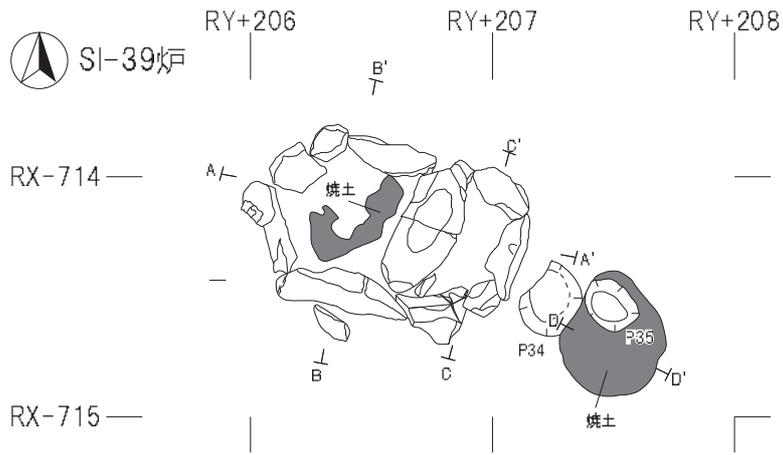
A1	10YR4/5 に近い黄褐色土 シルト～凝り砂	粘性中～強 締り中～硬	φ1m大の炭・焼土を少量含む
B1	10YR5/5 黄褐色土 凝り砂	粘性中～強 締り中～硬	φ1m大の炭・焼土を少量含む
C1	10YR4/4 褐色土 シルト～凝り砂	粘性中～強 締り中～硬	φ1～5cm大の炭・焼土を少量含む
C2	10YR4/4 褐色土 シルト～粘土	粘性中～強 締り中～硬	
D1	10YR5/4 暗褐色土 粘土～凝り砂	粘性中～強 締り中～硬	φ5～10cm大の炭を少量含む
D2	10YR5/3 暗褐色土 シルト	粘性中～強 締り中～硬	φ1m大の炭・焼土を少量含む
D3	10YR4/4 褐色土 シルト	粘性中～強 締り中～硬	φ1m大の炭・焼土を少量含む
D4	10YR5/4 暗褐色土 凝り砂	粘性中～強 締り中～硬	φ1～5cm大の炭・焼土を少量含む
E1	10YR5/5 黄褐色土 粘土	粘性中～強 締り中～硬	
E2	10YR2/5 豊褐色土 粘土～シルト	粘性中～強 締り中～硬	φ1～10cm大の炭・焼土を少量含む
E3	10YR3/4 黄褐色土 シルト	粘性中～強 締り中～硬	炭・焼土塊60%以上含む



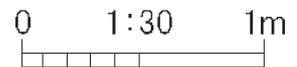
第30図 39号竪穴住居跡



第31図 39号竪穴住居跡ピット



SI-39焼土・炉 土層観察
 a1 1DYR4/4 褐色土 シルト-凝り砂 粘性や砂 鈍り砂 0.1~1.0m程度の炭・焼土60%以上含む
 b1 1DYR2/4 暗褐色土 粘土-シルト 粘性弱 鈍り砂 0.1~1.0m程度の炭・焼土65%以上含む
 c1 1DYR5/5 黄褐色土 粘土-シルト 粘性や砂 鈍り砂 0.1~1.0m程度の炭土60%以上含む

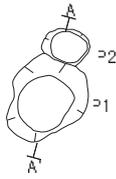


第32図 39号竪穴住居跡炉跡

RY+208

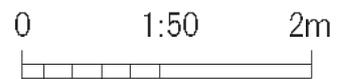
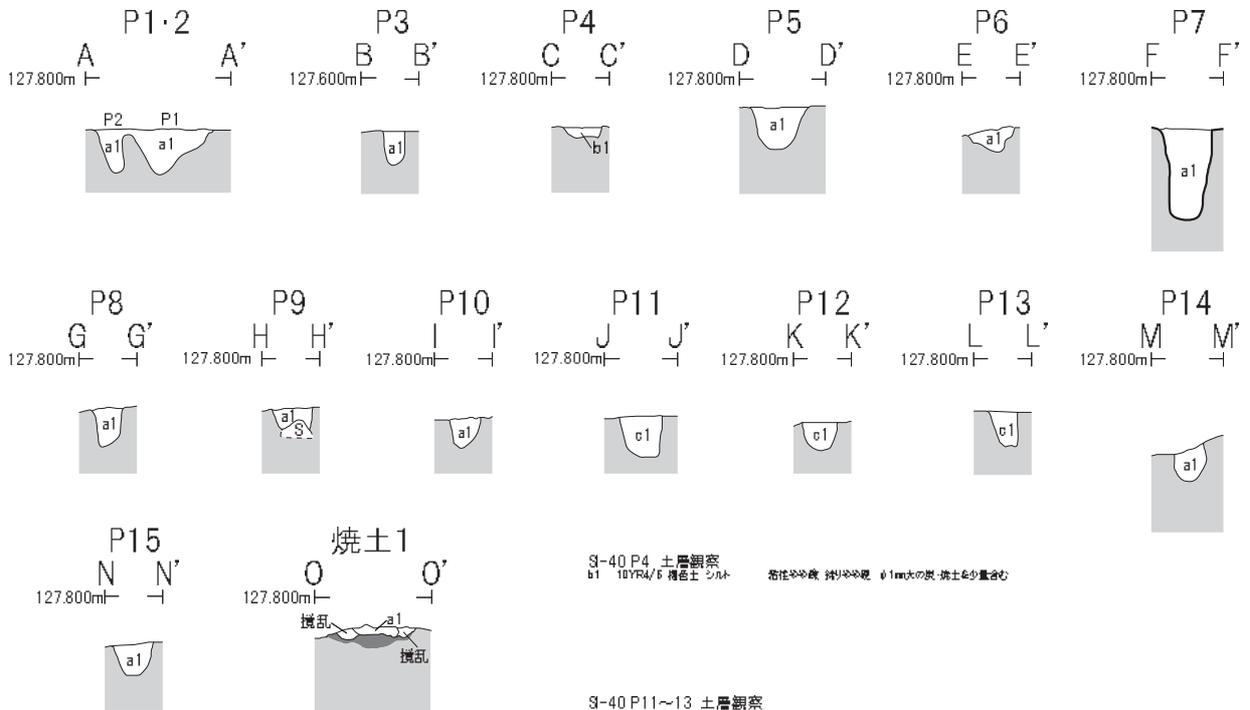
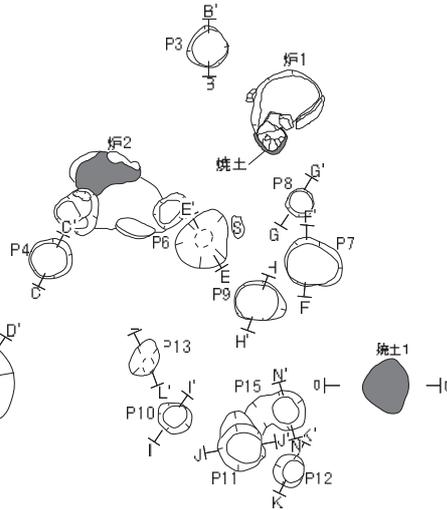
RY+210

RY+212

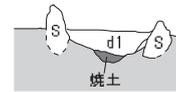
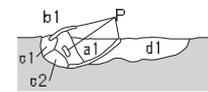
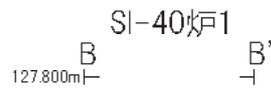
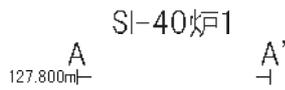
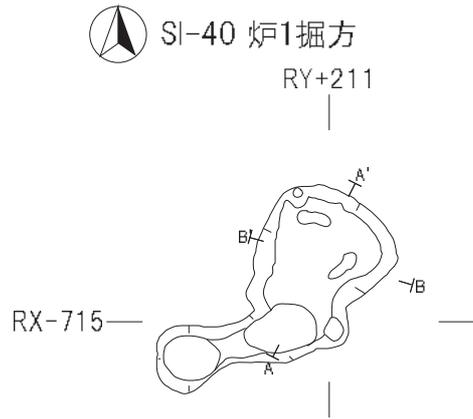
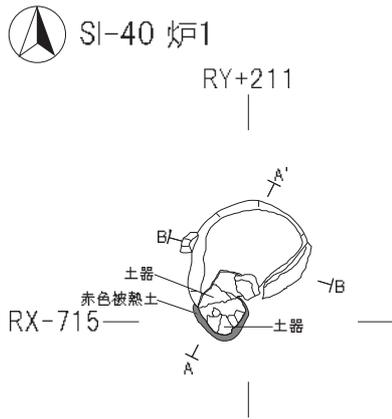


RX-714

RX-716



第33図 40号竪穴住居跡

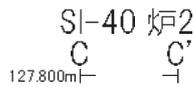
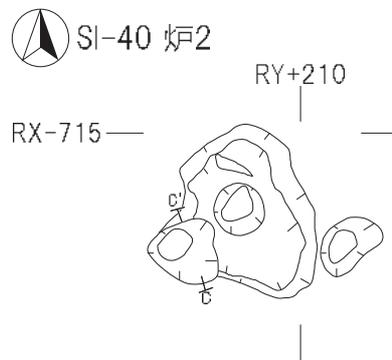
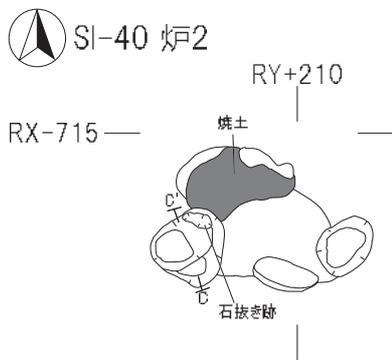


SI-40 炉1 土層観察

- d1 10YR5/4 暗褐色土 シルト～極細砂
- a1 10YR5/4 暗褐色土 極細砂
- e2 10YR4/3 に近い暗褐色土 シルト質凝結土
- c1 10YR5/2 黒褐色土 シルト質凝結土
- b1 7.5YR5/4 暗褐色土 シルト質凝結土

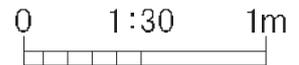
- 10YR3/2 黒褐色土
- 10YR4/4 褐色土 シルト質凝結土
- 10YR4/4 褐色土 シルト質凝結土

- φ1～5mmの炭・焼土を多く含む
- 粘性度 強粘性
- 粘性度 強粘性 φ2mm×5mm篩入
- 粘性度 強粘性 φ2mm×2mm篩入
- 粘性度 強粘性 φ2mm×1mm篩入



SI-40 炉2 土層観察

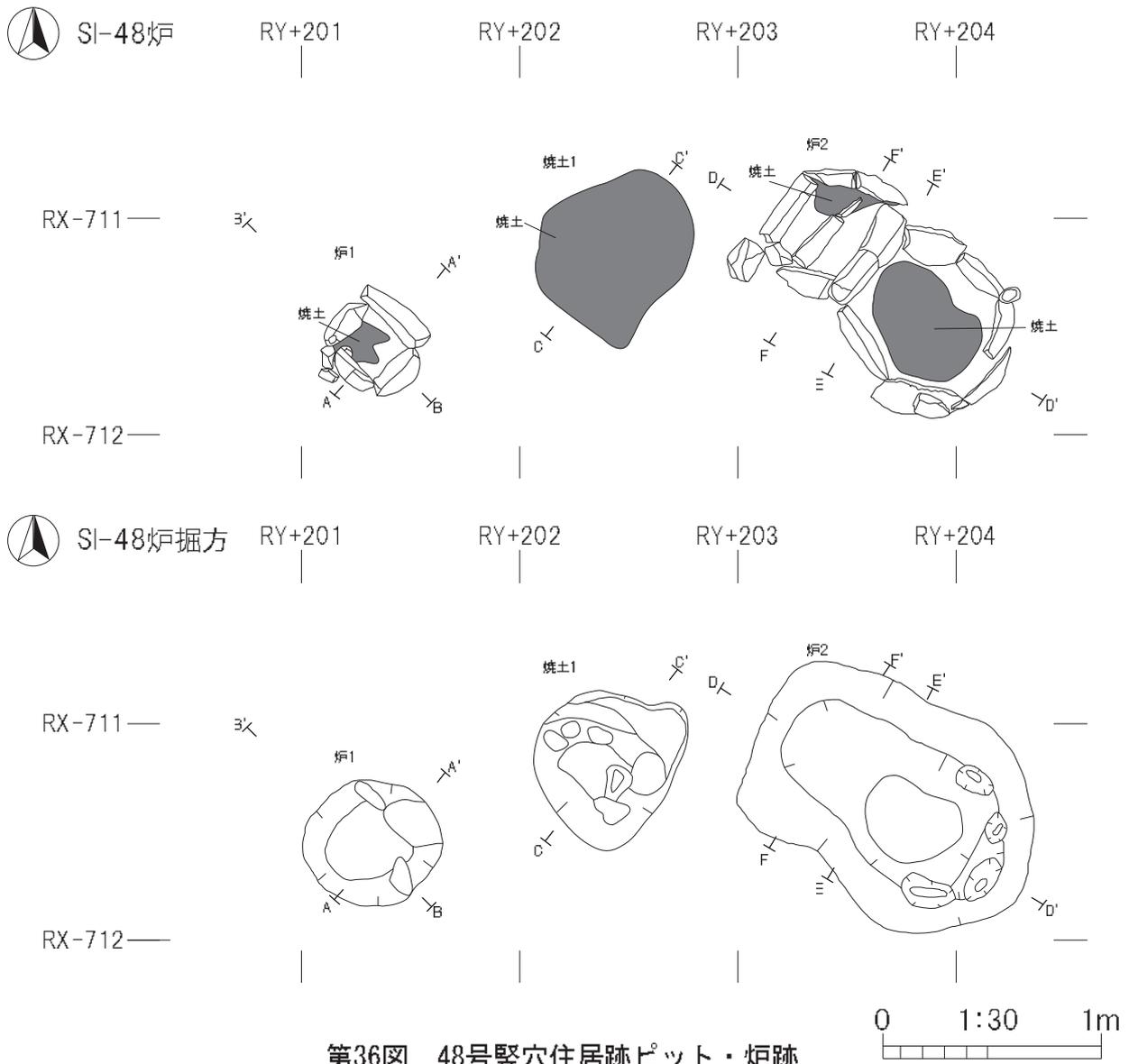
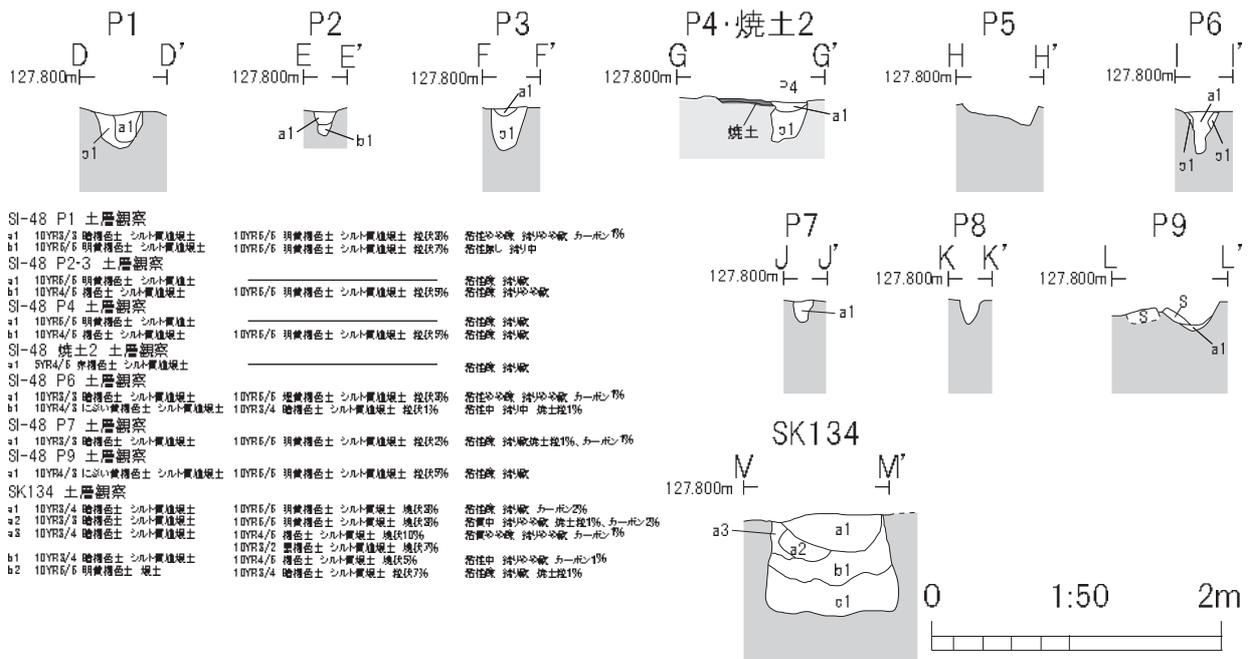
- a1 10YR5/4 暗褐色土 シルト～極細砂
- φ1～5mmの炭・焼土を多く含む



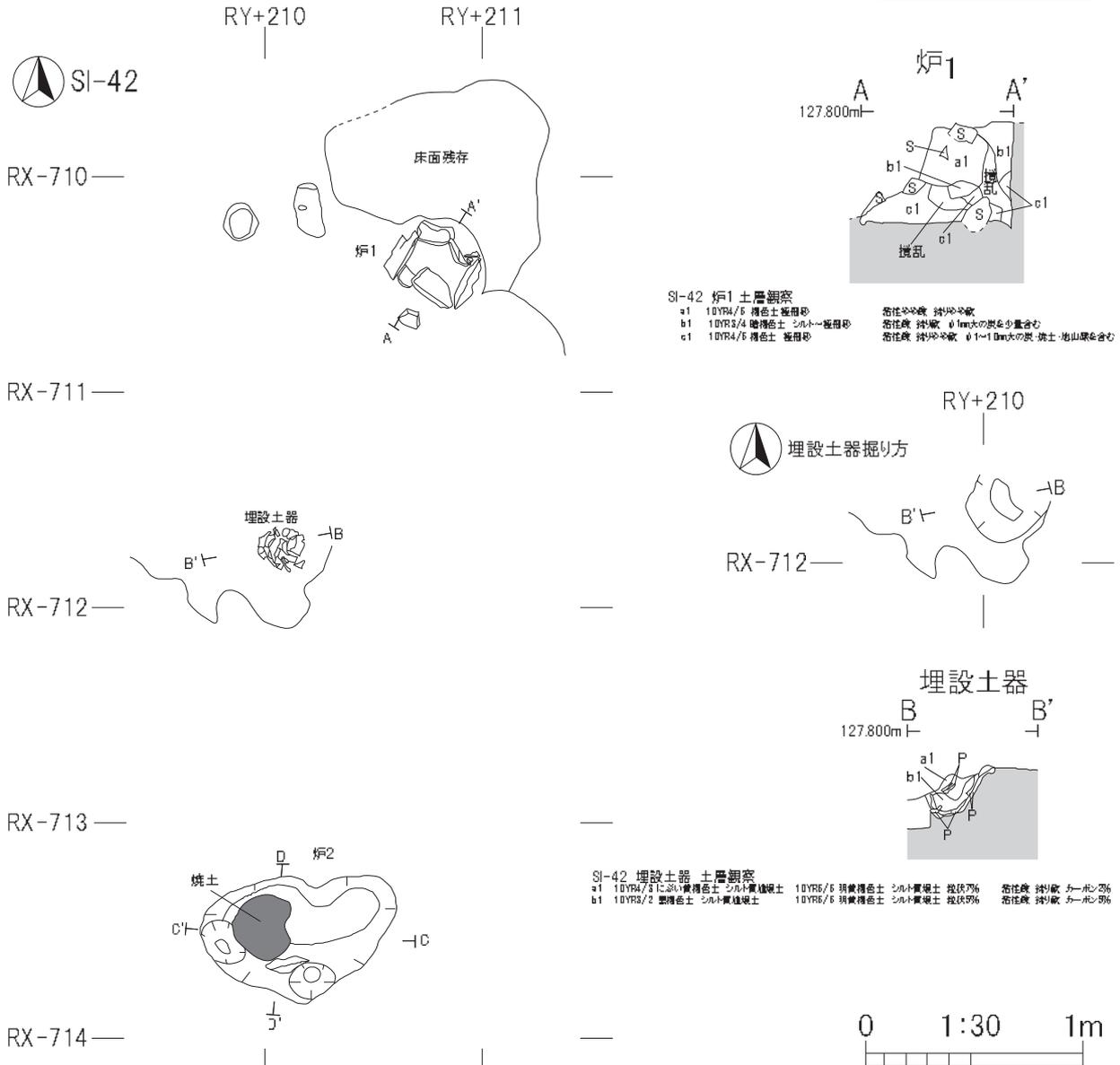
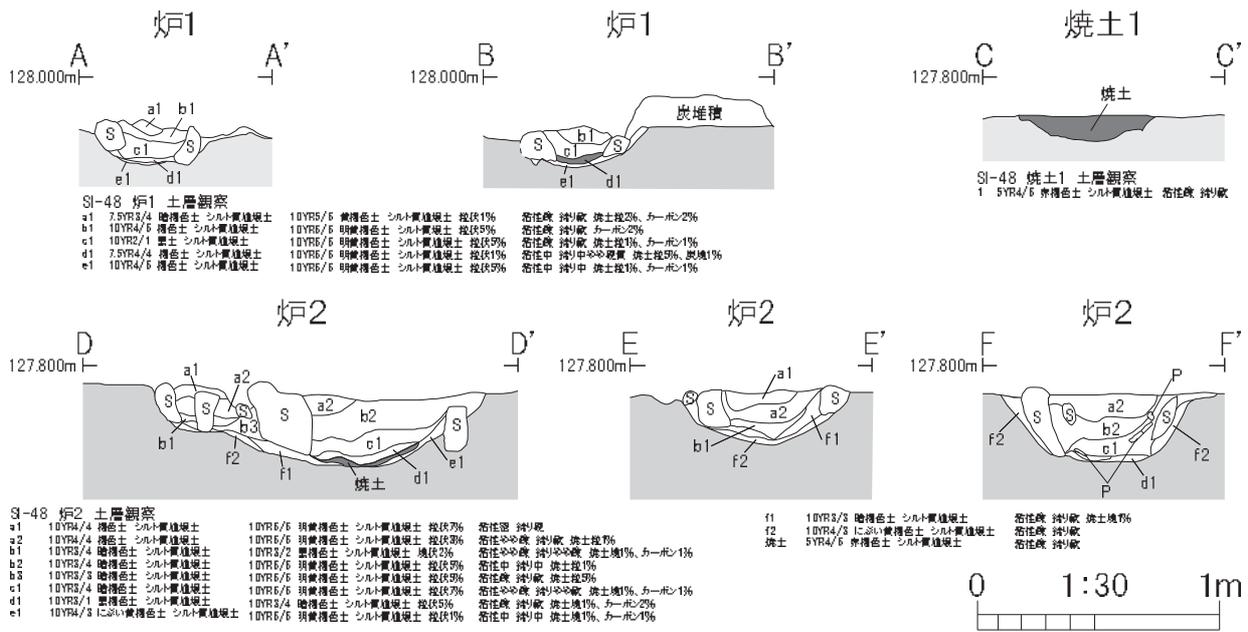
第34図 40号竪穴住居跡炉跡



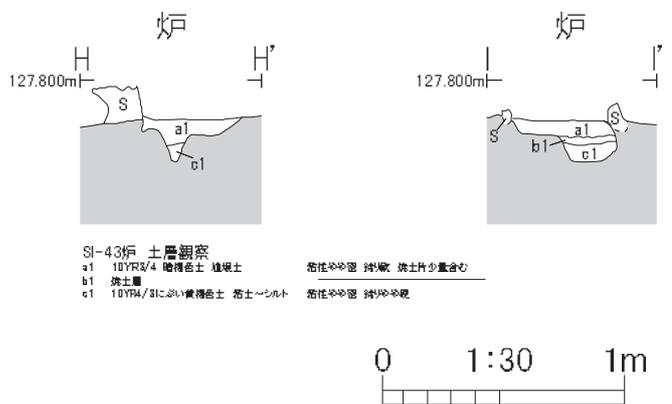
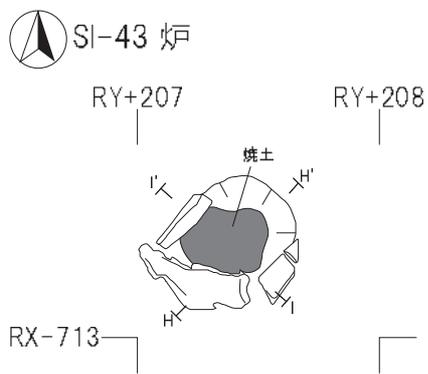
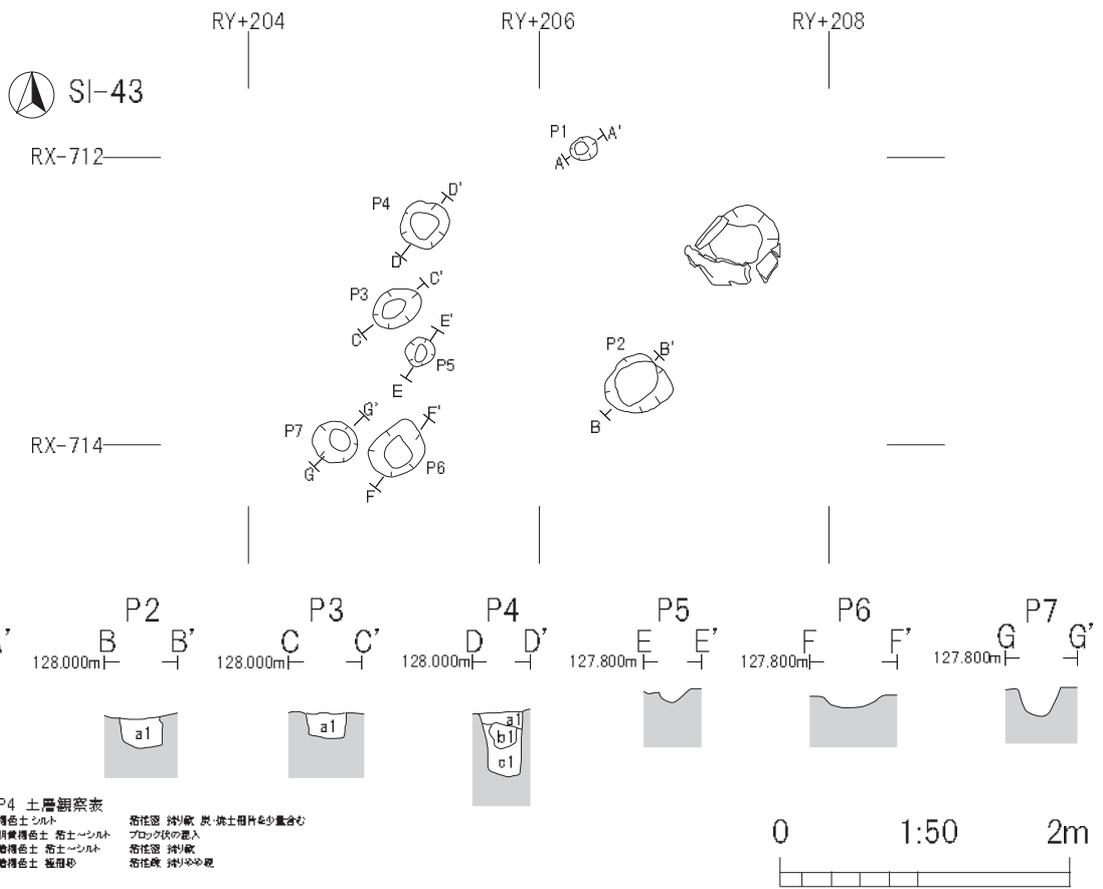
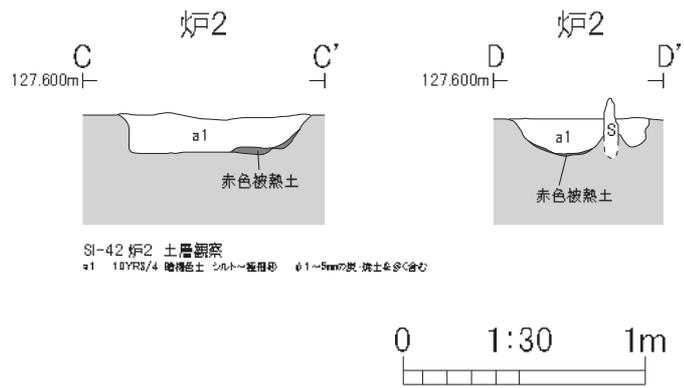
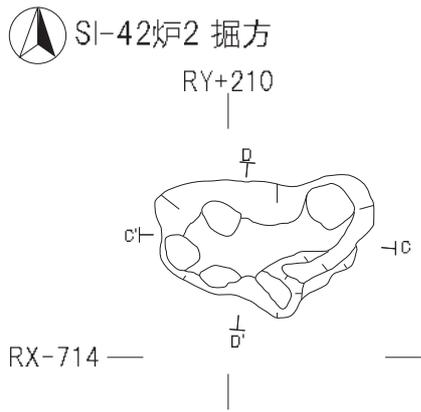
第35圖 41号、48号竪穴住居跡・134号土坑



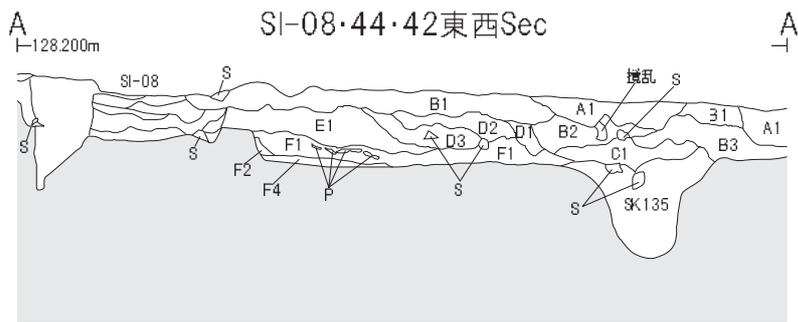
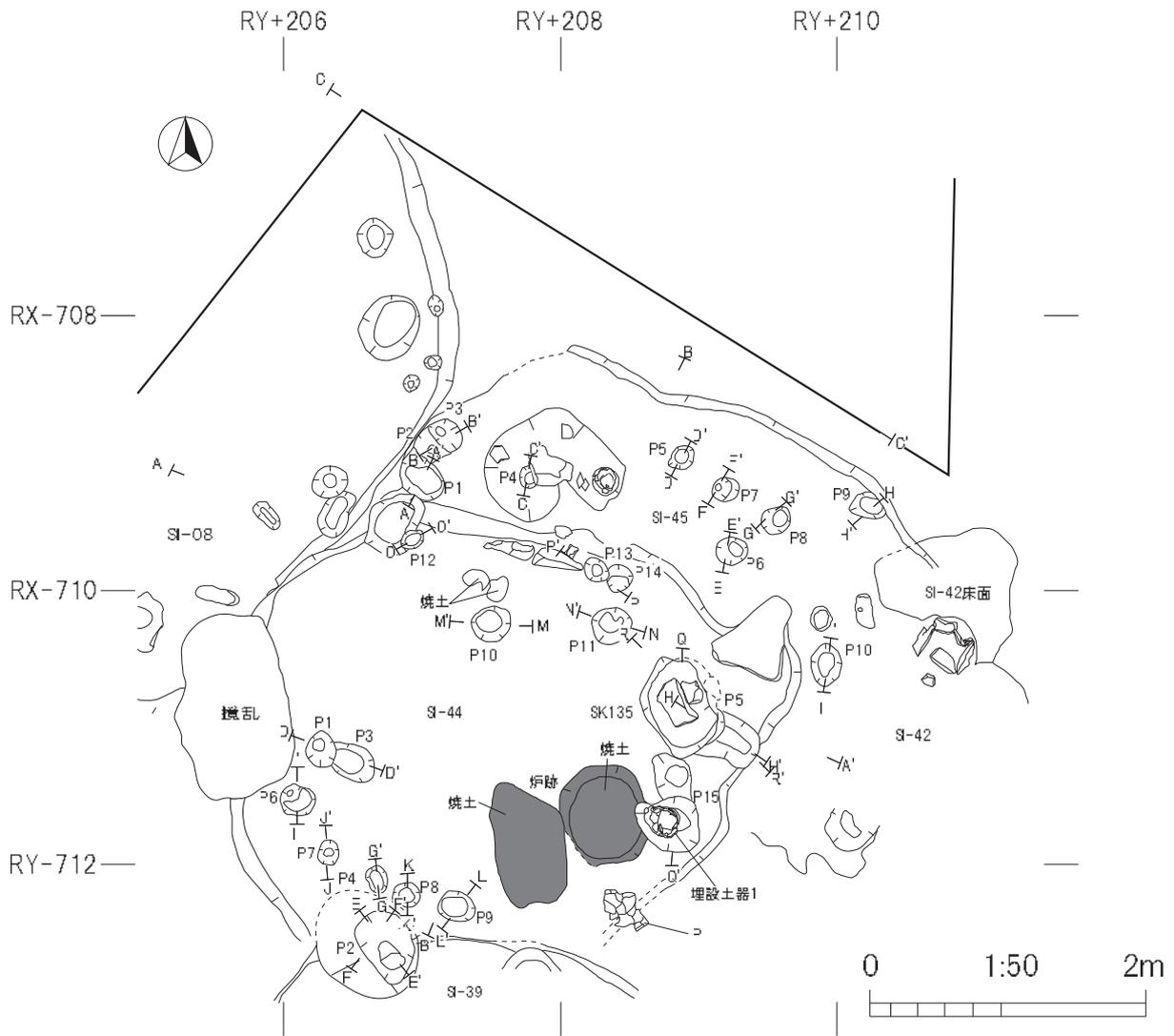
第36図 48号竪穴住居跡ピット・炉跡



第37図 48号竖穴住居跡炉跡・42号竖穴住居跡

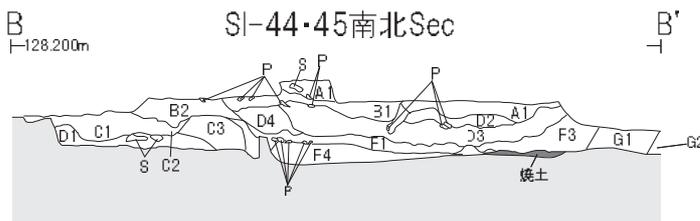


第38図 42号竪穴住居跡炉跡・43号竪穴住居跡



SI-44 土層観察

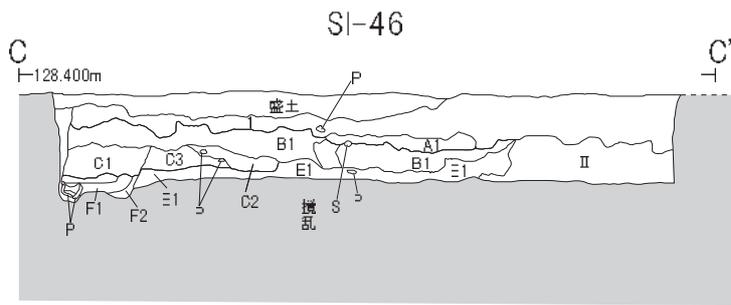
B2 10YR3/4 暗褐色土 シルト質凝結土	10YR5/6 明黄褐色土 シルト質凝結土 炭灰2%	寄任段 砂り中 黄土粒1%, カーボン1%	E1 10YR3/4 暗褐色土 シルト質凝結土 10YR5/6 明黄褐色土 シルト質凝結土 炭灰7%	寄任段 砂り中 黄土粒1%, カーボン2%
B3 10YR4/3 に近い黄褐色土 シルト質凝結土	10YR5/6 明黄褐色土 シルト質凝結土 炭灰2%	寄任段 砂り中 黄土粒1%, カーボン2%	F1 10YR3/4 暗褐色土 シルト質凝結土 10YR5/6 明黄褐色土 シルト質凝結土 炭灰2%	寄任段 砂り中 黄土粒1%, カーボン2%
C1 10YR3/3 暗褐色土 シルト質凝結土	10YR5/6 明黄褐色土 シルト質凝結土 炭灰2%	寄任段 砂り中 黄土粒1%, カーボン2%	F2 10YR4/3 に近い黄褐色土 シルト質凝結土 10YR5/6 明黄褐色土 シルト質凝結土 炭灰5%	寄任段 砂り中
D1 磁器片			F3 磁器片	
D2 10YR4/4 褐色土 シルト質凝結土	10YR5/6 明黄褐色土 シルト質凝結土 炭灰5%	寄任段 砂り中 黄土粒1%, カーボン1%	F4 10YR3/1 黒褐色土 シルト質凝結土 10YR5/6 明黄褐色土 シルト質凝結土 炭灰7%	寄任段 砂り中 黄土粒2%
D3 10YR3/3 暗褐色土 シルト質凝結土	10YR5/6 明黄褐色土 シルト質凝結土 炭灰5%	寄任段 砂り中 黄土粒1%, カーボン2%	G1 10YR3/3 暗褐色土 シルト質凝結土 10YR5/6 明黄褐色土 シルト質凝結土 炭灰7%	寄任段 砂り中 黄土粒1%, カーボン1%
D4 10YR3/3 暗褐色土 シルト質凝結土	10YR5/6 明黄褐色土 シルト質凝結土 炭灰7%	寄任段 砂り中 黄土粒1%, カーボン1%	G2 10YR3/4 暗褐色土 シルト質凝結土 10YR5/6 明黄褐色土 シルト質凝結土 炭灰3%	寄任段 砂り中 黄土粒1%, カーボン1%



SI-45 土層観察表

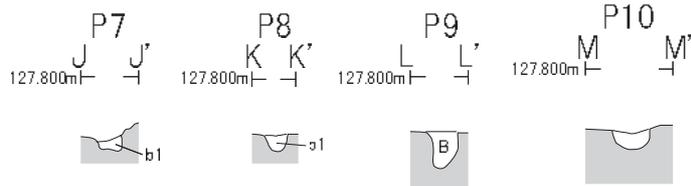
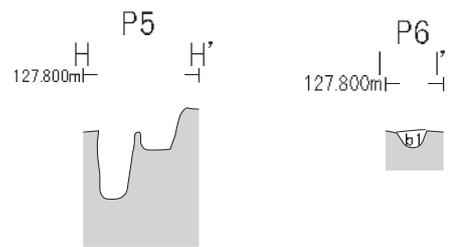
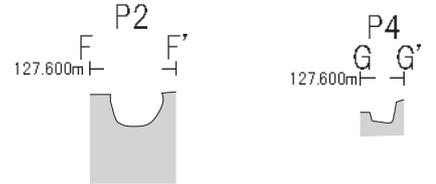
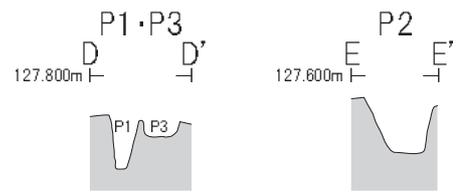
C1 10YR4/6 褐色土 シルト質凝結土	10YR5/6 明黄褐色土 シルト質凝結土 炭灰2%	寄任段 砂り中 黄土粒1%, カーボン1%
C2 10YR3/4 暗褐色土 シルト質凝結土	10YR5/6 明黄褐色土 シルト質凝結土 炭灰2%	寄任段 砂り中 黄土粒1%, カーボン1%
C3 10YR4/6 褐色土 磁器片	10YR5/6 明黄褐色土 シルト質凝結土 炭灰2%	寄任段 砂り中 黄土粒1%, カーボン1%
D1 10YR5/6 黄褐色土 磁器片	10YR5/6 明黄褐色土 シルト質凝結土 炭灰2%	寄任段 砂り中 黄土粒1%, カーボン1%

第39図 44号竪穴住居跡、135土坑



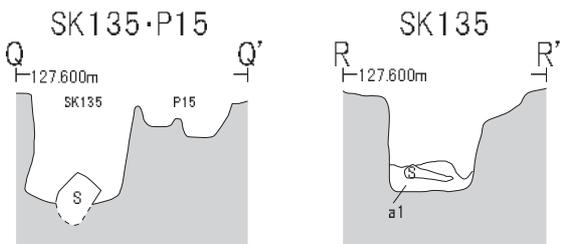
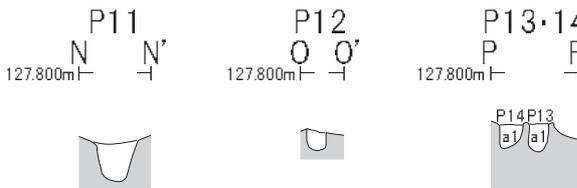
SI-46 土層観察

I 灰土	10YR4/4 褐色土 シルト質堆積土	10YR6/6 明黄褐色土 シルト質堆積土 炭灰2%	粘性度 鈍軟 炭土粒1%, カーボン7%
A1 10YR4/4 暗褐色土 シルト質堆積土	10YR2/2 黒褐色土 シルト質堆積土 炭灰5%	粘性度 鈍軟 炭土粒1%, カーボン7%	
C1 10YR2/8 暗褐色土 シルト質堆積土	10YR6/6 明黄褐色土 シルト質堆積土 炭灰5%	粘性度 鈍軟 炭土粒1%, カーボン7%	
C2 10YR2/8 暗褐色土 シルト質堆積土	10YR6/6 明黄褐色土 シルト質堆積土 炭灰5%	粘性度 鈍軟 炭土粒1%, カーボン7%	
C3 10YR2/2 黒褐色土 シルト質堆積土	10YR6/6 明黄褐色土 シルト質堆積土 炭灰5%	粘性度 鈍軟 炭土粒1%, カーボン7%	
D1 10YR2/4 暗褐色土 シルト質堆積土	10YR6/6 明黄褐色土 シルト質堆積土 炭灰5%	粘性度 鈍軟 炭土粒1%, カーボン7%	
E1 10YR2/2 黒褐色土 シルト質堆積土	10YR4/4 褐色土 シルト質堆積土 炭灰2%	粘性度 鈍軟 炭土粒1%, カーボン7%	
F1 5YR4/6 赤褐色土 シルト質堆積土	10YR4/6 褐色土 シルト質堆積土 炭灰2%	粘性度 鈍軟 炭土粒1%, カーボン7%	
F2 10YR4/8 赤褐色土 シルト質堆積土	10YR6/6 明黄褐色土 シルト質堆積土 炭灰5%	粘性度 鈍軟 炭土粒1%	



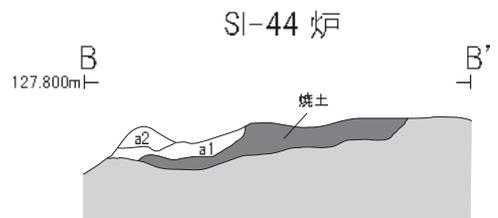
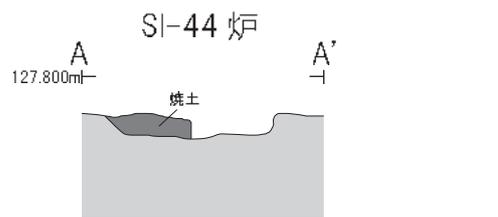
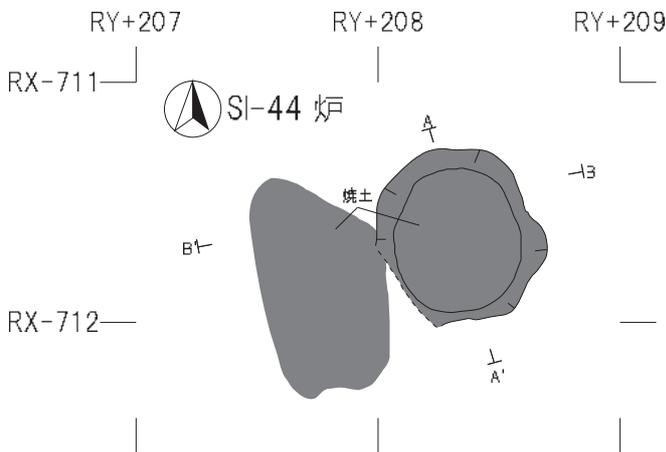
SI-44 P6~P9 土層観察

B 10YR4/6 褐色土 板状砂 粘性度 鈍軟 炭土を少量含む



SK135 土層観察

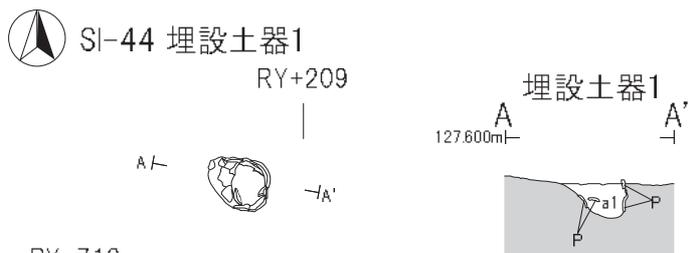
a1 10YR4/4 褐色土 シルト質堆積土 10YR6/6 明黄褐色土 シルト質堆積土 炭灰2% 粘性度 鈍軟 カーボン2%



SI-44 炉 土層観察

a1 10YR2/8 暗褐色土 シルト質堆積土 10YR6/6 明黄褐色土 シルト質堆積土 炭灰2% 粘性度 鈍軟 炭土粒2%

a2 10YR2/8 暗褐色土 シルト質堆積土 10YR6/6 明黄褐色土 シルト質堆積土 炭灰2% 粘性度 鈍軟

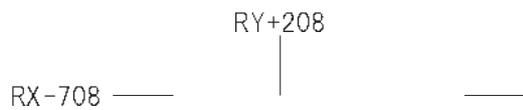
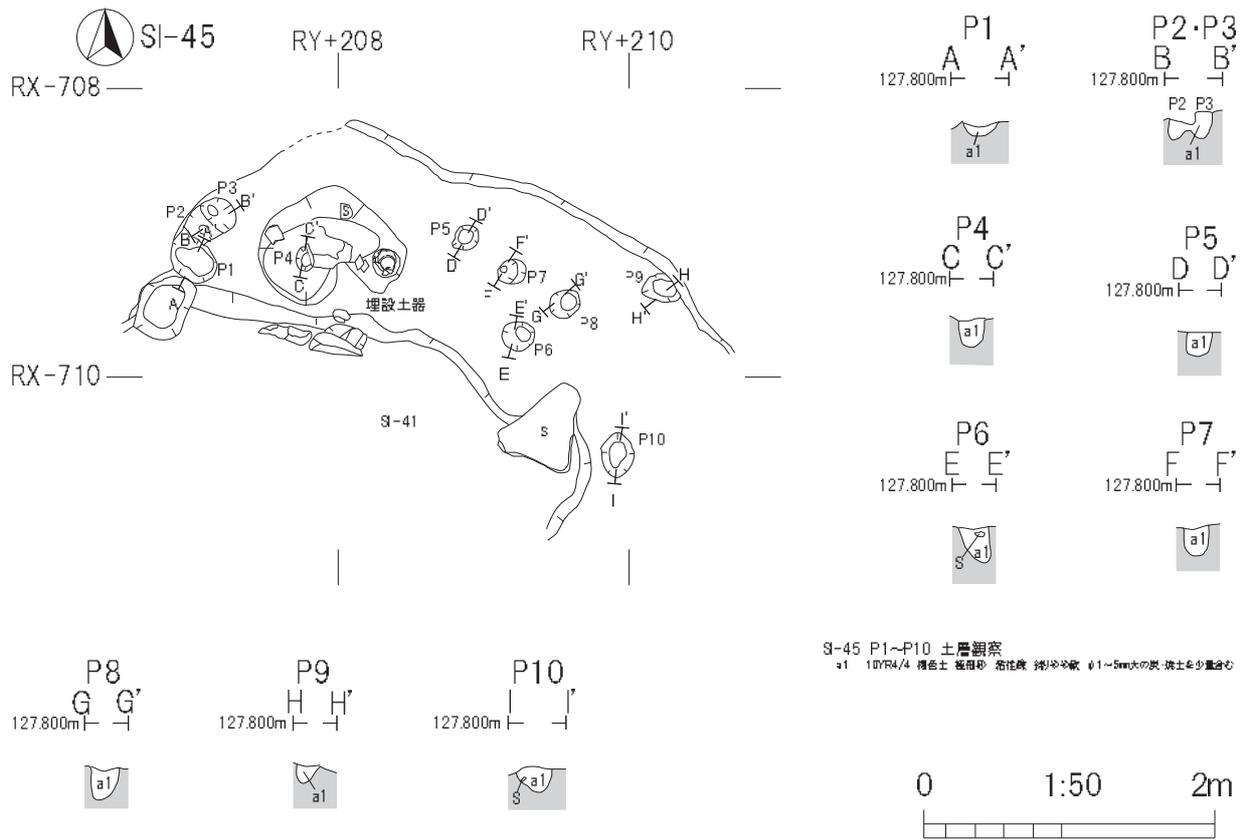


SI-44 埋設土器1

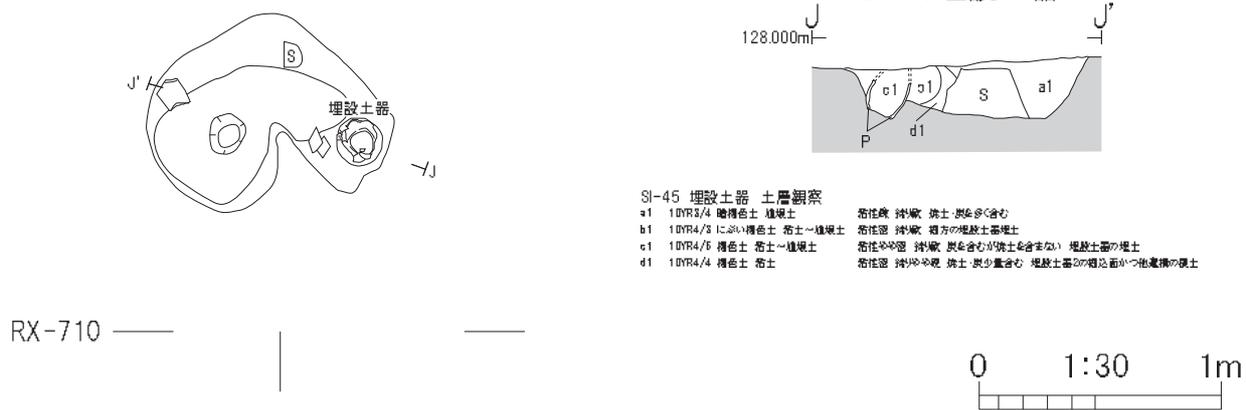
a1 10YR2/4 暗褐色土 シルト質堆積土 10YR6/6 明黄褐色土 シルト質堆積土 炭灰2% 粘性度 鈍軟 カーボン7%



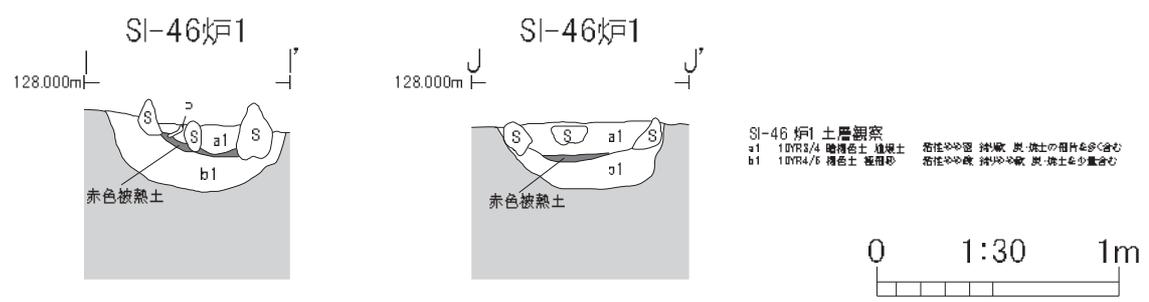
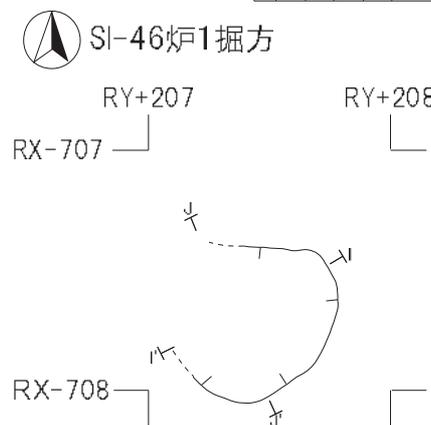
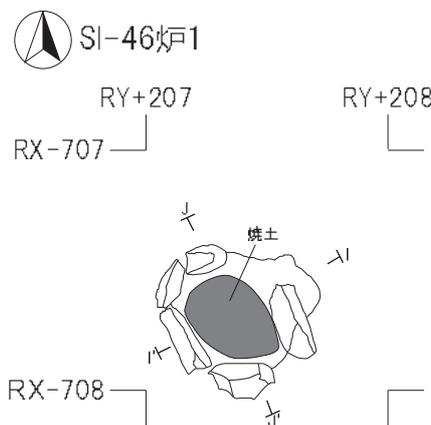
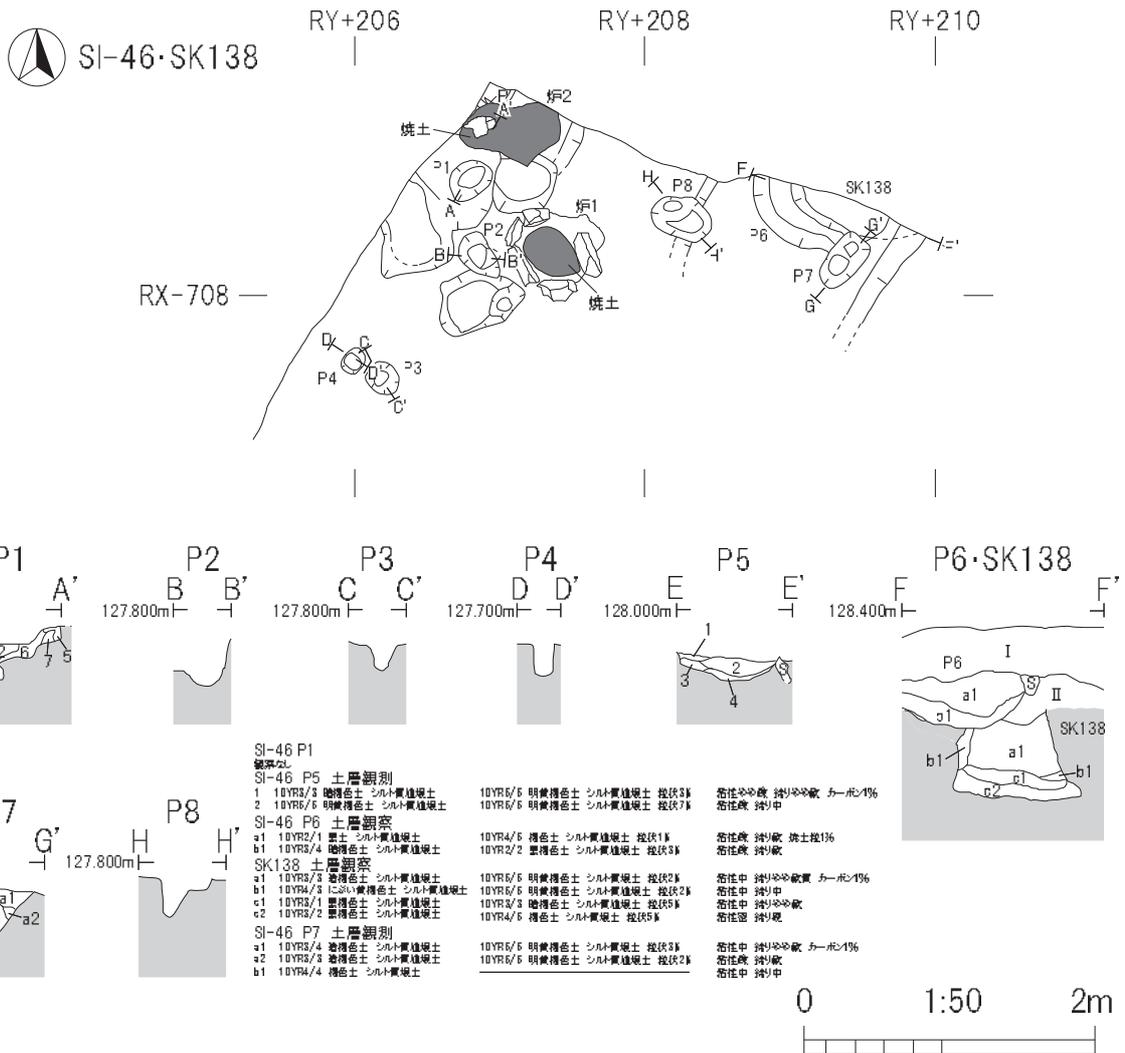
第40図 44号竪穴住居跡ピット・炉跡



SI-45埋設土器

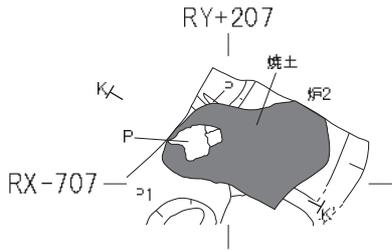


第41図 45号竪穴住居跡

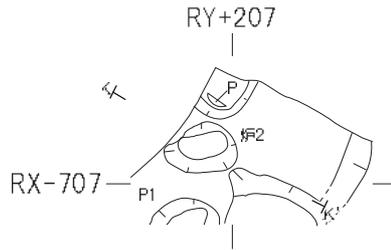


第42図 46号竪穴住居跡・138号土坑

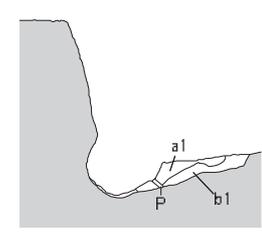
SI-46 炉2



SI-46 炉2 掘方

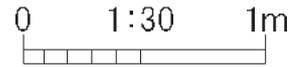


SI-46 炉2

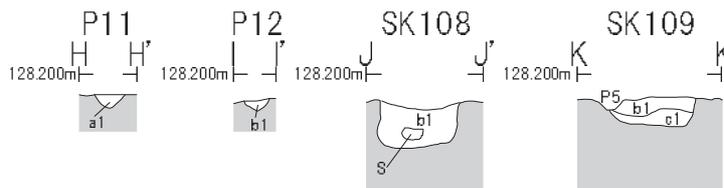
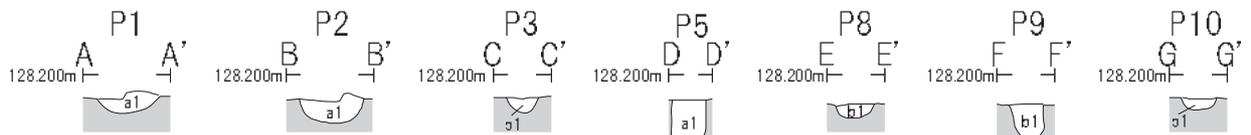
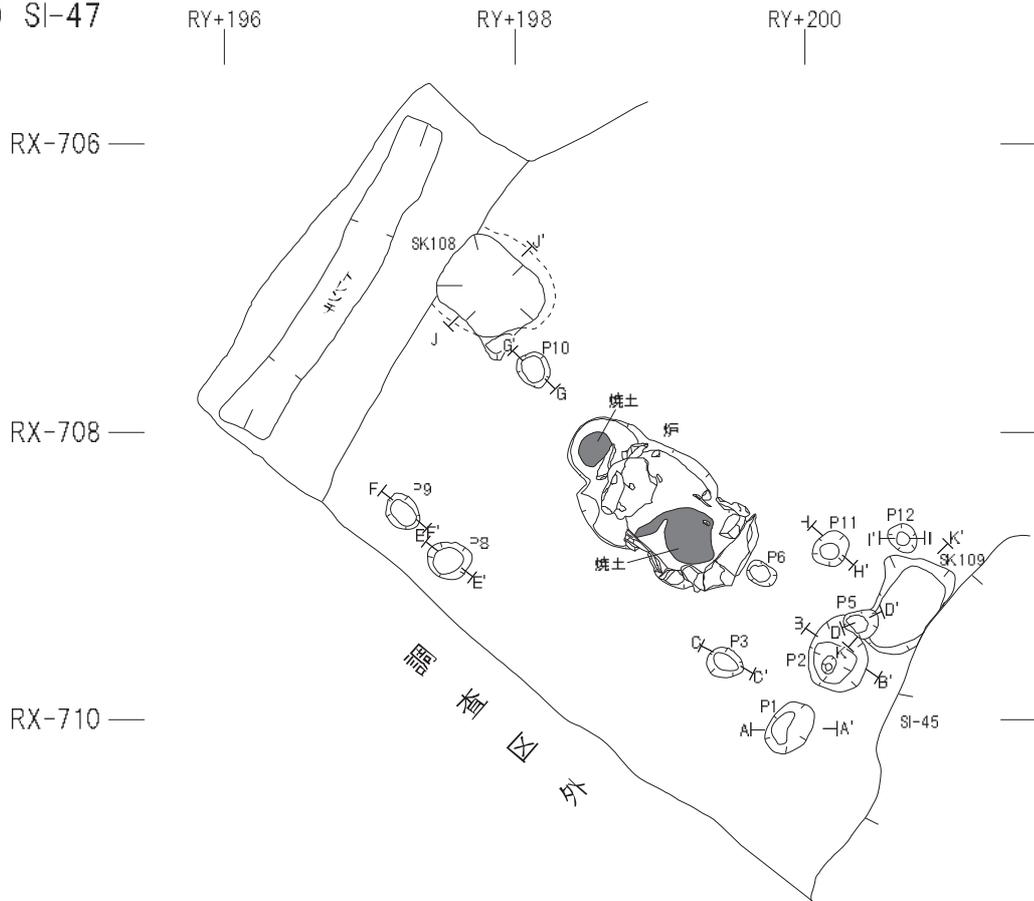


SI-46 炉2 土層観察

- 1 7.5YR4/5 褐色土 シルト質凝結土 SK108 焼土 炭 焼土の相殺少量含む 粘性軟 鈍り砂 炭 炭の相殺少量含む
- 2 5YR4/6 赤褐色土 シルト質凝結土 SK109 焼土 炭 焼土の相殺少量含む 粘性軟 鈍り砂 炭 炭の相殺少量含む

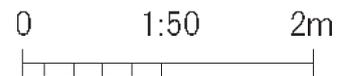


SI-47



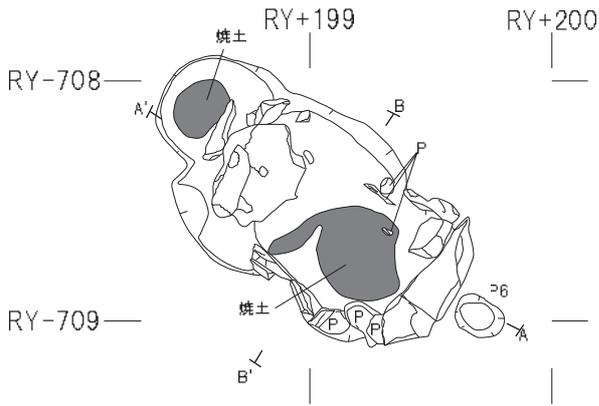
SI-47 P1~P12-SK108-K109 土層観察

- a1 10YR4/5 褐色土 シルト質土 粘性軟 鈍り砂 炭 焼土の相殺少量含む
- b1 10YR3/3 暗褐色土 シルト質土 粘性軟 鈍り砂 炭 0.1~5mm程度の炭 焼土付 420°程度含む
- c1 10YR4/6 褐色土 シルト質土 粘性軟 鈍り砂 炭 0.1mm程度の炭 焼土少量含む

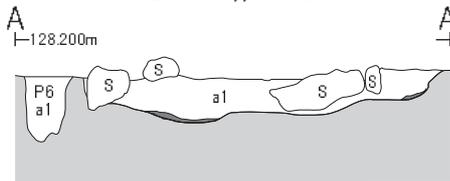


第43図 46号竪穴住居跡炉跡・47号竪穴住居跡・108号、109号土坑

SI-47炉

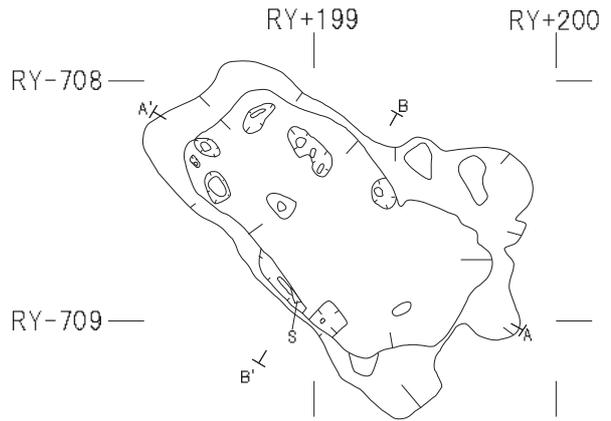


SI-47 炉・P6

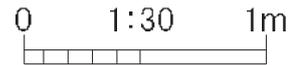
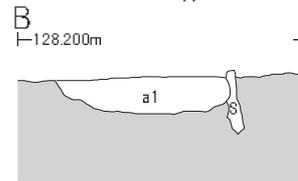


SI-47 炉・P6 土層観察
 a1 10YR5/4 に近い黄褐色土 シルト層
 P6-a1 10YR4/6 褐色土 シルト層
 寄性度 鈍り砂 炭、赤色硬熟炭の相対量別に50%以上含む
 寄性度 鈍り砂 炭、焼土の相対量少量含む

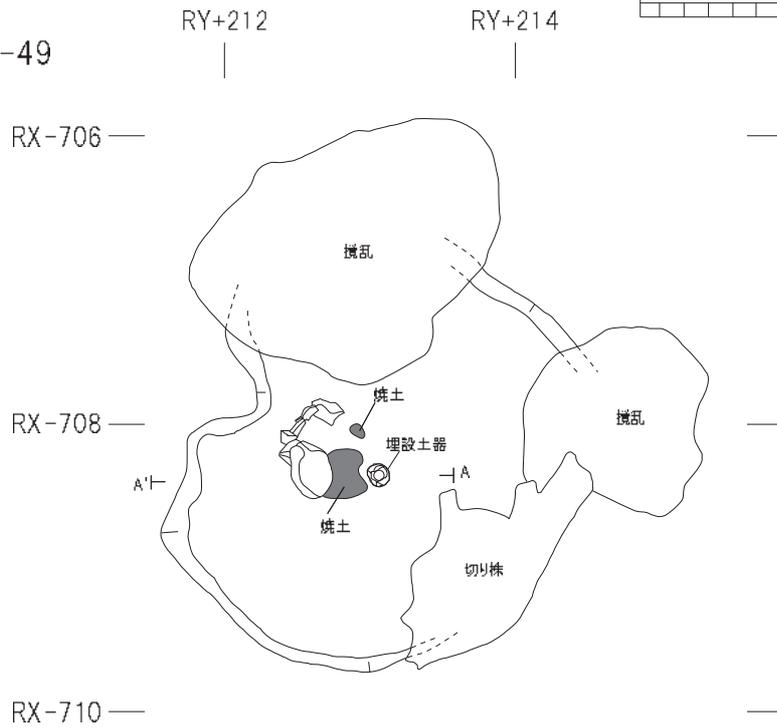
SI-47炉掘方



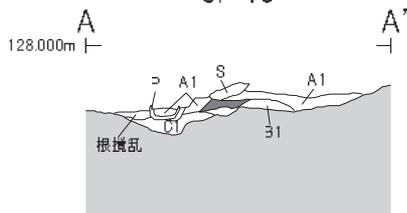
SI-47 炉



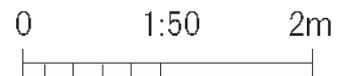
SI-49



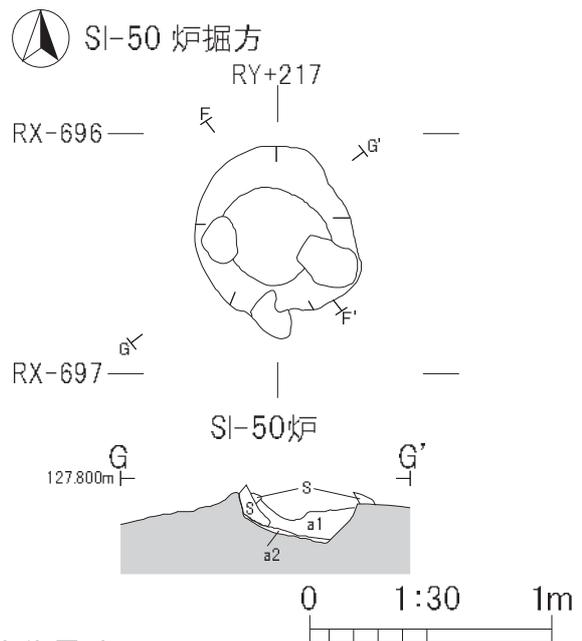
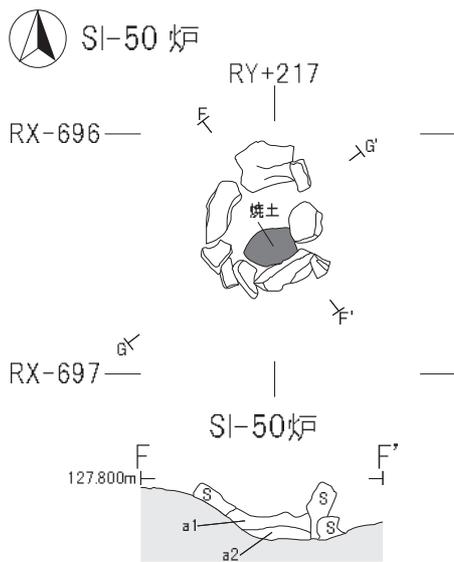
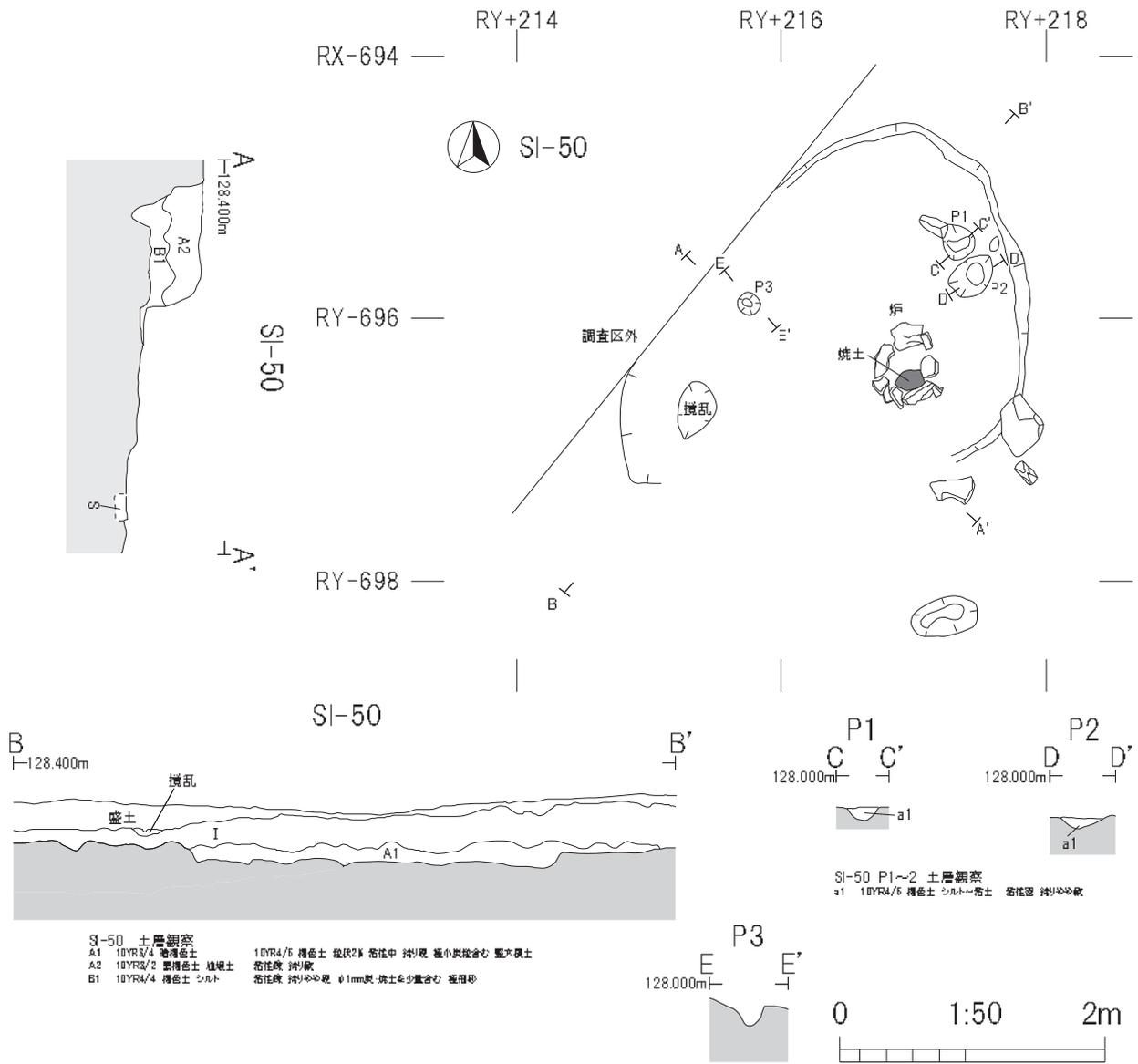
SI-49



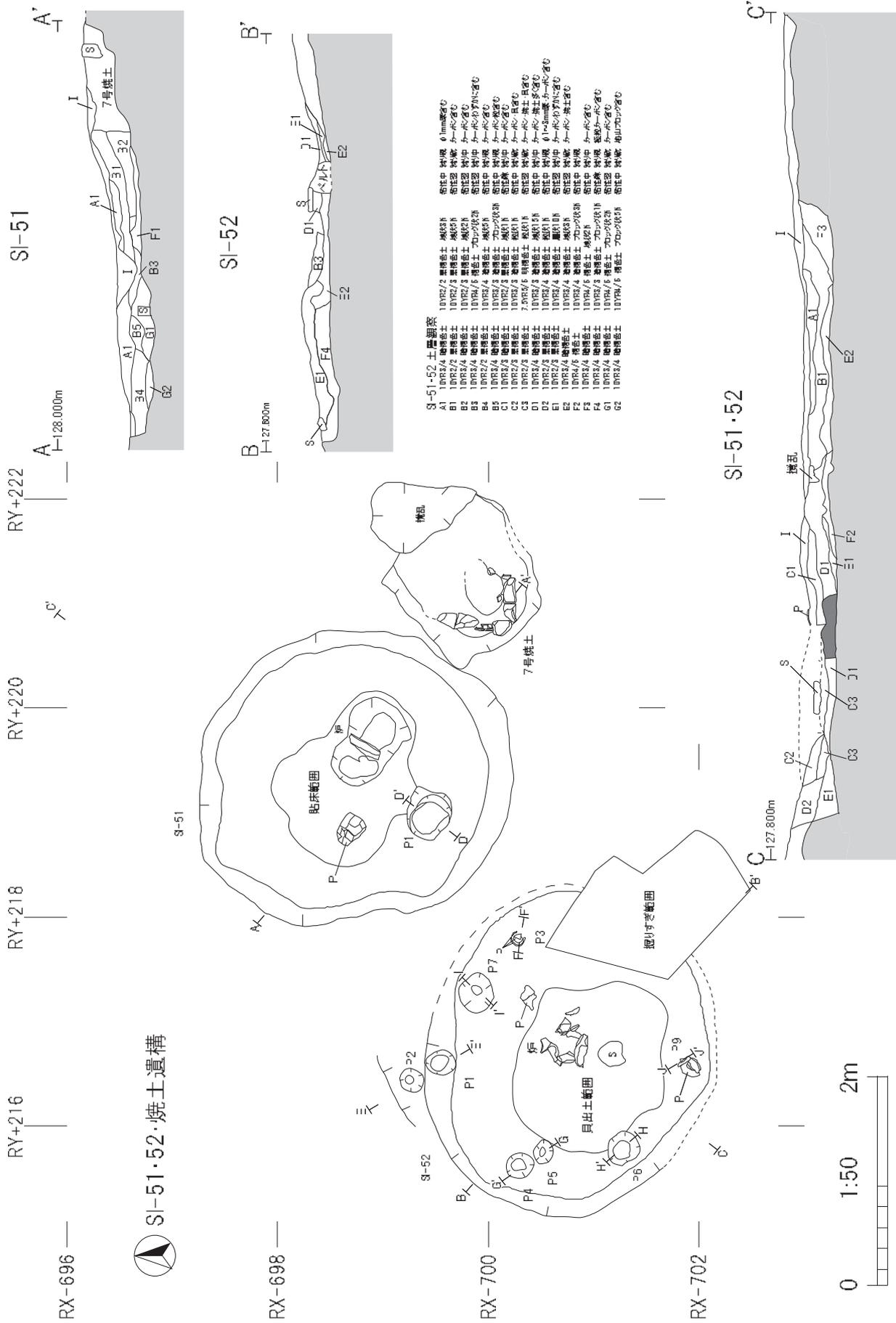
SI-49 土層観察
 A1 10YR4/8 に近い黄褐色土
 B1 10YR5/6 黄褐色土
 C1 10YR4/4 褐色土 シルト層粗砂
 寄性度 鈍り砂 炭
 寄性度 鈍り砂 炭
 寄性度 鈍り砂 炭



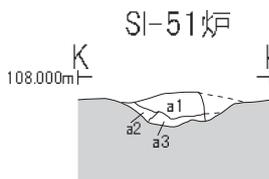
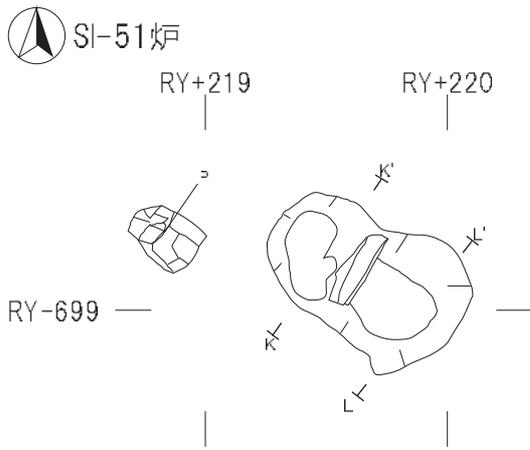
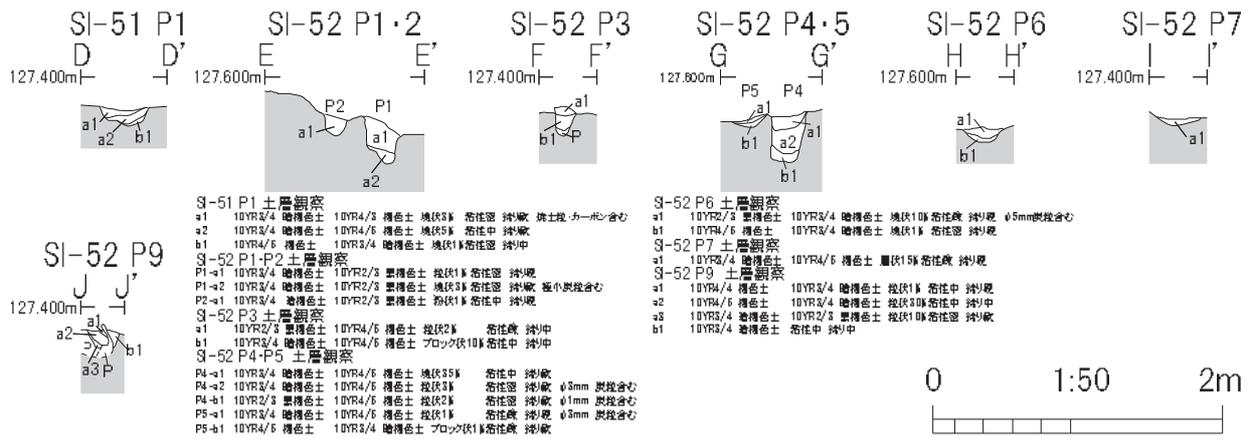
第44図 47号竪穴住居跡炉跡・49号竪穴住居跡



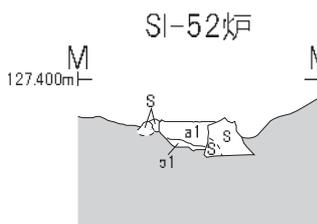
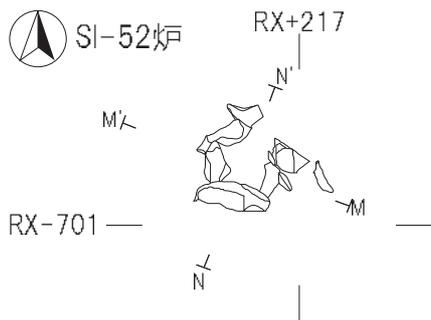
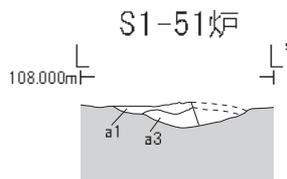
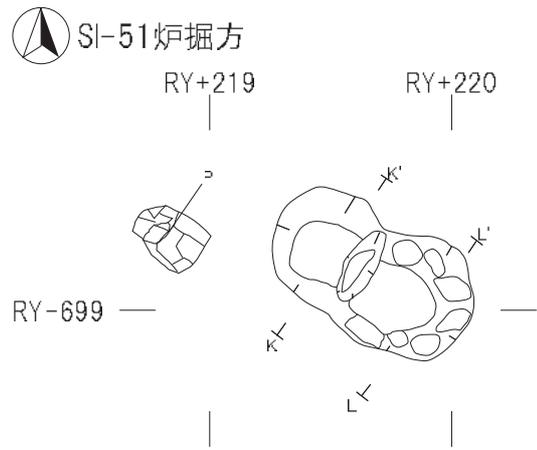
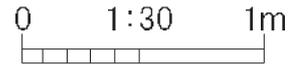
第45図 50号竪穴住居跡



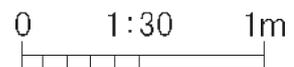
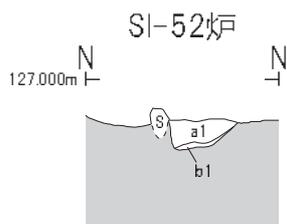
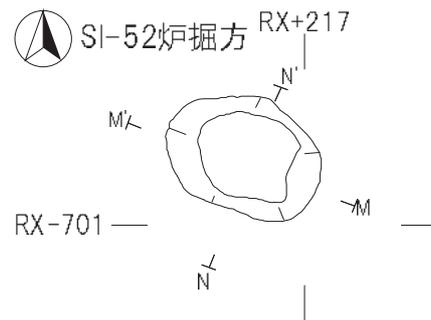
第46図 51号、52号竪穴住居跡



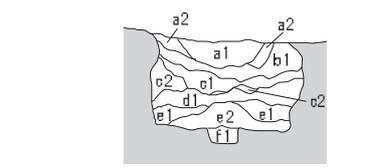
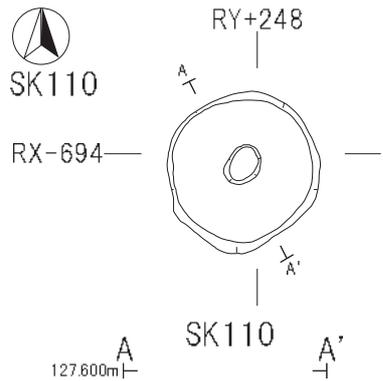
SI-51炉 土層観察
 a1 10YR3/3 暗褐色土 10YR3/3 暗褐色土 ブロック状3# 粘性中 砂/礫 黄土粒、カーボンを含む
 a2 10YR3/4 暗褐色土 粘性弱 砂/礫 黄土粒を含む
 a3 10YR3/4 暗褐色土 10YR4/5 褐色土 ブロック状2# 粘性弱 砂/礫 黄土粒を含む



SI-52炉 土層観察
 a1 10YR2/3 栗褐色土 10YR4/5 褐色土 塊状2# 粘性中 砂/礫
 b1 10YR3/4 暗褐色土 10YR2/2 栗褐色土 塊状5# 粘性弱 砂/礫

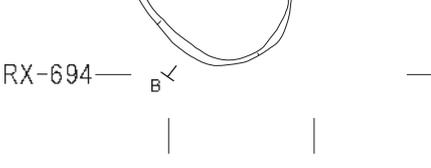
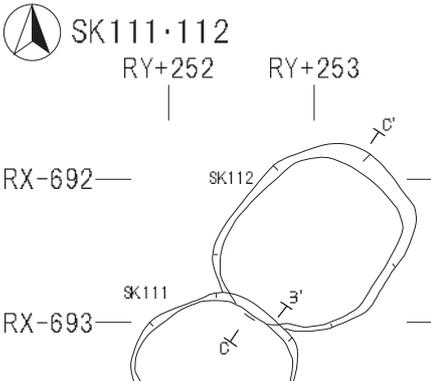


第47図 51号、52号竪穴住居跡炉跡



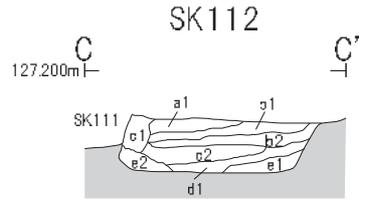
SK110 土層観察

a1	10YR2/2 豊稔色土 シルク質凝結土	10YR4/6 褐色土 シルク質凝結土 塊状3%
a2	10YR3/3 暗褐色土 シルク質凝結土	10YR6/5 明褐色土 シルク質凝結土 塊状2%
b1	10YR3/4 暗褐色土 シルク質凝結土	10YR5/5 明褐色土 シルク質凝結土 塊状5%
b2	10YR4/6 褐色土 シルク質凝結土	10YR4/6 褐色土 シルク質凝結土 塊状1%
c1	10YR4/6 褐色土 シルク質凝結土	10YR6/5 明褐色土 シルク質凝結土 塊状10%
c2	10YR3/6 黄褐色土 シルク質凝結土	10YR4/6 褐色土 シルク質凝結土 塊状2%
d1	10YR4/6 褐色土 シルク質凝結土	10YR5/5 明褐色土 シルク質凝結土 塊状5%
e1	10YR4/6 褐色土 シルク質凝結土	10YR5/5 明褐色土 シルク質凝結土 塊状5%
e2	10YR6/5 明褐色土 シルク質凝結土	
f1	10YR4/6 褐色土 粘層土	



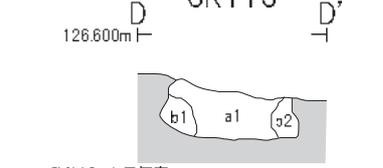
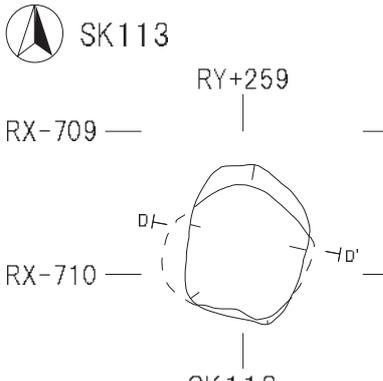
SK112 土層観察

a1	10YR4/6 褐色土 粘土	粘り軟 炭化後棄置
b1	10YR5/5 黄褐色土	粘り軟 炭化後棄置
b2	10YR3/4 暗褐色土	10YR5/5 黄褐色土 ブロック状(2%)炭化後棄置
c1	10YR5/5 黄褐色土	炭化後棄置
c2	10YR5/5 黄褐色土 粘土	粘り軟 炭化後棄置 崩落土
d1	10YR3/5 暗褐色土	7.5YR4/6 褐色土 ブロック状(3%) 炭化後棄置
e1	10YR4/6 褐色土	粘性中-強 粘り軟
e2	10YR4/6 褐色土	粘り軟 炭化後棄置



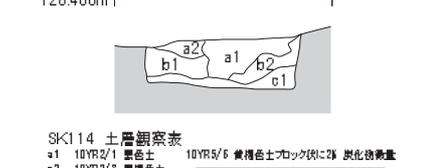
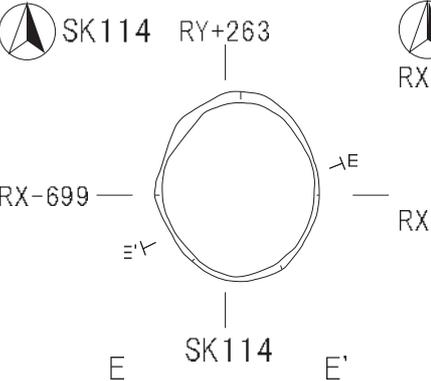
SK111 土層観察

a1	10YR4/6 褐色土 シルク質凝結土	10YR6/5 明褐色土 シルク質凝結土 塊状3%	粘性軟 粘り軟
a2	10YR4/4 褐色土 シルク質凝結土	10YR6/5 明褐色土 シルク質凝結土 塊状5%	粘性軟 粘り軟
a3	10YR4/6 褐色土 シルク質凝結土	10YR6/5 明褐色土 シルク質凝結土 塊状5%	粘性軟 粘り中 粘土塊1%
b1	10YR5/5 黄褐色土	10YR6/5 明褐色土 シルク質凝結土 塊状5%	粘性軟 粘り中 粘土塊1%
b2	10YR5/5 黄褐色土		
c1	10YR2/3 豊稔色土		
d1	10YR3/3 暗褐色土		粘性軟 粘り軟 炭化後棄置



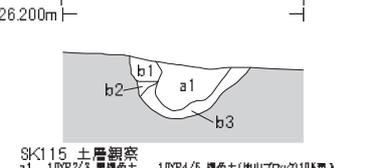
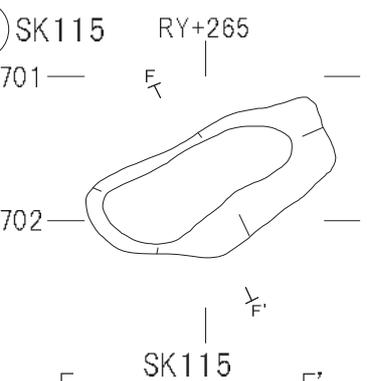
SK113 土層観察

a1	10YR2/3 豊稔色土	10YR5/5 黄褐色土 ブロック状(5%)含む
b1	10YR3/4 暗褐色土	粘り軟
b2	10YR4/6 褐色土	粘り軟



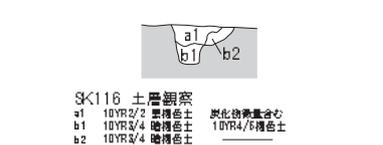
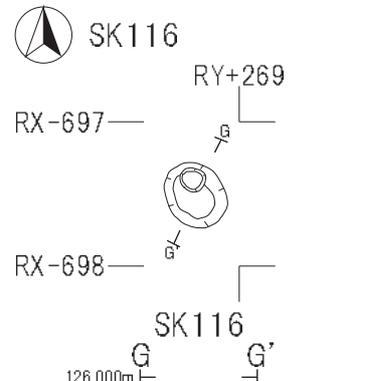
SK114 土層観察表

a1	10YR2/1 豊稔色土	10YR5/5 黄褐色土 ブロック状(2%) 炭化後棄置
a2	10YR2/3 豊稔色土	
b1	10YR2/3 豊稔色土	10YR5/5 黄褐色土 炭化後棄置
b2	10YR4/4 暗褐色土	10YR5/5 黄褐色土 炭化後棄置
c1	10YR5/5 黄褐色土	粘性軟 粘り軟



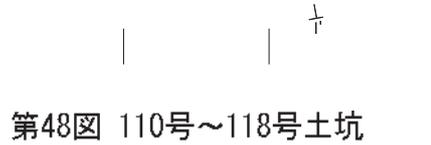
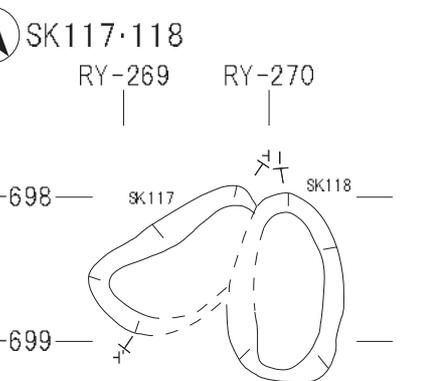
SK115 土層観察

a1	10YR2/3 豊稔色土	10YR4/6 褐色土(地山ブロック10%)混入
b1	10YR3/4 暗褐色土	10YR4/6 褐色土(地山砕石)20%混入
b2	10YR4/6 褐色土	地山崩落土
b3	10YR3/4 暗褐色土	10YR4/6 褐色土(地山ブロック40%)混入



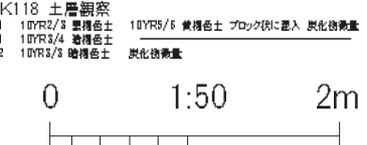
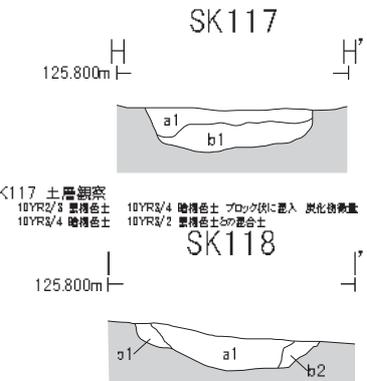
SK116 土層観察

a1	10YR2/2 豊稔色土	炭化後棄置含む
b1	10YR3/4 暗褐色土	10YR4/6 褐色土
b2	10YR3/4 暗褐色土	



SK117 土層観察

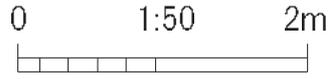
a1	10YR2/3 豊稔色土	10YR3/4 暗褐色土 ブロック状(5%)混入 炭化後棄置
b1	10YR3/4 暗褐色土	10YR2/2 豊稔色土の混入

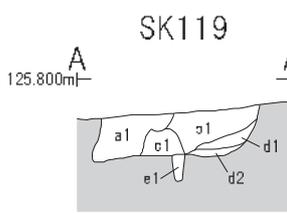
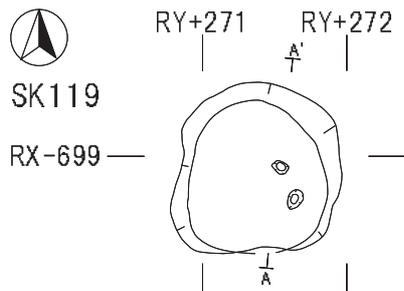


SK118 土層観察

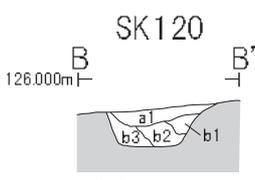
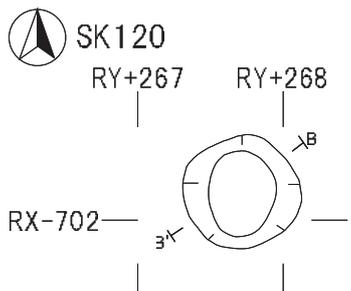
a1	10YR2/3 豊稔色土	10YR5/5 黄褐色土 ブロック状(5%)混入 炭化後棄置
b1	10YR3/4 暗褐色土	
b2	10YR3/3 暗褐色土	炭化後棄置

第48図 110号~118号土坑

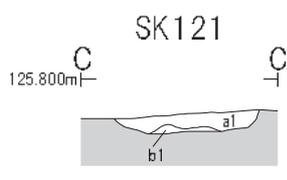
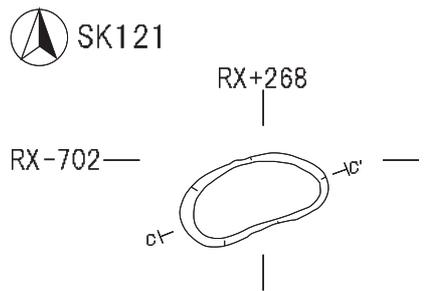




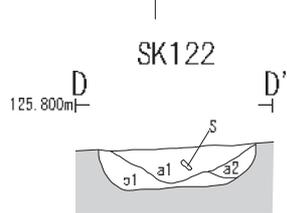
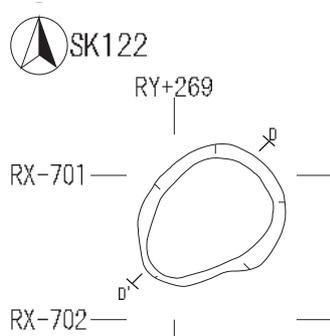
SK119 土層観察
 a1 10YR2/4 暗褐色土 褐色土(地山ロームブロック)20%混入 焼土粒微量
 b1 10YR2/3 暗褐色土
 c1 10YR4/5 褐色土 褐色土(地山ロームブロックの集積層) 地山崩落土
 d1 10YR4/5 褐色土 褐色土(地山ロームブロックの集積層) 地山崩落土
 d2 10YR2/3 暗褐色土 自然堆積層
 e1 10YR3/4 暗褐色土



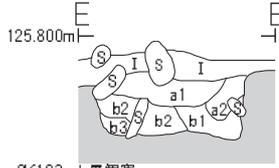
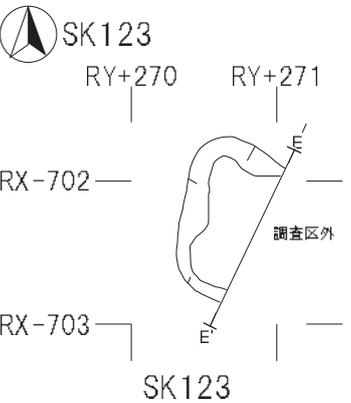
SK120 土層観察
 a1 10YR2/3 暗褐色土 炭化粒微量
 b1 10YR5/6 黄褐色土 10YR2/3 暗褐色土 炭化粒
 b2 10YR2/2 暗褐色土 10YR5/6 黄褐色土とブロック状に含む
 b3 10YR3/3 暗褐色土



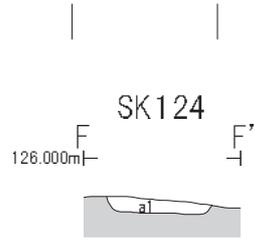
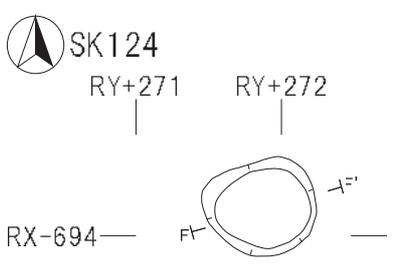
SK121 土層観察
 a1 10YR2/3 暗褐色土 10YR5/6 黄褐色土とブロック状に含む 炭化粒微量
 b1 10YR4/5 褐色土



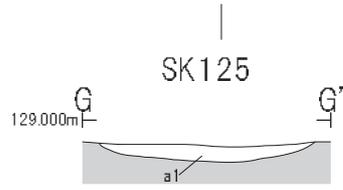
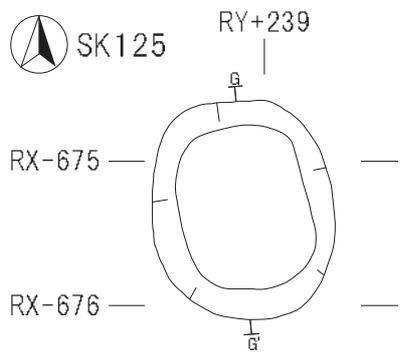
SK122 土層観察
 a1 10YR2/3 暗褐色土 10YR5/6 黄褐色土 ブロック状に10%混入 炭化粒微量
 a2 10YR2/2 暗褐色土
 b1 10YR2/3 暗褐色土 粘性砂岩



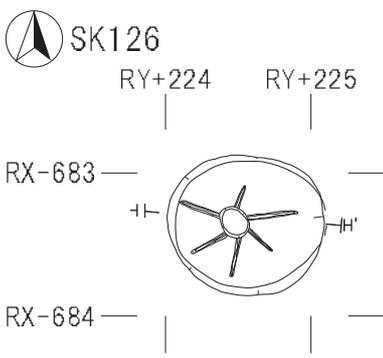
SK123 土層観察
 a1 10YR2/3 暗褐色土 2.5YR4/6 褐色土(地山ブロック)10%混入
 a2 10YR2/3 暗褐色土 2.5YR4/6 褐色土(地山ブロック)40%混入
 b1 10YR3/4 暗褐色土 2.5YR4/6 褐色土(地山粒)30%混入
 b2 10YR3/3 暗褐色土 2.5YR4/6 褐色土(地山ブロック)20%混入
 b3 10YR3/2 暗褐色土 10YR2/2 暗褐色土 ブロック状 5%混入
 s 10YR3/4 暗褐色土



SK124 土層観察
 a1 10YR3/4 暗褐色土 粘性砂 砂岩 炭化粒20%混入

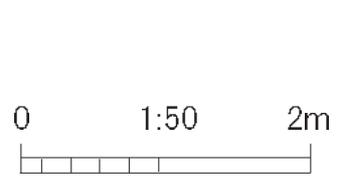
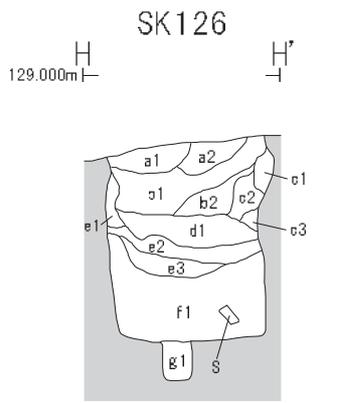


SK125 土層観察
 a1 10YR3/4 暗褐色土 10YR4/6 褐色土 地山ブロック10% 炭化粒微量混入



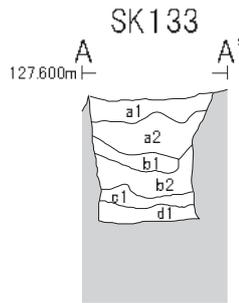
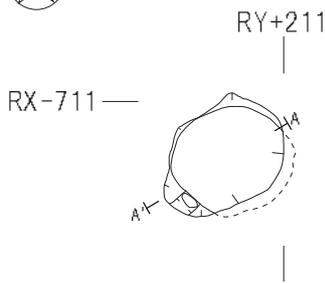
SK126 土層観察表

a1 10YR3/4 暗褐色土	10YR4/6 褐色土(地山)3% 炭化粒1%
a2 10YR3/4 暗褐色土	砂岩 炭化粒3%
b1 10YR2/3 暗褐色土	砂岩 焼土1% 炭化粒1%
b2 10YR3/4 暗褐色土	10YR4/6 褐色土(地山)10% 焼土1%
c1 10YR4/4 褐色土	10YR4/6 褐色土
c2 10YR2/4 暗褐色土	10YR4/6 褐色土(地山)30%
c3 10YR4/4 褐色土(崩落土)	
e1 10YR4/6 褐色土(崩落土)	
d1 10YR3/4 暗褐色土	10YR4/6 褐色土(地山)20%
e2 10YR4/6 褐色土(地山由来土)	
e3 10YR3/4 暗褐色土	10YR4/6 褐色土(地山)10%
f1 10YR4/4 褐色土	10YR4/6 褐色土(地山)20% 炭化粒混入
g1 10YR2/3 暗褐色土	10YR4/6 褐色土(地山)30% 砂岩



第49図 119号~126号土坑

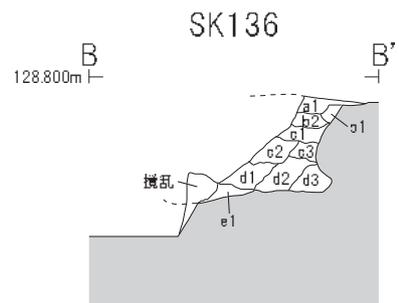
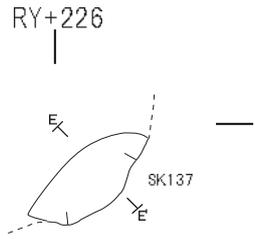
SK133



SK133 土層観察

a1	10YR5/4 赤褐色土 シルト質堆積土	10YR5/6 明黄褐色土 シルト質堆積土 塊状2%	粘性度 鈍中	カーボン1%
a2	10YR5/3 赤褐色土 シルト質堆積土	10YR5/6 明黄褐色土 シルト質堆積土 塊状2%	粘性度 鈍軟	カーボン1%
b1	10YR4/6 褐色土 シルト質堆積土		粘性度 鈍中	
b2	10YR4/4 褐色土 シルト質堆積土	10YR4/6 褐色土 シルト質堆積土 塊状7%	粘性度 鈍軟〜軟	
c1	10YR5/4 赤褐色土 シルト質堆積土	10YR4/4 褐色土 シルト質堆積土 塊状10%	粘性度 鈍軟	
d1	10YR4/4 褐色土 シルト質堆積土	10YR5/1 黄褐色土 シルト質堆積土 塊状1%	粘性度 鈍軟	

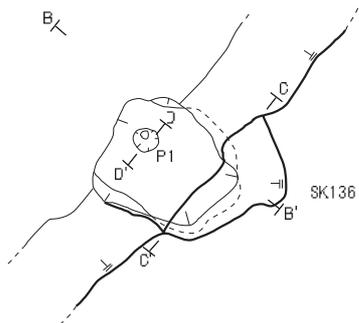
SK136・137



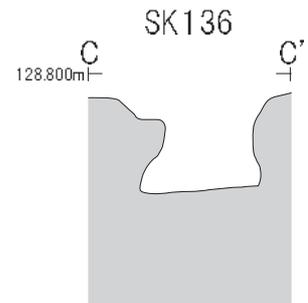
SK136 土層観察

a1	10YR5/6 黄褐色土 凝り砂	粘性度 鈍中	鈍軟〜軟
b1	10YR4/3 紅褐色土 シルト〜凝り砂	粘性度 鈍中〜硬	
b2	10YR4/6 褐色土 シルト〜粘土	粘性度 鈍中〜軟	
c1	10YR5/6 黄褐色土 シルト〜粘土	粘性度 鈍中〜軟	
c3	10YR5/6 黄褐色土 シルト〜粘土	粘性度 鈍中〜硬	
c2	10YR5/6 黄褐色土 シルト〜粘土	粘性度 鈍中〜軟	
d2	10YR4/6 褐色土 シルト	粘性度 鈍軟〜軟	
d3	10YR4/6 褐色土 シルト〜粘土	粘性度 鈍軟〜軟	
d1	10YR4/6 褐色土	粘性度 鈍軟	
e1	10YR5/6 黄褐色土 シルト	粘性度 鈍軟〜軟	

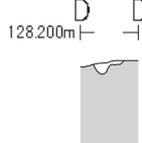
RX-680



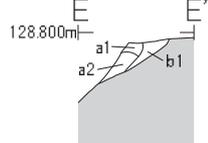
RX-682



SK136 P1

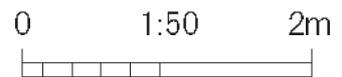


SK137



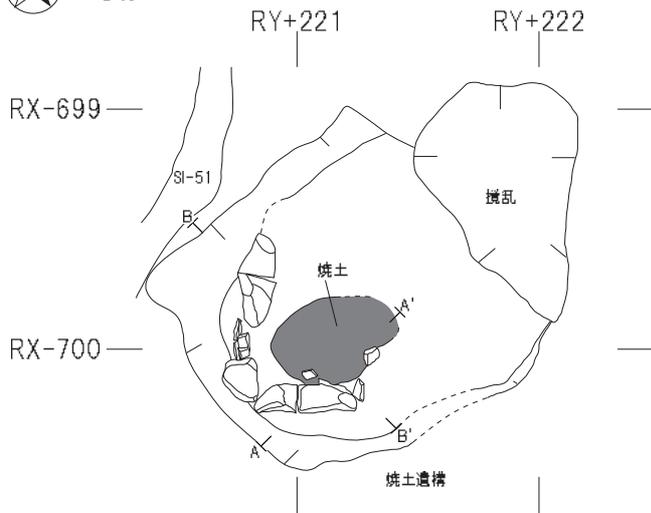
SK137 焼土土層観察

a1	10YR5/6 黄褐色土 シルト	粘性度 鈍軟
a2	10YR4/6 褐色土 堆積土	粘性度 鈍軟
b1	10YR5/6 黄褐色土 粘土〜シルト	粘性度 鈍軟〜硬

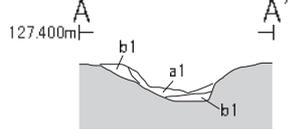


第51図 133号、136号、137号土坑

7号焼土



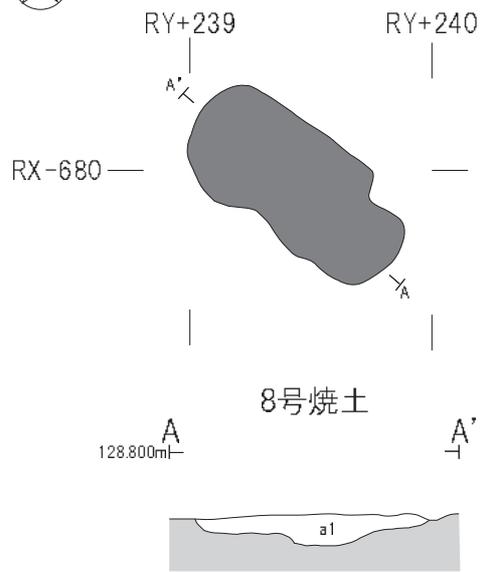
焼土遺構



焼土遺構



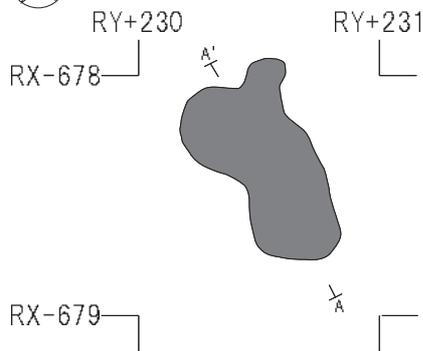
8号焼土



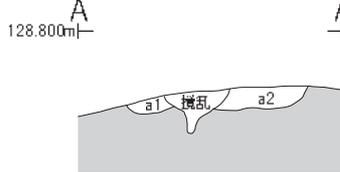
8号焼土 土層観察

1 5YR4/6 赤褐色焼土 10YR4/8 に近い黄褐色土 ブロック状埋入 炭化後径調整

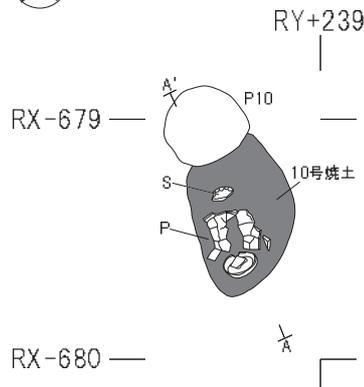
9号焼土



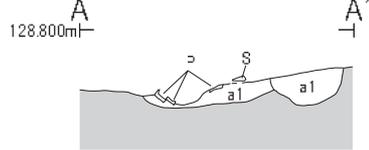
9号焼土



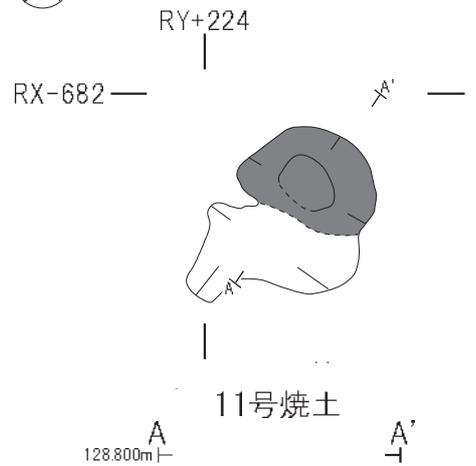
10号焼土・P10



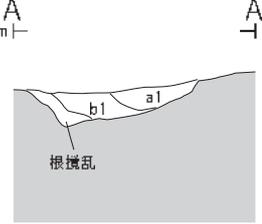
SK140・10号焼土



11号焼土



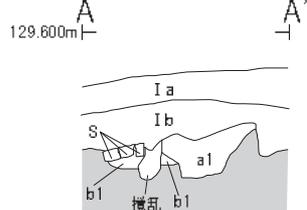
11号焼土



12号焼土



12号焼土



9号焼土 土層観察

a1 5YR4/6 赤褐色土
a2 7.5YR4/6 褐色土

10号焼土・P10 土層観察表

P10-a1 10YR4/4 暗褐色土

10号焼土-a1 10YR4/6 暗褐色土

11号焼土 土層観察表

a1 5YR2/6 赤赤褐色土 シルト ~ 凝り砂

b1 10YR3/4 暗褐色土 塊状土

12号焼土 土層観察表

a1 10YR3/4 暗褐色土

b1 7.5YR5/8 明褐色土

深い被熱面

焼土径20mm埋入(深い被熱面か?)

焼土・炭化後調整

10YR4/6 褐色土との混入土

10YR4/6 褐色土20% 焼り硬

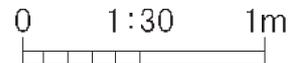
5YR2/6 暗赤褐色土10%

粘性軟 焼り硬

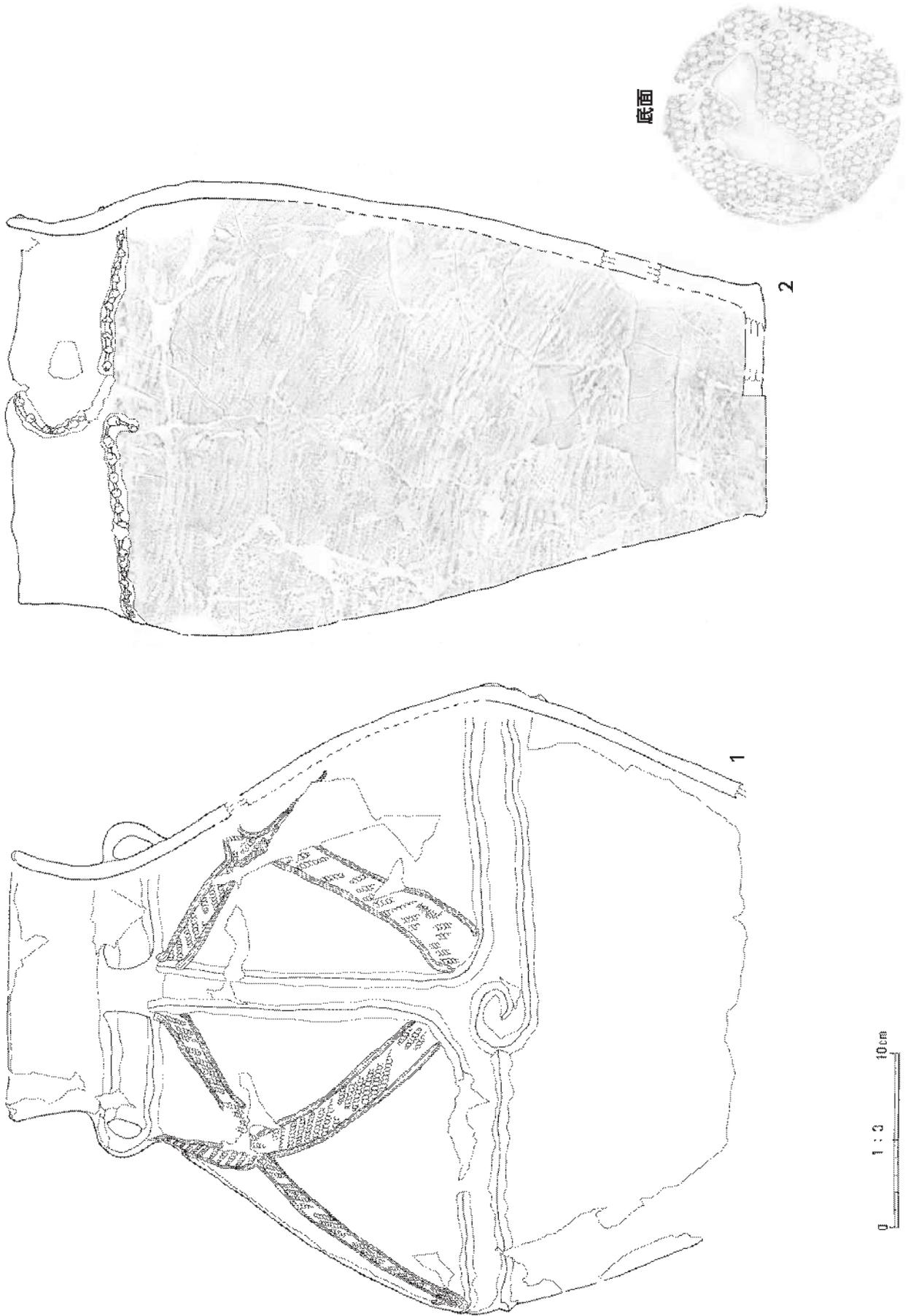
粘性軟 焼り軟 φ1~5mmの炭灰少量含む

10YR4/6 暗褐色土 地山投子板で多い

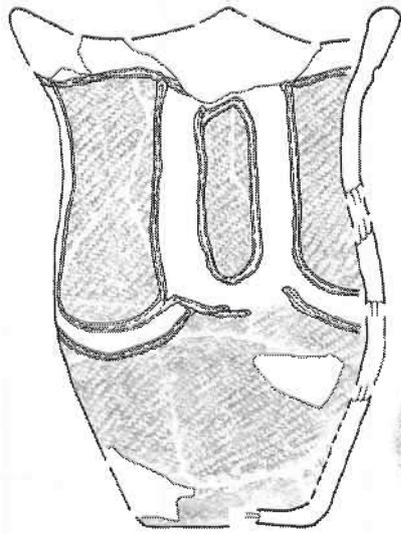
被熱面



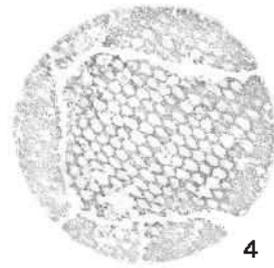
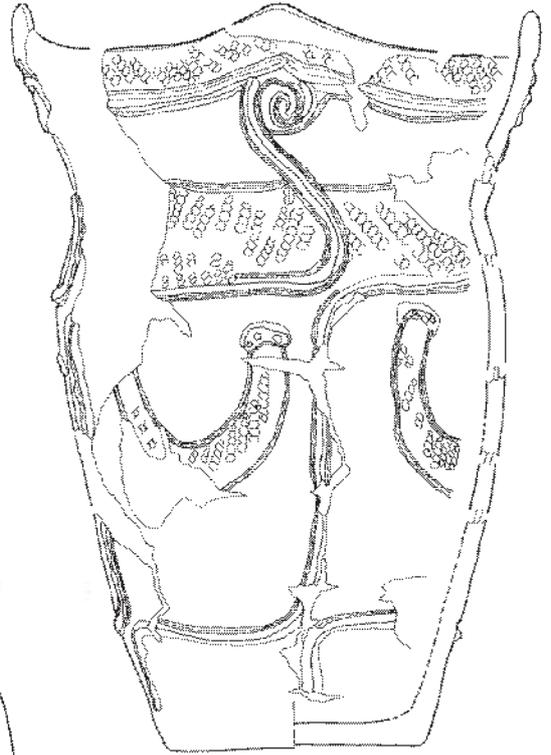
第52図 140号土坑、焼土遺構



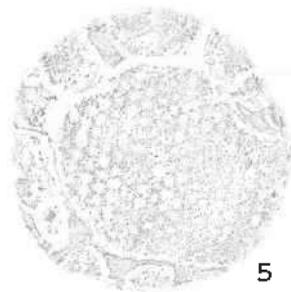
第53图 96号土坑出土土器



3



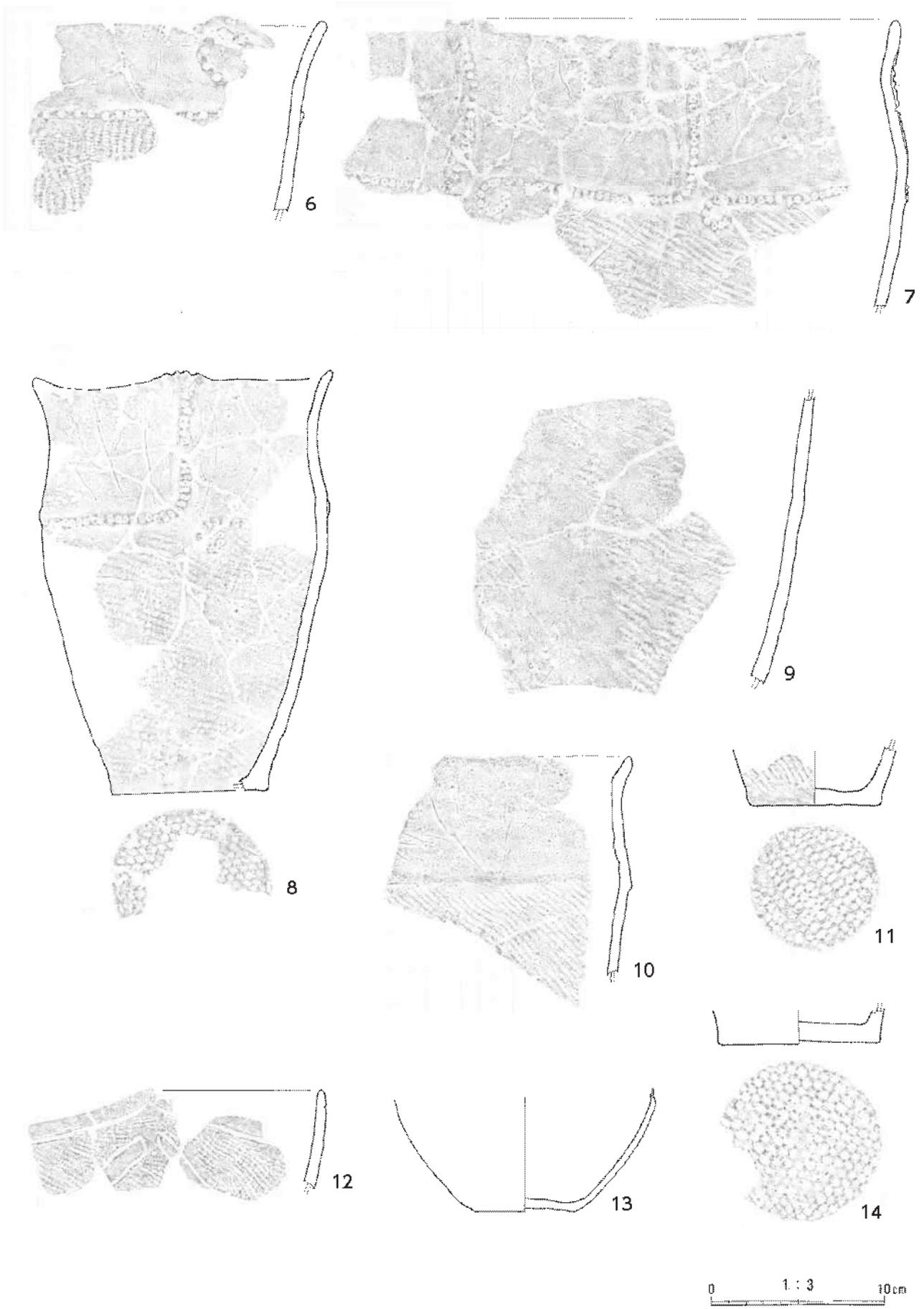
4



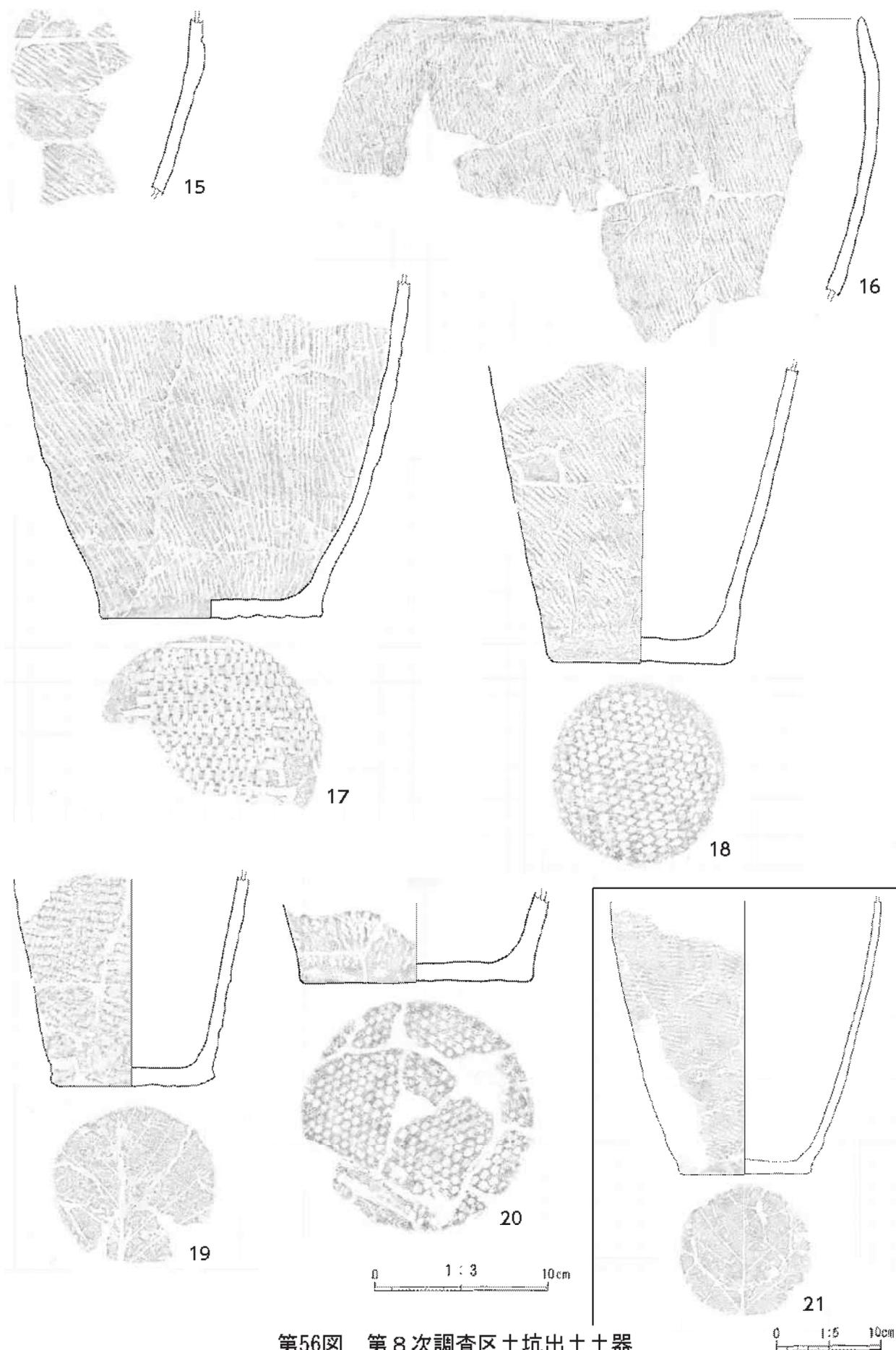
5

0 1:3 10cm

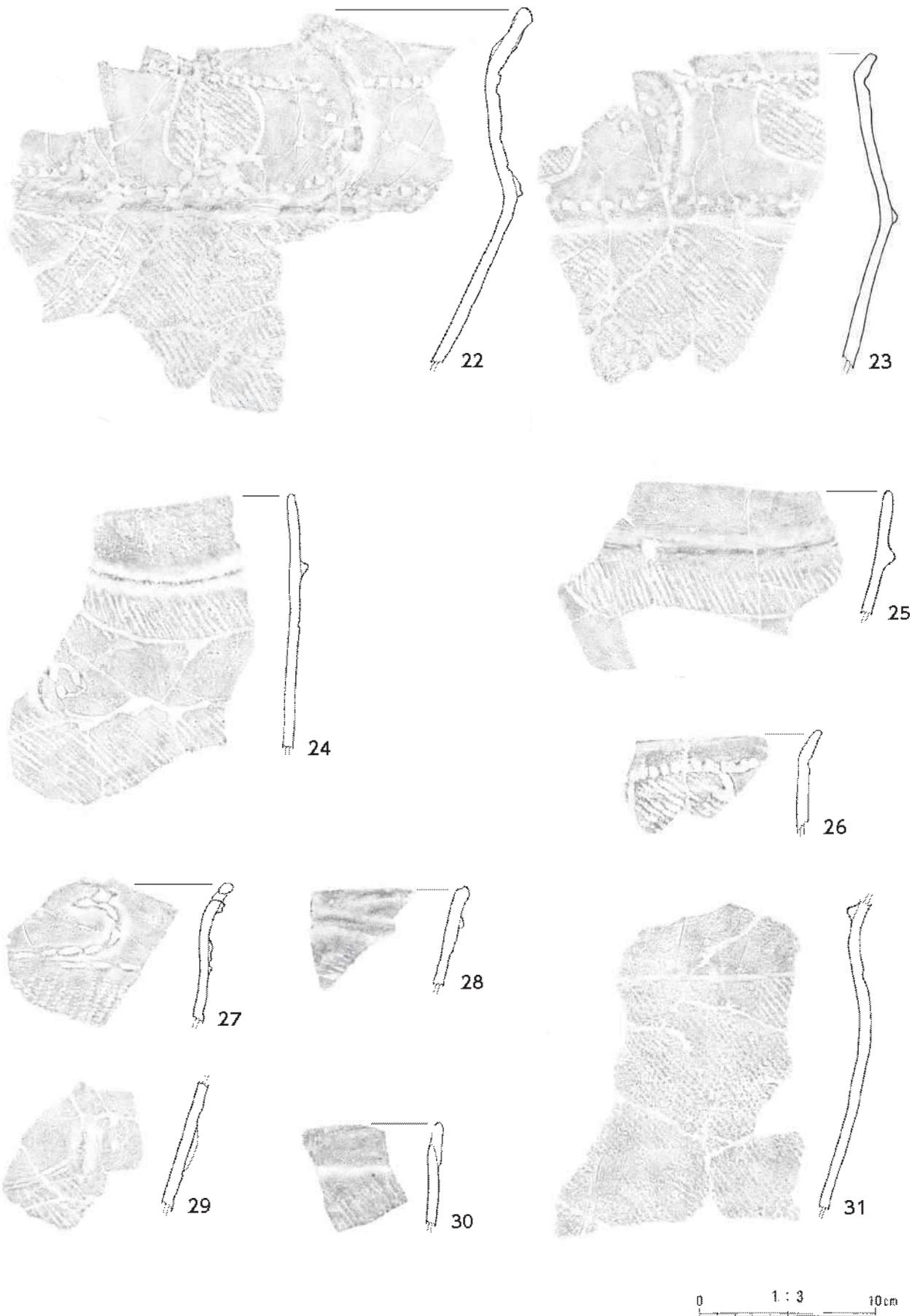
第54図 第9次調査区出土土器



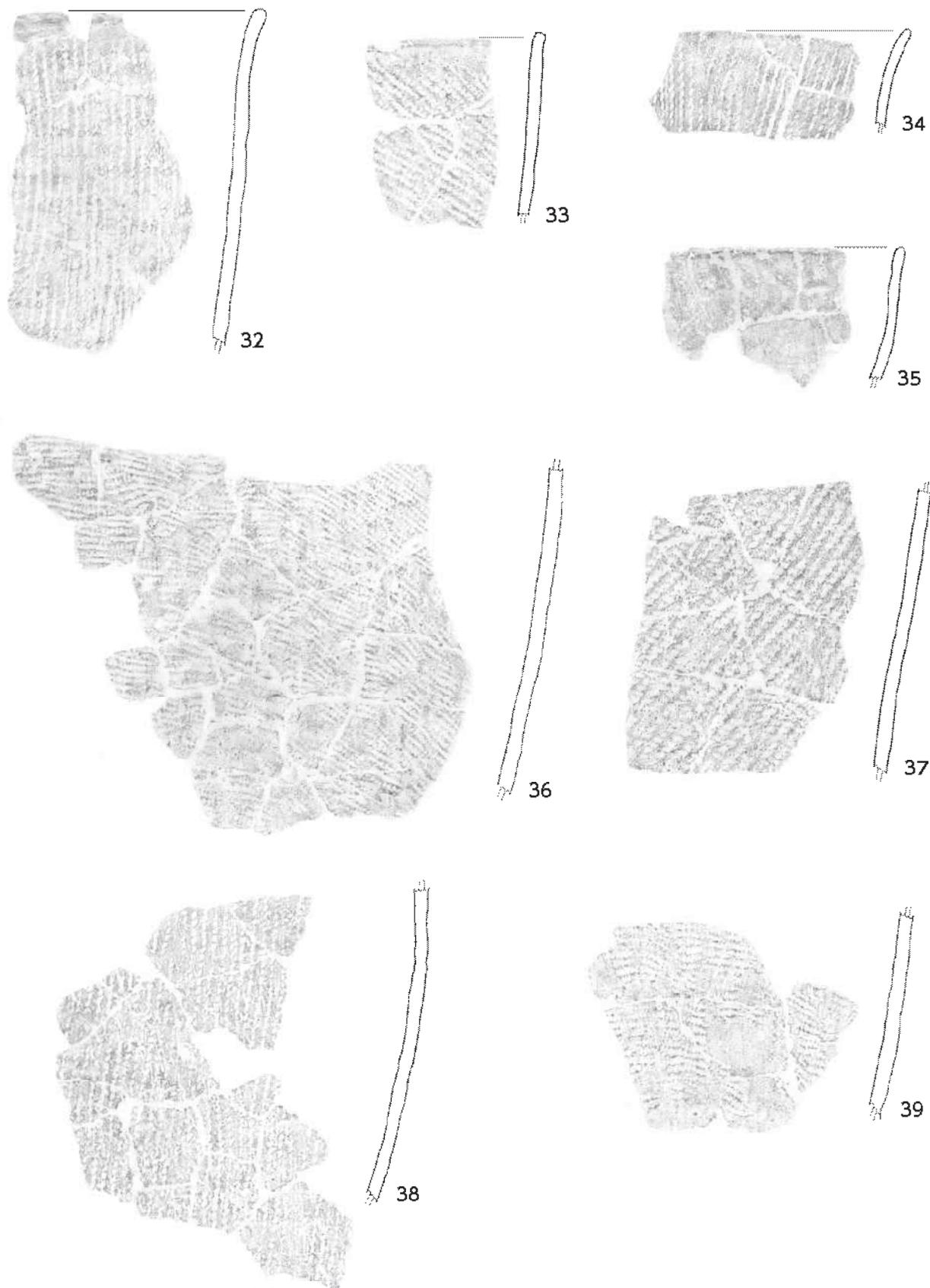
第55图 30号~34号 竖穴住居跡出土土器



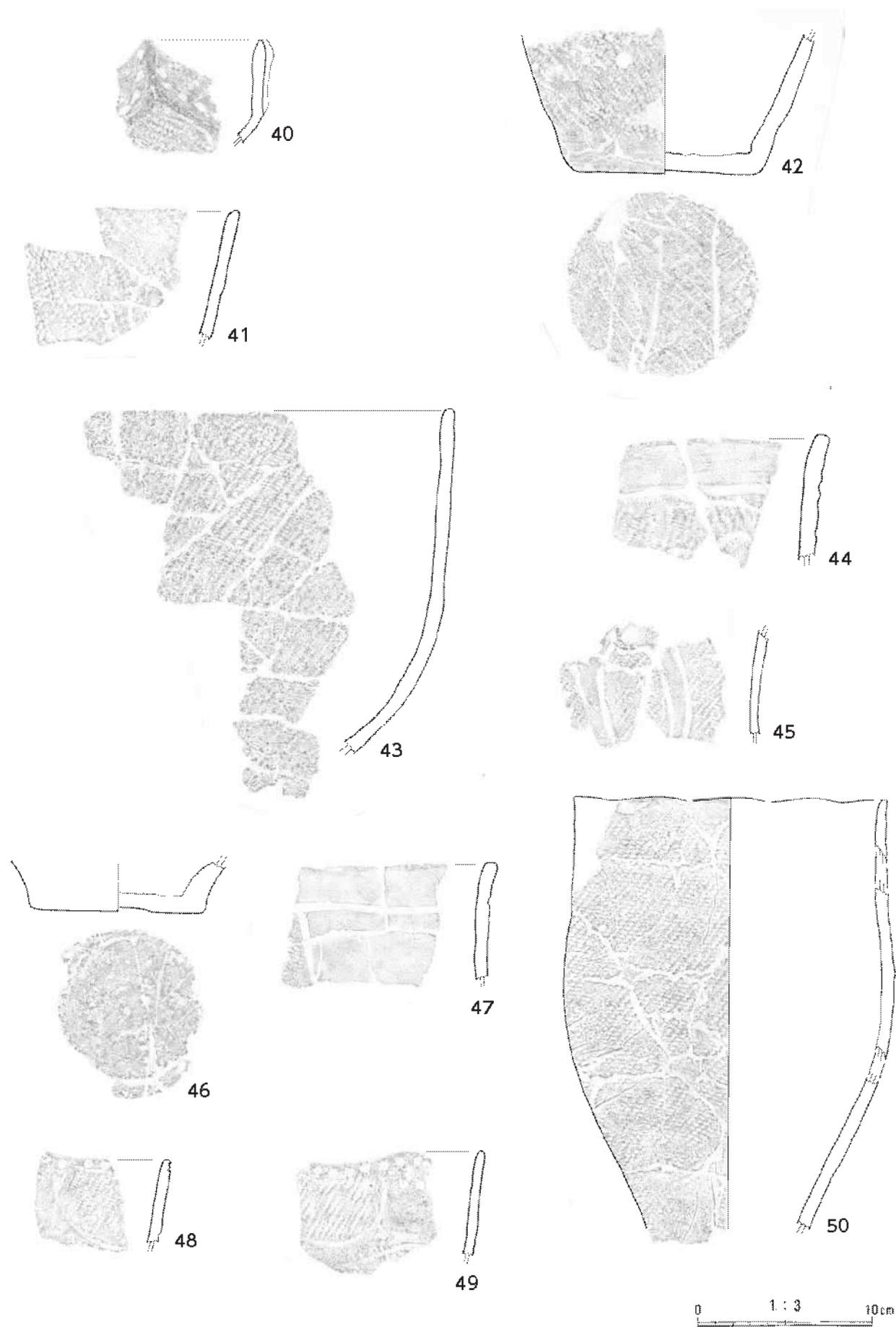
第56图 第8次調査区土坑出土土器



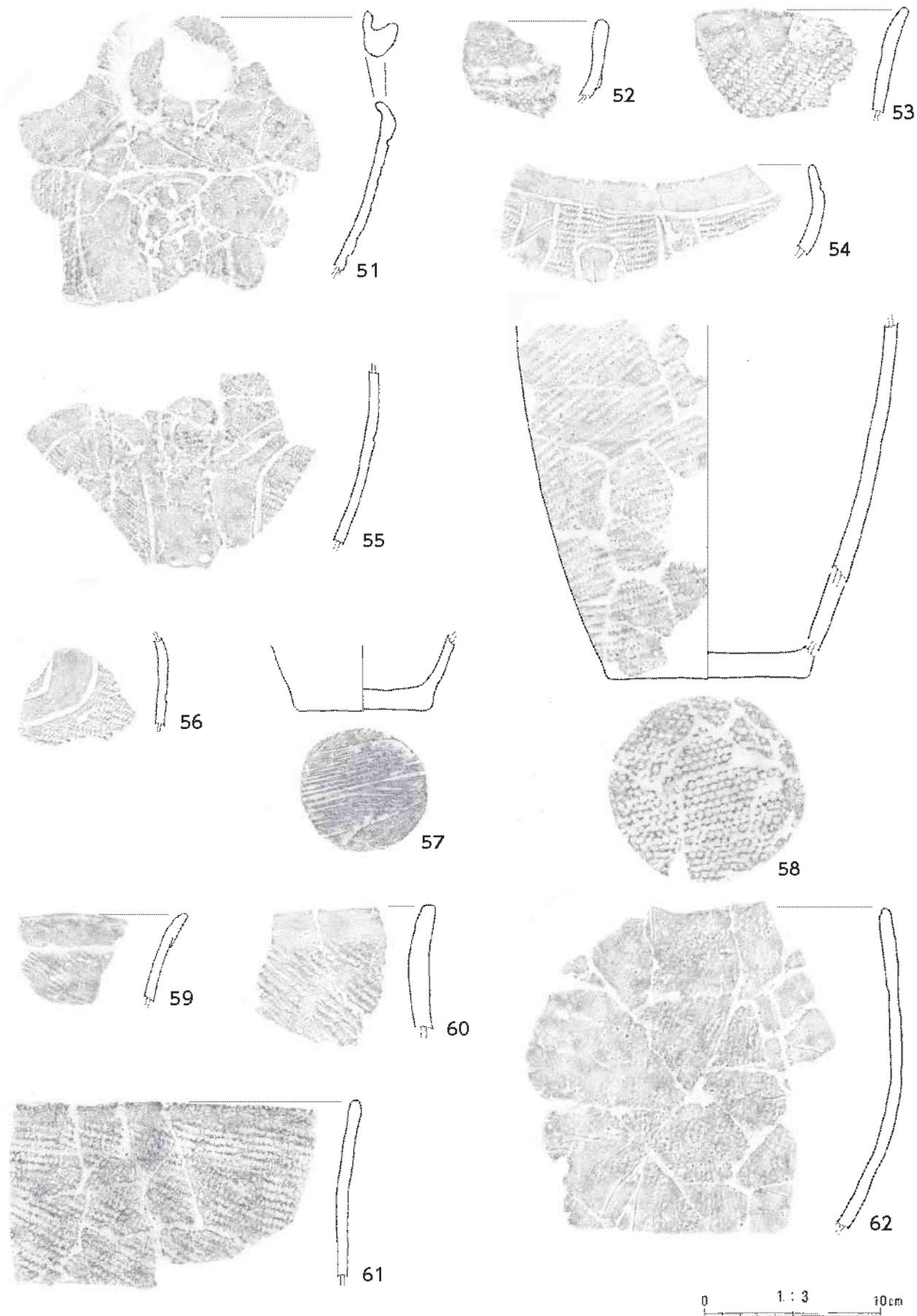
第57图 8号竖穴住居跡出土土器 (1)



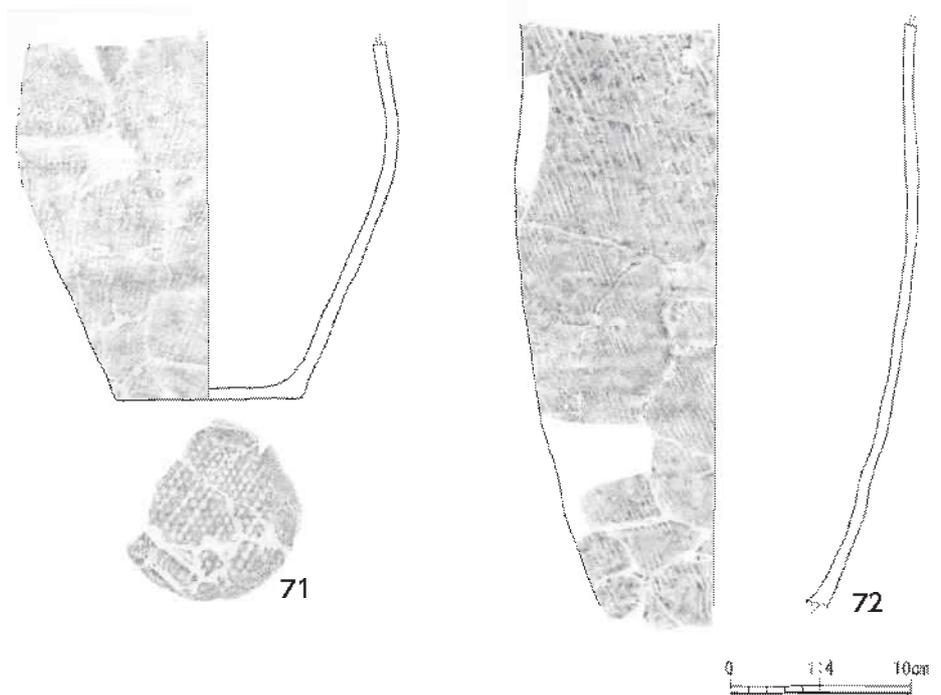
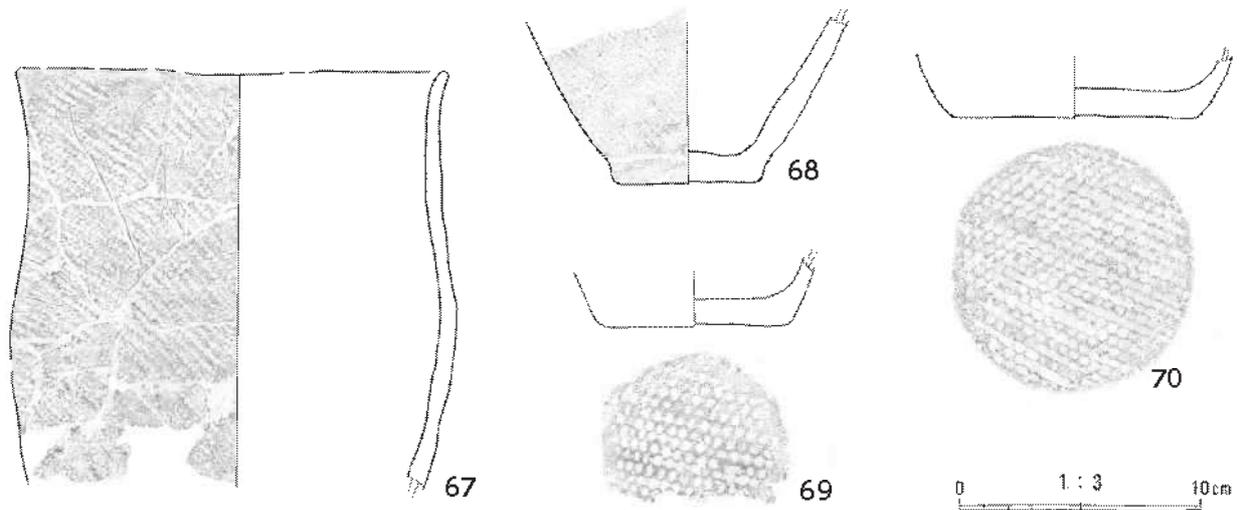
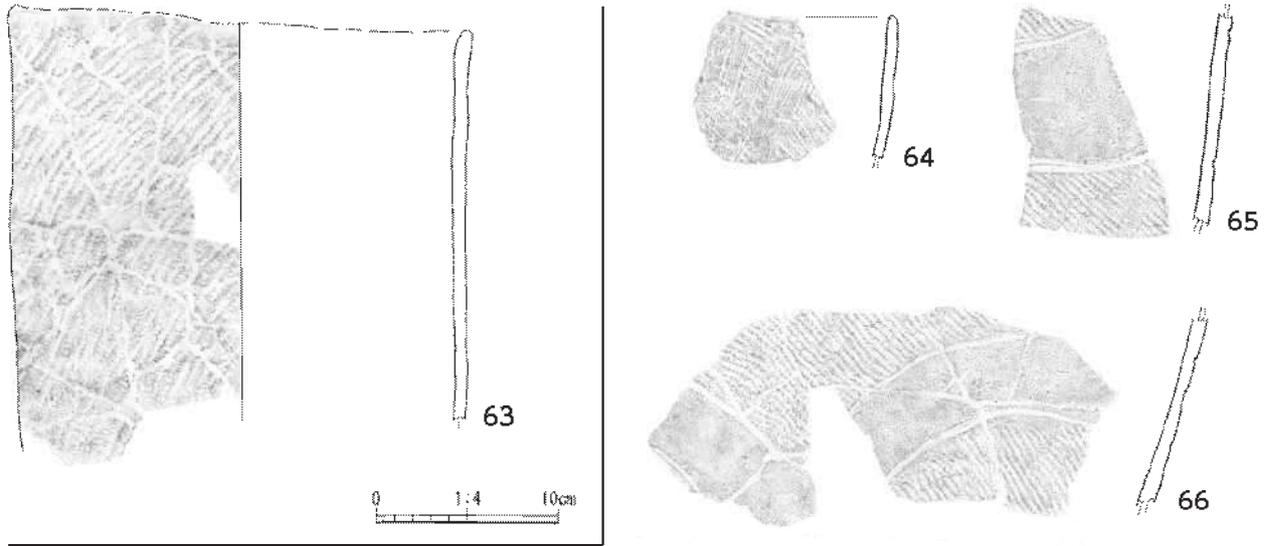
第58图 8号竖穴住居跡出土土器 (2)



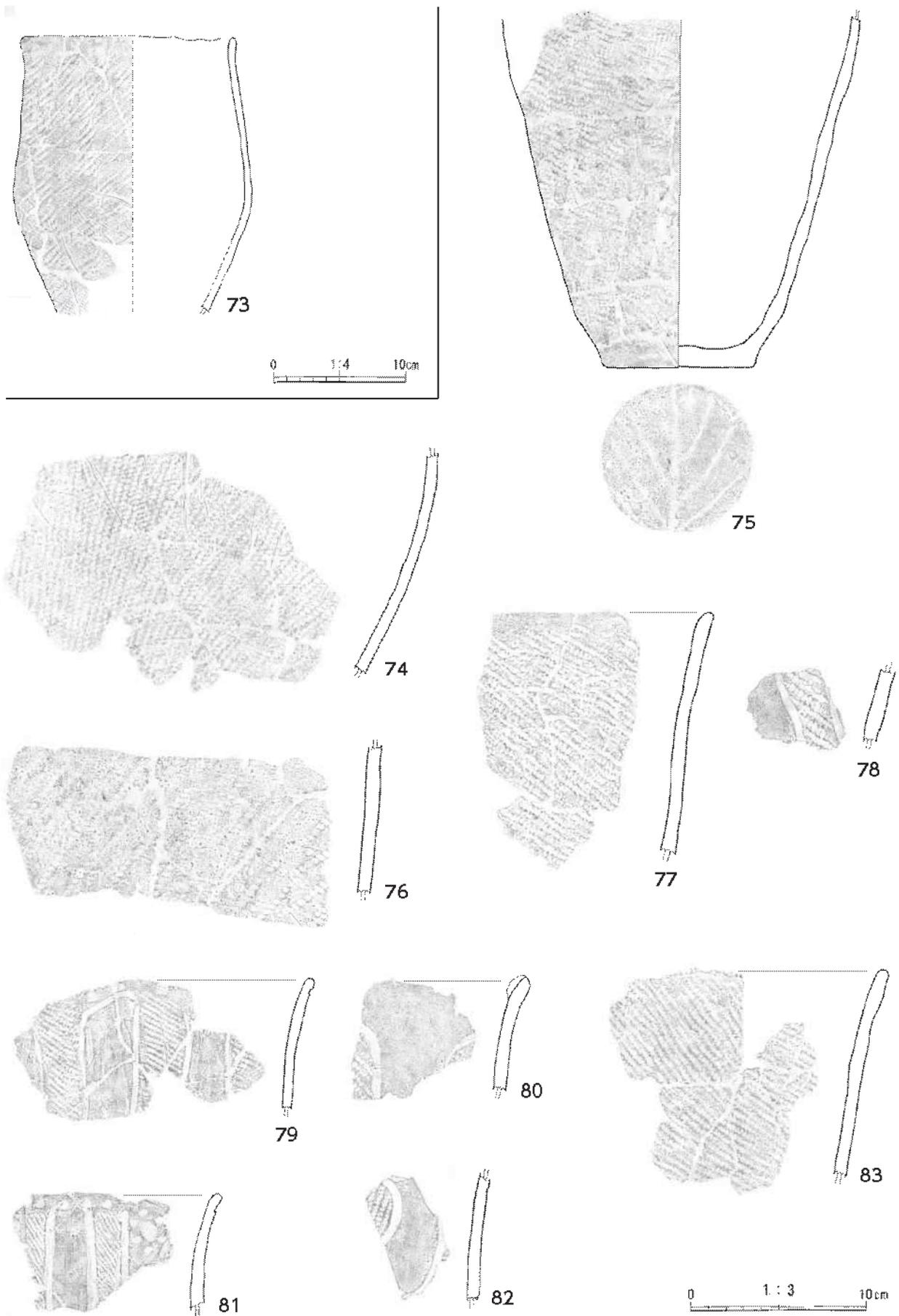
第59图 35号~37、39号竖穴住居跡出土土器



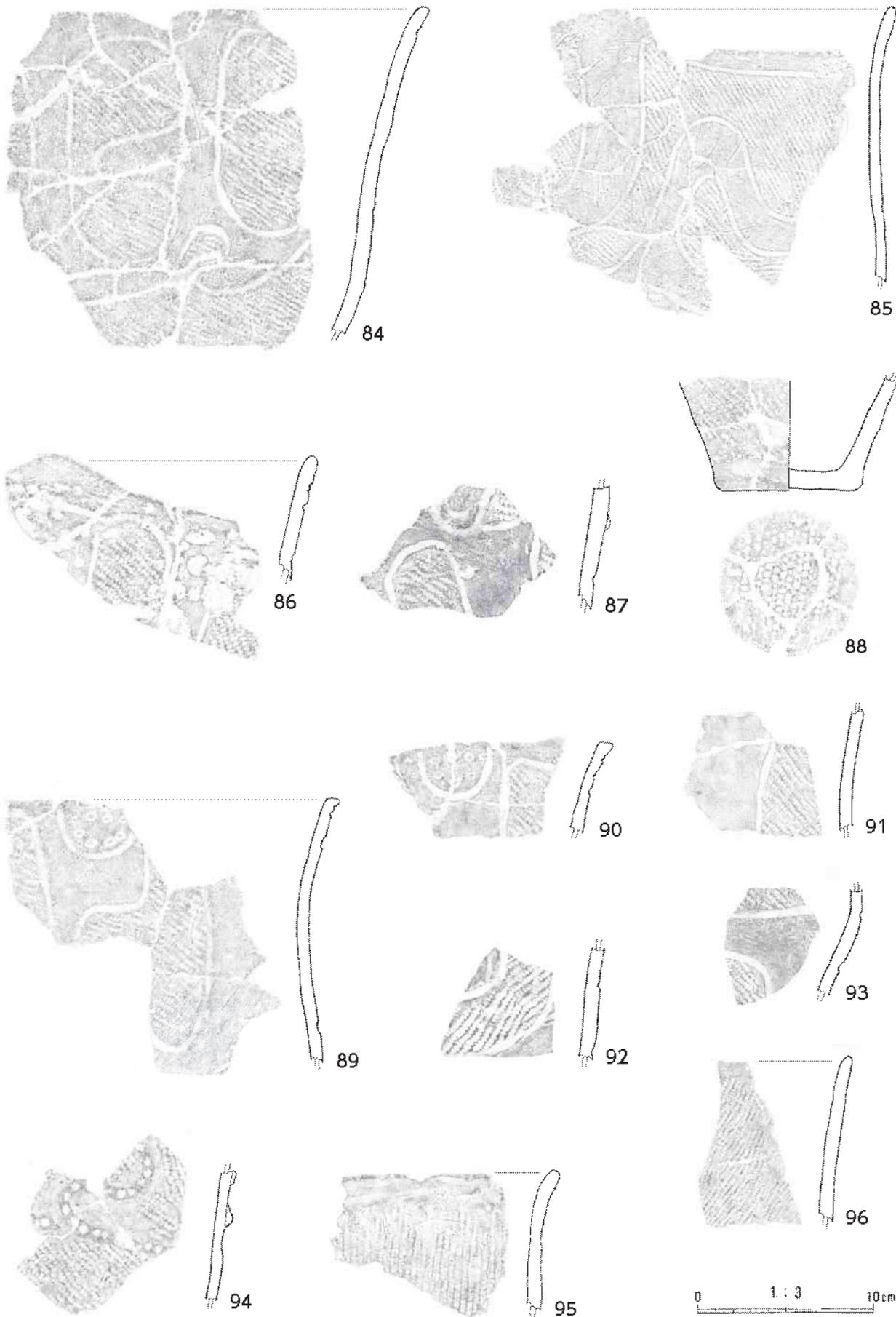
第60图 41号、42号、44号竖穴住居跡出土土器



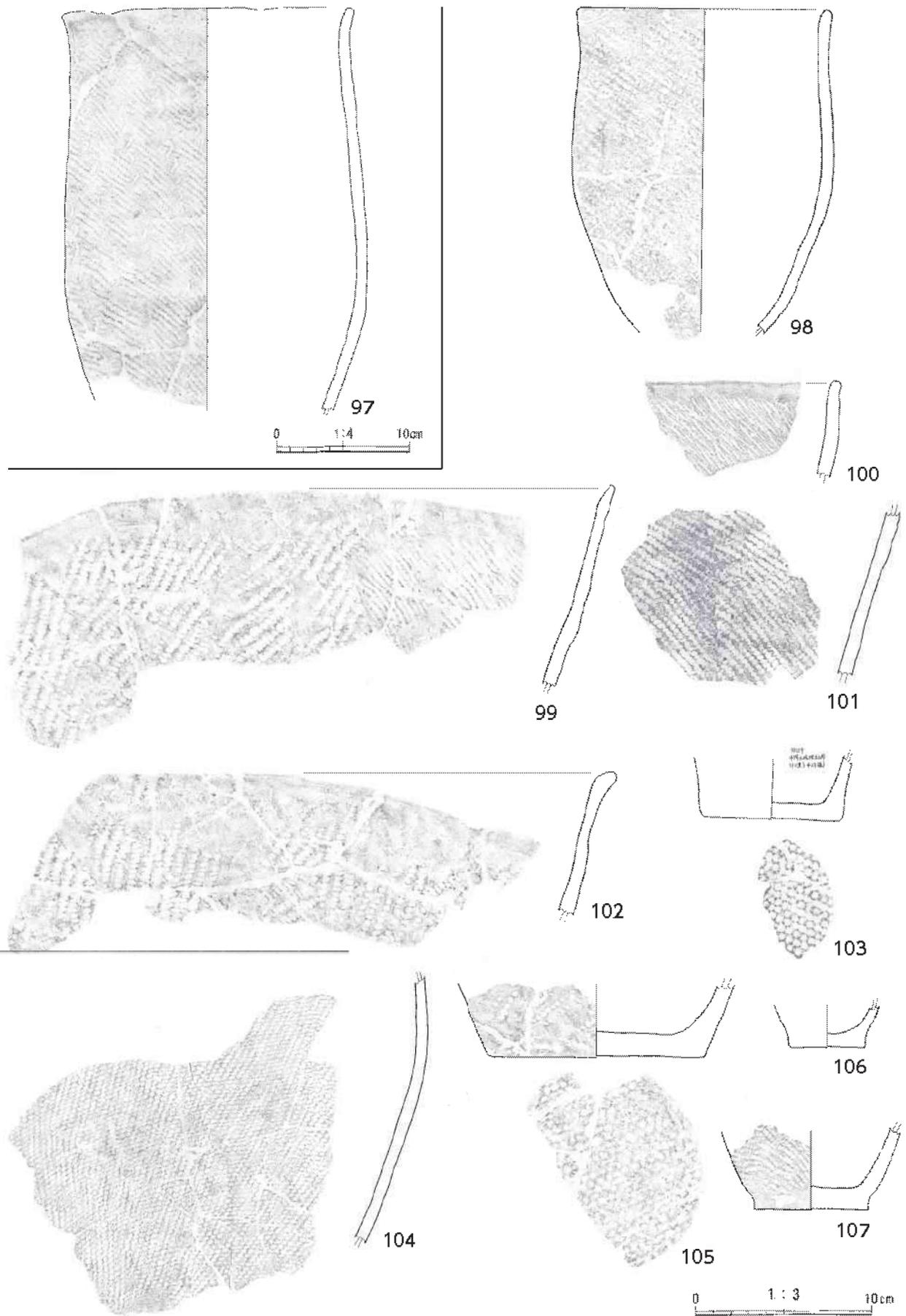
第61图 44号、45号竖穴住居跡出土土器



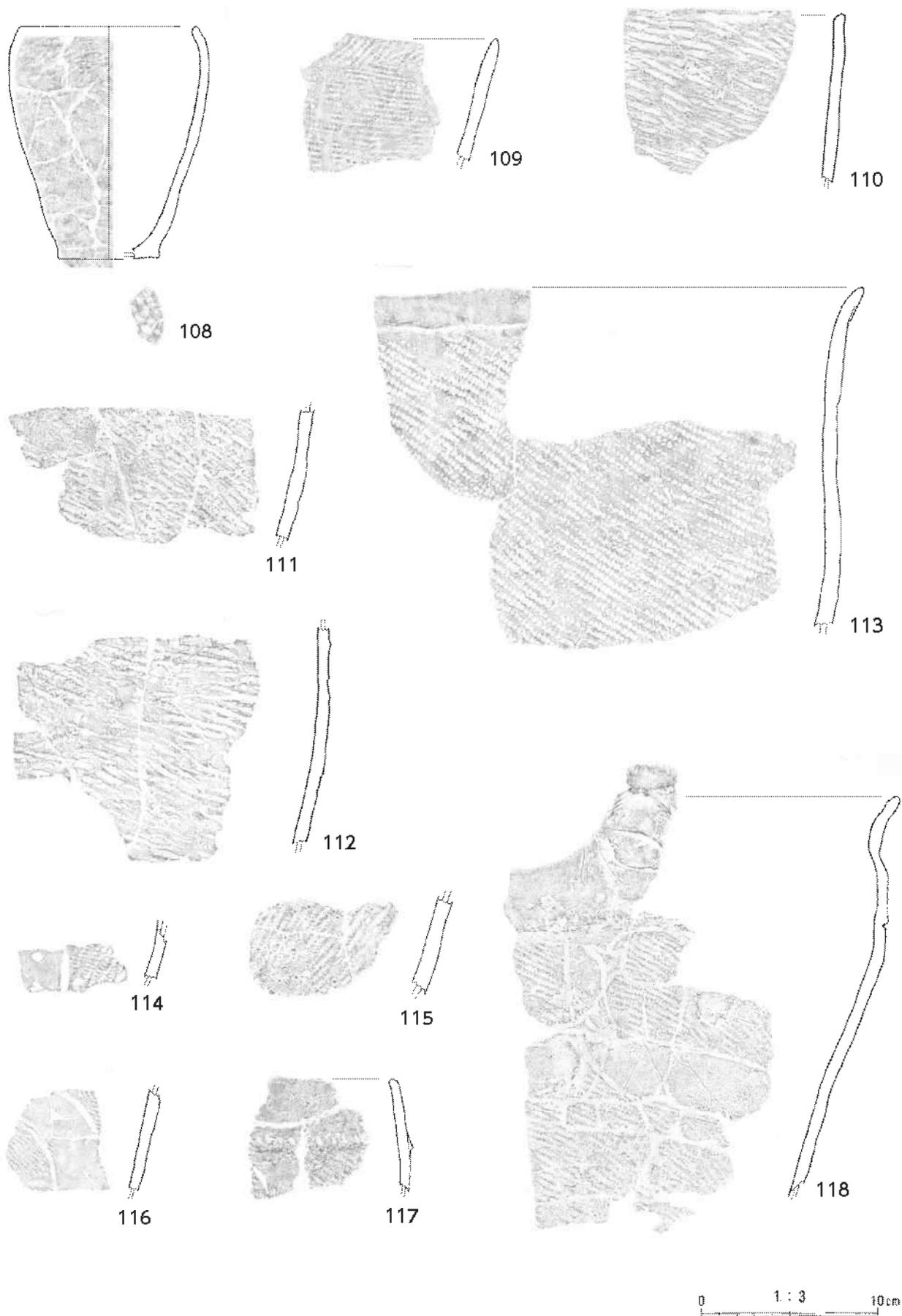
第62图 45号~48号竖穴住居跡出土土器



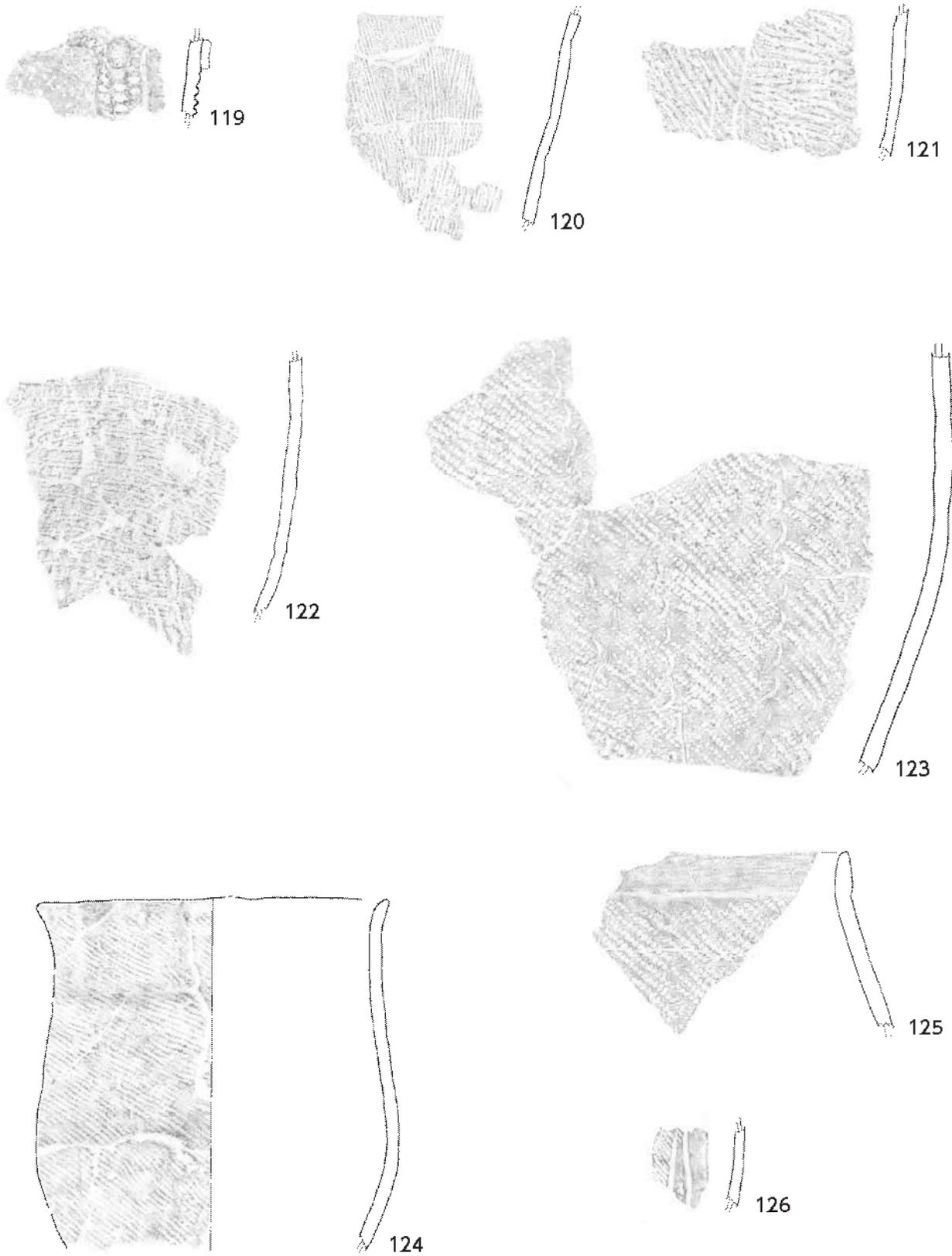
第63图 51号、52号竖穴住居跡出土土器



第64图 52号竖穴住居跡出土土器

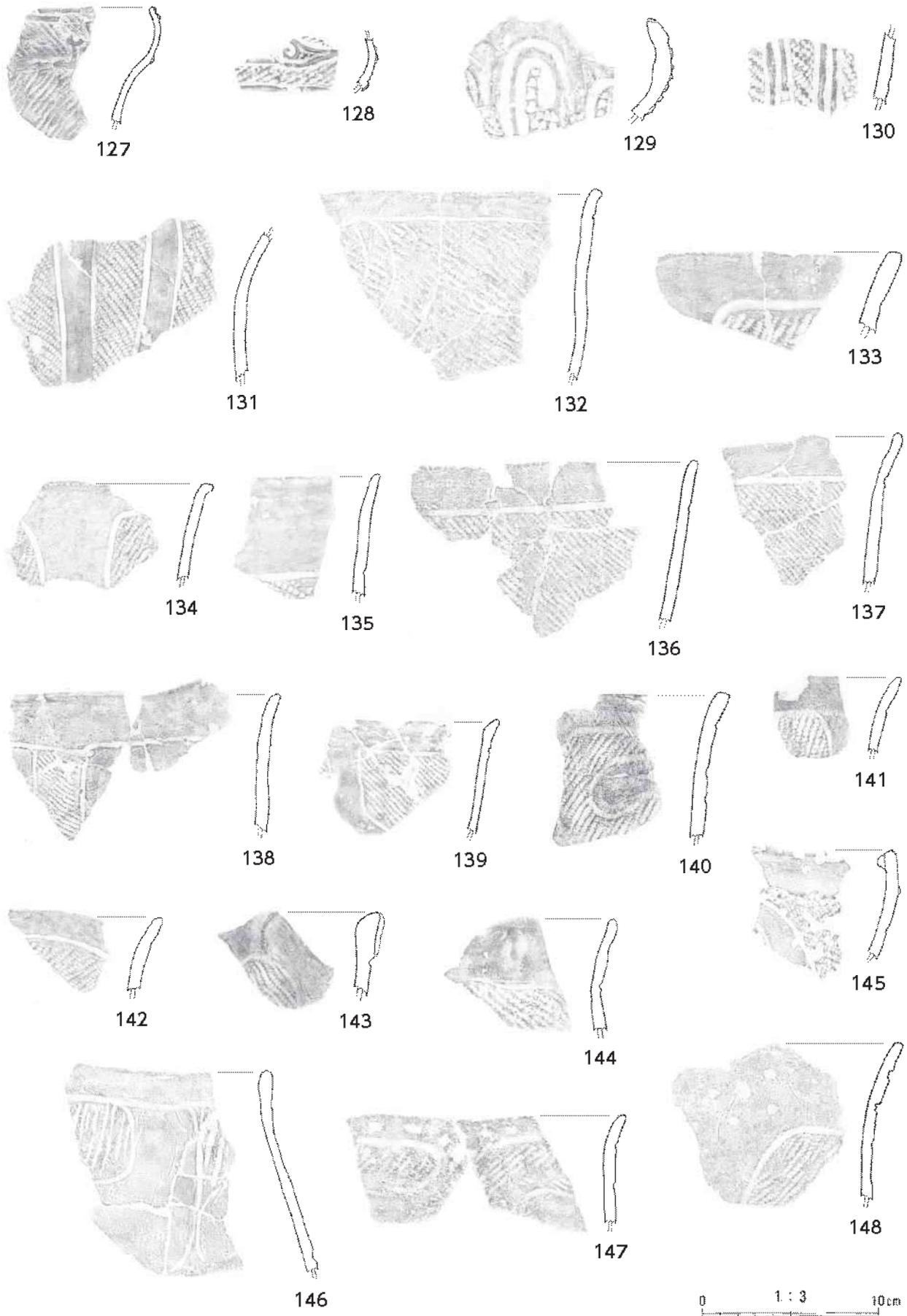


第65图 第9次調査区土坑出土土器 (1)

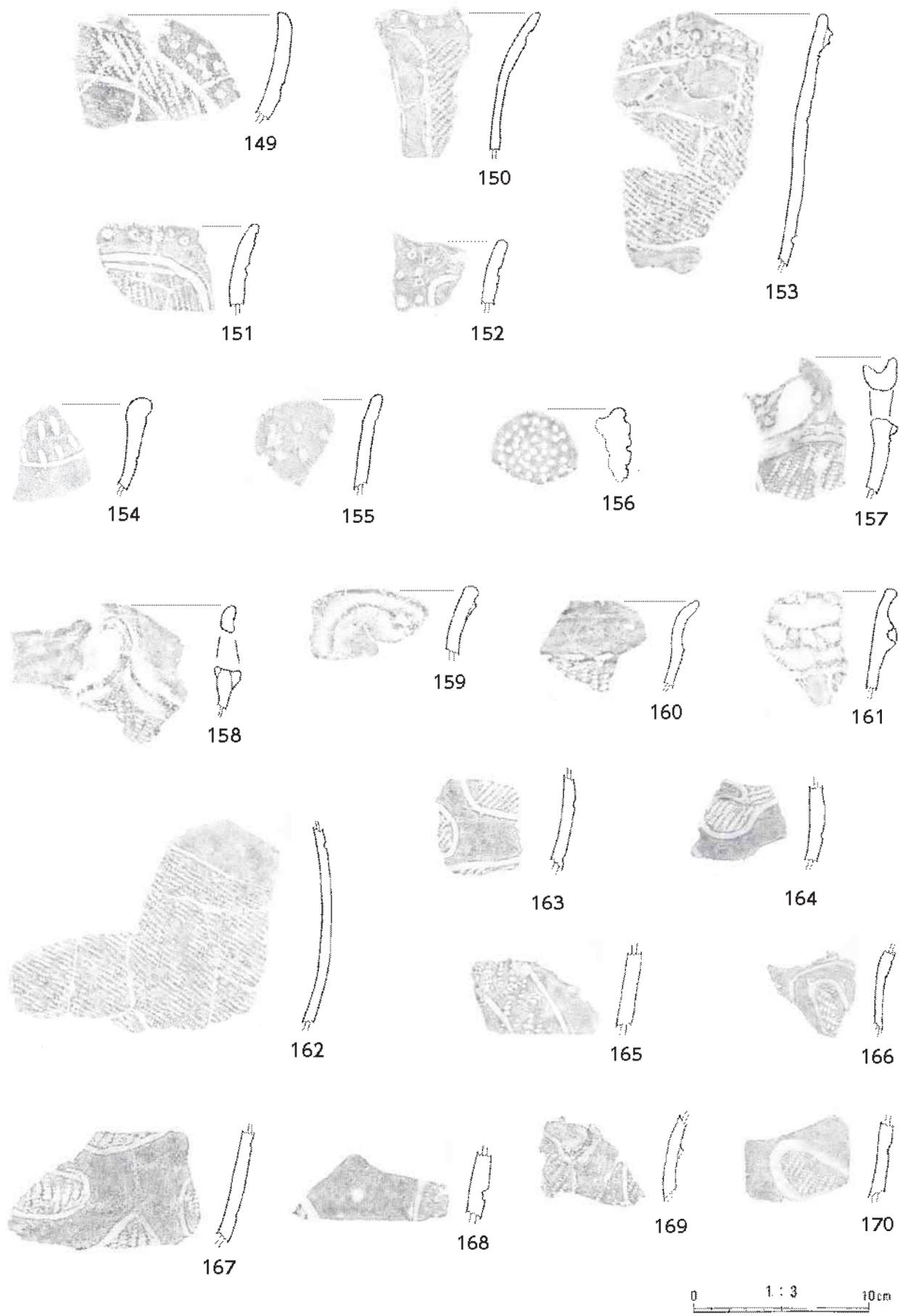


0 1 : 3 10cm

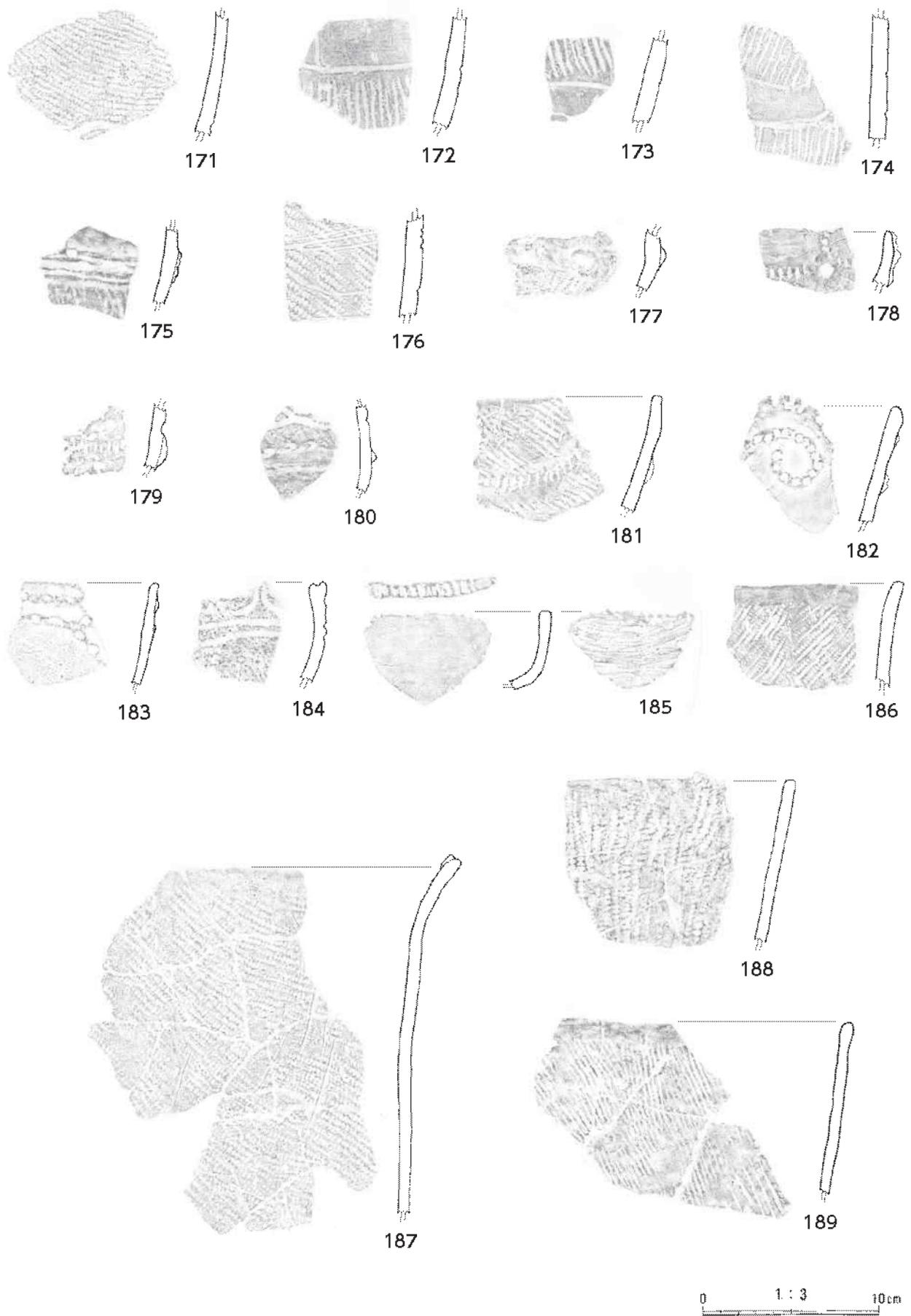
第66図 第9次調査区土坑出土土器 (2)



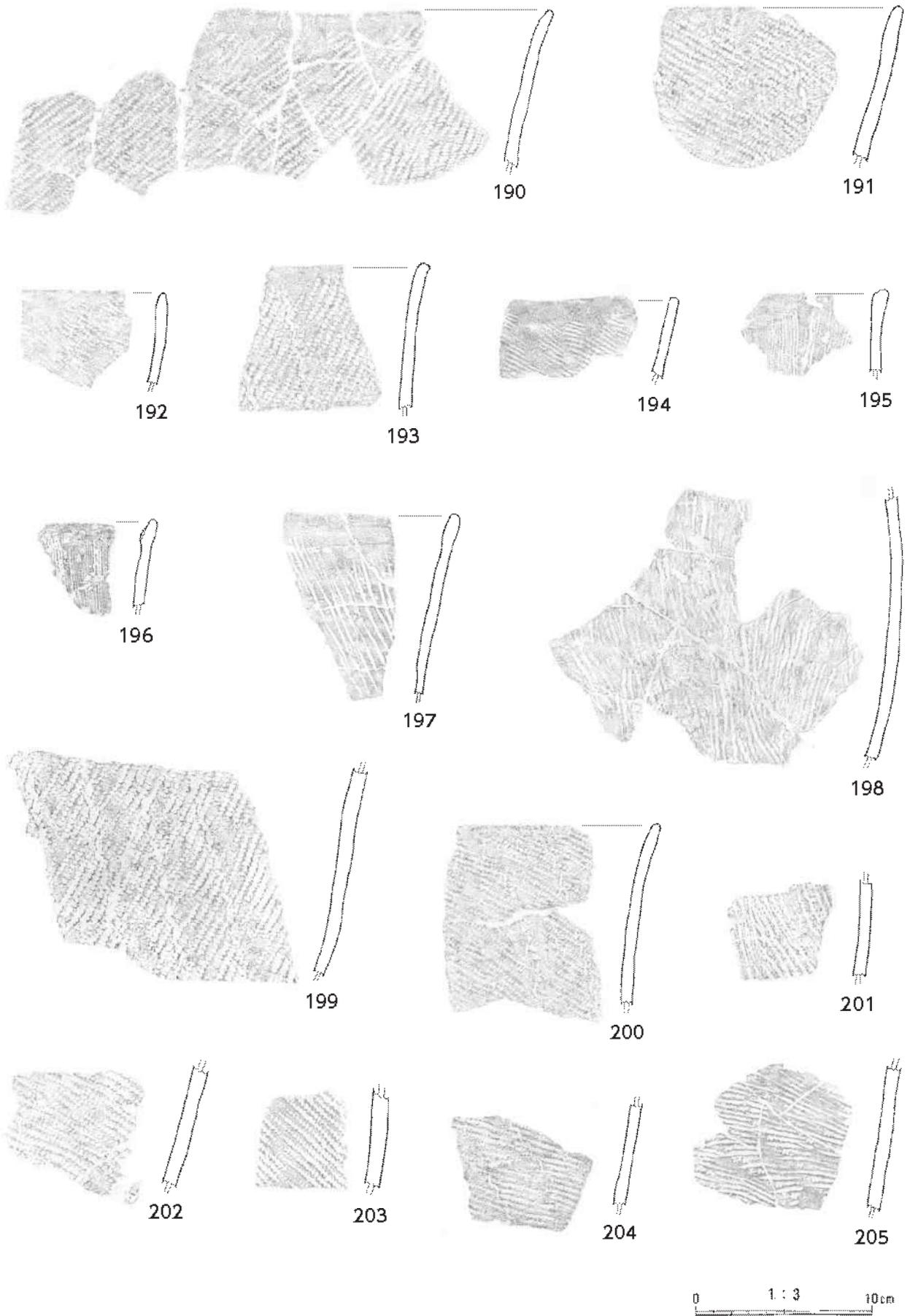
第67図 第9次調査区遺構外出土土器 (1)



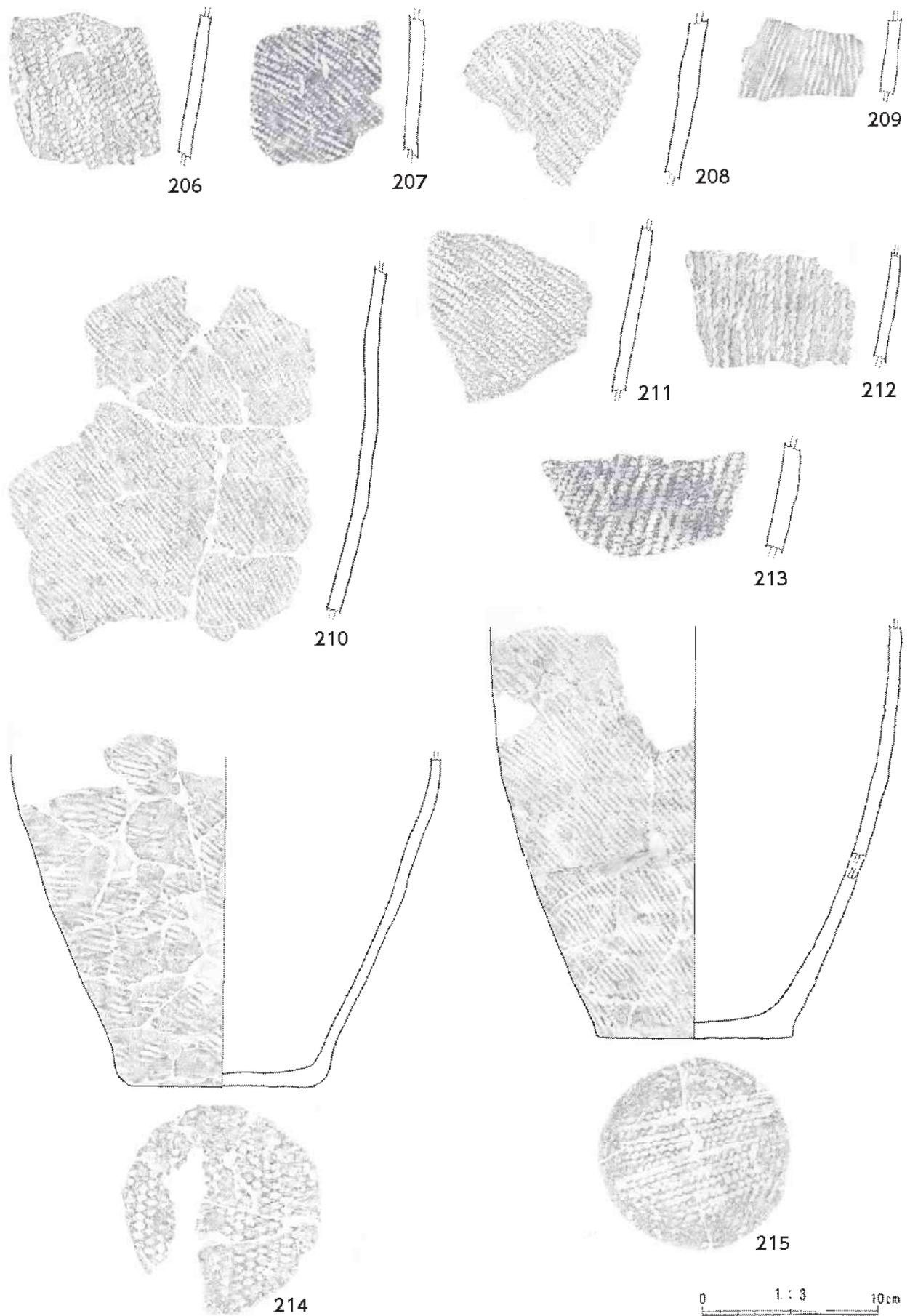
第68図 第9次調査区遺構外出土土器 (2)



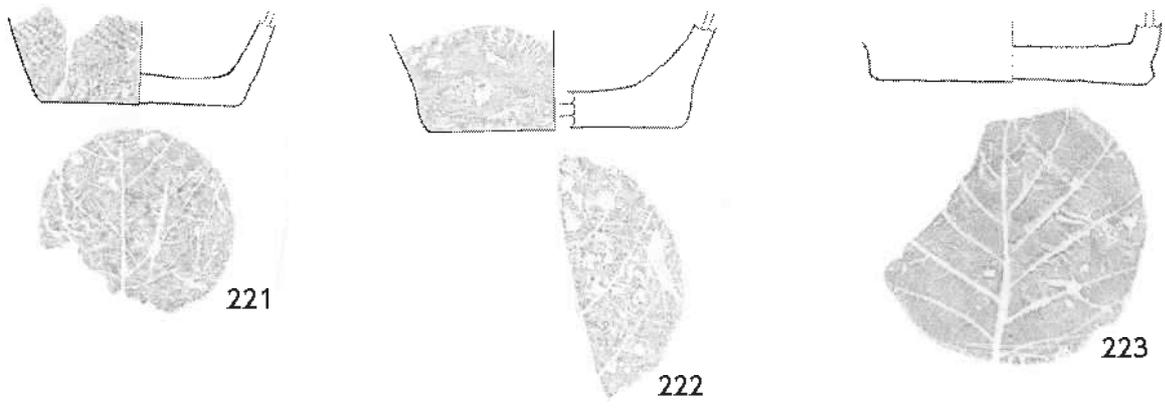
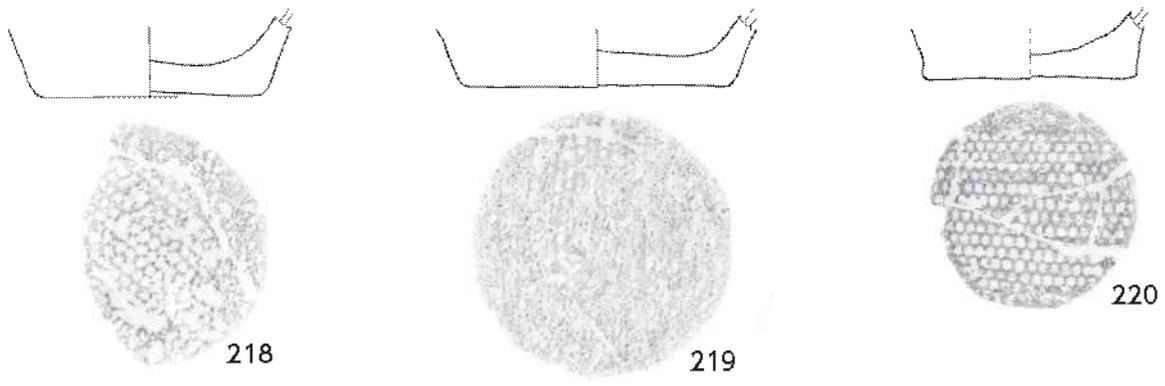
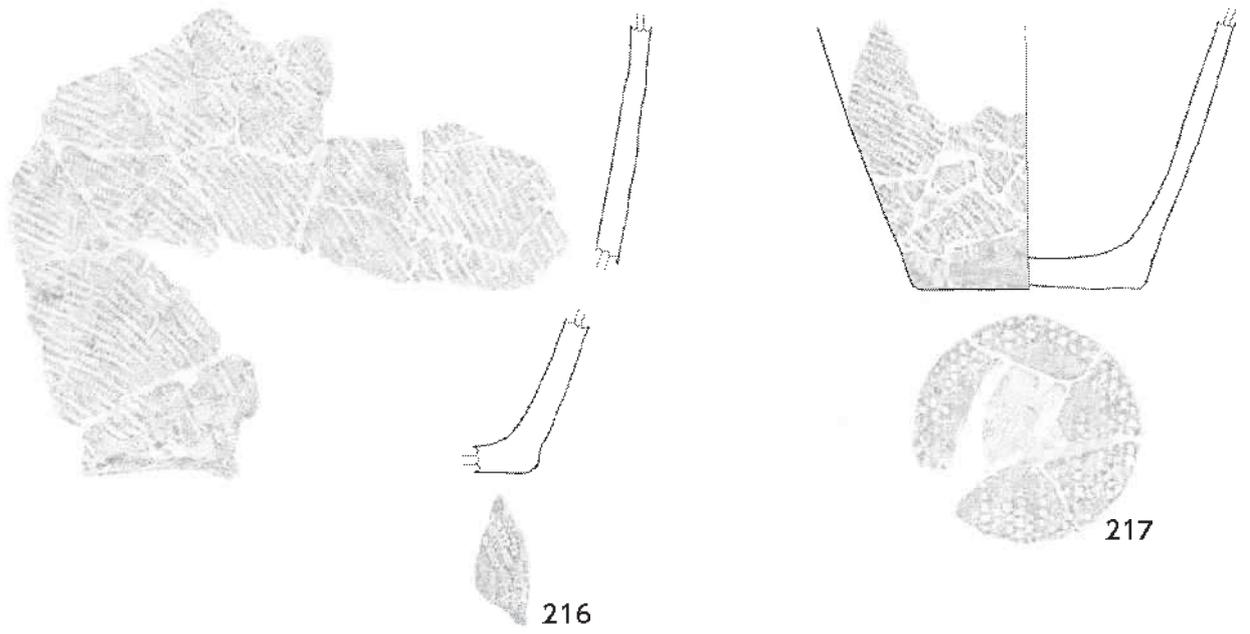
第69図 第9次調査区遺構外出土土器 (3)



第70図 第9次調査区遺構外出土土器 (4)

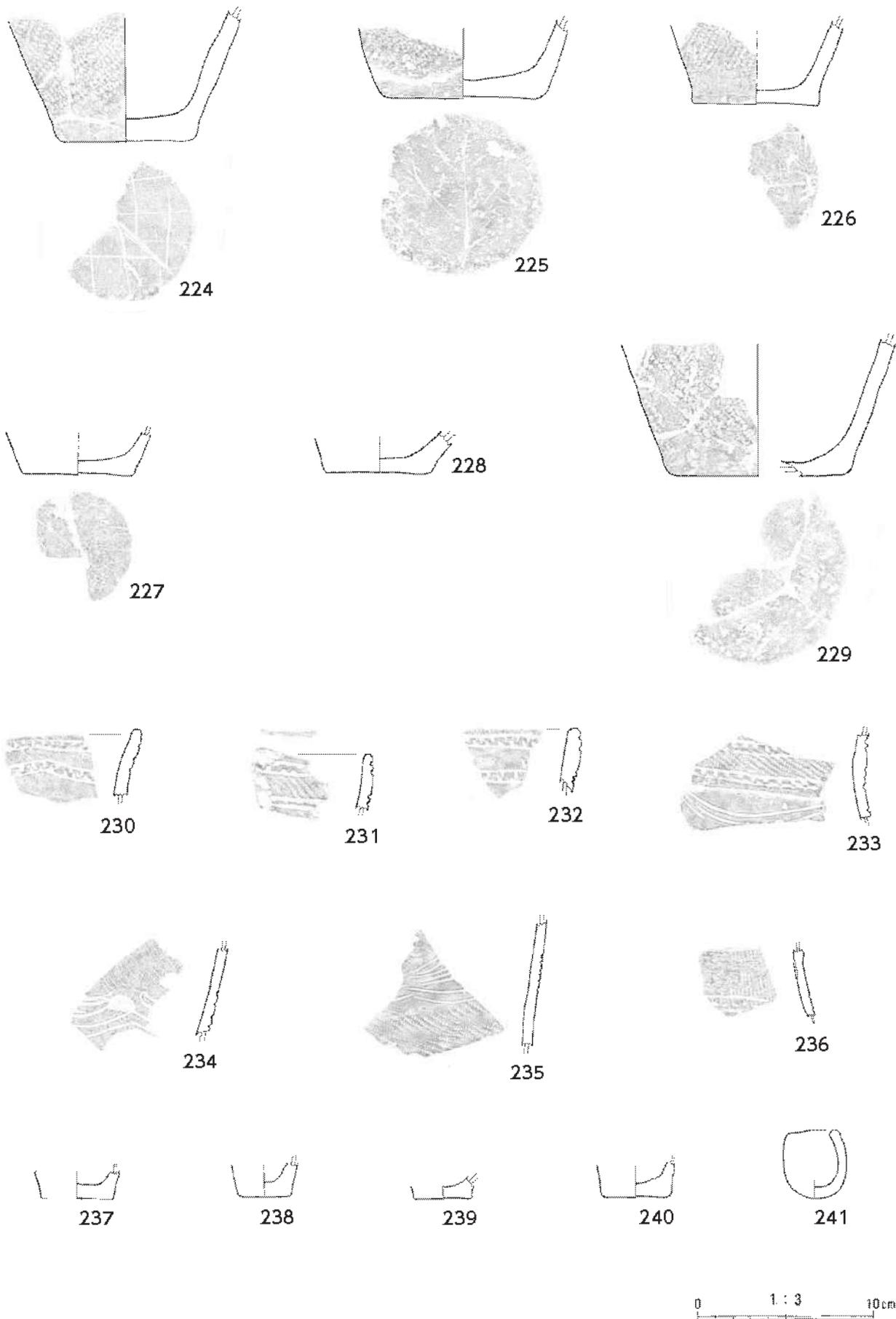


第71図 第9次調査区遺構外出土土器 (5)

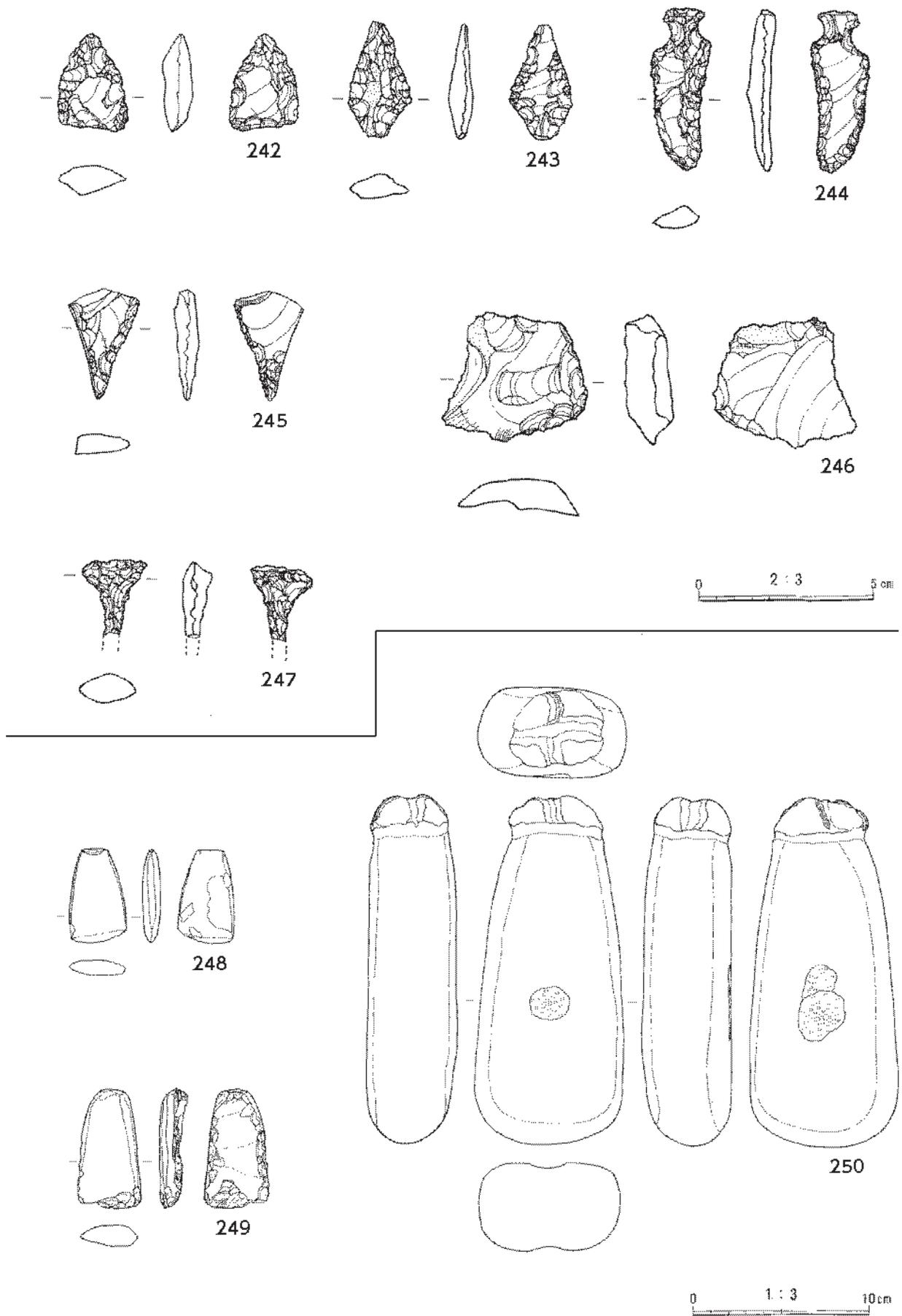


0 1:3 10cm

第72図 第9次調査区遺構外出土土器 (6)



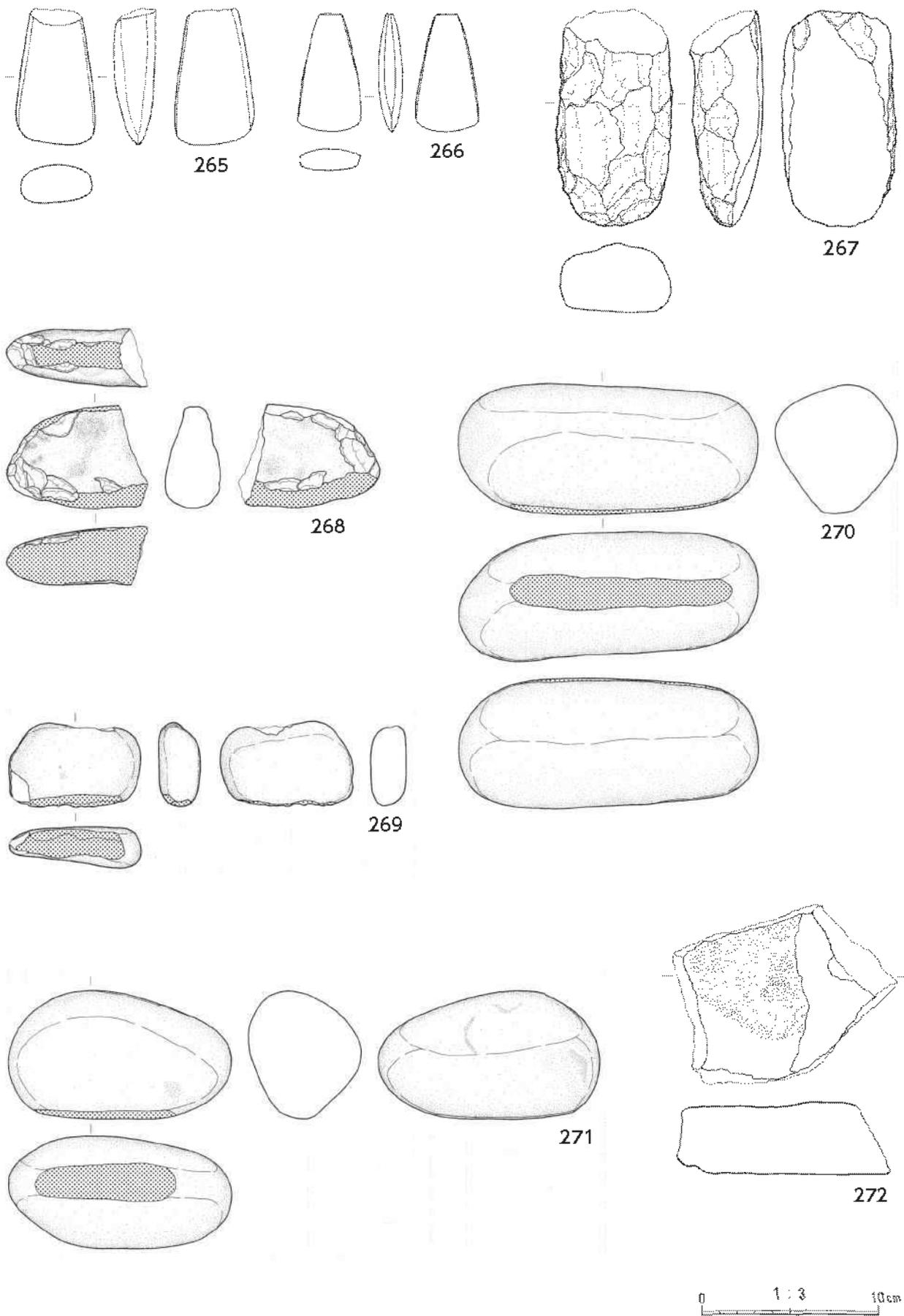
第73図 第9次調査区遺構外出土土器 (7)



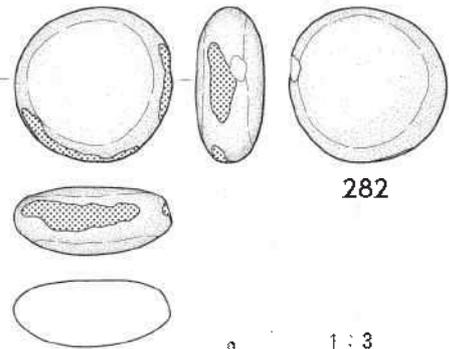
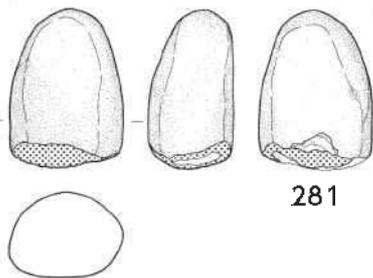
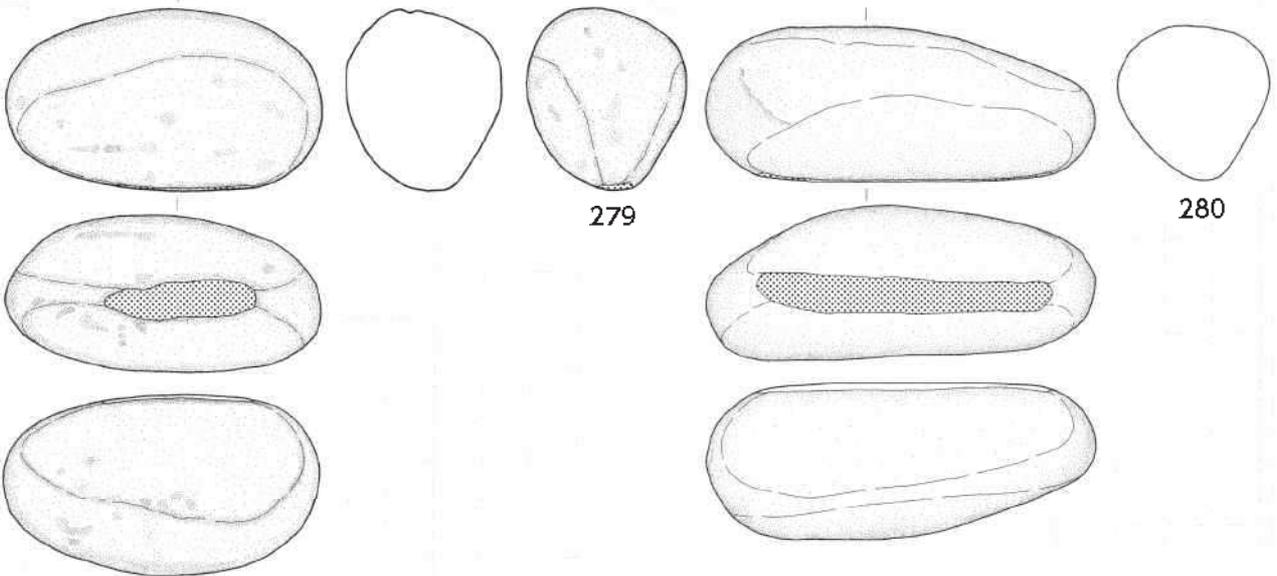
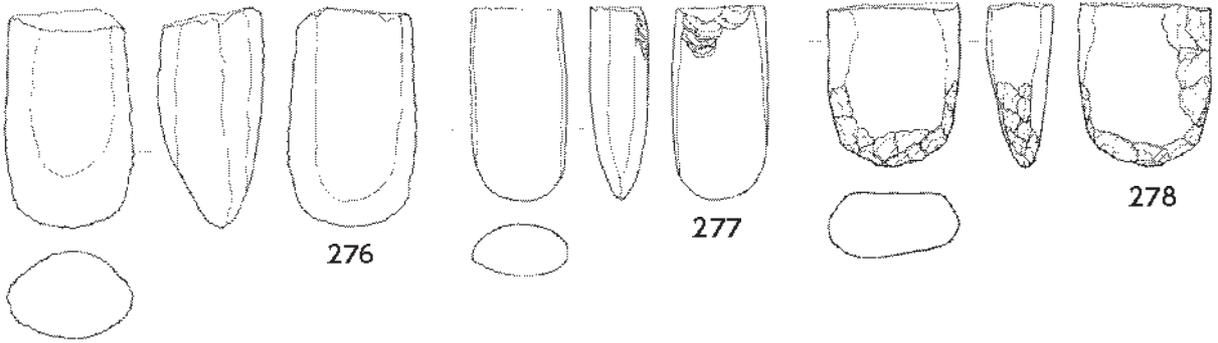
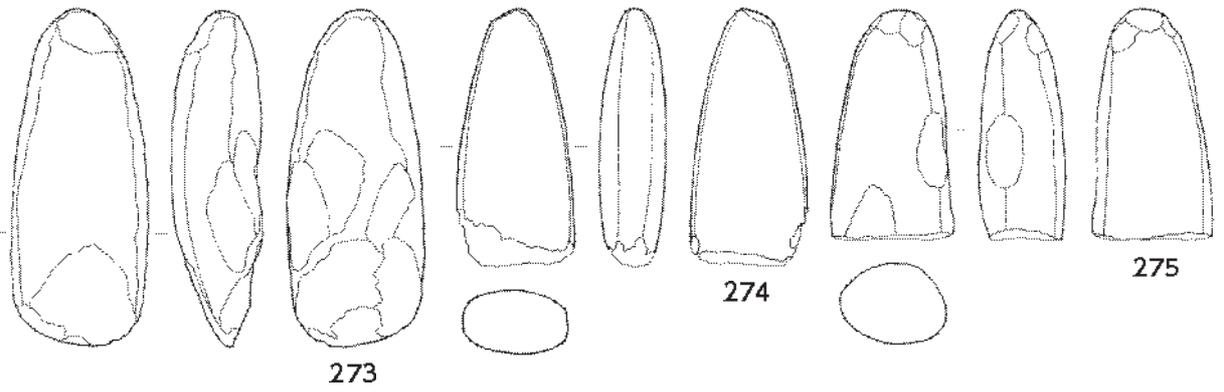
第74图 第8次調査区出土剥片石器



第75图 第9次調査区出土剥片石器

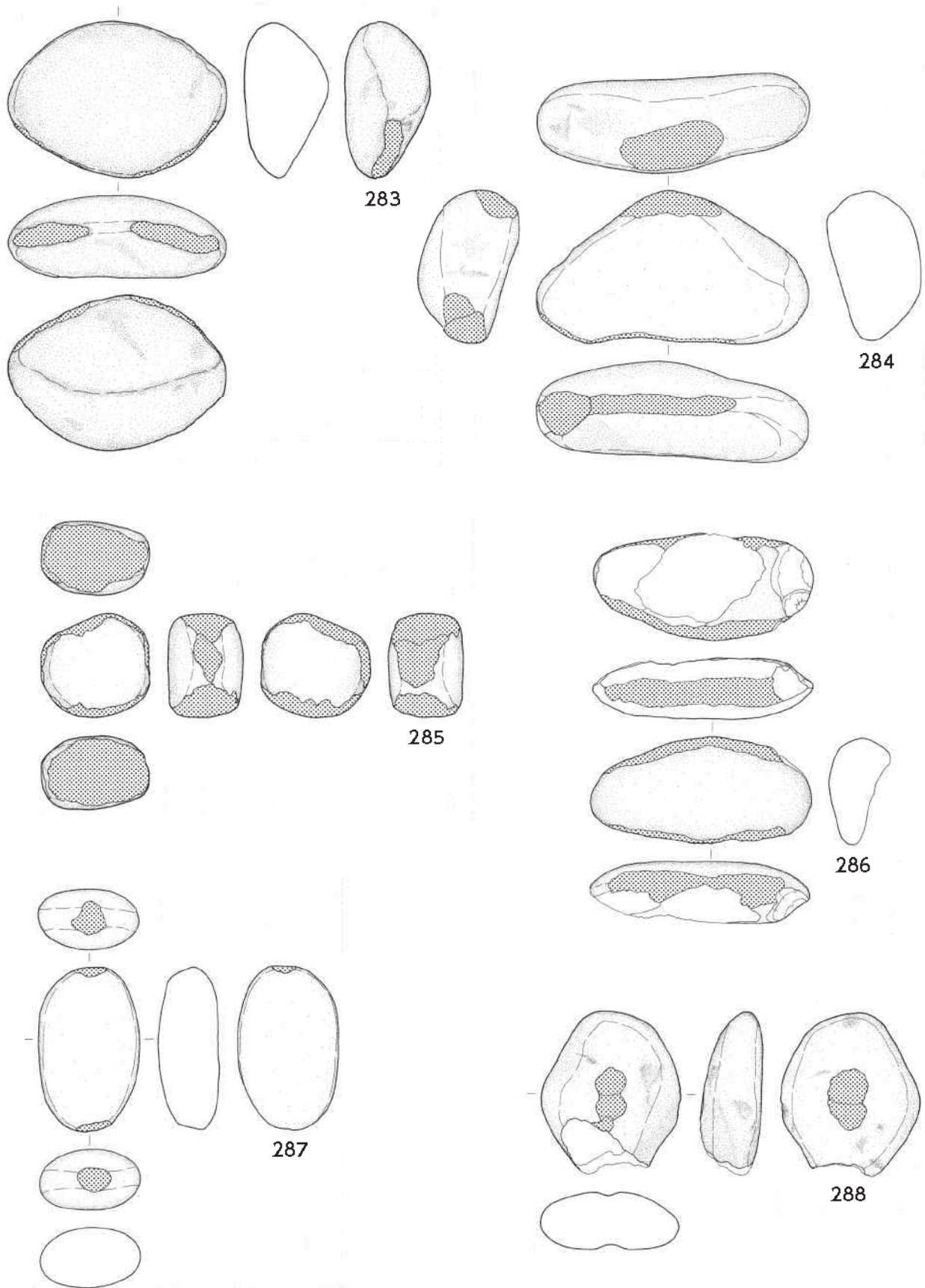


第76図 第8次調査区遺構内出土石器

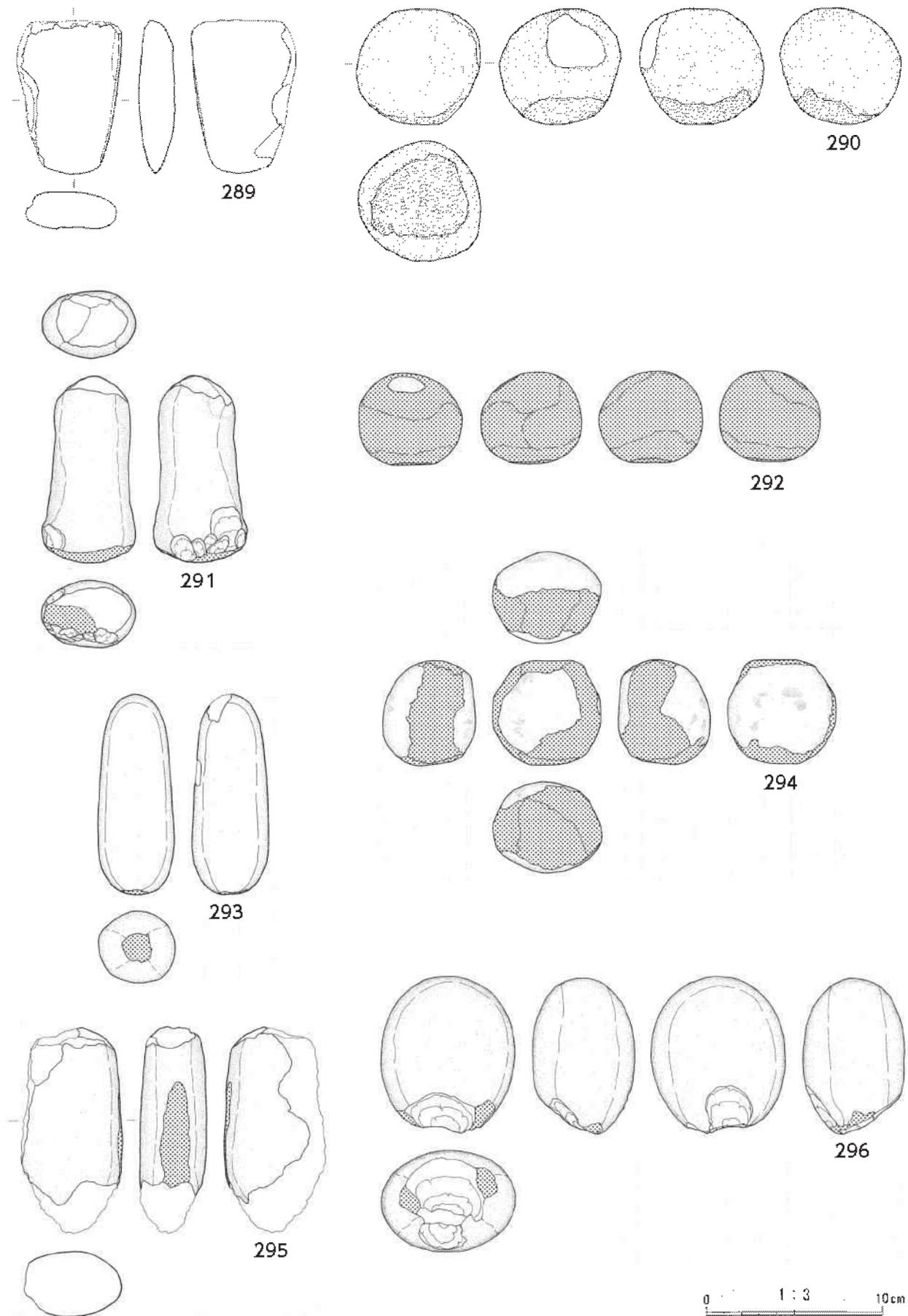


0 1:3 10cm

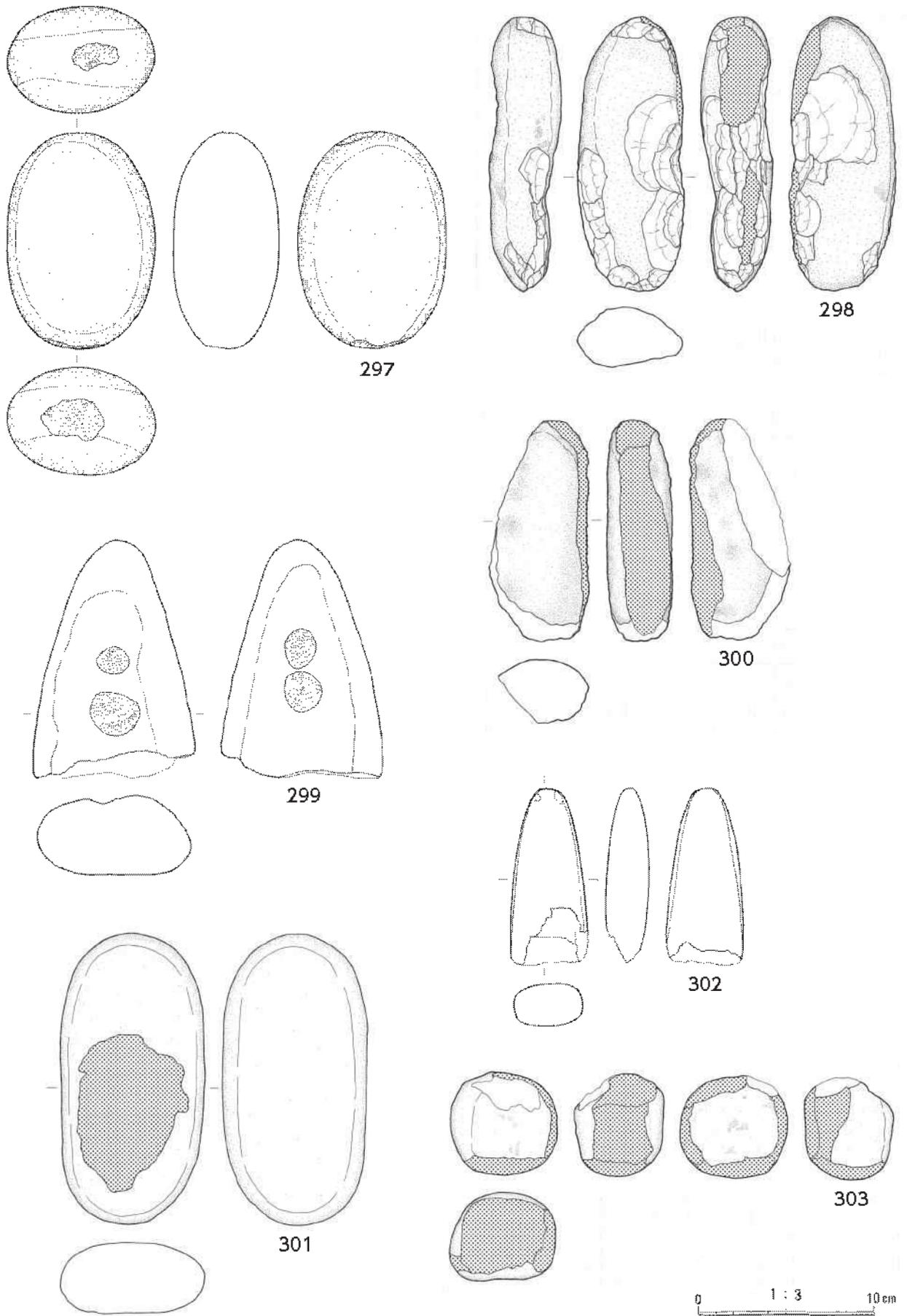
第77図 第8次調査区遺構外出土石器 (1)



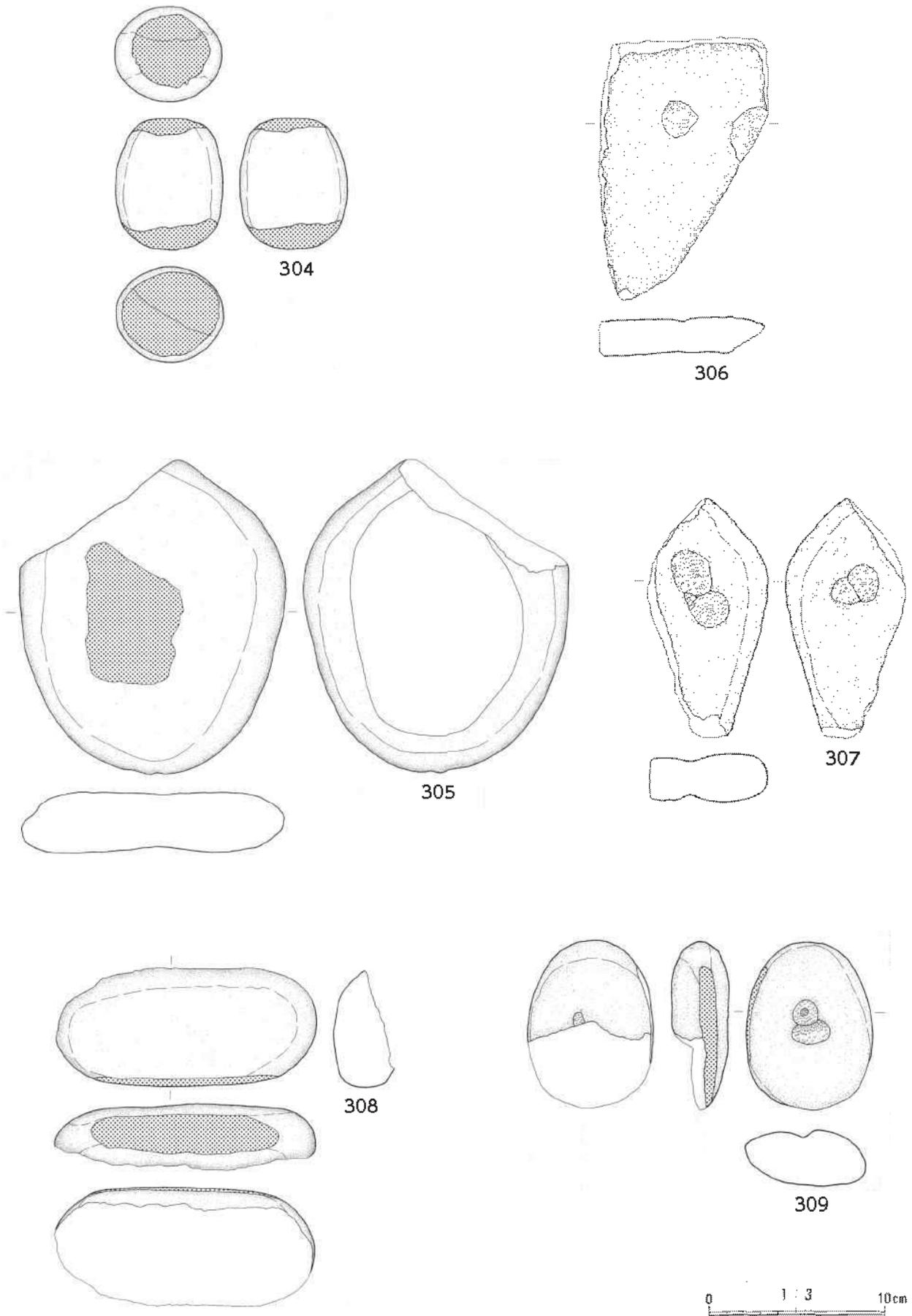
第78図 第8次調査区遺構外出土石器 (2)



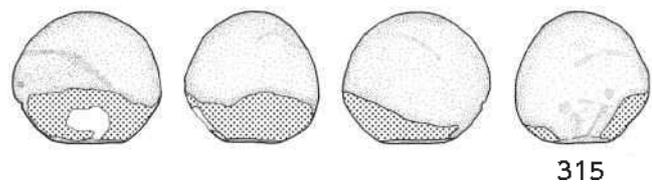
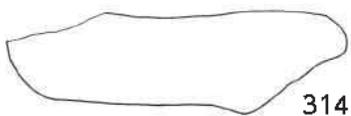
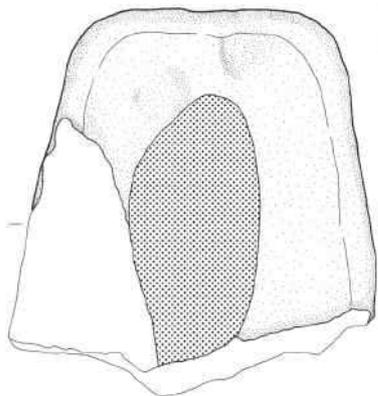
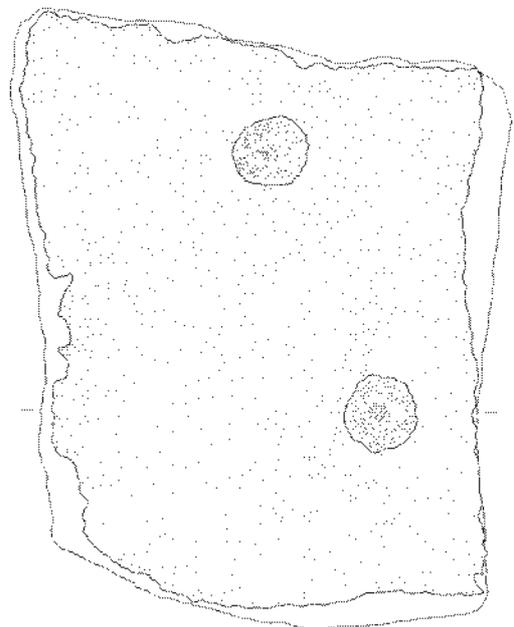
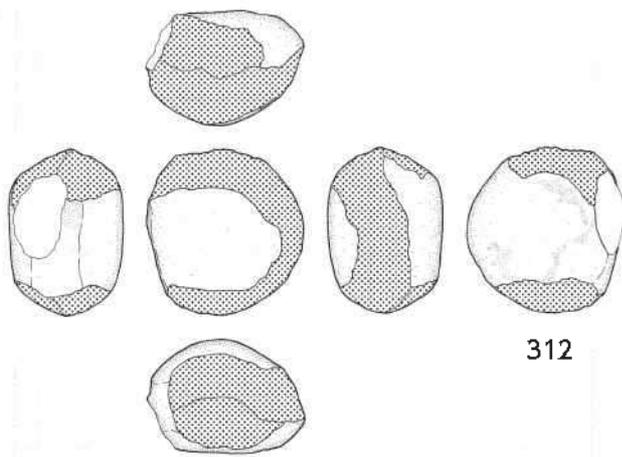
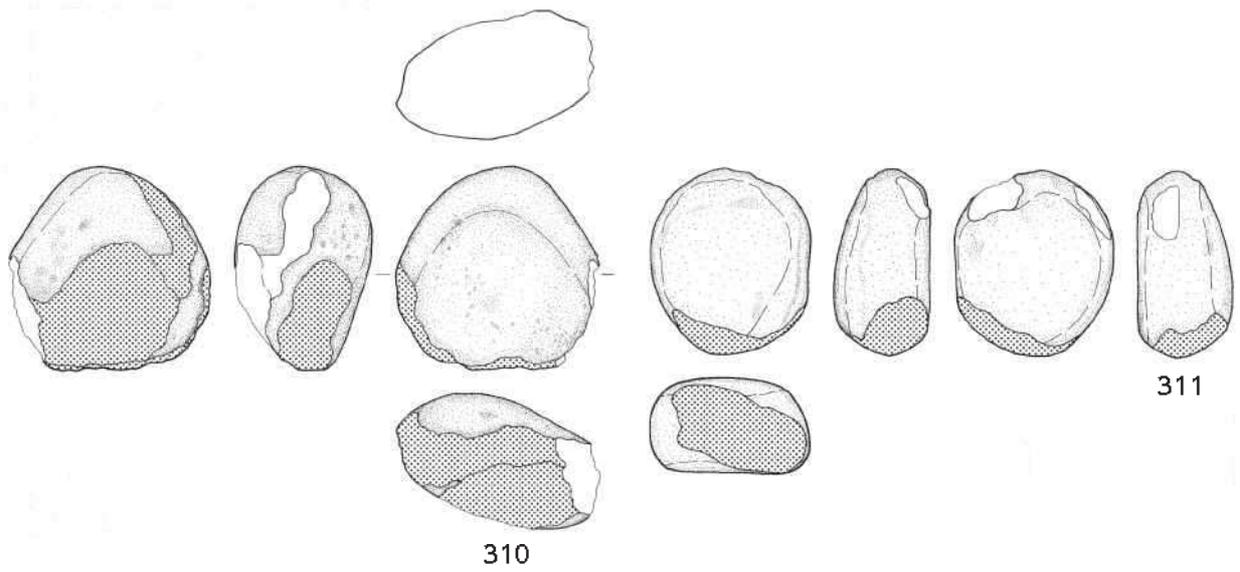
第79図 第9次調査区遺構内出土石器 (1)



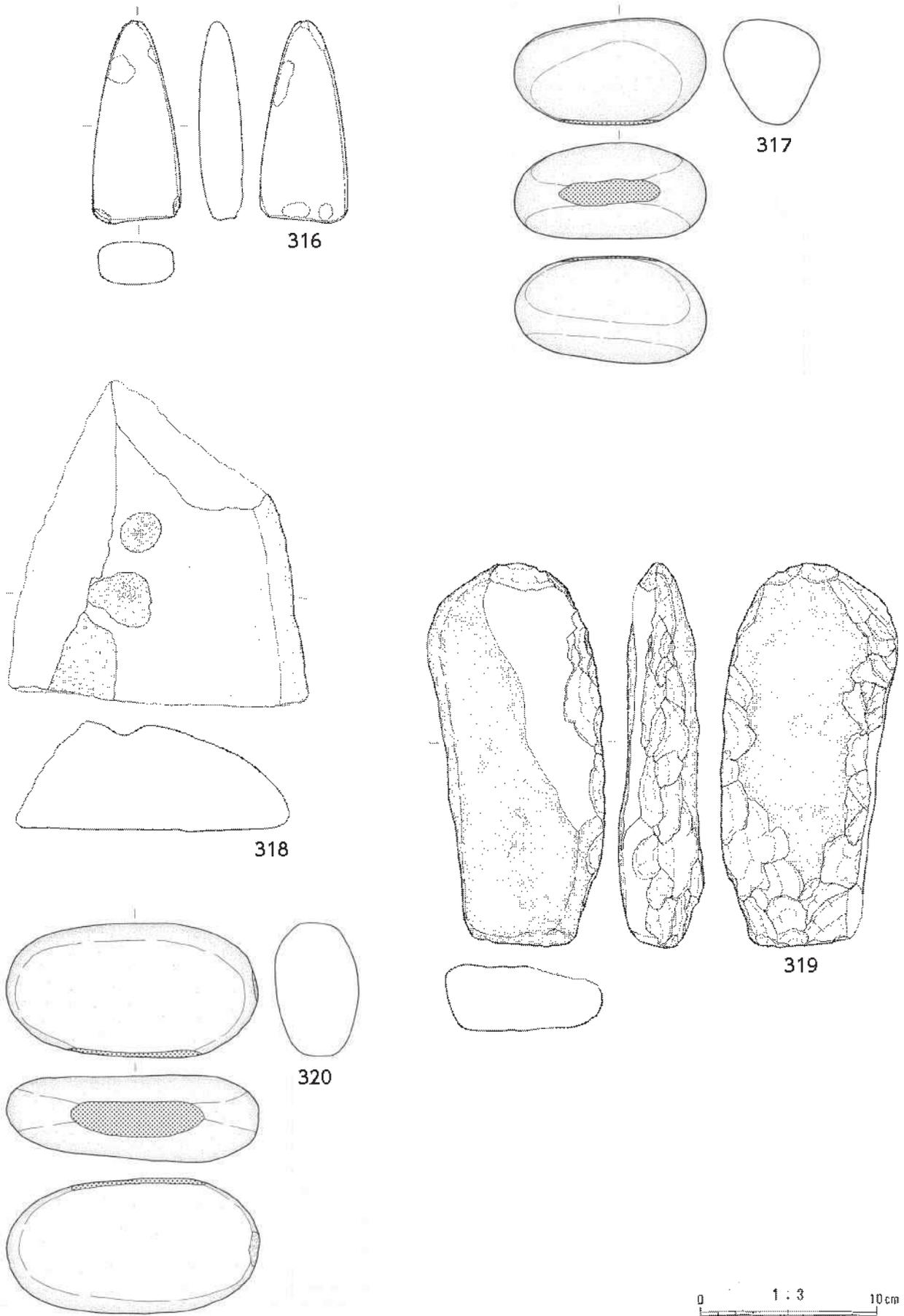
第80図 第9次調査区遺構内出土石器 (2)



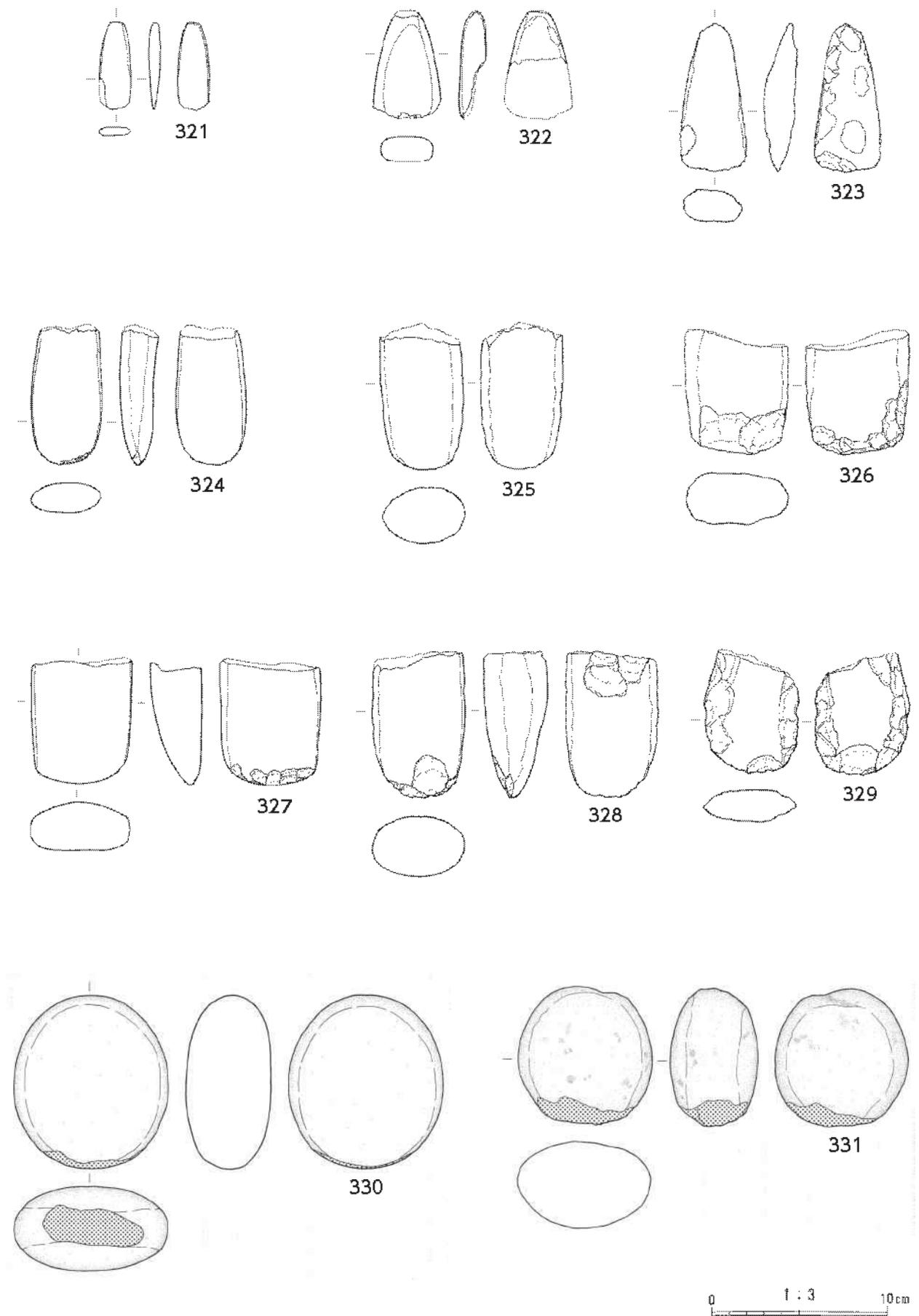
第81図 第9次調査区遺構内出土石器 (3)



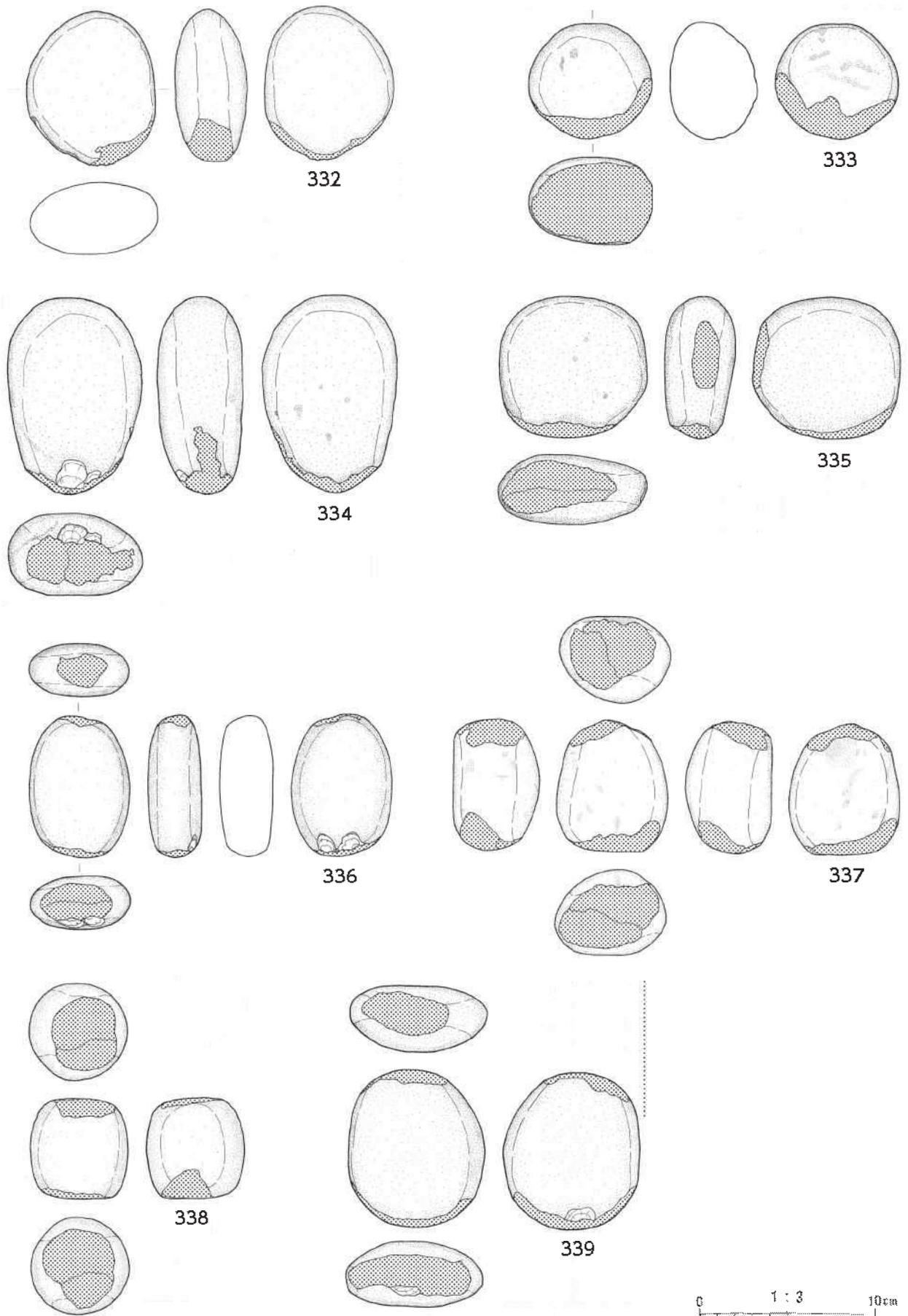
第82図 第9次調査区遺構内出土石器 (4)



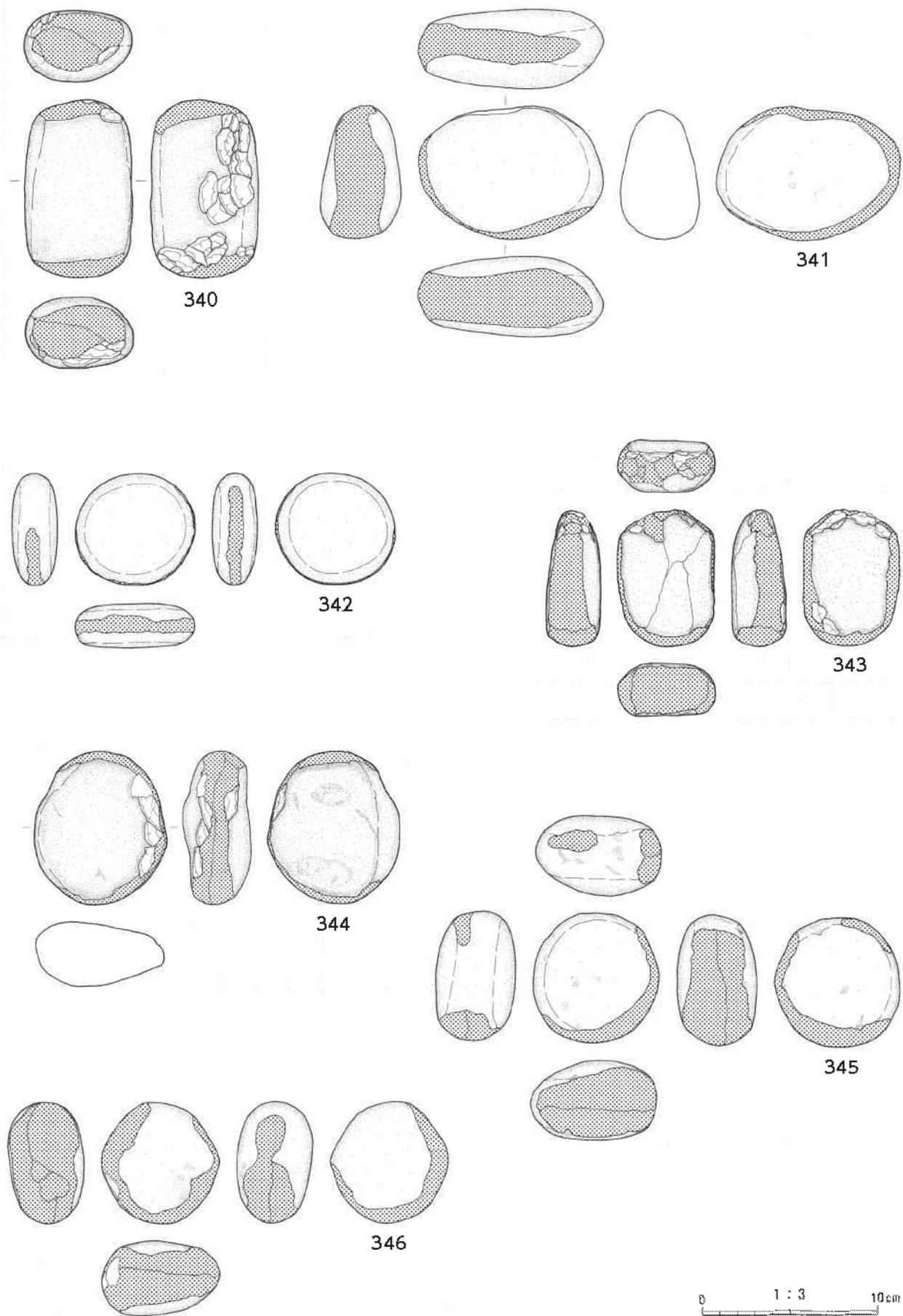
第83図 第9次調査区遺構内出土石器 (5)



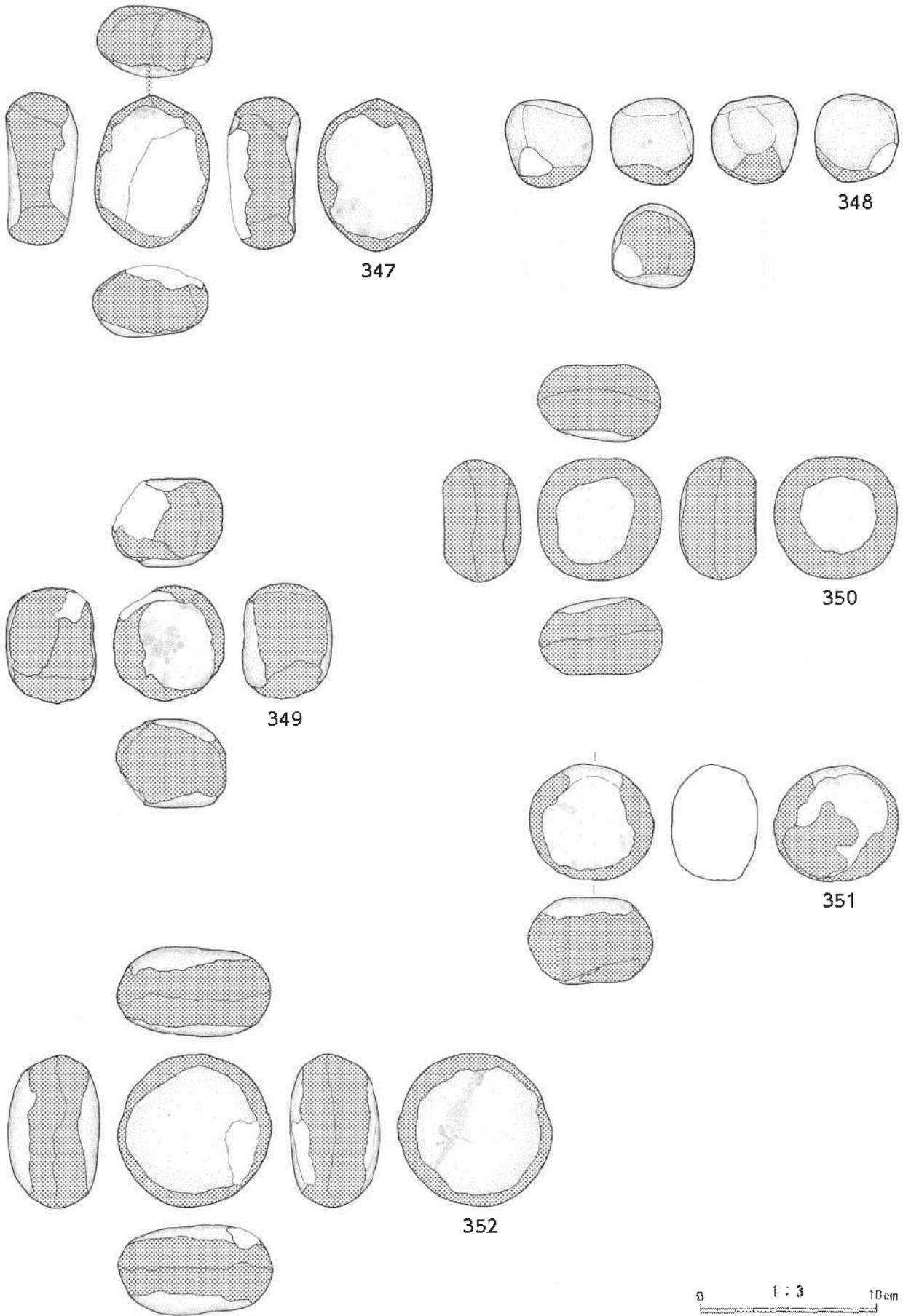
第84図 第9次調査区遺構外出土石器 (1)



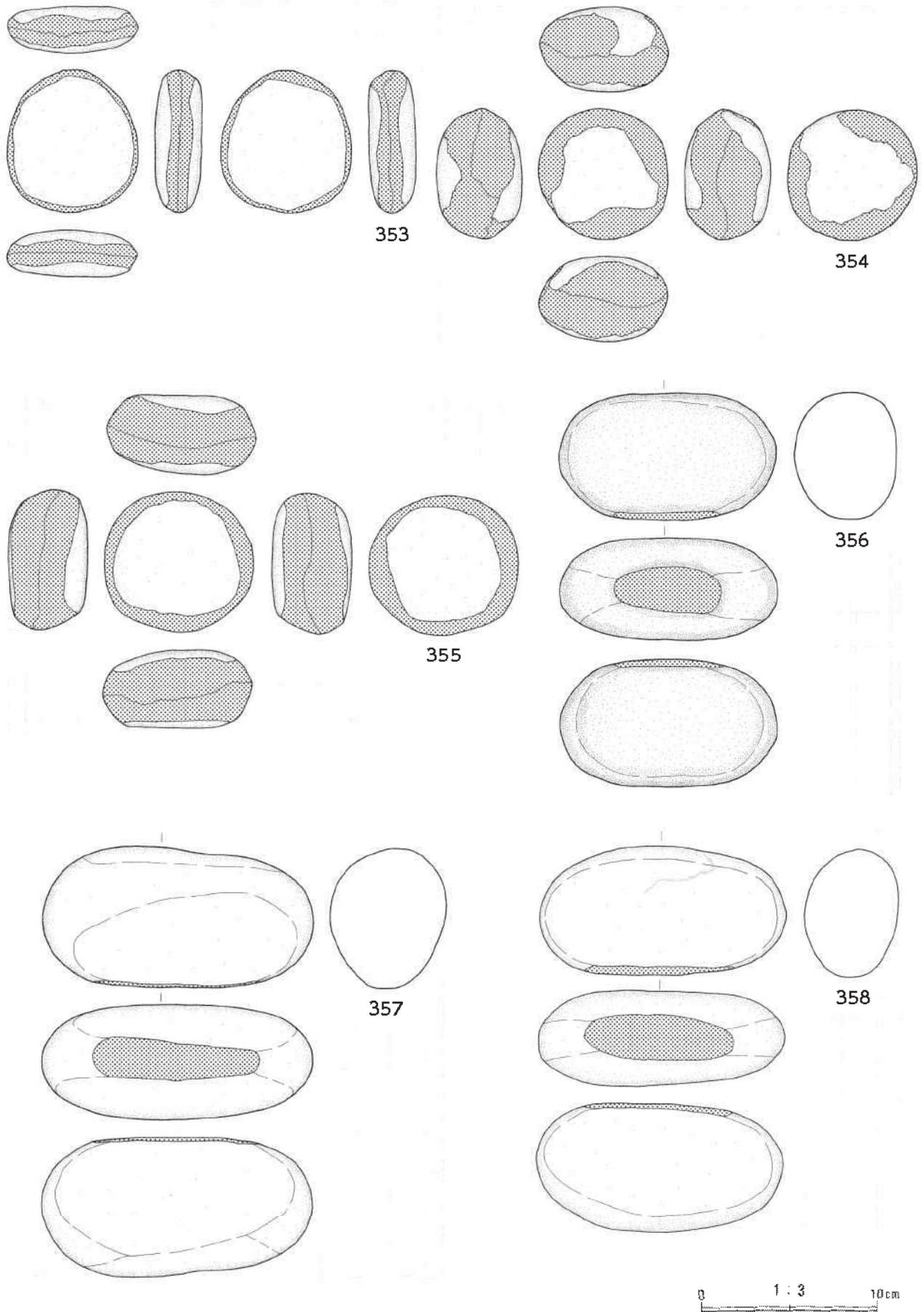
第85図 第9次調査区遺構外出土石器 (2)



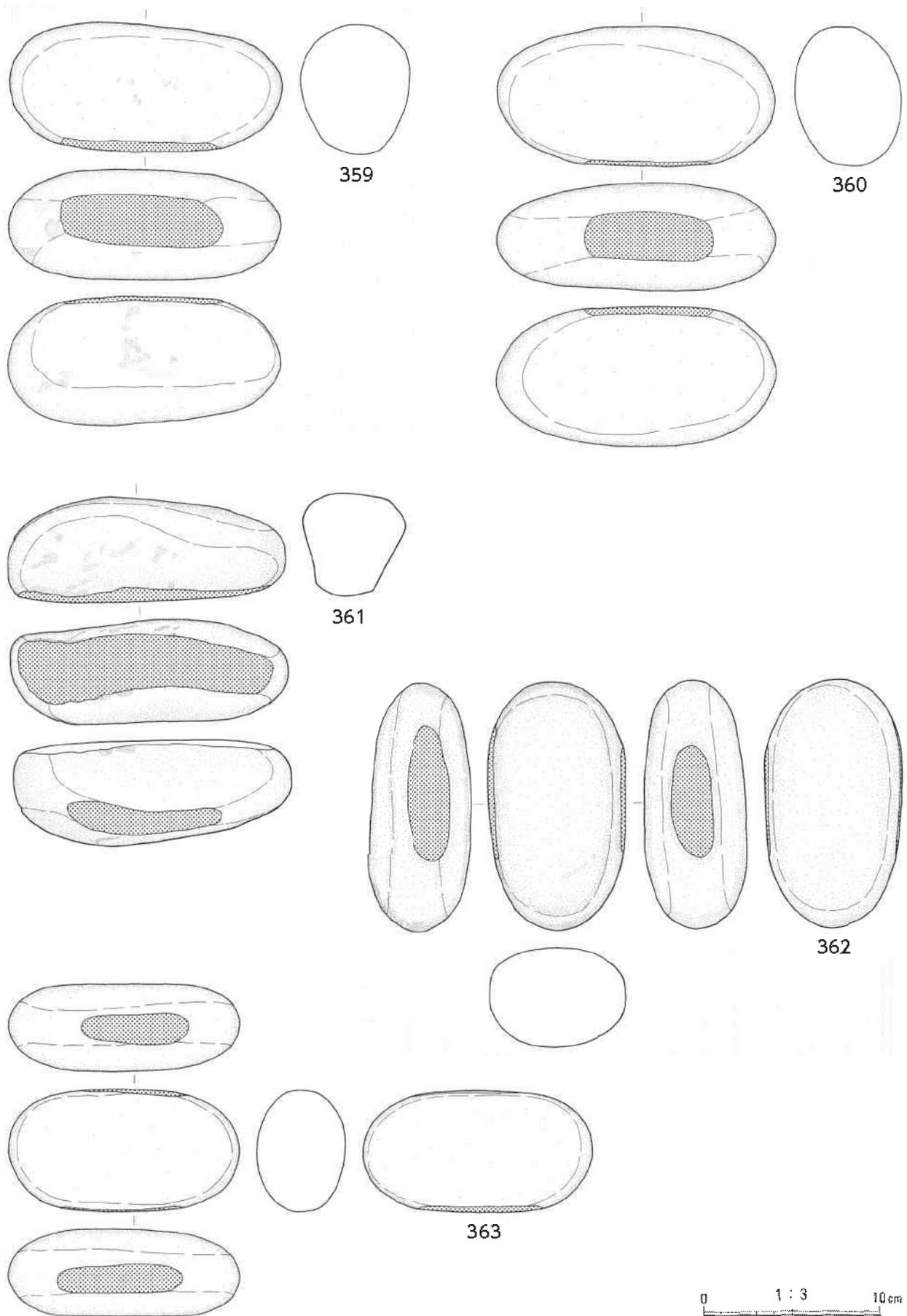
第86図 第9次調査区遺構外出土石器 (3)



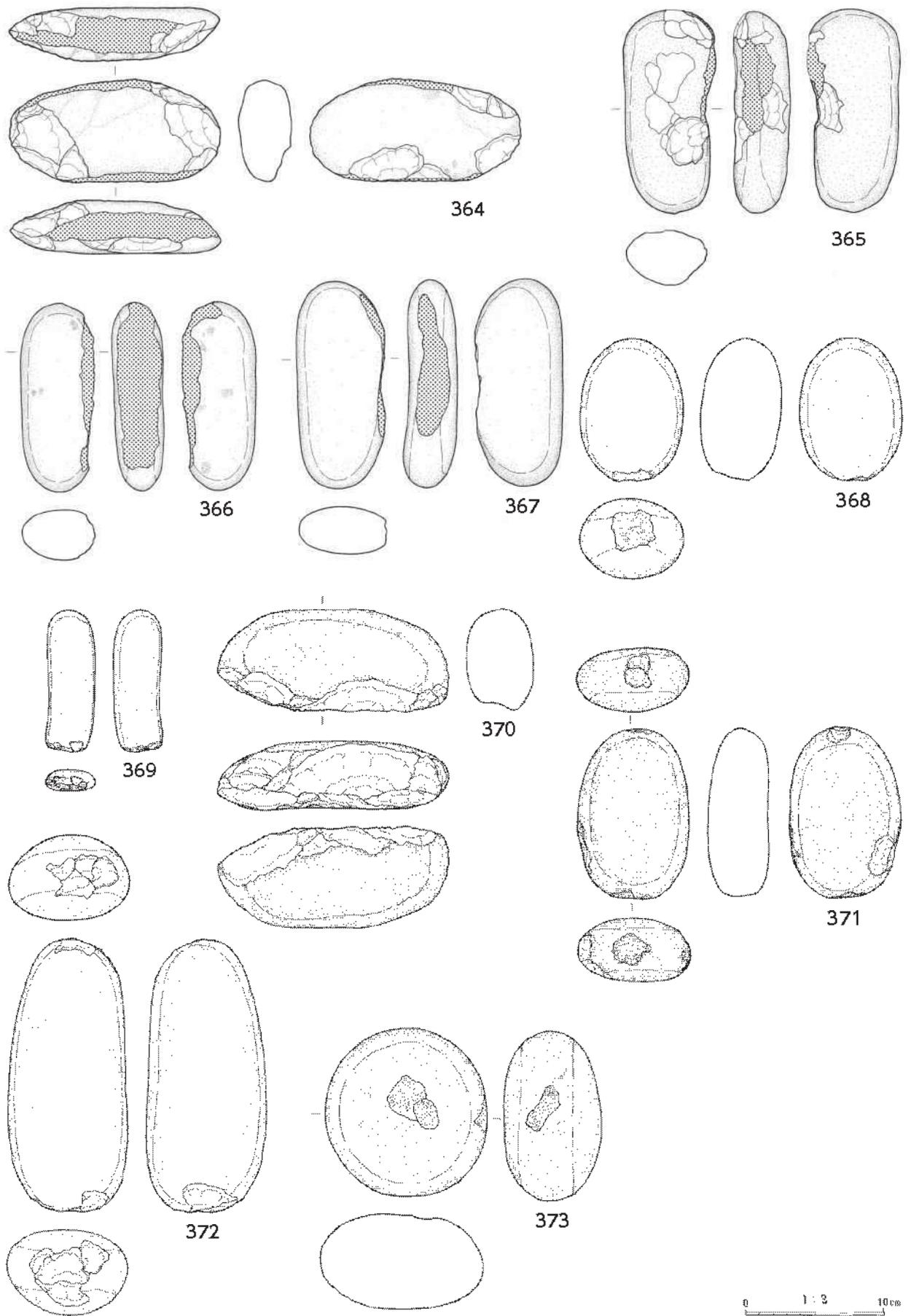
第87図 第9次調査区遺構外出土石器 (4)



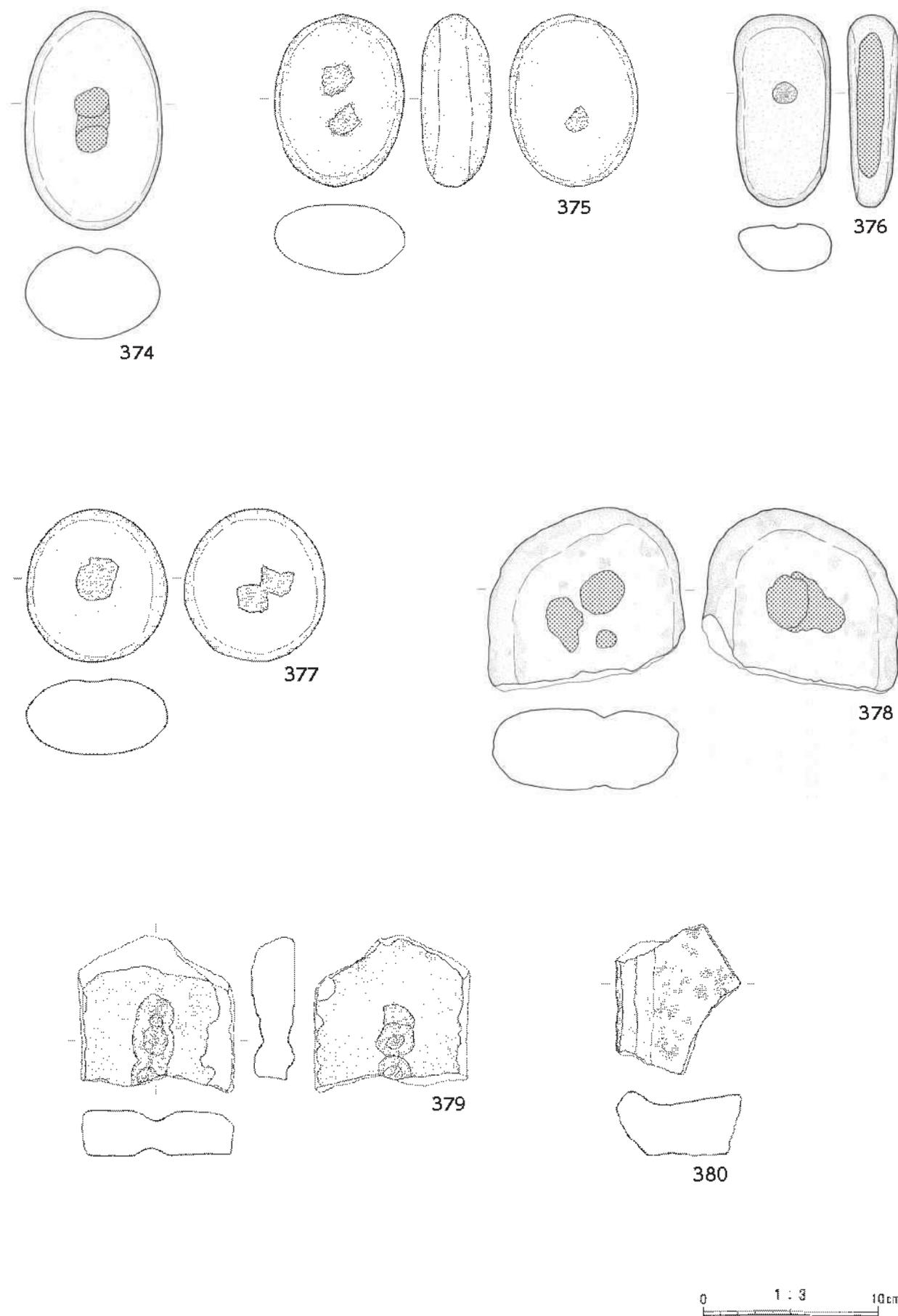
第88図 第9次調査区遺構外出土石器 (5)



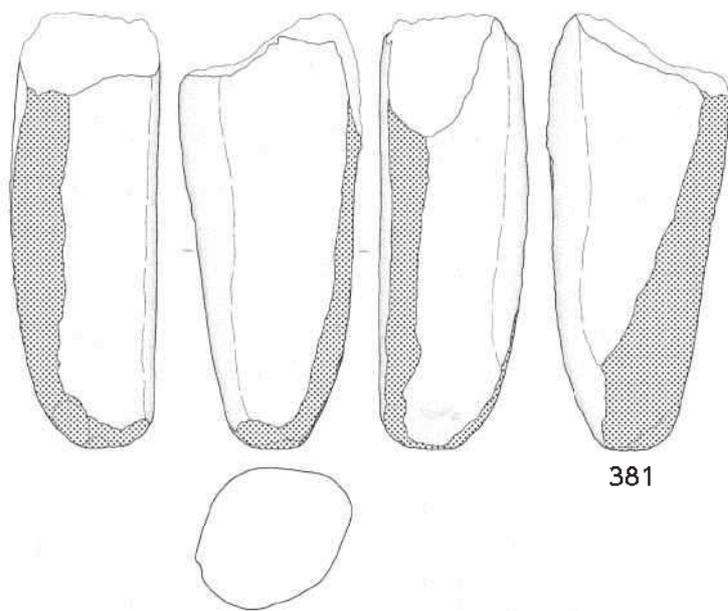
第89図 第9次調査区遺構外出土石器 (6)



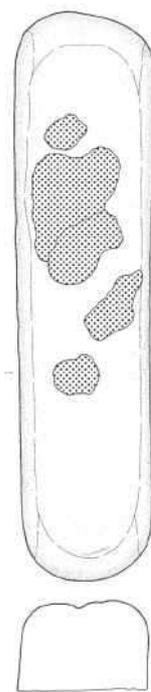
第90図 第9次調査区遺構外出土石器 (7)



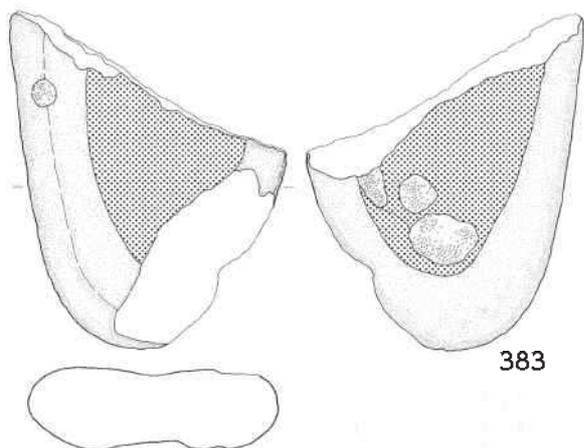
第91図 第9次調査区遺構外出土石器 (8)



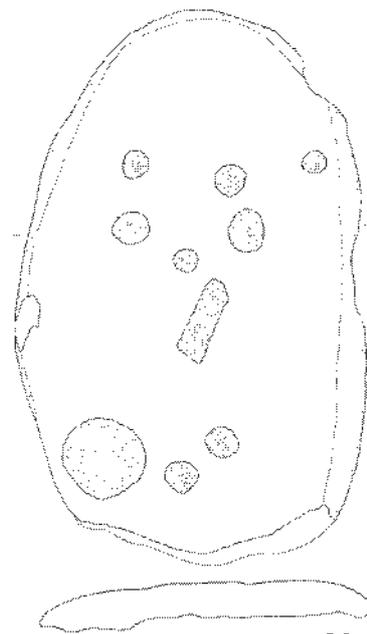
381



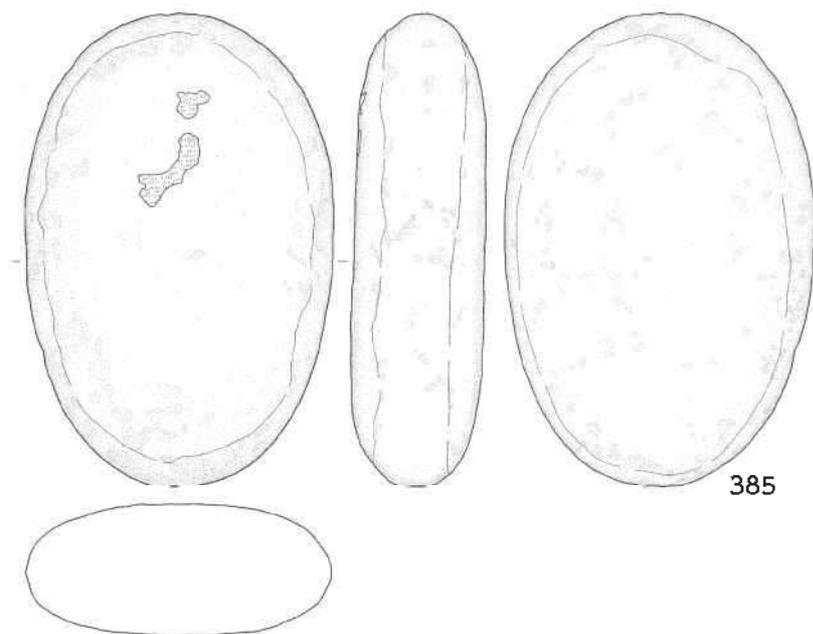
382



383



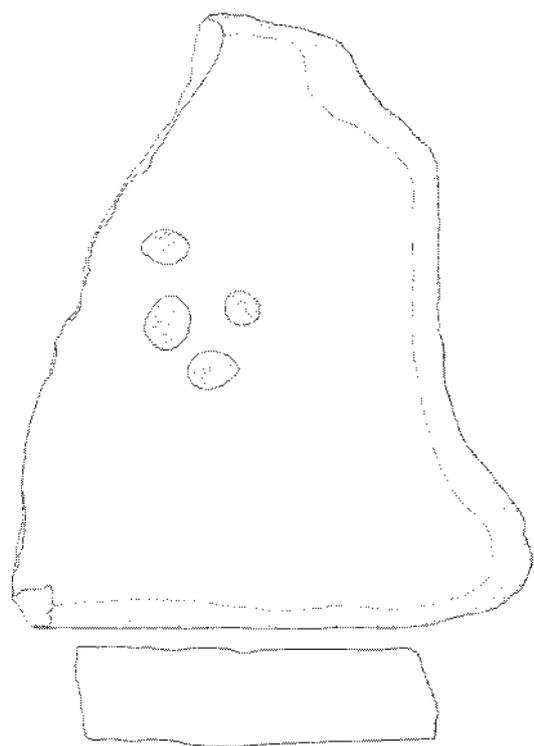
384



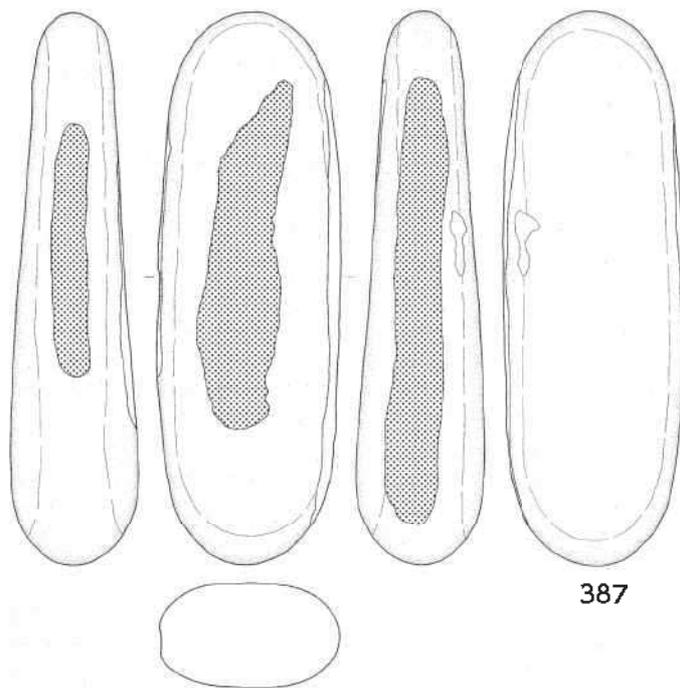
385



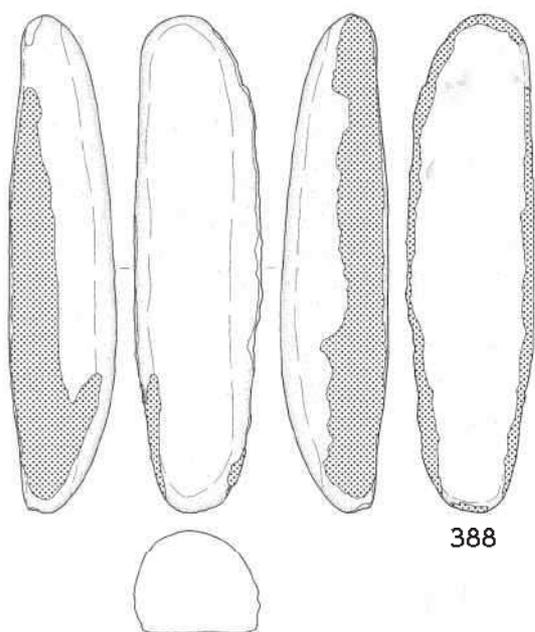
第92図 第9次調査区遺構外出土石器 (9)



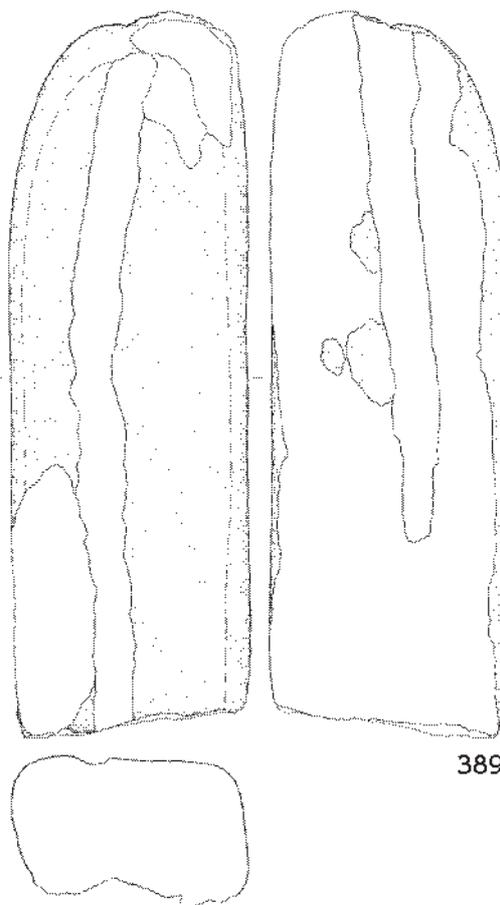
386



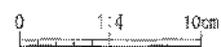
387



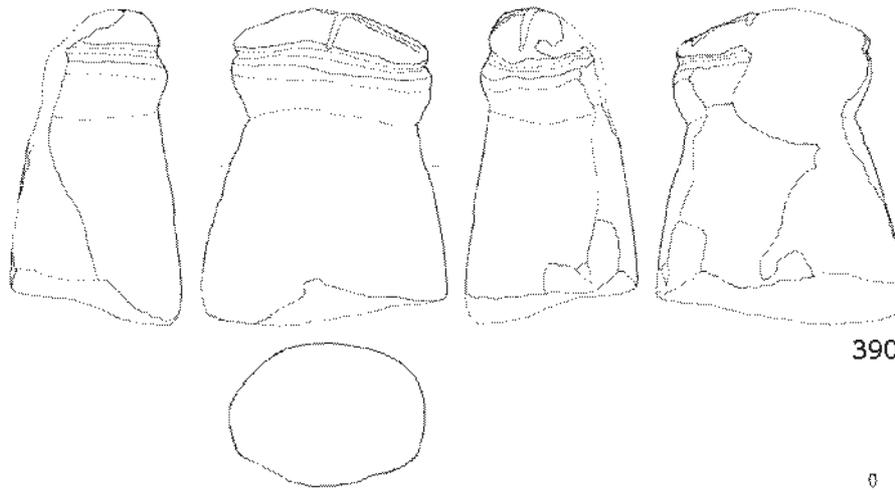
388



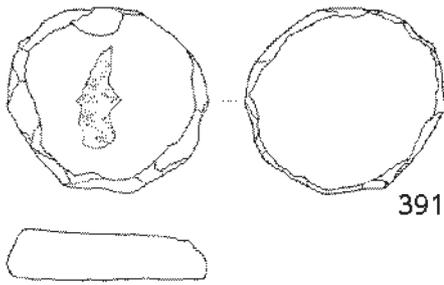
389



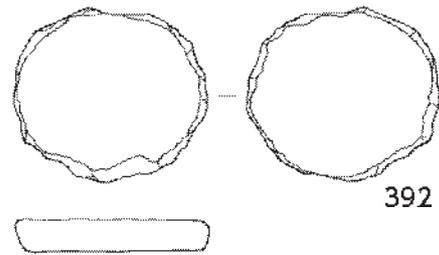
第93図 第9次調査区遺構外出土石器 (10)



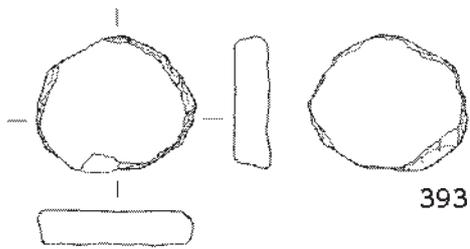
390



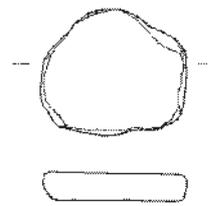
391



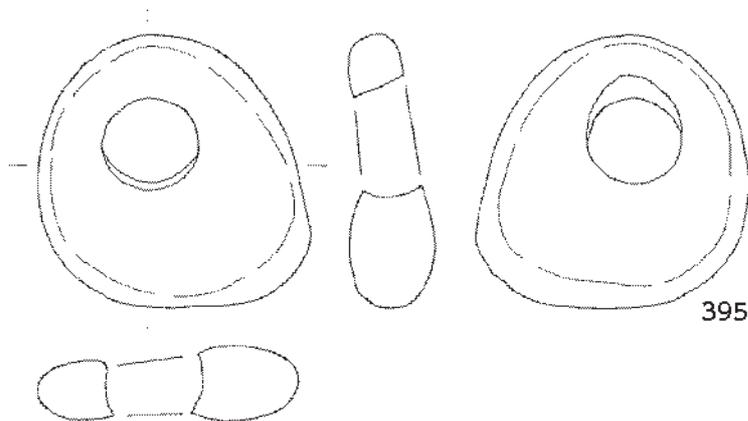
392



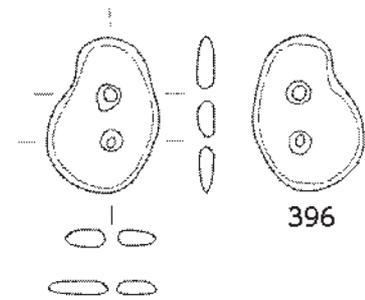
393



394



395



396



第94図 第9次調査区出土石製品

白石遺跡 土器観覧表

種別 No.	器名	出土地点	層位	口径 (cm)	器高 (cm)	口径 (cm)	底径 (cm)	残存部位	頭蓋・文様(外面/内面)	備考	図版 No.	写真 No.
1	縄文土器 深鉢形	96号土坑	C層	15.6	41.5	—	—	口縁部~胴部	口縁部:捺状把手 胴部:X状編文帯、陰帯		53図	写真164
2	縄文土器 深鉢形	96号土坑		22.1	43.2	12.5	—	口縁部~底部	地文:縄文 口縁部:連続状陰帯	網代痕	53図	写真164
3	縄文土器 深鉢形	32号壺穴	上層	16.8	21.8	7	—	口縁部~底部	地文:縄文 胴部:U字状編文帯、刃線		54図	写真165
4	縄文土器 深鉢形	127号土坑		21.7	30.8	10.4	—	口縁部~底部	地文:縄文 口縁部:編文帯、刃線 胴部:渦巻き状陰帯、U字状編文帯、連続状陰帯		54図	写真165
5	縄文土器 深鉢形	朝倉区南西部		26.7	46.3	11	—	口縁部~底部	地文:縄文		54図	写真165
6	縄文土器 深鉢形	78号土坑		—	—	—	—	口縁部	地文:縄文 口縁部:連続状陰帯		55図	写真168
7	縄文土器 深鉢形	83号土坑		—	—	—	—	口縁部	地文:縄文 口縁部:連続状陰帯		55図	写真168
8	縄文土器 深鉢形	83号土坑		17.5	24.5	8.9	—	口縁部~底部	地文:縄文 口縁部:連続状陰帯	網代痕	55図	写真165
9	縄文土器 深鉢形	34号土坑		—	—	—	—	胴部	地文:縄文		55図	—
10	縄文土器 深鉢形	85号土坑		—	—	—	—	口縁部	地文:捺系文 口縁部:編文帯		55図	写真168
11	縄文土器 深鉢形	90号土坑	中層	—	—	7.4	—	底部	地文:縄文	網代痕	55図	—
12	縄文土器 深鉢形	92号土坑		—	—	—	—	口縁部	地文:縄文 口縁部:刃線 胴部:編文帯		55図	写真168
13	縄文土器 深鉢形	102号土坑		—	—	5.9	—	底部	縄文		55図	—
14	縄文土器 深鉢形	107号土坑		—	—	9.2	—	底部	縄文		55図	—
15	縄文土器 深鉢形	30号壺穴	炉埋設	—	—	—	—	胴部	地文:縄文 刃線	網代痕	56図	—
16	縄文土器 深鉢形	32号壺穴		—	—	—	—	口縁部	地文:捺系文		56図	—
17	縄文土器 深鉢形	33号壺穴	炉埋設	—	—	12.5	—	胴部~底部	地文:捺系文	網代痕	56図	写真165
18	縄文土器 深鉢形	34号壺穴	床	—	—	10.6	—	胴部~底部	地文:縄文	網代痕	56図	写真165
19	縄文土器 深鉢形	34号壺穴		—	—	9.7	—	胴部~底部	地文:縄文	木葉痕	56図	—
20	縄文土器 深鉢形	34号壺穴		—	—	13.3	—	底部	地文:縄文	網代痕	56図	—
21	縄文土器 深鉢形	34号壺穴	炉埋設	—	—	12.4	—	胴部~底部	地文:縄文		56図	—
22	縄文土器 深鉢形	8号壺穴	A1層	—	—	—	—	口縁部~胴部	地文:縄文 口縁部:連続状陰帯 胴部:円形の充填文 連続状陰帯		57図	写真167
23	縄文土器 深鉢形	8号壺穴	A1層	—	—	—	—	口縁部~胴部	地文:縄文 口縁部:連続状陰帯 胴部:円形の充填文 連続状陰帯	19点同一個体	57図	—
24	縄文土器 深鉢形	8号壺穴	A1層	—	—	—	—	口縁部~胴部	地文:縄文 口縁部:連続状陰帯 胴部:刃線 連続状陰帯		57図	写真167
25	縄文土器 深鉢形	8号壺穴	A1層	—	—	—	—	口縁部~胴部	地文:縄文 口縁部:連続状陰帯 胴部:刃線 連続状陰帯	21点同一個体	57図	写真167
26	縄文土器 深鉢形	8号壺穴	A1層	—	—	—	—	口縁部	地文:縄文 口縁部:連続状陰帯 胴部:円形の充填文		57図	—
27	縄文土器 深鉢形	8号壺穴	A1層	—	—	—	—	口縁部	地文:縄文、波頭部穿孔、捺状陰帯		57図	—
28	縄文土器 深鉢形	8号壺穴	A1層	—	—	—	—	口縁部	地文:縄文 口縁部:陰帯		57図	—
29	縄文土器 深鉢形	8号壺穴	壁際層	—	—	—	—	胴部	縄文帯 連続状陰帯 刺突		57図	—
30	縄文土器 深鉢形	8号壺穴	A1層	—	—	—	—	口縁部	地文:捺系文		57図	—
31	縄文土器 深鉢形	8号壺穴	A1層	—	—	—	—	胴部	地文:捺系文、刃線		57図	写真167
32	縄文土器 深鉢形	8号壺穴	A1層	—	—	—	—	口縁部~胴部	地文:捺系文		58図	—
33	縄文土器 深鉢形	8号壺穴	A1層	—	—	—	—	口縁部	地文:縄文		58図	—
34	縄文土器 深鉢形	8号壺穴	検出面	—	—	—	—	口縁部	地文:捺系文		58図	—
35	縄文土器 深鉢形	8号壺穴	A1層	—	—	—	—	口縁部	地文:捺系文		58図	—
36	縄文土器 深鉢形	9号壺穴	A1層	—	—	—	—	胴部	地文:縄文		58図	写真167
37	縄文土器 深鉢形	9号壺穴	P18	—	—	—	—	胴部	地文:縄文		58図	—
38	縄文土器 深鉢形	9号壺穴	A1層	—	—	—	—	胴部	地文:縄文		58図	—
39	縄文土器 深鉢形	9号壺穴	A1層	—	—	—	—	胴部	地文:縄文		58図	—

編號 No.	種類	器種名	出土地點	層位	口徑 (cm)	器高 (cm)	底徑 (cm)	殘存部位	調整・文様(外面/内面)	備考	圖版 No.	写真 No.
40	網文土器	深鉢形	35号壺穴	A1層	—	—	—	口緣部	地文:網文 口緣部:隆線・連続刺突		59図	写真168
41	網文土器	深鉢形	35号壺穴	床直	—	—	—	口緣部	地文:網文		59図	—
42	網文土器	深鉢形	35号壺穴	床直	—	11.39	—	底部	地文:網文	木葉痕	59図	—
43	網文土器	深鉢形	36号壺穴	床直	—	—	—	口緣部~胴部	地文:網文		59図	写真168
44	網文土器	深鉢形	37号壺穴	埋土	—	—	—	口緣部	地文:網文・沈線		59図	写真168
45	網文土器	深鉢形	37号壺穴	埋土	—	—	—	胴部	網文帯		59図	写真168
46	網文土器	深鉢形	37号壺穴	埋土	—	9.98	—	底部	無文		59図	—
47	網文土器	深鉢形	39号壺穴	埋土	—	—	—	口緣部	口緣部:沈線、網文帯		59図	写真168
48	網文土器	深鉢形	39号壺穴	埋土	—	—	—	口緣部	地文:網文 口緣部:連続刺突 胴部:沈線		59図	写真168
49	網文土器	深鉢形	39号壺穴	埋土	—	—	—	口緣部	地文:網文 口緣部:連続刺突 胴部:沈線	45号同一個体	59図	写真168
50	網文土器	深鉢形	40号壺穴		—	—	—	口緣部~胴部	地文:網文		59図	—
51	網文土器	深鉢形	41号壺穴	床直	—	—	—	口緣部	隆線把手 地文:燕糸文 口緣部:隆線 胴部:網文帯、體状突起、連続刺突、沈線		60図	写真168
52	網文土器	深鉢形	41号壺穴	埋土	—	—	—	口緣部	隆線・連続刺突		60図	—
53	網文土器	深鉢形	41号壺穴	埋土	—	—	—	口緣部	地文:網文		60図	—
54	網文土器	深鉢形	41号壺穴	炉跡上面	—	—	—	口緣部	地文:網文、網文帯		60図	写真168
55	網文土器	深鉢形	41号壺穴	埋土	—	—	—	胴部	地文:網文、無文帯、連続刺突		60図	写真168
56	網文土器	深鉢形	41号壺穴	埋土	—	—	—	胴部	地文:網文、無文帯		60図	写真168
57	網文土器	深鉢形	41号壺穴	埋土	—	7.48	—	底部	無文	木葉痕	60図	写真168
58	網文土器	深鉢形	42号壺穴埋設土器		—	—	—	胴部~底部	地文:網文	網代痕	60図	—
59	網文土器	深鉢形	44号壺穴	埋土	—	—	—	口緣部	無文		60図	—
60	網文土器	深鉢形	44号壺穴	埋土	—	—	—	口緣部	地文:網文		60図	—
61	網文土器	深鉢形	44号壺穴	G2層	—	—	—	口緣部	地文:網文		60図	写真168
62	網文土器	深鉢形	44号壺穴	床直	—	—	—	口緣部~胴部	地文:網文		60図	—
63	網文土器	深鉢形	44号壺穴		—	—	—	口緣部~胴部	地文:網文		61図	—
64	網文土器	深鉢形	44号壺穴		—	—	—	口緣部	地文:網文		61図	写真169
65	網文土器	深鉢形	44号壺穴		—	—	—	胴部	地文:網文、無文帯		61図	写真169
66	網文土器	深鉢形	44号壺穴	埋土	—	—	—	胴部	地文:網文、無文帯		61図	写真169
67	網文土器	深鉢形	44号壺穴	埋土	—	11.77	—	底部	地文:網文	網代痕	61図	—
68	網文土器	深鉢形	44号壺穴	埋土	—	5.97	—	底部	地文:網文		61図	写真169
69	網文土器	深鉢形	46号壺穴埋設土器		—	—	—	胴部	地文:網文		62図	写真169
70	網文土器	深鉢形	44号壺穴	埋土	—	—	—	底部	地文:網文	網代痕	61図	写真169
71	網文土器	深鉢形	45号壺穴		—	—	—	胴部	地文:網文		61図	写真168
72	網文土器	深鉢形	45号壺穴		—	—	—	胴部	地文:網文		61図	—
73	網文土器	深鉢形	45号壺穴		—	—	—	口緣部~胴部	地文:網文		62図	写真168
74	網文土器	深鉢形	44号壺穴	埋土	—	7.81	—	胴部	地文:網文		61図	写真169
75	網文土器	深鉢形	44号壺穴	埋土	—	10.53	—	胴部~底部	地文:網文	木葉痕	61図	写真168
76	網文土器	深鉢形	46号壺穴		—	—	—	胴部	地文:網文		62図	—
77	網文土器	深鉢形	47号壺穴	床直	—	—	—	口緣部~胴部	地文:網文		62図	写真169
78	網文土器	深鉢形	47号壺穴	床直	—	—	—	胴部	網文帯		62図	—
78	網文土器	深鉢形	48号壺穴	埋土	—	—	—	口緣部	網文帯 内面:突起		62図	—
79	網文土器	深鉢形	48号壺穴	床直	—	—	—	口緣部	地文:網文 無文帯		62図	写真169
80	網文土器	深鉢形	48号壺穴	床直	—	—	—	胴部	地文:網文 無文帯		62図	写真169

編號 No.	類別	器種名	出土地点	層位	口径 (cm)	器高 (cm)	重量 (gm)	保存部位	調査・文様(外面/内面)	備考	図版 No.	写真 No.
81	縄文土器	深鉢形	48号壺穴	埋土	—	—	—	口縁部~胴部	口縁部:連続刺突 胴部:縄文帯・環状の刺突		02図	写真169
82	縄文土器	深鉢形	48号壺穴	E1層	—	—	—	胴部	縄文帯		02図	—
83	縄文土器	深鉢形	48号壺穴	埋土	—	—	—	口縁部~胴部	地文:縄文		02図	写真169
84	縄文土器	深鉢形	51号壺穴	埋土	—	—	—	口縁部~胴部	地文:縄文 胴部:円形の充塞縄文・波状沈線		03図	写真170
85	縄文土器	深鉢形	51号壺穴	埋土	—	—	—	口縁部~胴部	地文:縄文 胴部:縄文帯		03図	写真170
86	縄文土器	深鉢形	51号壺穴	埋土	—	—	—	口縁部~胴部	口縁部:刺突 胴部:縄文帯・環状の刺突		03図	写真170
87	縄文土器	深鉢形	51号壺穴	埋土	—	—	—	胴部	縄文帯 踏状突起		03図	写真170
88	縄文土器	深鉢形	51号壺穴	埋土	—	—	8.07	底部	地文:縄文	網代痕	03図	—
89	縄文土器	深鉢形	52号壺穴	埋土	—	—	—	口縁部~胴部	口縁部:環状の刺突 胴部:縄文帯		03図	写真170
90	縄文土器	深鉢形	52号壺穴	埋土	—	—	—	口縁部	口縁部:環状の刺突 胴部:縄文帯	84上同一個体	03図	—
91	縄文土器	深鉢形	52号壺穴	埋土	—	—	—	胴部	地文:縄文 沈線		03図	写真170
92	縄文土器	深鉢形	52号壺穴	埋土	—	—	—	胴部	縄文帯		03図	写真170
93	縄文土器	深鉢形	52号壺穴	P2	—	—	—	胴部	地文:縄文 沈線		03図	写真170
94	縄文土器	深鉢形	52号壺穴	埋土	—	—	—	胴部	地文:縄文 S字状隆帯に連続刺突		03図	—
95	縄文土器	深鉢形	52号壺穴	埋土	—	—	—	口縁部	地文:縄文		03図	—
96	縄文土器	深鉢形	52号壺穴	埋土	—	—	—	口縁部	地文:縄文		03図	—
97	縄文土器	深鉢形	52号壺穴	埋土	—	—	—	口縁部~胴部	地文:縄文		04図	写真166
98	縄文土器	深鉢形	52号壺穴	埋土	—	—	—	口縁部~胴部	地文:縄文		04図	—
99	縄文土器	深鉢形	52号壺穴	埋土	—	—	—	口縁部~胴部	地文:縄文		04図	写真170
100	縄文土器	深鉢形	52号壺穴	埋土	—	—	—	口縁部~胴部	地文:縄文		04図	—
101	縄文土器	深鉢形	52号壺穴	埋土	—	—	—	口縁部	地文:縄文	99上同一個体	04図	—
102	縄文土器	深鉢形	52号壺穴	埋土	—	—	—	胴部	地文:縄文		04図	—
103	縄文土器	深鉢形	52号壺穴	埋土	—	—	—	底部	縄文	網代痕	04図	—
104	縄文土器	深鉢形	52号壺穴	埋土	—	—	—	胴部	地文:縄文		04図	—
105	縄文土器	深鉢形	52号壺穴	埋土	—	—	12.41	底部	地文:縄文	網代痕	04図	—
106	縄文土器	深鉢形	52号壺穴	埋土	—	—	4.39	底部	縄文		04回	—
107	縄文土器	深鉢形	52号壺穴	埋土	—	—	—	底部	地文:縄文		04回	—
108	縄文土器	深鉢形	110号土坑	埋土	—	—	—	口縁部~底部	縄文		05図	写真171
109	縄文土器	深鉢形	127号土坑	埋土	—	—	—	口縁部	地文:縄文		05図	—
110	縄文土器	深鉢形	129号土坑	E1層	—	—	—	口縁部	地文:縄文		05図	—
111	縄文土器	深鉢形	129号土坑	検出面	—	—	—	胴部	地文:縄文		05図	—
112	縄文土器	深鉢形	129号土坑	検出面	—	—	—	胴部	地文:縄文		05図	—
113	縄文土器	深鉢形	130号土坑	埋土	—	—	—	口縁部~胴部	地文:縄文		05図	写真171
114	縄文土器	深鉢形	130号土坑	埋土	—	—	—	胴部	地文:縄文 沈線 刺突		05図	—
115	縄文土器	深鉢形	132号土坑	埋土	—	—	—	胴部	地文:縄文		05図	—
116	縄文土器	深鉢形	133号土坑	E2層	—	—	—	胴部	地文:縄文 沈線		05図	—
117	縄文土器	深鉢形	138号土坑	埋土	—	—	—	口縁部~胴部	隆帯 連続刺突 胴部:沈線		05図	—
118	縄文土器	深鉢形	138号土坑	埋土	—	—	—	口縁部~胴部	地文:縄文 口縁部:隆帯 連続刺突 胴部:円形の充塞縄文・沈線		05図	写真171
119	縄文土器	深鉢形	焼土	検出面	—	—	—	胴部	隆帯(刺突) ボタノ状の貼り付		06図	写真171
120	縄文土器	深鉢形	焼土	埋土	—	—	—	胴部	地文:捺染文		06図	写真171
121	縄文土器	深鉢形	焼土	検出面	—	—	—	胴部	地文:縄文		06図	—
122	縄文土器	深鉢形	焼土	検出面	—	—	—	胴部	地文:縄文		06図	写真171

編號 No.	種別	器種名	出土地點	層位	口徑 (cm)	器高 (cm)	底徑 (cm)	殘存部位	調整・文様(外面/内面)	備考	圖版 No.	写真 No.
123	縄文土器	深鉢形	7号焼土		—	—	—	胴部	地文:縄文		06図	写真171
124	縄文土器	深鉢形	7号焼土		—	—	—	口縁部~胴部	地文:縄文		06図	写真106
125	縄文土器	深鉢形	7号焼土		—	—	—	口縁部	地文:縄文		06図	写真171
126	縄文土器	深鉢形	7号焼土	埋土	—	—	—	胴部	地文:縄文、沈積		06図	—
127	縄文土器	深鉢形	谷		—	—	—	口縁部	地文:縄文、口縁部:隆帯		07図	—
128	縄文土器	深鉢形	谷		—	—	—	口縁部	地文:縄文、隆帯		07図	—
129	縄文土器	深鉢形	谷		—	—	—	口縁部	隆帯、刺突		07図	—
130	縄文土器	深鉢形	谷		—	—	—	胴部	地文:縄文、隆帯		07図	—
131	縄文土器	深鉢形	谷		—	—	—	胴部	地文:縄文、沈積		07図	—
132	縄文土器	深鉢形	調査区南西部		—	—	—	口縁部~胴部	地文:縄文、沈積		07図	—
132	縄文土器	深鉢形	谷		—	—	—	口縁部~胴部	地文:縄文、沈積		07図	—
133	縄文土器	深鉢形	谷		—	—	—	口縁部	地文:縄文、沈積		07図	—
134	縄文土器	深鉢形	谷		—	—	—	口縁部	地文:縄文、沈積		07図	—
135	縄文土器	深鉢形	調査区南西部	II層	—	—	—	口縁部	地文:縄文、沈積		07図	—
137	縄文土器	深鉢形	調査区南西部		—	—	—	口縁部~胴部	地文:縄文、沈積		07図	—
138	縄文土器	深鉢形	調査区南西部		—	—	—	口縁部~胴部	地文:縄文、縄文帯		07図	—
139	縄文土器	深鉢形	調査区西部	II層	—	—	—	口縁部~胴部	地文:縄文、胴部:文様帯		07図	—
140	縄文土器	深鉢形	谷		—	—	—	口縁部~胴部	地文:縄文、舞文帯		07図	—
141	縄文土器	深鉢形	谷		—	—	—	口縁部~胴部	地文:縄文、舞文帯		07図	—
142	縄文土器	深鉢形	谷		—	—	—	口縁部	地文:縄文、沈積		07図	—
143	縄文土器	深鉢形	調査区西部	II層	—	—	—	口縁部	地文:縄文、沈積、踏状突起		07図	—
144	縄文土器	深鉢形	調査区南西部		—	—	—	口縁部	地文:縄文、沈積、内面:踏状突起		07図	—
145	縄文土器	深鉢形	谷		—	—	—	口縁部~胴部	地文:縄文、口縁部:隆帯、胴部:舞文帯		07図	—
146	縄文土器	深鉢形	調査区南西部		—	—	—	口縁部~胴部	地文:踏糸文、口縁部:沈積、胴部:舞文帯		07図	—
147	縄文土器	深鉢形	調査区南西部		—	—	—	口縁部~胴部	地文:縄文、口縁部:刺突、胴部:沈積、舞文帯		07図	—
148	縄文土器	深鉢形	調査区南西部		—	—	—	口縁部~胴部	地文:縄文、口縁部:刺突、胴部:沈積		07図	—
149	縄文土器	深鉢形	調査区南西部	II層	—	—	—	口縁部~胴部	地文:縄文、口縁部:刺突、胴部:舞文帯		08図	—
150	縄文土器	深鉢形	調査区南東部	II層	—	—	—	口縁部~胴部	地文:縄文、口縁部:刺突、胴部:舞文帯		08図	写真172
151	縄文土器	深鉢形	谷		—	—	—	口縁部~胴部	地文:縄文、口縁部:刺突、胴部:沈積		08図	—
152	縄文土器	深鉢形	調査区西部	II層	—	—	—	口縁部	刺突、沈積		08図	—
153	縄文土器	深鉢形	調査区南西部		—	—	—	口縁部~胴部	地文:縄文、口縁部:刺突、胴部:舞文帯		08図	写真172
154	縄文土器	深鉢形	調査区南西部		—	—	—	口縁部	刺突、沈積		08図	—
155	縄文土器	深鉢形	調査区南西部		—	—	—	口縁部	刺突、沈積		08図	—
156	縄文土器	深鉢形	谷		—	—	—	口縁部突起	刺突		08図	写真172
157	縄文土器	深鉢形	調査区南西部		—	—	—	口縁部	裸状把手、地文:縄文、口縁部:刺突、胴部:沈積		08図	写真172
158	縄文土器	深鉢形	調査区南西部	II層	—	—	—	口縁部	裸状把手、地文:縄文、隆帯		08図	写真172
159	縄文土器	深鉢形	谷		—	—	—	口縁部	裸状把手、地文:彫貼付		08図	写真172
160	縄文土器	深鉢形	調査区南西部	II層	—	—	—	口縁部	隆帯、円形貼付		08図	写真172
161	縄文土器	深鉢形	調査区南西部		—	—	—	口縁部	地文:縄文、連錐状隆帯		08図	写真172
162	縄文土器	深鉢形	調査区南西部		—	—	—	口縁部	踏状把手		08図	写真172
163	縄文土器	深鉢形	谷		—	—	—	胴部	地文:縄文、舞文帯		08図	写真172
164	縄文土器	深鉢形	谷		—	—	—	胴部	地文:縄文、沈積		08図	写真172
164	縄文土器	深鉢形	谷		—	—	—	胴部	地文:縄文、舞文帯		08図	—

編號 No.	類別	器型名	出土地點	層位	口徑 (cm)	器高 (cm)	重量 (gm)	保存部位	圖樣·文樣(外面/內面)	備考	圖版 No.	字圖 No.
165	網文土壺	深鉢形	調查區南西部		—	—	—	胴部	地文·網文、網文帶		69圖	写真172
166	網文土壺	深鉢形	谷		—	—	—	胴部	地文·網文、沈線		68圖	—
167	網文土壺	深鉢形	不明		—	—	—	胴部	地文·網文、沈線		68圖	写真172
168	網文土壺	深鉢形	谷		—	—	—	胴部	沈線、刺突		68圖	—
169	網文土壺	深鉢形	調查區南東部	遺構後出面	—	—	—	胴部	地文·網文、沈線、越狀隆帶		68圖	写真172
170	網文土壺	深鉢形	谷		—	—	—	胴部	地文·網文、網文帶		68圖	—
171	網文土壺	深鉢形	谷		—	—	—	胴部	地文·網文、沈線		68圖	写真172
172	網文土壺	深鉢形	谷		—	—	—	胴部	地文·燃糸文、沈線		68圖	写真172
173	網文土壺	深鉢形	谷		—	—	—	胴部	地文·燃糸文、沈線		68圖	写真172
174	網文土壺	深鉢形	谷		—	—	—	胴部	地文·燃糸文、沈線		68圖	写真172
175	網文土壺	深鉢形	調查區西部	II層	—	—	—	胴部	隆帶		68圖	写真172
176	網文土壺	深鉢形	谷		—	—	—	胴部	地文·網文、沈線		68圖	—
177	網文土壺	深鉢形	谷		—	—	—	胴部	隆帶、凹形貼付		68圖	—
178	網文土壺	深鉢形	調查區西部	II層	—	—	—	口緣部	隆帶、凹形貼付、刻目		69圖	写真172
179	網文土壺	深鉢形	調查區南西部		—	—	—	胴部	隆帶(刻目)		69圖	—
180	網文土壺	深鉢形	調查區 南西部	遺構後出面	—	—	—	胴部	隆帶、沈線、刺突		69圖	—
181	網文土壺	深鉢形	調查區西部	II層	—	—	—	口緣部	地文·網文 隆帶、刻目		69圖	写真172
182	網文土壺	深鉢形	調查區西部	II層	—	—	—	口緣部	隆帶、刺突		69圖	写真172
183	網文土壺	深鉢形	調查區南西部		—	—	—	口緣部	隆帶、刺突		69圖	—
184	網文土壺	深鉢形	攪亂		—	—	—	口緣部~胴部	地文·網文、沈線		69圖	写真172
185	網文土壺	深鉢形	調查區南西部		—	—	—	口緣部	外面·無文 內面·條痕		69圖	—
186	網文土壺	深鉢形	谷		—	—	—	口緣部	地文·網文		69圖	—
187	網文土壺	深鉢形	調查區南西部		—	—	—	口緣部	地文·網文 內面·突起		69圖	写真172
188	網文土壺	深鉢形	調查區南西部		—	—	—	口緣部	地文·網文		69圖	—
189	網文土壺	深鉢形	調查區南西部		—	—	—	口緣部~胴部	地文·燃糸文		69圖	—
190	網文土壺	深鉢形	調查區西部	II層	—	—	—	口緣部~胴部	地文·網文		70圖	—
191	網文土壺	深鉢形	谷		—	—	—	口緣部	地文·網文		70圖	写真173
192	網文土壺	深鉢形	8号壘穴		—	—	—	口緣部	地文·網文		70圖	—
193	網文土壺	深鉢形	谷		—	—	—	口緣部~胴部	地文·網文		70圖	写真173
194	網文土壺	深鉢形	調查區南西部		—	—	—	口緣部	地文·網文		70圖	—
195	網文土壺	深鉢形	谷		—	—	—	口緣部	條痕		70圖	—
196	網文土壺	深鉢形	谷		—	—	—	口緣部	條痕		70圖	—
197	網文土壺	深鉢形	調查區南西部	IV層	—	—	—	口緣部	地文·燃糸文		70圖	写真173
198	網文土壺	深鉢形	調查區西部	II層	—	—	—	胴部	地文·網文		70圖	写真173
199	網文土壺	深鉢形	不明		—	—	—	胴部	地文·網文		70圖	写真173
200	網文土壺	深鉢形	谷		—	—	—	口緣部	地文·網文		70圖	写真173
201	網文土壺	深鉢形	谷		—	—	—	胴部	地文·燃糸文		70圖	—
202	網文土壺	深鉢形	谷		—	—	—	胴部	地文·網文		70圖	—
203	網文土壺	深鉢形	谷		—	—	—	胴部	地文·網文		70圖	—
204	網文土壺	深鉢形	谷		—	—	—	胴部	地文·網文		70圖	写真173
205	網文土壺	深鉢形	調查區西部		—	—	—	胴部	地文·網文		70圖	写真173
206	網文土壺	深鉢形	調查區北東部	I層	—	—	—	胴部	地文·網文		71圖	—

編號 No.	種別	器種名	出土地點	層位	口徑 (cm)	器高 (cm)	底徑 (cm)	殘存部位	調整・文様(外面/内面)	備考	圖版 No.	写真 No.
207	網文土器	深鉢形	谷	II層	—	—	—	胴部	地文:網文		71図	写真173
208	網文土器	深鉢形	調査区南西部		—	—	—	胴部	地文:網文		71図	—
209	網文土器	深鉢形	谷		—	—	—	胴部	地文:網文		71図	写真173
210	網文土器	深鉢形	谷		—	—	—	胴部	地文:網文		71図	写真173
211	網文土器	深鉢形	谷		—	—	—	胴部	地文:網文		71図	写真173
212	網文土器	深鉢形	谷		—	—	—	胴部	地文:燃糸文		71図	写真173
213	網文土器	深鉢形	調査区南西部		—	—	—	胴部	地文:網文		71図	写真173
214	網文土器	深鉢形	調査区南西部		—	—	—	胴部~底部	地文:網文		71図	写真168
215	網文土器	深鉢形	調査区南西部		—	—	—	胴部~底部	地文:網文		71図	写真168
216	網文土器	深鉢形	調査区南西部		—	—	—	胴部~底部	地文:網文		72図	写真174
217	網文土器	深鉢形	調査区南西部		—	—	—	胴部~底部	地文:網文		72図	—
218	網文土器	深鉢形	調査区南西部		—	—	—	底部	網代痕	網代痕	72図	写真174
219	網文土器	深鉢形	不明		—	—	—	底部	網代痕	網代痕	72図	—
220	網文土器	深鉢形	調査区南西部		—	—	—	底部	網代痕	網代痕	72図	写真174
221	網文土器	深鉢形	不明		—	—	—	底部	木葉痕	木葉痕	72図	写真174
222	網文土器	深鉢形	調査区南西部		—	—	—	底部	木葉痕	木葉痕	72図	—
223	網文土器	深鉢形	調査区南西部		—	—	—	底部	木葉痕	木葉痕	72図	写真174
224	網文土器	深鉢形	調査区南西部		—	—	—	底部	木葉痕	木葉痕	73図	—
225	網文土器	深鉢形	調査区南西部		—	—	—	底部	木葉痕	木葉痕	73図	写真174
226	網文土器	深鉢形	調査区南西部		—	—	—	底部	木葉痕	木葉痕	73図	—
227	網文土器	深鉢形	調査区南西部		—	—	—	底部	木葉痕	木葉痕	73図	—
228	網文土器	深鉢形	調査区南西部		—	—	—	底部	木葉痕	木葉痕	73図	—
229	網文土器	深鉢形	調査区南西部		—	—	—	底部			73図	—
230	弥生土器	甕	谷		—	—	—	口縁部	交互刺突文		73図	写真174
231	弥生土器	甕	谷		—	—	—	口縁部	地文:網文、交互刺突文		73図	写真174
232	弥生土器	甕	谷		—	—	—	口縁部	交互刺突文		73図	写真174
233	弥生土器	甕	谷		—	—	—	口縁部~胴部	地文:網文、口縁部:交互刺突文、胴部:沈線		73図	写真174
234	弥生土器	不明	谷		—	—	—	胴部	地文:網文、沈線		73図	写真174
235	弥生土器	不明	谷		—	—	—	胴部	地文:網文、沈線		73図	写真174
236	弥生土器	甕	谷		—	—	—	胴部	交互刺突文	赤彩	73図	写真174
第2表 出土土製品観察表												
237	網文土器	三子ユフ	調査区南西部		—	—	—	底部	網文		73図	写真174
238	網文土器	三子ユフ	窪六		—	—	—	底部	網文		73図	写真174
239	網文土器	三子ユフ	調査区南西部		—	—	—	底部	網文		73図	写真174
240	網文土器	三子ユフ	調査区南西部		—	—	—	底部	網文		73図	写真174
241	網文土器	三子ユフ	調査区南西部		—	—	—	完形	網文		73図	写真174

第3表 出土石器・石製品観察表

掲載No.	出土地点	層位	器種	石器 (単位: mm)			重量(g)	図版 No.	写真No.
				最大径	最大幅	最大厚			
242	8次	包含層	石鏃	30.9	19.8	5.6	2.7	74図 写真175	
243	8次 33号墓穴	包含層	石鏃	26.8	19.5	8.1	4.2	74図 写真175	
244	8次 92号土坑	包含層	石鏃	32.3	16.4	6.4	2.5	74図 写真175	
245	8次 33号墓穴	炉内	石鏃	46.0	18.5	5.6	4.2	74図 写真175	
246	8次	包含層	アレイク	20.0	17.6	7.9	1.8	74図 写真175	
247	8次 96号土坑	C1層	アレイク	36.1	40.9	9.3	14.2	74図 写真175	
248	9次 7号墓穴	埋土上層	磨製石斧	53.2	31.5	9.0	27.5	74図 写真175	
249	8次 87号土坑	床	磨製石斧	67.7	35.9	12.1	47.4	74図 写真175	
250	8次 33号墓穴	床	石鏃	20.0	8.5	5.0	—	74図 写真175	
251	調査区西部		石鏃	20.4	16.4	3.5	0.8	75図 写真175	
252	谷		石鏃	21.1	17.4	5.2	1.6	75図 写真175	
253	調査区南部		石鏃	13.5	15.0	2.2	0.5	75図 写真175	
254	不明		石鏃	42.2	9.9	6.5	2.5	75図 写真175	
255	44号墓穴		石鏃	38.9	26.6	7.8	6.4	75図 写真175	
256	谷		石鏃	42.5	26.6	7.0	6.7	75図 写真175	
257	谷		石鏃	70.0	24.9	9.9	17.1	75図 写真175	
258	調査区南部		石鏃	51.9	13.6	5.9	3.9	75図 写真175	
259	5号土坑		ヘラ状石器	53.8	21.1	5.7	6.4	75図 写真175	
260	谷		ヘラ状石器	44.4	22.2	7.3	6.6	75図 写真175	
261	調査区南部		スケーパー	30.4	25.7	8.6	6.2	75図 写真175	
262	8号墓穴		石鏃	36.0	20.5	7.1	4.0	75図 写真175	
263	調査区南西部		ヘラ状石器	50.6	33.5	9.1	10.0	75図 写真175	
264	調査区南西部		スケーパー	34.4	46.1	10.3	16.9	75図 写真175	
265	8次 81号土坑		磨製石斧	40.0	40.0	22.00	14.0	76図 写真176	
266	8次 30号墓穴		磨製石斧	62.50	34.00	12.50	5.0	76図 写真176	
267	8次 96号土坑	C2層	打製石斧	124.00	66.00	41.00	63.0	76図 写真176	
268	8次 31号墓穴		磨石	59.50	80.00	34.00	21.0	76図 写真176	
269	8次 89号土坑		磨石	46.00	75.00	35.00	15.0	76図 写真176	
270	8次 83号土坑		磨石	75.50	171.00	75.00	135.0	76図 写真176	
271	8次 31号墓穴		磨石	73.50	127.00	64.50	90.0	76図 写真176	
272	8次		石皿	97.00	124.00	41.00	61.0	76図 写真176	
273	8次 102号土坑	Ia層	磨製石斧	140.90	56.00	35.00	48.0	77図 写真176	
274	8次	鞍跡トレンチ	磨製石斧	107.50	43.50	26.50	25.0	77図 写真176	
275	8次	包含層	磨製石斧	96.00	43.50	33.50	25.0	77図 写真176	
276	8次	Ia層	磨製石斧	91.00	53.00	37.00	30.0	77図 写真176	
277	8次	表層	磨製石斧	90.50	39.50	21.50	15.0	77図 —	
278	8次	Ia層	打製石斧	67.50	65.00	22.50	15.0	77図 写真176	
279	8次	Ia層	磨石	76.00	131.50	76.00	75.0	77図 写真176	
280	8次 31号墓穴	床	磨石	65.00	160.50	65.00	90.0	77図 —	
281	8次		磨石	66.50	46.50	35.50	20.0	77図 写真176	
282	8次	包含層	磨石	65.50	65.50	28.00	20.0	77図 写真176	
283	8次	Ia層	磨石	88.00	121.50	47.00	69.0	78図 写真177	
284	8次 33号墓穴	A1層	磨石	85.50	152.00	57.00	94.0	78図 写真177	
285	8次	Ia層 西部	磨石	66.50	61.00	43.00	24.0	78図 写真177	
286	8次	包含層	磨石	60.00	122.00	34.00	35.0	78図 写真177	
287	8次	Ia層	叩き石	92.00	51.00	34.00	25.0	78図 写真177	
288	8次	包含層	叩石	91.50	77.00	35.00	22.0	78図 写真177	
289	9次 8号墓穴南壁際	C1層	磨製石斧	89.00	59.00	21.00	20.0	79図 写真177	
290	9次 8号墓穴	磨石	磨石	67.00	70.00	44.00	37.0	79図 写真177	
291	9次 8号墓穴	P4 a1層	磨石	103.00	53.00	39.00	37.0	79図 写真177	
292	9次 37号墓穴		磨石	52.50	59.00	54.50	30.0	79図 写真177	
293	9次 8号墓穴内	P7 a1層	磨石	115.00	43.00	39.00	17.0	79図 写真177	
294	9次 8号墓穴南壁際	C1層	磨石	60.00	62.00	52.50	29.0	79図 写真177	
295	9次 8号墓穴	壁際層	叩き石	119.00	58.00	38.00	43.0	79図 写真177	

295	9次 8号壁穴	D3層	叩き石	90.00	76.50	58.00	550	79図	写真177
297	9次 8号壁穴付近	暗褐色土	叩き石	62.00	84.50	62.00	900	80図	写真178
298	9次 8号壁穴	暗褐色土	叩き石	157.50	59.50	33.50	600	80図	写真178
299	9次 8号壁穴 複式伊前庭部付近	暗褐色土	凹石	136.50	87.50	45.50	650	80図	写真178
300	9次 35号壁穴	床直上	叩き石	127.00	48.00	37.00	400	80図	写真178
301	9次 35号壁穴	床直上	石皿	175.00	82.50	40.50	850	80図	写真178
302	9次 37号壁穴	黒色土下層 褐色土	磨製石斧	101.00	39.50	25.00	200	80図	写真178
303	9次 37号壁穴	黒色土下層 褐色土	磨石	58.50	60.50	50.00	250	80図	写真178
304	9次 37号壁穴	埋土中	磨石	75.00	61.00	55.00	400	81図	写真178
305	9次 39号壁穴	石皿	石皿	143.00	96.50	23.00	400	81図	写真178
306	9次 41号壁穴	埋土中	石皿	180.00	149.00	35.00	1,250	81図	写真178
307	9次 41号壁穴南西部	暗褐色土	凹石	135.00	67.00	28.00	300	81図	写真178
308	9次 44号壁穴北西部	壁跡	磨石	68.00	143.00	33.00	403	81図	—
309	9次 44号壁穴	床直	凹石	96.00	72.00	29.50	200	81図	—
310	9次 44号壁穴	床直	磨石	85.50	84.00	52.00	550	82図	—
311	9次 46号壁穴	覆土	磨石	78.00	65.00	40.00	350	82図	—
312	9次 46号壁穴周辺	IV層	磨石	69.50	65.00	48.00	340	82図	—
313	9次 48号壁穴	P11	石皿	243.00	181.00	50.00	4,450	82図	—
314	9次 48号壁穴	埋設土器	石皿	162.00	150.00	43.00	1,370	82図	写真179
315	9次 48号壁穴	埋土層	磨石	55.00	62.00	56.00	300	82図	—
316	9次 42号壁穴		磨製石斧	115.50	43.00	24.50	250	83図	写真179
317	9次 133号土坑		磨石	61.50	109.50	61.50	500	83図	写真179
318	9次 7号俵土		凹石	184.00	153.00	62.00	2,050	83図	写真179
319	9次 133号土坑	a2層	叩き石	220.50	88.00	37.50	1,500	83図	写真179
320	9次 調査区南西部		磨石	77.50	144.00	75.00	750	83図	写真179
321	9次 調査区南西部	II層	磨製石斧	50.00	18.00	5.00	9	84図	写真180
322	9次 調査区南西部	II層	磨製石斧	62.00	39.00	15.00	50	84図	写真180
323	9次 調査区南西部	埋木中	磨製石斧	98.00	38.00	19.00	80	84図	写真180
324	9次 調査区南西部	埋土中	磨製石斧	79.00	41.00	22.00	120	84図	写真180
325	9次 調査区東部	I層	磨製石斧	84.50	48.00	33.00	220	84図	写真180
326	9次 調査区南西部	清掃中	打製石斧	88.00	59.00	30.00	210	84図	写真180
327	9次 調査区	南部クリーニング	打製石斧	70.00	57.00	30.00	220	84図	写真180
328	9次 調査区南西部	II層	打製石斧	83.00	54.00	37.00	270	84図	—
329	9次 調査区南西部	D区 清掃中	打製石斧	89.00	54.00	18.00	130	84図	—
330	9次 調査区南西部	II層	磨石	100.00	88.50	49.00	630	84図	写真180
331	9次 調査区南西部	II層	磨石	79.00	76.00	50.00	430	84図	写真180
332	9次 調査区南西部	II層	磨石	88.00	73.00	41.00	400	85図	写真180
333	9次 谷	II層	磨石	86.50	70.50	50.00	3,500	85図	写真180
334	9次 調査区南西部	I層	磨石	103.00	76.50	42.50	600	85図	写真180
335	9次 37号壁穴	a1層	磨石	85.50	84.50	40.00	450	85図	写真180
336	9次 調査区南西部	森土	磨石	81.50	57.50	31.00	200	85図	写真180
337	9次 調査区南西部	クリーニング	磨石	75.00	63.00	49.50	350	85図	写真180
338	9次 調査区南西部	I層	磨石	89.50	56.50	56.50	350	85図	写真180
339	9次 調査区南西部		磨石	90.50	78.00	37.50	450	85図	写真180
340	9次 谷	出土地不明	磨石	110.00	60.00	41.00	500	85図	写真181
341	9次 谷		磨石	75.00	105.00	46.00	600	85図	写真181
342	9次 谷		磨石	64.00	69.00	25.00	200	85図	写真181
343	9次 調査区南西部	II層	磨石	78.00	55.00	30.00	250	85図	写真181
344	9次 調査区南西部	II層	磨石	93.00	78.00	39.00	500	85図	写真181
345	9次 調査区南西部	不明	磨石	75.00	72.00	45.00	400	85図	写真181
346	9次 調査区南西部	清掃中	磨石	69.00	68.00	43.00	290	86図	写真181
347	9次 調査区南西部	埋設線出	磨石	88.00	86.00	41.00	400	87図	写真181
348	9次 谷		磨石	90.00	47.50	48.00	200	87図	写真181
349	9次 調査区南西部		磨石	65.50	63.00	51.50	350	87図	—
350	9次 谷		磨石	70.00	70.50	44.00	400	87図	—
351	9次 調査区南西部	線出面	磨石	88.00	88.50	51.50	550	87図	—
352	9次 谷		磨石	66.50	71.00	50.00	350	87図	写真181
353	9次 調査区南西部	線出面	磨石	82.00	74.50	27.00	300	88図	—

(4) 調査のまとめ

発掘調査により縄文時代の竪穴住居跡、土坑、ピット、焼土遺構を検出し、縄文土器、石器、土製品、石製品が出土した。以下、遺構、遺物、集落の様相や変遷に分けて検討していきたい。

・遺構

第8次・第9次調査により検出された竪穴住居跡は24を数える。第9次調査区の南部と南西部で重なり合って検出され、第8次・第9次調査区の北西にも疎らに確認された。時期は縄文時代中期末、大木10式期のものが多いが、後期初頭のものも含まれる。上部が削平されていることや竪穴住居跡どうしが重複していることから残存状況が悪いものが多いが、竪穴住居跡の特徴としては掘り込みの浅いものが多く、柱穴に規則性はない。平面形は円形、楕円形があり規模は長軸3m前後のものが多い。

炉跡は地床炉(8、33、35、44号)、石囲炉(31、41、42、43、46、49、50、52号)、複式炉(36、39、47、48、51号)、斜位埋設土器炉(32、34、40号)からなる。複式炉は出入口部とされる前庭部を明瞭に持たず、最も近い住居跡の壁から0.5~0.7m中心からずれた位置に石囲炉を連結させたものが多い。その中で48号竪穴住居跡の複式炉は1つの石囲炉が「日」状に石を配置した特異な例である。複式炉は東北地方南部で、中期中葉に発生する炉の構造で中期末に衰退する。今調査で検出した前庭部を明瞭に持たない複式炉はその最終形態として位置付けることができる。

重複関係については下記のとおりになる。

42号竪穴住居跡 → 47号竪穴住居跡 → 8号竪穴住居跡
50号竪穴住居跡 → 51号竪穴住居跡 → 8号竪穴住居跡

床面から出土する遺物としては、土器、石器といった生活道具が出土するが、34号竪穴住居跡では石棒が出土した。この石棒は体部の両面に窪みを有していることから凹石の転用品と考えられる。崎山貝塚では住居が分布していない居住域外から直立の状態で出土しているが、住居内での出土例は市内で初めてである。

52号竪穴住居跡は埋土が埋まりきらない中位の深さから縄文土器が多く出土し、中心には貝ブロックが検出された。このことは竪穴住居埋没途中の窪地で行われた廃棄行為と考えられる。貝ブロックでは3000個体分ものフジツボが含まれていた。

検出された土坑は64を数える。その内訳は、断面形がフラスコ形、寸胴形で貯蔵穴と考えられるものが33基、長楕円形で陥し穴と考えられるものが2基、その他性格不明なもの29基である。最も多く検出された貯蔵穴は平面形が円形、楕円形で規模は長軸1.21m、短軸0.96m、深さ1.56mの範疇に収まる。時期が分かるものは少ないが、78号、83号、96号、127号土坑は出土遺物から後期初頭と考えられる。

・遺物

今調査で主に出土した大木10式土器及び後期初頭に比定される土器について若干の考察をすることとしたい。なお、大木10式土器については丹羽 茂氏が示された第1段階~第3段階(丹羽1981)を用いる。

大木10式第1段階

『「U」字状、「S」字状、波形状の文様を隆線や沈線で胴部全体に描き、その内部もしくは外部に充填したもの』(丹羽 1981)として、第54図3の土器をあげるすることができる。胴部文様帯に文様

が展開されているものである。数量は少ない。

大木10式第2段階

「胴部中央にゆるやかな波状の線が隆線ないし沈線で引かれ、文様が胴上部にだけ描かれ、胴下部は地文（縄文）のみとなる」（丹羽 1981）として、第63図84の土器をあげることができる。数量は第1段階よりは多い。

大木10式第3段階

「（波状口縁の）文様は胴上部に限定され、「ノ」状の無文帯と不整四角形の充填縄文帯が区画され、それらが交互に繰り返され、横方向に連続する。」（丹羽 1981）として、第57図22、23の土器をあげることができる。当該期の土器は無文帯の結合部に「鱗状隆線（丹羽 1981）」と呼ばれる弧状の突起が見られ、隆線に沿って連続した刺突を施文しているものもある。

後期初頭

第8次調査で検出した96号土坑出土の土器（第53図1、2）、第9次調査で検出した127号土坑出土の土器（第54図4）の他、第55図6～8が当該期に含まれる。第54図4の波状口縁深鉢形土器は口縁部を縄文帯とし、胴下部まで文様が展開している。壺形土器の第53図1も文様構成は変わらないことから2つは同時期のものと考えられる。文様帯の系統としては上述の大木10式土器の系統とは異なり、上村式や葦窪式の影響が強いものと思われるが、「U」字状の縄文帯や鱗状の突起が見受けられることから大木10式の色合いも残している。一方で円形の刺突を連続して口縁部に「S」字状や「ノ」字状に施すものも当該期に含まれる。こちらは文様が胴上部に限定されていることから大木10式土器の系統と考えられる。市内では早稲枒Ⅱ遺跡第8次調査に類例があり、盛岡市大葛遺跡からまとまって出土している。門前式に併行する時期の所産と考えられる。

以上のことから、大木10式の系統の土器が引き継がれている一方で、後期初頭には別の系統の土器が受容されていたことが分かる。

石器については、剥片石器が少なく礫石器が多い。中でも磨石が多く出土した。磨石は使用面が一つのもの、二つのもの、全周にわたるものに分かれる。使用面が全周にわたり使用面に稜線を有すると稜線部分が最大幅になることからそろばん玉のような形態になる。使用面に稜線を有するものは対象物の真上からというより斜めに傾けて使用したことに想像は難くない。使用面に稜線のないものを使い分けがあった可能性が示唆される。

石製品については石棒が2点出土した。市内では出土数では少ない。先述したが住居内で出土していることが特筆される。

遺物はその他、琥珀と思われる塊が39号竪穴住居跡覆土掘り下げ中に出土した。当遺跡では第5次調査で比較的大きな塊が出土している。

・集落の変遷

出土した土器の変遷から当遺跡の移り変わりを白石Ⅰ期～Ⅳ期の4時期に分けることができる。

白石Ⅰ期

大木10式第1段階の時期で、52号竪穴住居跡が該当する他、第4次・第5次調査の17号竪穴住居

跡（床面）も該当する。出土遺物は乏しいが重複関係から38号、39号、47、48号竪穴住居跡も当該期に含まれると考えられる。炉は単独の石囲炉と石囲炉を連結させた複式炉が併存する。複式炉は36号、44、45号竪穴住居跡の複式炉のように大型である。

白石Ⅱ期

大木10式第2段階の時期で、51号竪穴住居跡が該当する。第3次・第4次調査の4号、8号、9号、10号、16号竪穴住居跡（床面）も該当する。出土遺物は乏しいが重複関係から44号竪穴住居跡も当該期に含まれると考えられる。炉は単独の石囲炉、地床炉、複式炉が併存する。複式炉はⅠ期よりも小型化するきらいがある。

白石Ⅲ期

大木10式第3段階の時期で、41号竪穴住居跡が該当する。第4次・第5次調査の28号竪穴住居跡（床面）も該当する。また、Ⅱ期の8号竪穴住居跡埋土上層には当該期の土器がまとまって出土している。炉は単独の石囲炉と斜位土器埋設炉が併存する。

白石Ⅳ期

大木10式第3段階に後続する後期初頭の時期で、明確に該当する号竪穴住居跡ないが、第3次・第4次調査の15号、22号、24号、25号、26号、27号竪穴住居跡が該当する。出土遺物は乏しいが35号竪穴住居跡も当該期に含まれると考えられる。炉はⅢ期と同じである。竪穴住居跡の分布の面ではこれまでの重複的なものから分散化の傾向への変化がみられる。土器型式では前述のとおり大木10式土器の系統を引き継ぐものと上村式、葦窪式といった別の系統の文様要素を併せ持った土器が併存している。

以上のとおり、当遺跡で検出された竪穴住居跡は4つの時期に大きく分けることができる。また、炉の変遷や複式炉の終焉についても指摘できるようである。

・総括

東日本大震災大津波による甚大な被害から3年後の平成26年に整備が完了した崎山地区の集団移転地において、縄文時代中期末、後期初頭の遺構・遺物が確認された。9次にわたる発掘調査で重複するものの50棟の竪穴住居跡が検出されたことは拠点的な集落の要素をもつものと考えられ、隣接する崎山貝塚においては大木7a式期から大木9式期まで続いた台地上の居住域が大木10式期に衰退を迎えることから、当遺跡は崎山貝塚に替わる数世代限定の大規模集落であったと推定される。

さらに縄文時代後期初頭にあっては、それまで安定的な大木式土器の系統を堅持した文化が薄れ、他地域の要素を受容する、いわば転換期であったことが出土した土器から指摘することができた。これが当遺跡に限ることか、周辺もしくは三陸地方一円の集落にも該当するかは今後の課題である。

最後に、4900㎡もの調査面積を5ヶ月という短期間で終えることができたのは多くの人的支援によるものであることを書き留めておきたい。派遣職員及び青森県埋蔵文化財センター職員による調査支援は調査範囲を分割することで短期間での調査が可能となった。また、施工引き渡しにおいても調査が完了した所から随時引き渡しすることで工事の遅れを防ぐことが可能となった。さらに、記録作業の面でも測量機器の充実により測量作業の迅速化を図ることができた。このような充実した支援によって復興対応においても記録保存を目的とする通常の発掘調査と同様の発掘調査が可能となり、地域の歴史研究の一助となる調査成果を残すことができたことを忘れてはならない。

参考文献

- 宮古市教育委員会 1979 『宮古市大付遺跡発掘調査報告書』
- 宮古市教育委員会 1983 『宮古市遺跡分布調査報告書1』
- 宮古市教育委員会 1987 『崎山遺跡群Ⅰ－昭和61年度発掘調査概報－』
- 宮古市教育委員会 1988 『崎山遺跡群Ⅱ－昭和62年度発掘調査概報－』
- 宮古市教育委員会 1989 『崎山遺跡群Ⅲ－昭和63年度発掘調査概報－』
- 宮古市教育委員会 1990 『崎山遺跡群Ⅳ－平成元年度発掘調査概報－』
- 宮古市教育委員会 1991 『崎山遺跡群Ⅴ－平成2年度発掘調査概報－』
- 宮古市教育委員会 1992 『大付遺跡－平成3年度発掘調査報告書－』
- 宮古市教育委員会 1992 『崎山遺跡群Ⅵ－平成3年度発掘調査概報－』
- 宮古市教育委員会 1995 『崎山貝塚－範囲確認調査報告書－』
- 宮古市教育委員会 1996 『大付遺跡－平成5年・6年度発掘調査報告書－』
- 宮古市教育委員会 1997 『白石遺跡－第6次発掘調査報告書－』
- 宮古市教育委員会 1999 『崎山貝塚－第12次・13次内容確認調査概報－』
- 宮古市教育委員会 2006 『崎山貝塚第20次・早稲栃Ⅱ遺跡第7次調査－市内遺跡発掘調査報告書5－』
- 丹羽 茂 1981 「大木式土器」『縄文文化の研究4』

写 真 网 版

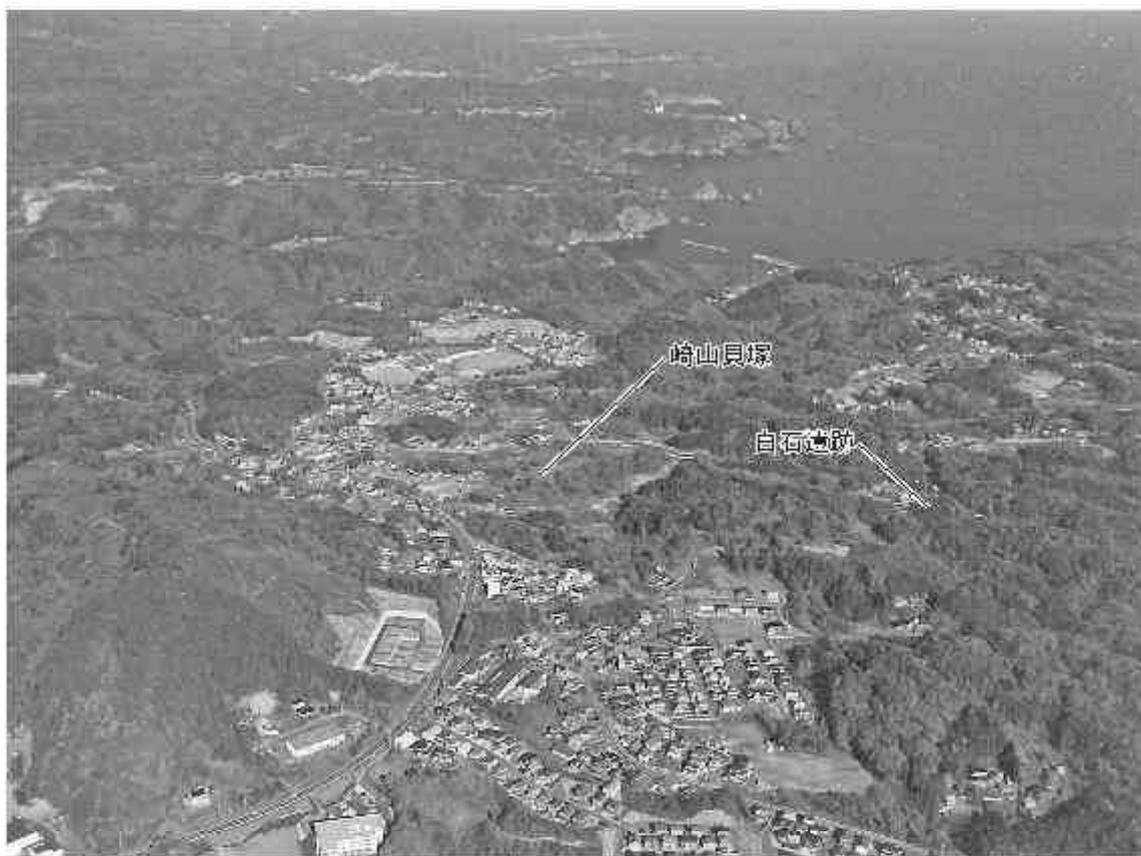


写真1 白石遺跡周辺航空写真



写真2 第8次調査区南西部近景



写真3 第8次調査区北西部近景



写真4 31号、32号竪穴住居跡



写真5 31号竖穴住居跡



写真6 30号竖穴住居跡炉跡



写真7 31号竖穴住居跡炉跡(1)



写真8 31号竖穴住居跡炉跡(2)



写真9 31号竖穴住居跡炉跡(3)



写真10 32号竖穴住居跡

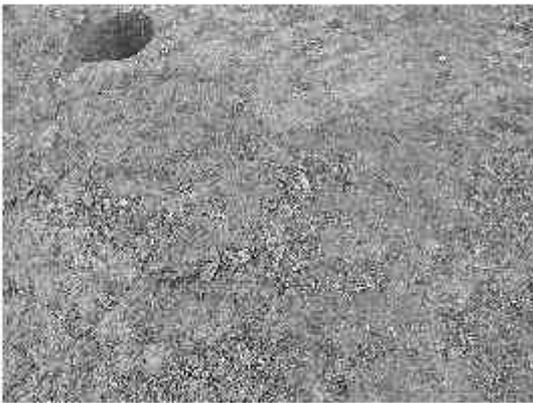


写真11 32号竖穴住居跡炉跡(1)



写真12 32号竖穴住居跡炉跡(2)



写真13 32号竖穴住居跡炉跡(3)

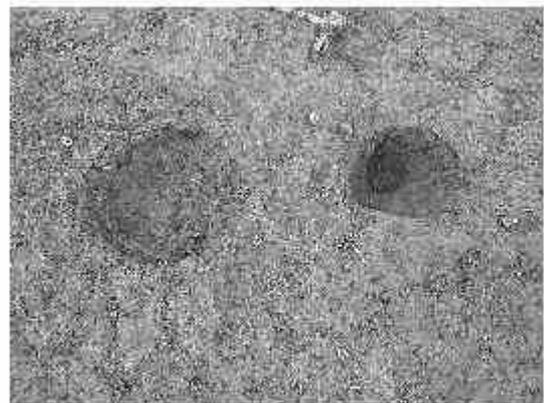


写真14 32号竖穴住居跡ピット



写真15 33号竖穴住居跡



写真16 34号竖穴住居跡



写真17 34号竖穴住居跡土層断面



写真18 34号竖穴住居跡炉跡(1)



写真19 34号竖穴住居跡炉跡(2)



写真20 34号竖穴住居跡炉跡土器

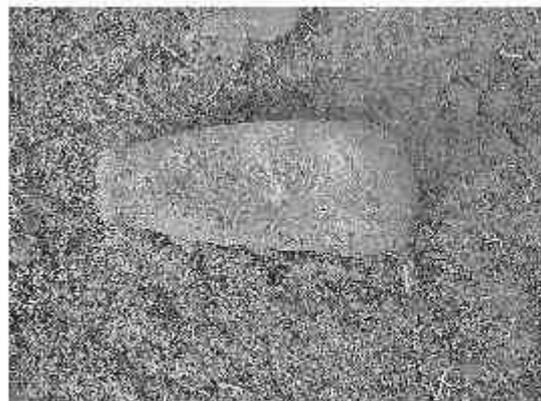


写真21 34号竖穴住居跡出土石棒



写真22 78号土坑



写真23 79号土坑

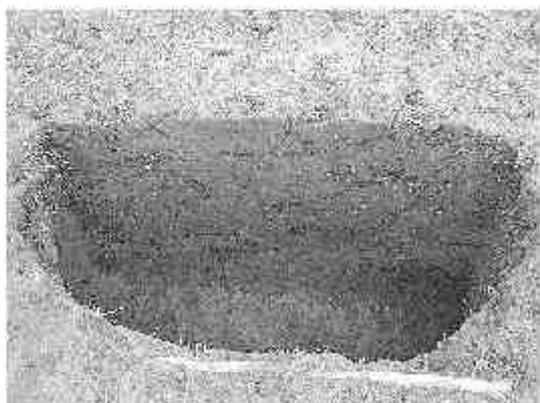


写真24 80号土坑土层断面



写真25 80号土坑



写真26 81号土坑

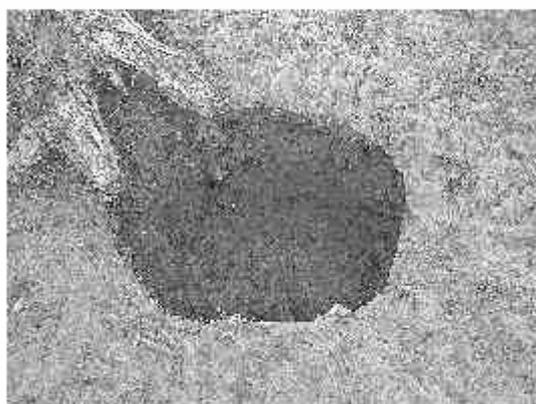


写真27 82号土坑



写真28 83号土坑



写真29 84号土坑



写真30 85号土坑土层断面



写真31 85号土坑



写真32 86号土坑土层断面



写真33 86号土坑



写真34 87号土坑土层断面



写真35 87号土坑



写真36 88号土坑

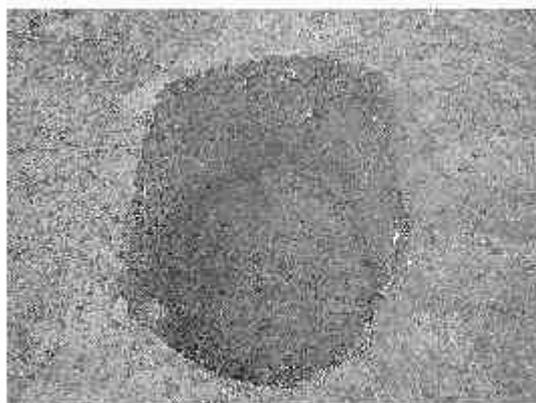


写真37 89号土坑



写真38 91号~95号土坑

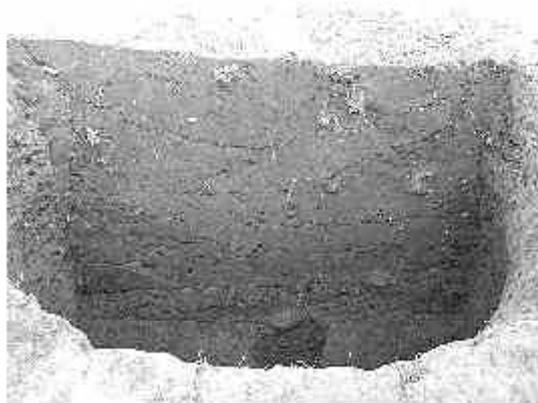


写真39 91号土坑土层断面

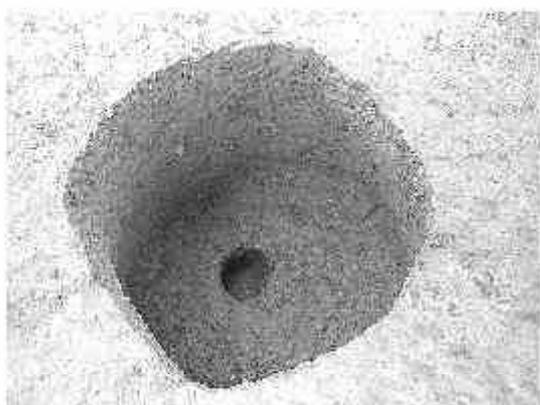


写真40 91号土坑

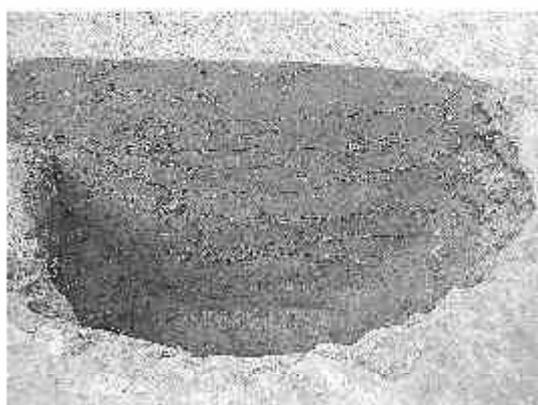


写真41 92号土坑土层断面

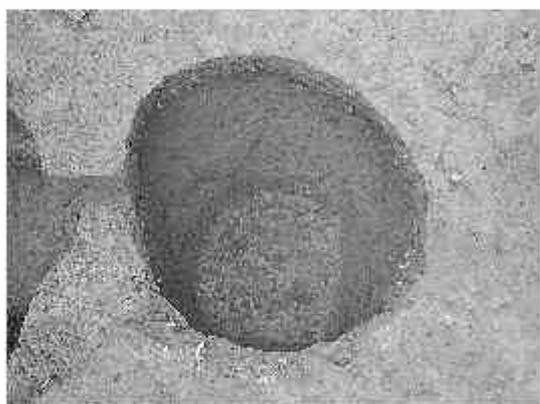


写真42 92号土坑



写真43 93号土坑



写真44 94号土坑



写真45 95号土坑



写真46 96号土坑土层断面

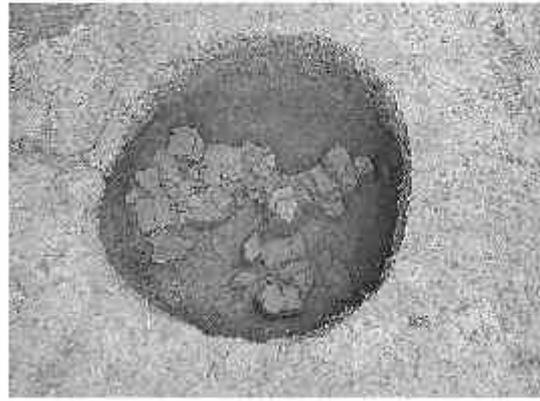


写真47 96号土坑土器出土状况

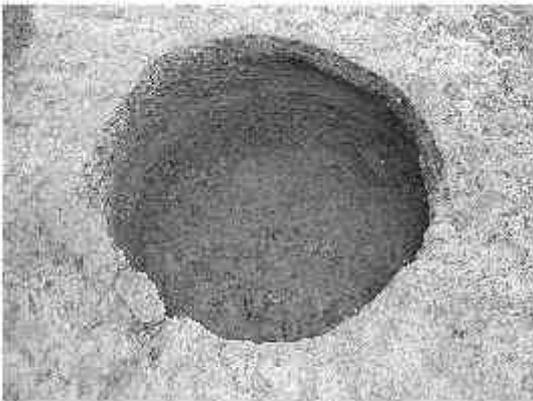


写真48 96号土坑

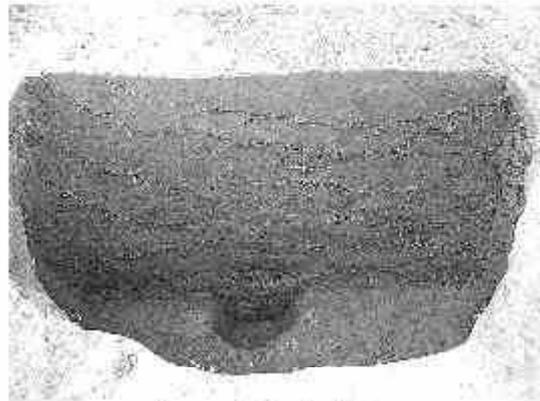


写真49 97号土坑土层断面

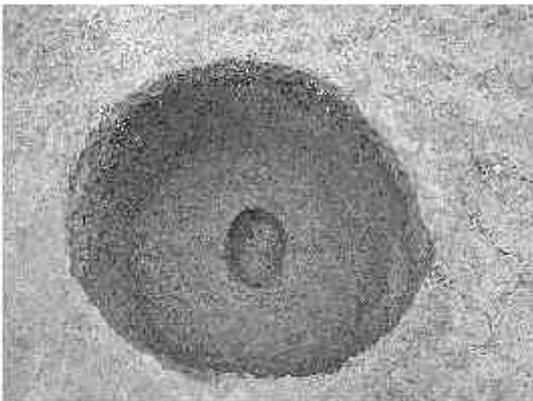


写真50 97号土坑

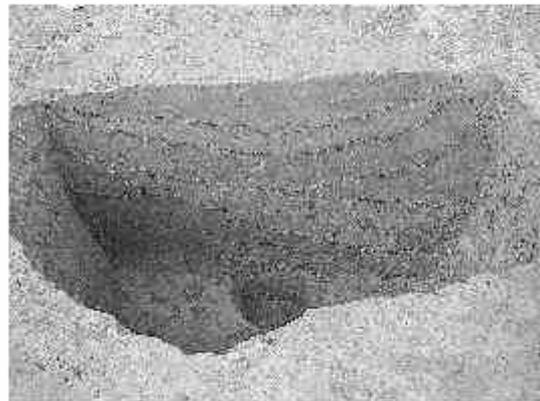


写真51 98号土坑土层断面

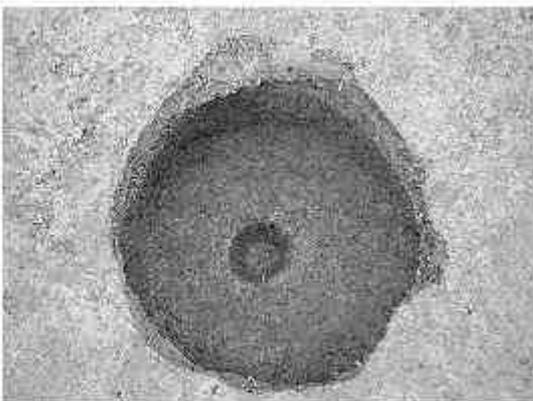


写真52 98号土坑



写真53 99号土坑土层断面

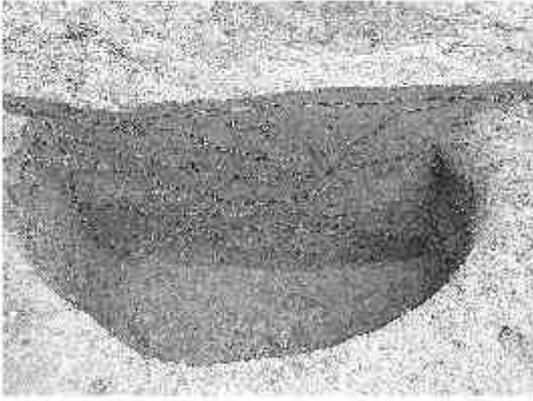


写真54 100号土坑土層断面

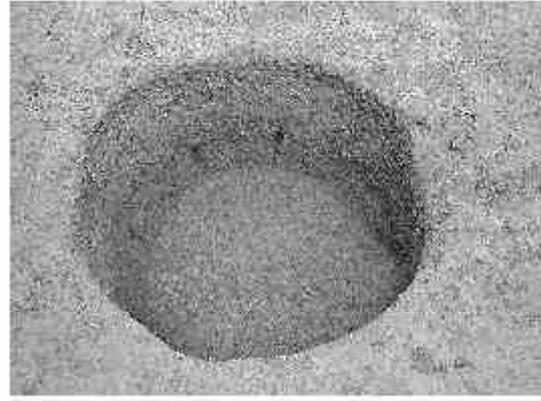


写真55 100号土坑



写真56 100号土坑壁ビット

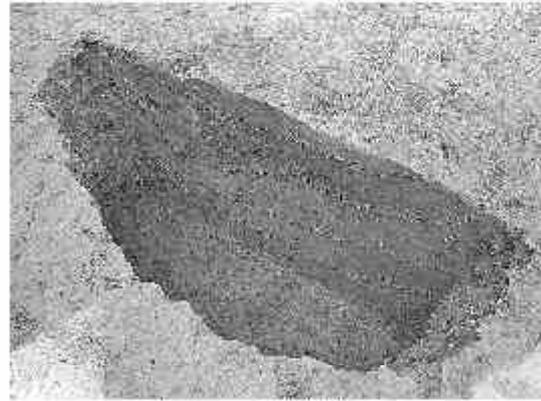


写真57 101号土坑土層断面



写真58 101号土坑

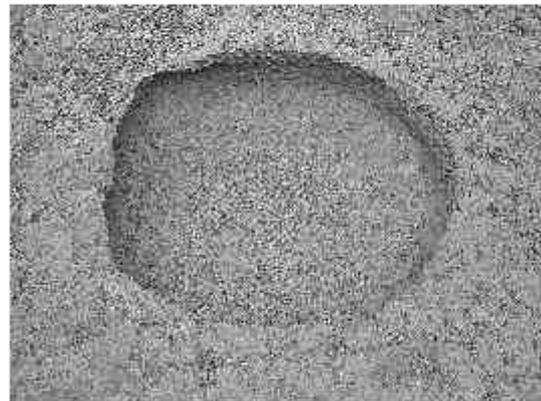


写真59 102号土坑土層断面

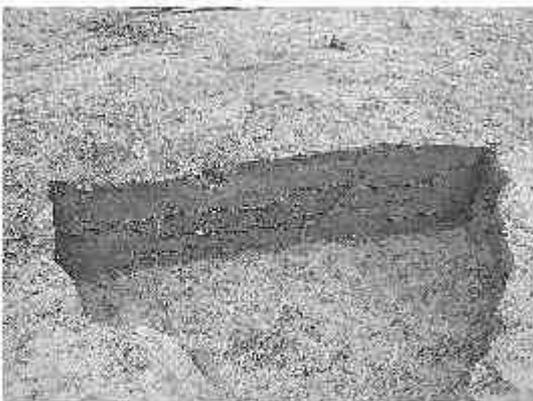


写真60 102号土坑

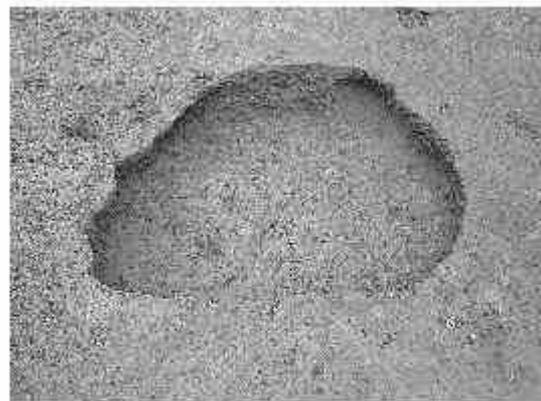


写真61 102号土坑



写真62 104号、105号土坑土層断面



写真63 104号、105号土坑

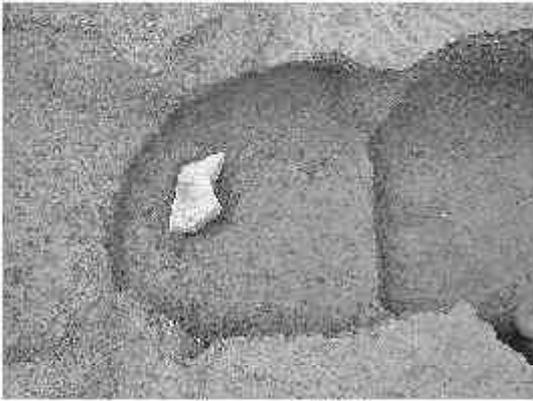


写真64 104号土坑

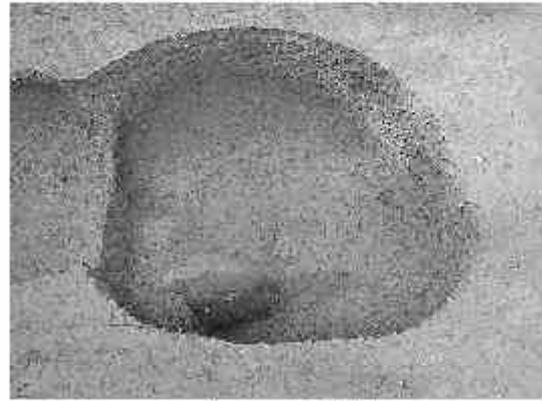


写真65 105号土坑

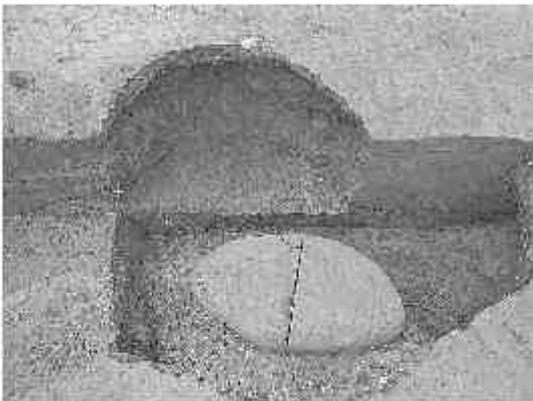


写真66 106号土坑

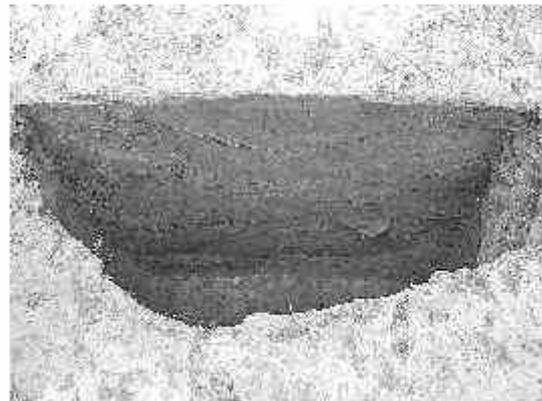


写真67 107号土坑土層断面

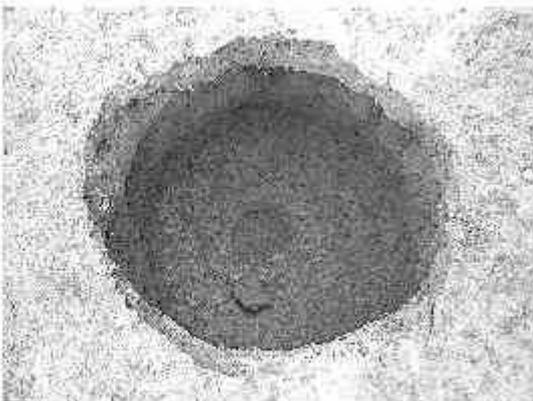


写真68 107号土坑



写真69 包含層掘り下け状況



写真70 第9次調査区南西部近景(1)



写真71 第9次調査区南西部近景(2)



写真72 第9次調査区南西部近景(3)



写真73 第9次調査区南西部近景(4)



写真74 39号、44号竖穴住居跡



写真75 8号、39号、48号、44号竖穴住居跡



写真76 36号、38号竖穴住居跡



写真77 50号～52号竖穴住居跡



写真78 8号竖穴住居跡(1)



写真79 8号竖穴住居跡(2)



写真80 35号竪穴住居跡



写真81 9次調査西部近景



写真82 35号竪穴住居跡炉跡



写真83 35号竪穴住居跡炉跡土器



写真84 35号竪穴住居跡炉跡作業状況



写真85 36号竖穴住居跡

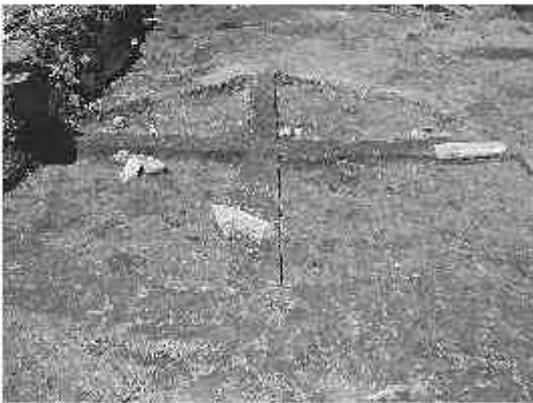


写真86 36号竖穴住居跡土層断面(1)

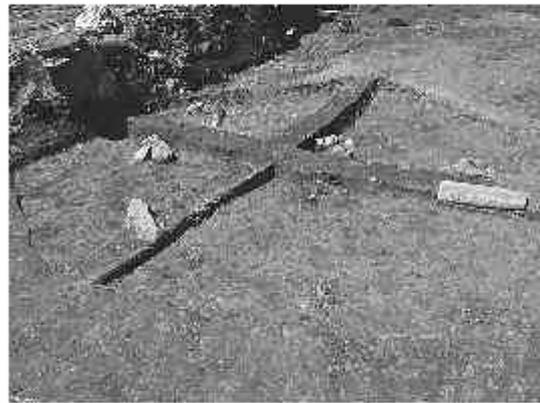


写真87 36号竖穴住居跡土層断面(2)



写真88 36号竖穴住居跡炉跡



写真89 37号竖穴住居跡土器出土状況



写真90 38号竖穴住居跡(1)



写真91 38号竖穴住居跡(2)



写真92 38号竖穴住居跡土層断面(1)



写真93 38号竖穴住居跡土層断面(2)



写真94 38号竖穴住居跡炉跡



写真95 39号竖穴住居跡



写真96 39号竖穴住居跡土層断面

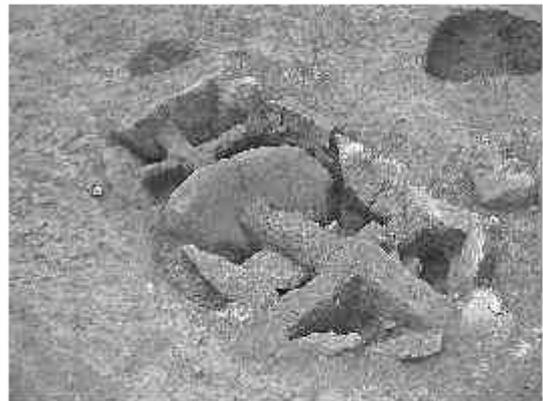


写真97 39号竖穴住居跡炉跡土層断面



写真98 39号竖穴住居跡炉跡(1)



写真99 39号竖穴住居跡炉跡(2)



写真100 40号竖穴住居跡



写真101 40号竖穴住居跡炉跡



写真102 41号竖穴住居跡



写真103 41号竖穴住居跡土層断面



写真104 41号竖穴住居跡炉跡



写真105 42号竪穴住居跡



写真106 42号竪穴住居跡炉跡(1)



写真107 42号竪穴住居跡炉跡(2)



写真108 42号竪穴住居跡埋設土器土層断面



写真109 42号竪穴住居跡埋設土器



写真110 44号竪穴住居跡



写真111 44号竪穴住居跡土層断面



写真112 44号竪穴住居跡土器出土状況(1)



写真113 44号竪穴住居跡土器出土状況(2)



写真114 44号竪穴住居跡炉跡



写真115 45号、46号竖穴住居跡(1)



写真116 46号竖穴住居跡(2)



写真117 46号竖穴住居跡炉跡 1 (1)



写真118 46号竖穴住居跡炉跡 1 (2)



写真119 46号竖穴住居跡炉跡 2 (1)



写真120 46号竖穴住居跡炉跡 2 (2)



写真121 45号竖穴住居跡埋設土器土層断面

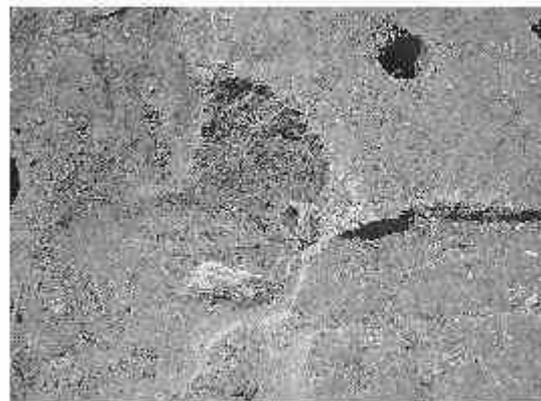


写真122 45号竖穴住居跡埋設土器



写真123 47号竖穴住居跡



写真124 47号竖穴住居跡検出状況



写真125 47号竖穴住居跡炉跡検出状況



写真126 47号竖穴住居跡炉跡土層断面



写真127 47号竖穴住居跡炉跡



写真128 48号竪穴住居跡(1)



写真129 48号竪穴住居跡(2)



写真130 48号竖穴住居跡土層断面(1)



写真131 48号竖穴住居跡土層断面(2)



写真132 48号竖穴住居跡炉跡1検出状況



写真133 48号竖穴住居跡炉跡1土層断面



写真134 48号竖穴住居跡炉跡1



写真135 48号竖穴住居跡炉跡2土層断面



写真136 48号竖穴住居跡炉跡2



写真137 49号竖穴住居跡炉跡



写真138 50号竖穴住居跡

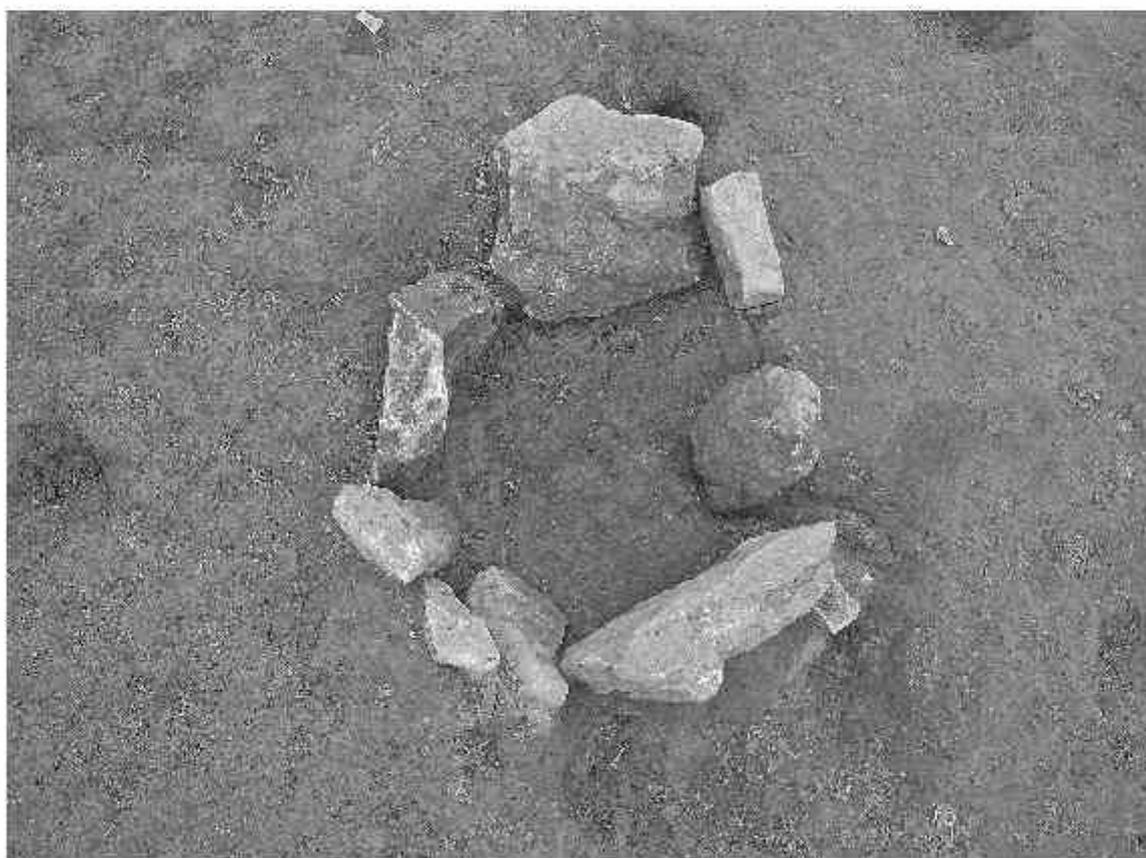


写真139 50号竖穴住居跡炉跡



写真140 114~123号土坑(1)



写真141 114~123号土坑(2)



写真142 108号土坑

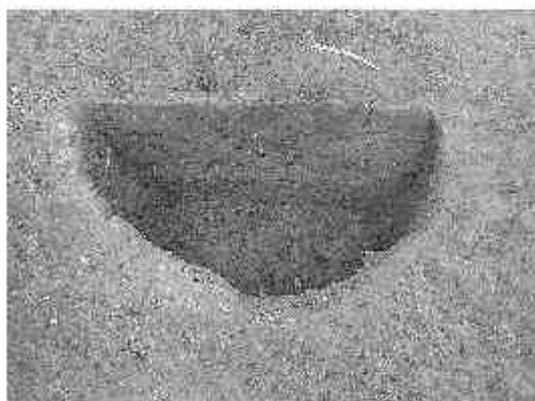


写真143 110号土坑土层断面

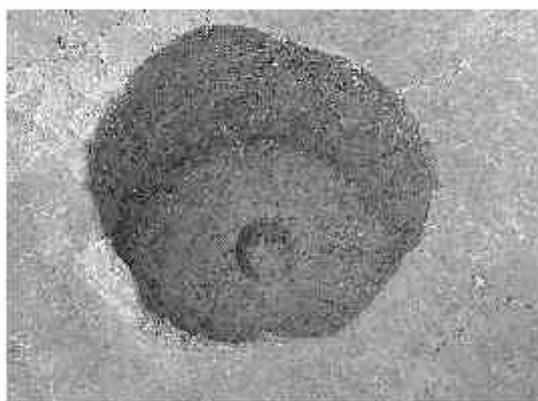


写真144 110号土坑

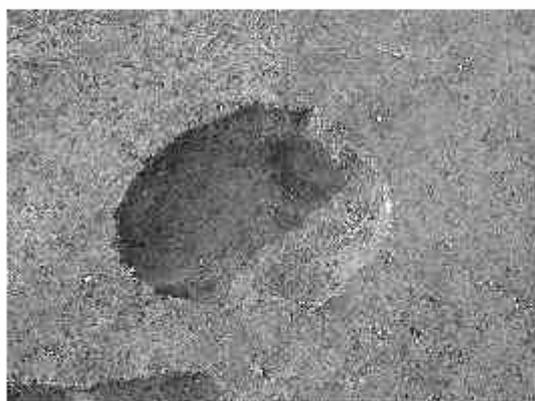


写真145 120号土坑

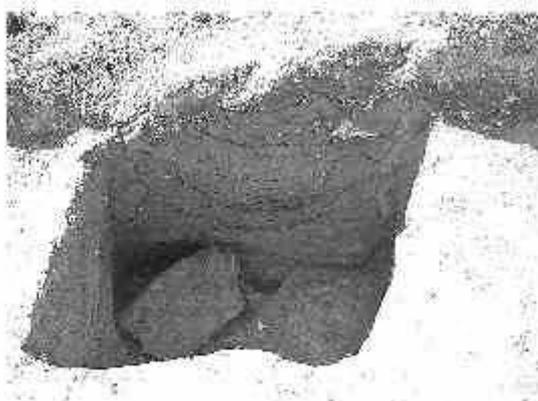


写真146 126号土坑土层断面



写真147 126号土坑

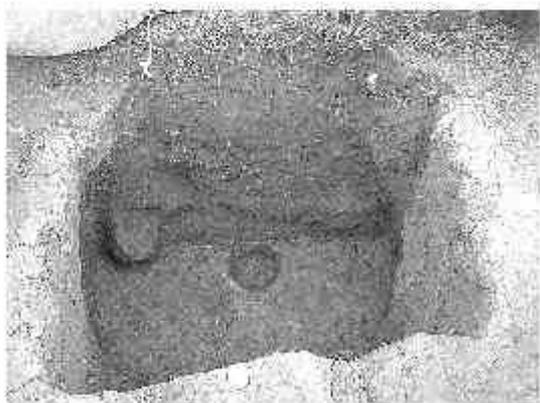


写真148 127号土坑土层断面



写真149 127号土坑



写真150 128号、129号土坑



写真151 130号土坑



写真152 132号土坑

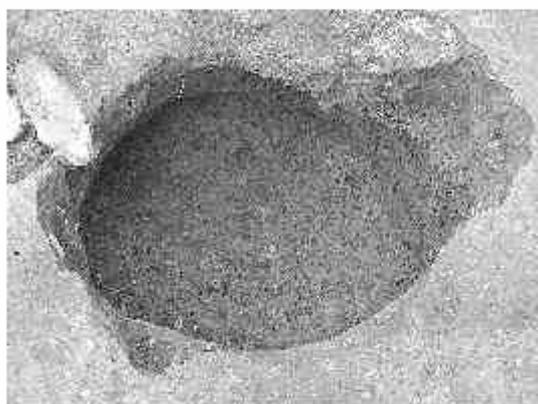


写真153 133号土坑



写真154 134号土坑土层断面



写真155 134号土坑



写真156 135号土坑

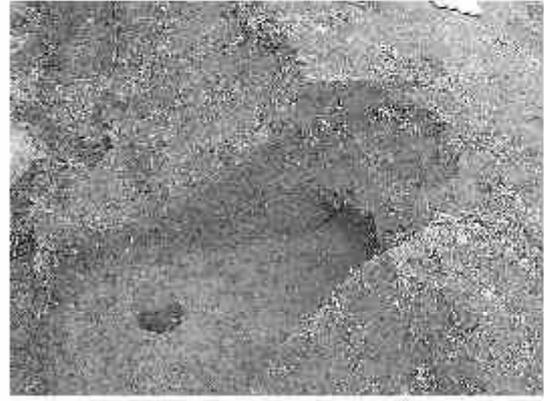


写真157 136号土坑土層断面



写真158 137号土坑



写真159 138号土坑



写真160 139号土坑

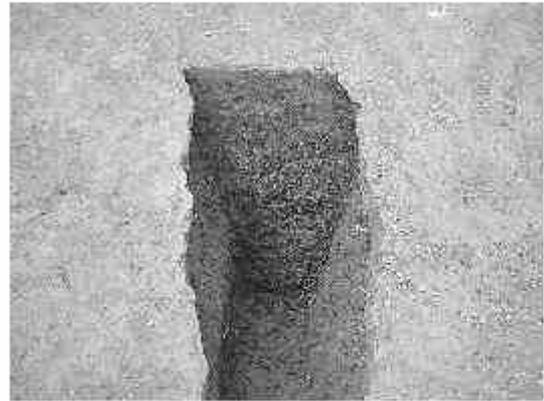


写真161 132号土坑土層断面



写真162 第54図5土器出土状況



写真163 現地説明会

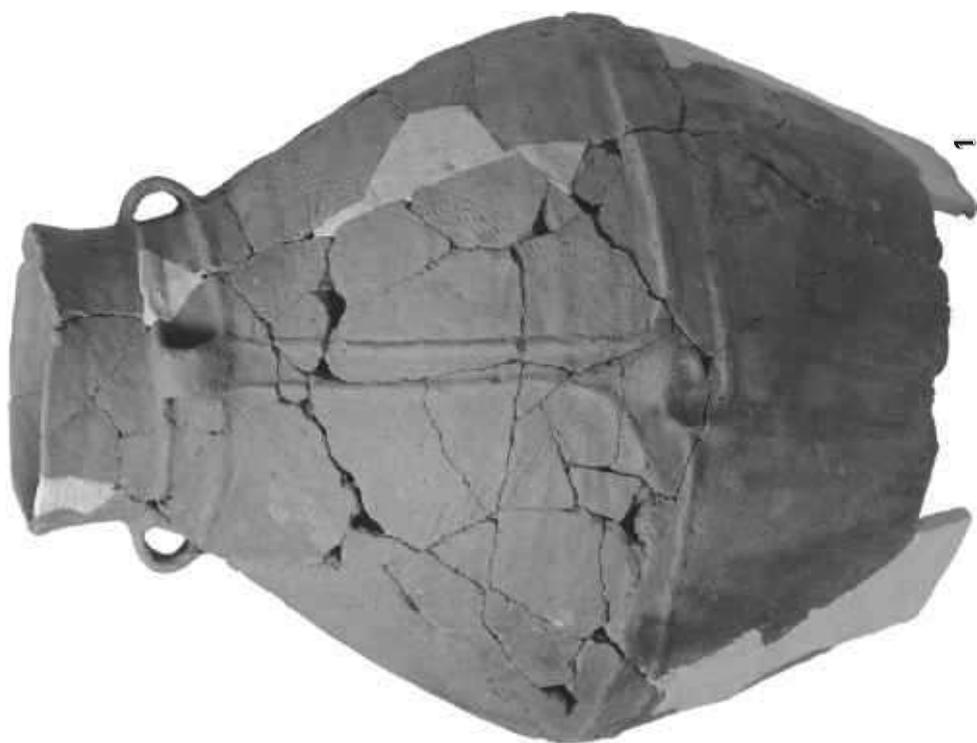


写真164 出土遺物(1)



3



4



5



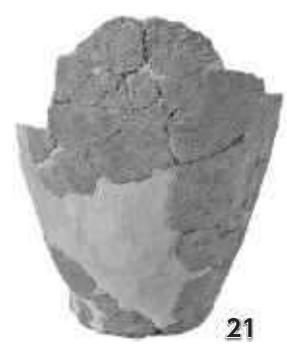
8



17



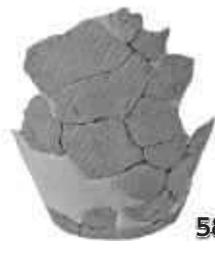
18



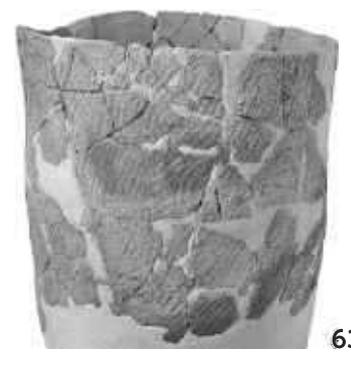
21



50



58



63

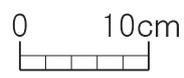


写真165 出土遺物(2)

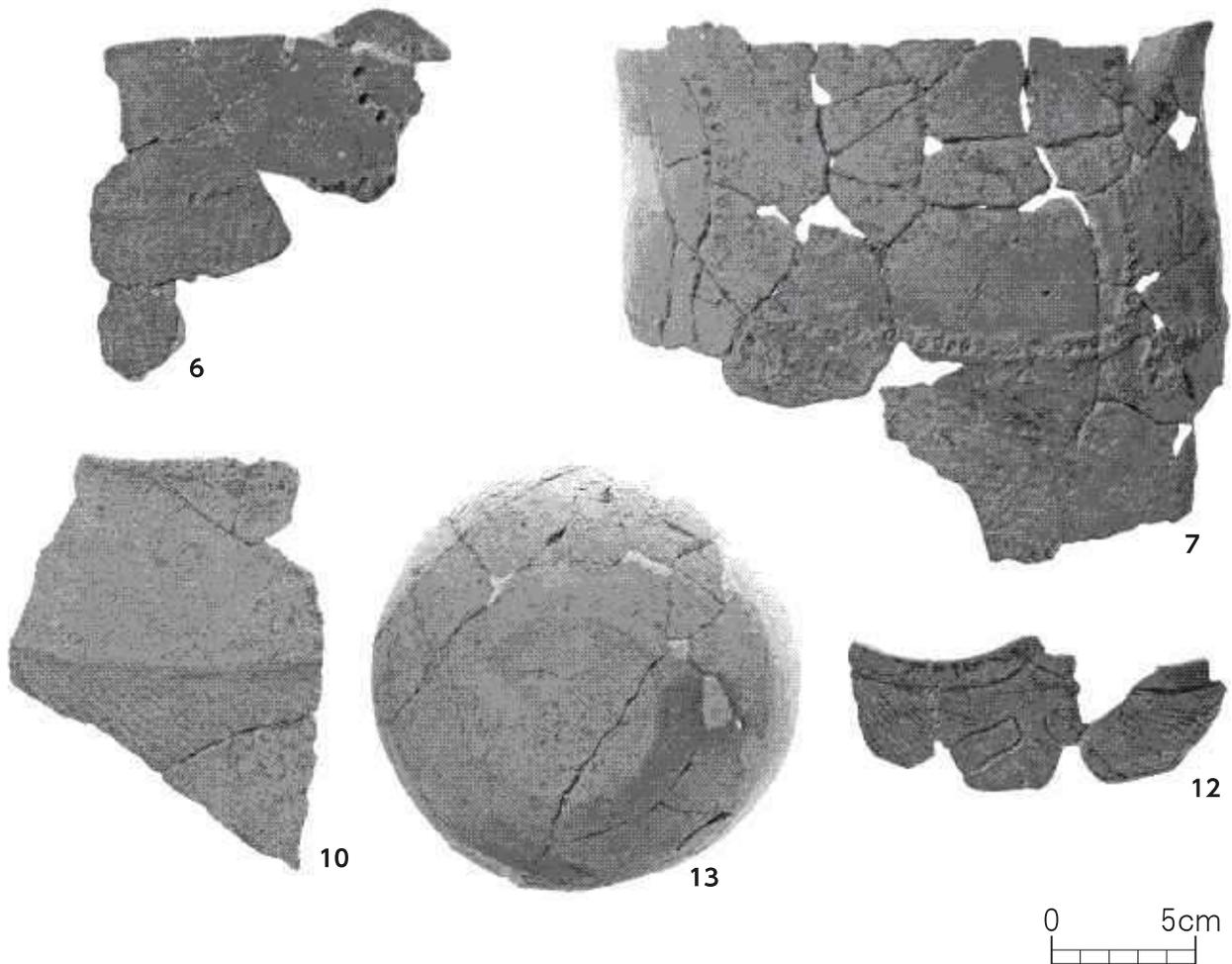
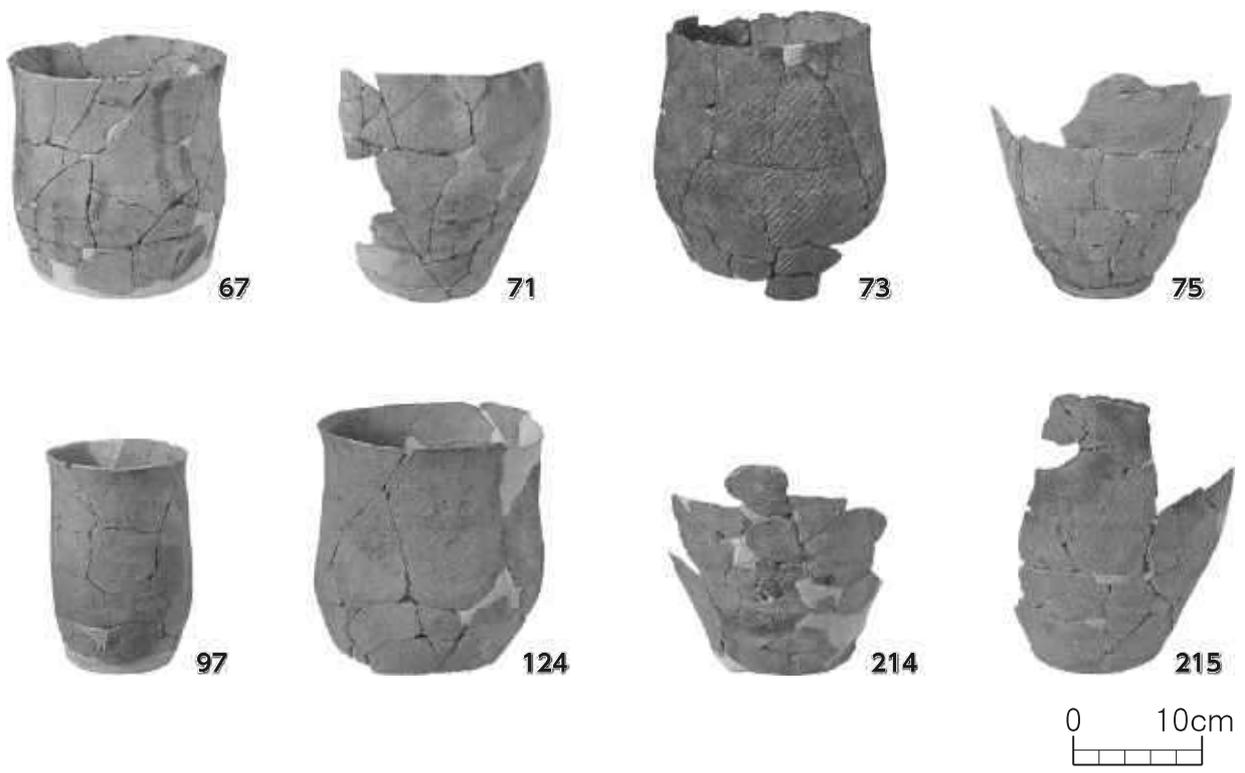


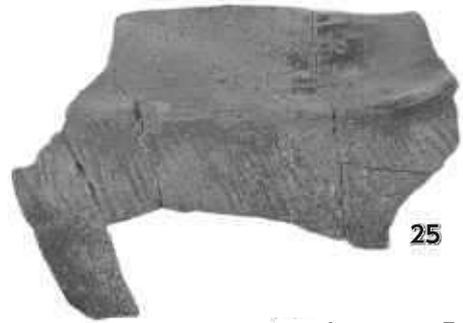
写真166 出土遺物(3)



22



24



25



31



36

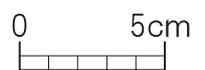


写真167 出土遺物(4)

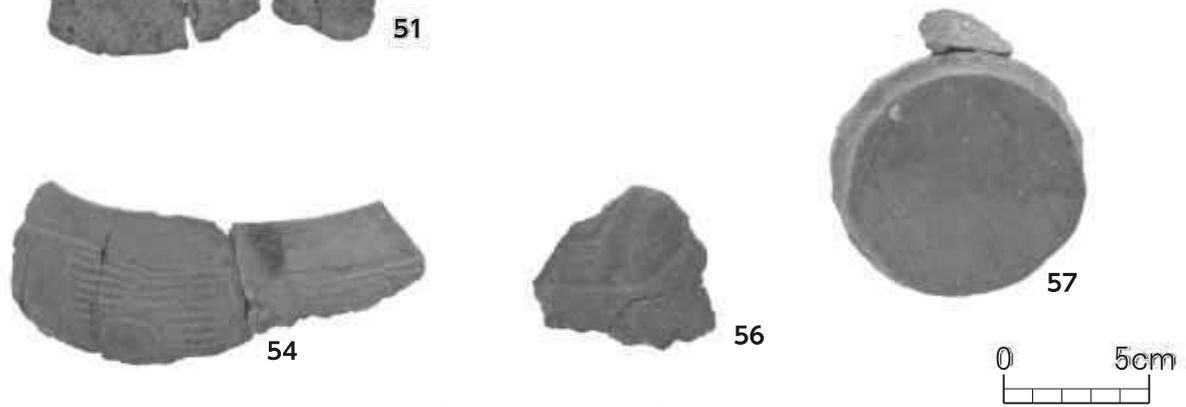
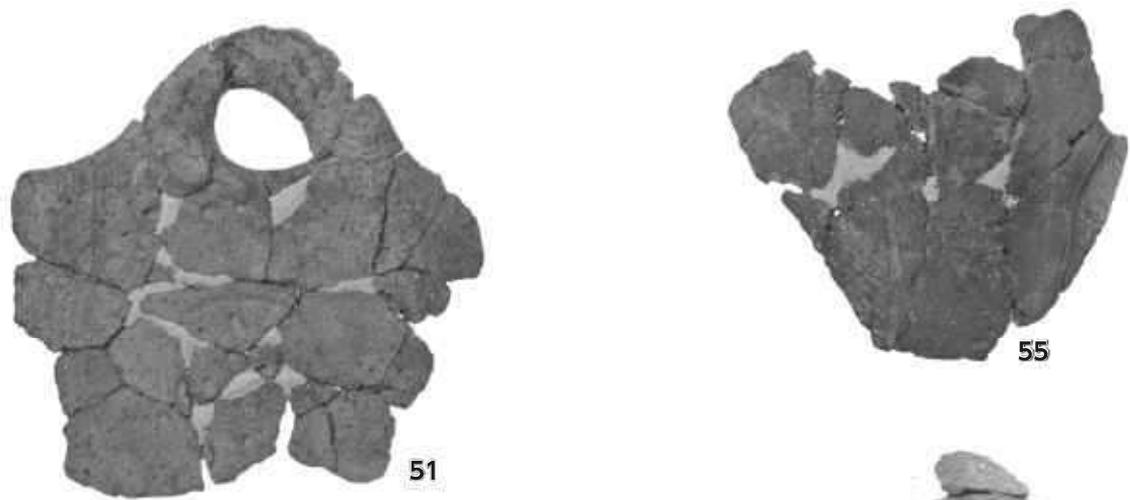
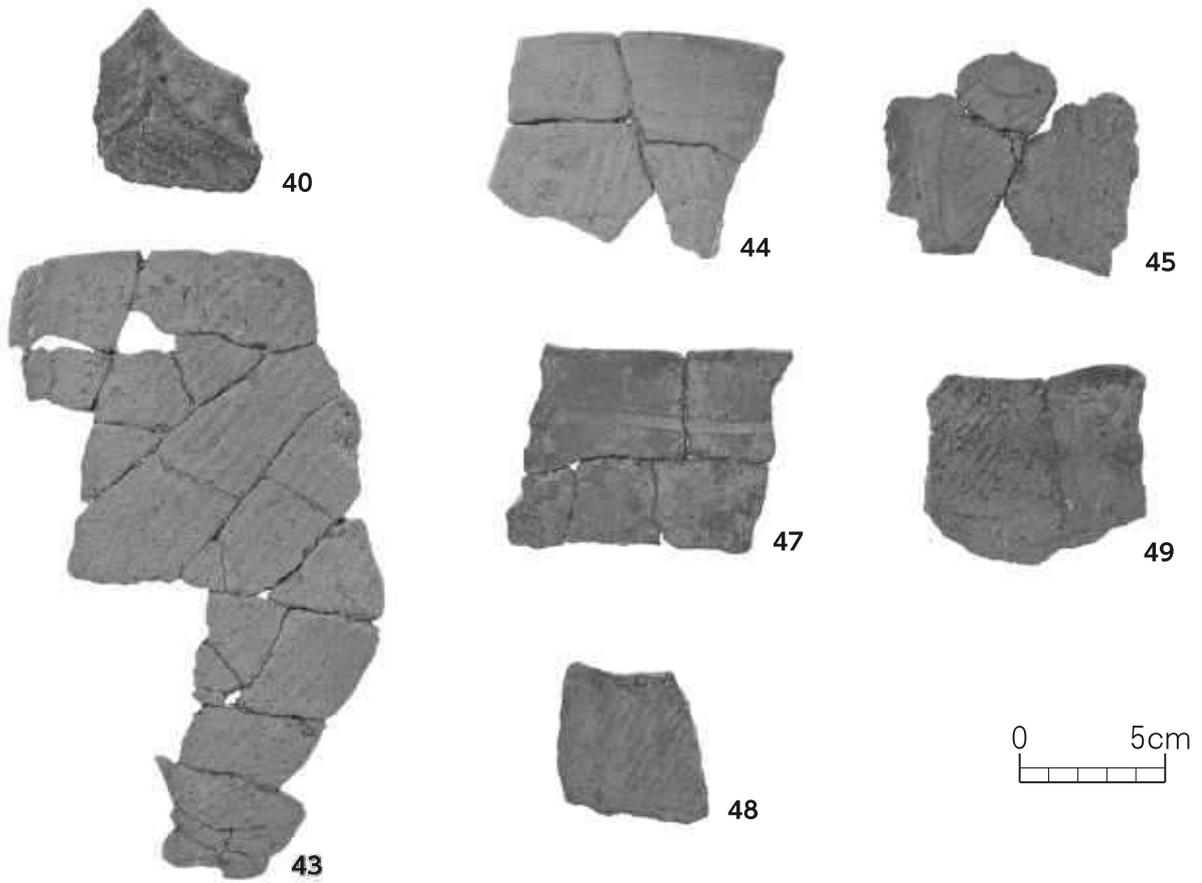


写真168 出土遺物(5)

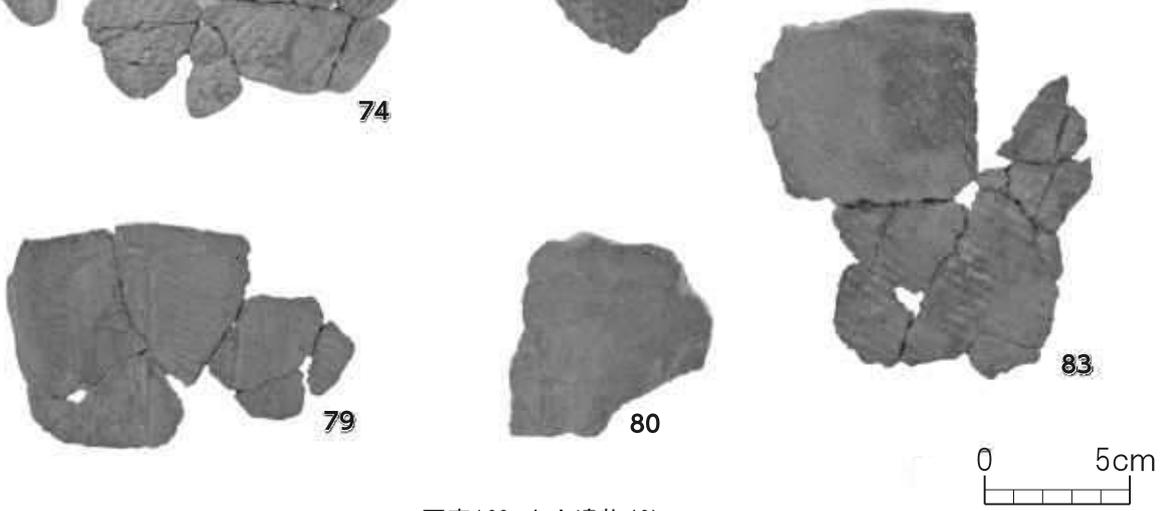
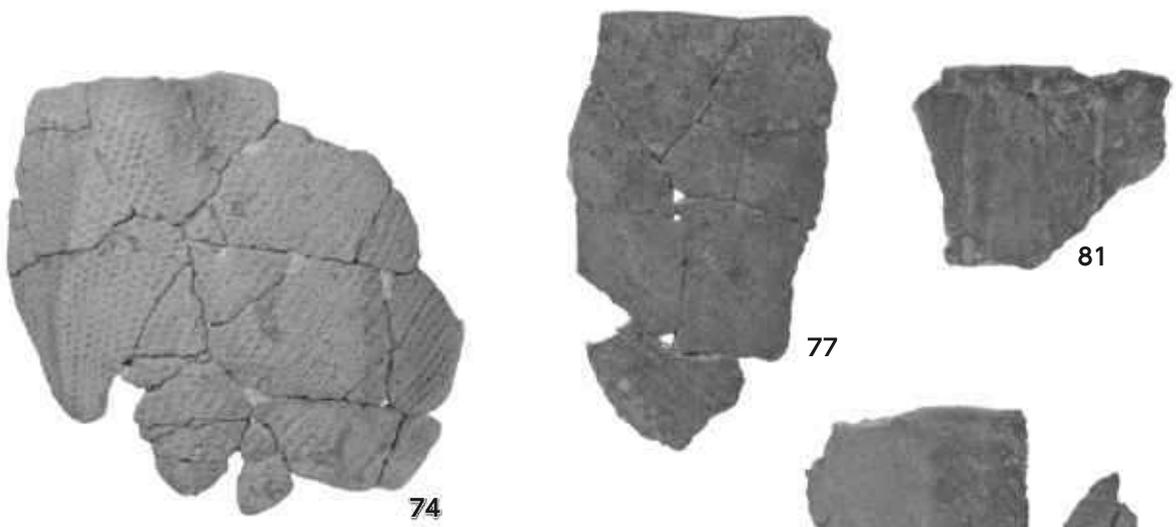
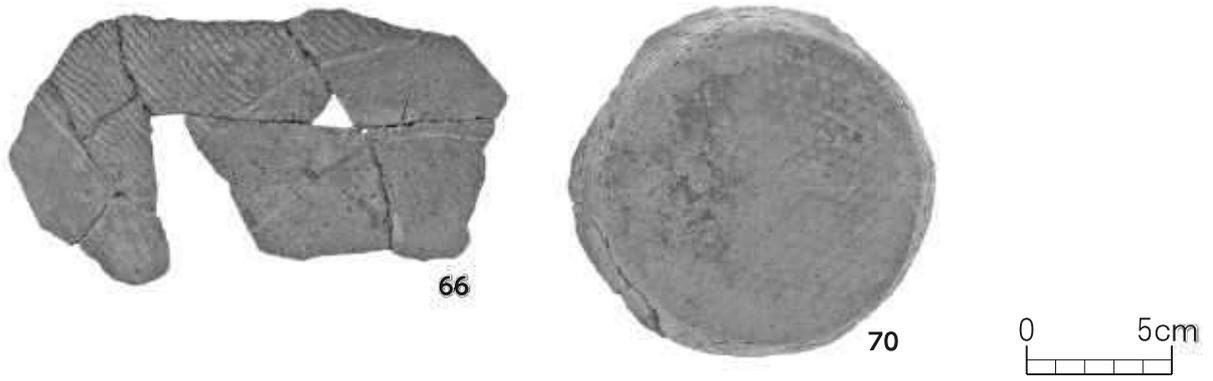
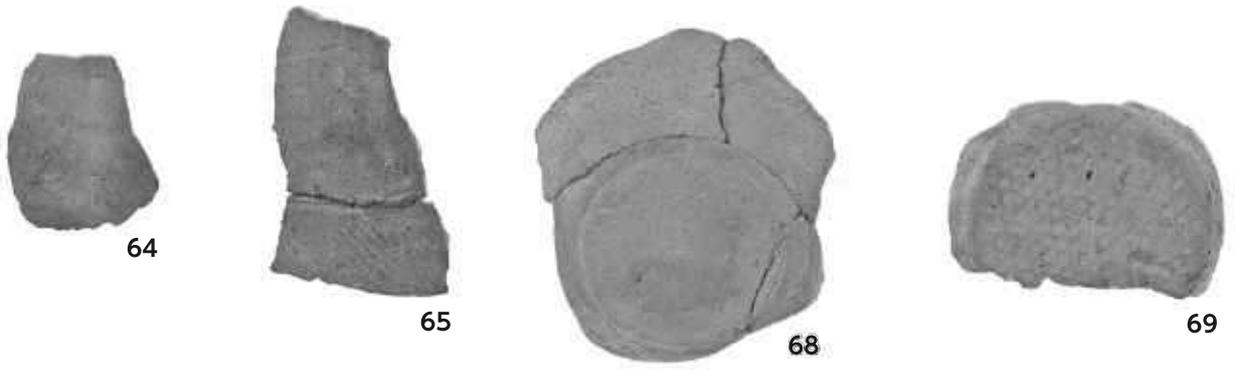
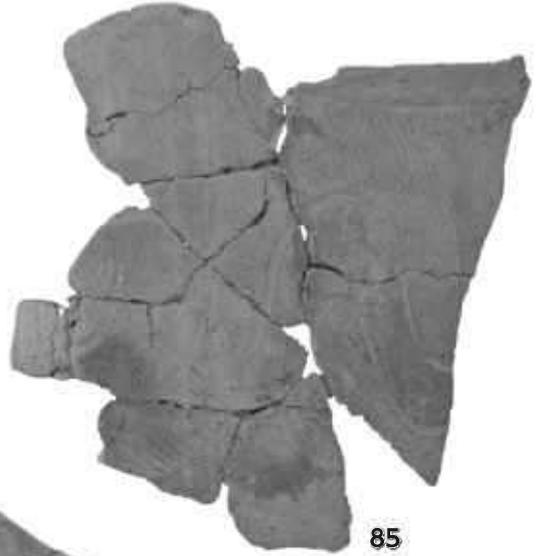


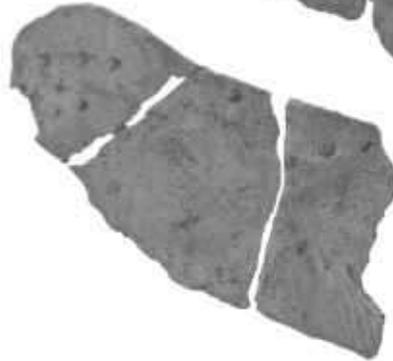
写真169 出土遺物(6)



84



85



86

0 5cm



89



87



91



99



92



93

0 5cm

写真170 出土遺物(7)

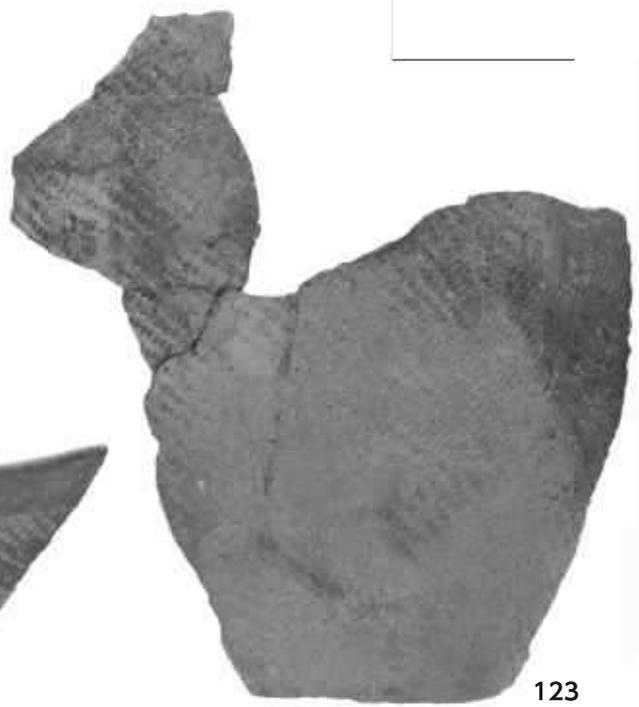
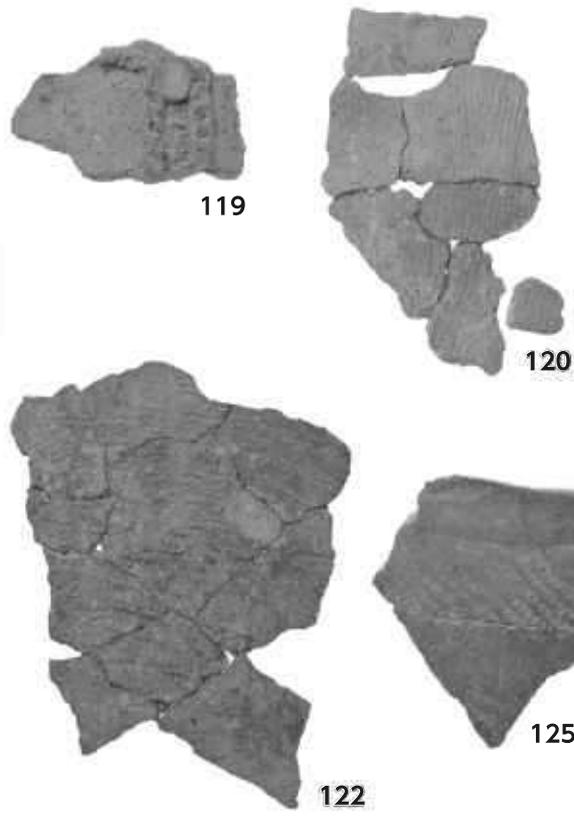
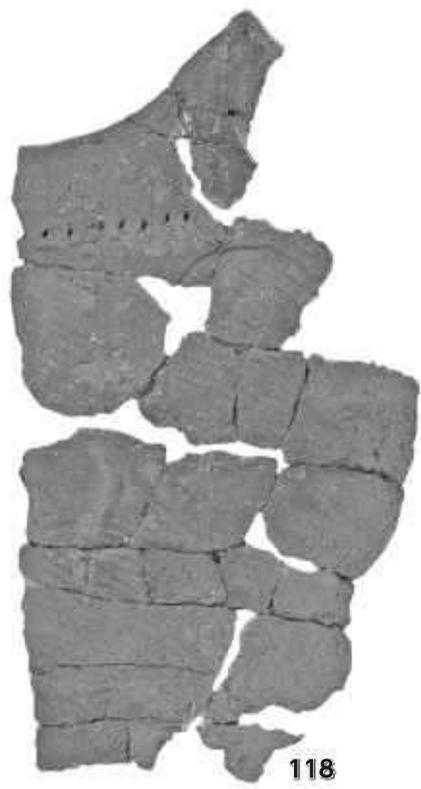
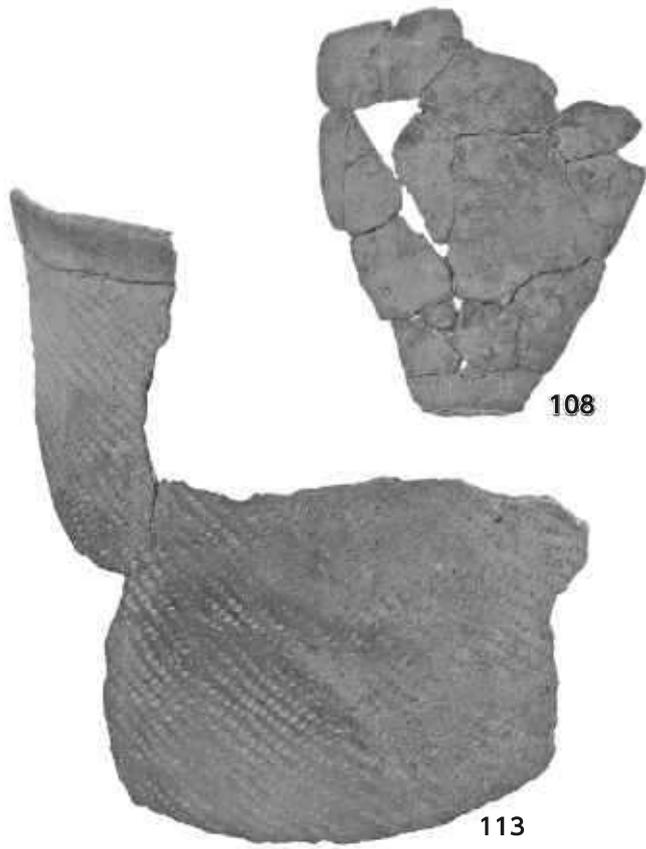


写真171 出土遺物(8)

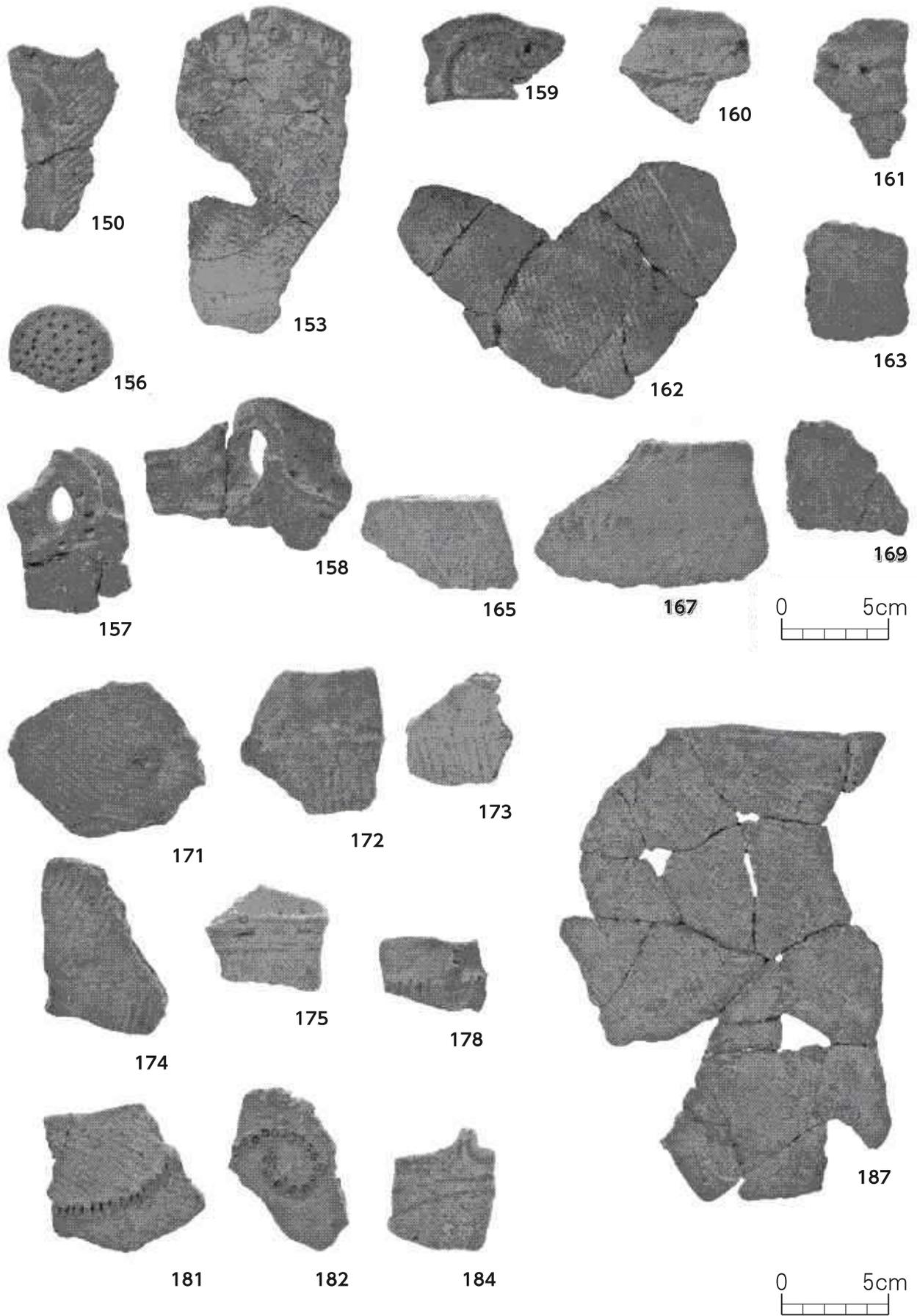


写真172 出土遺物(9)

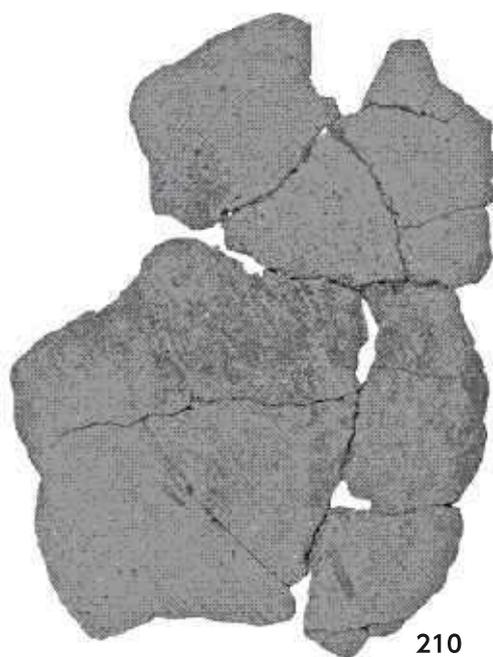
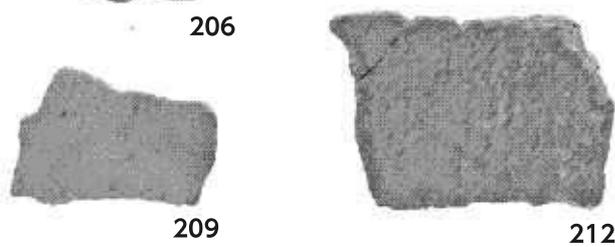
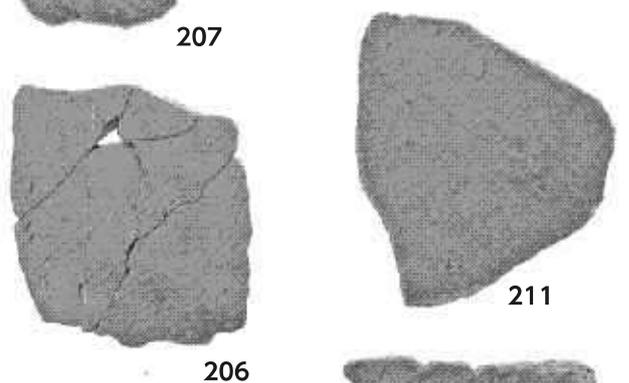
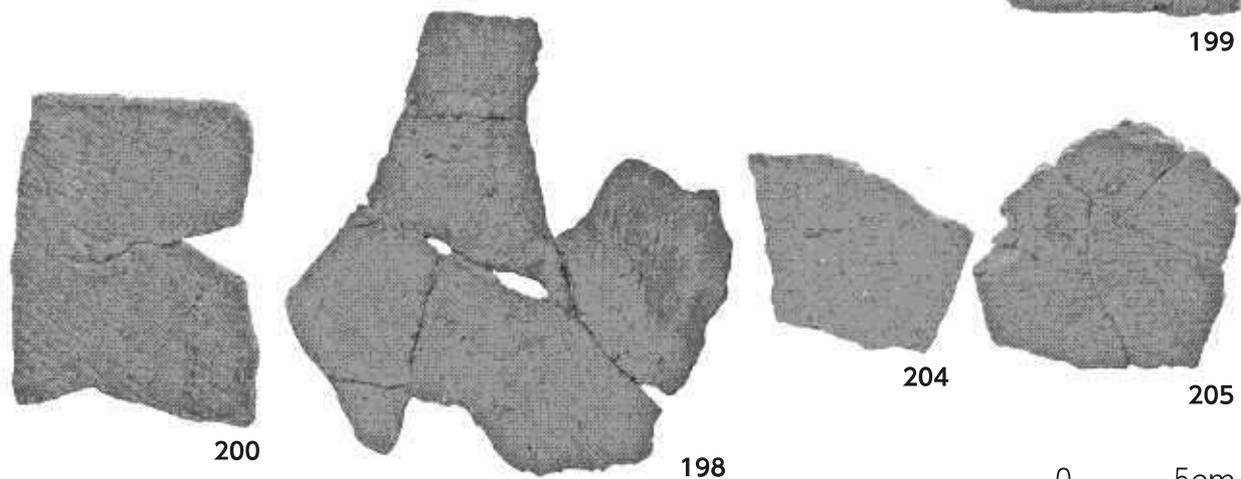
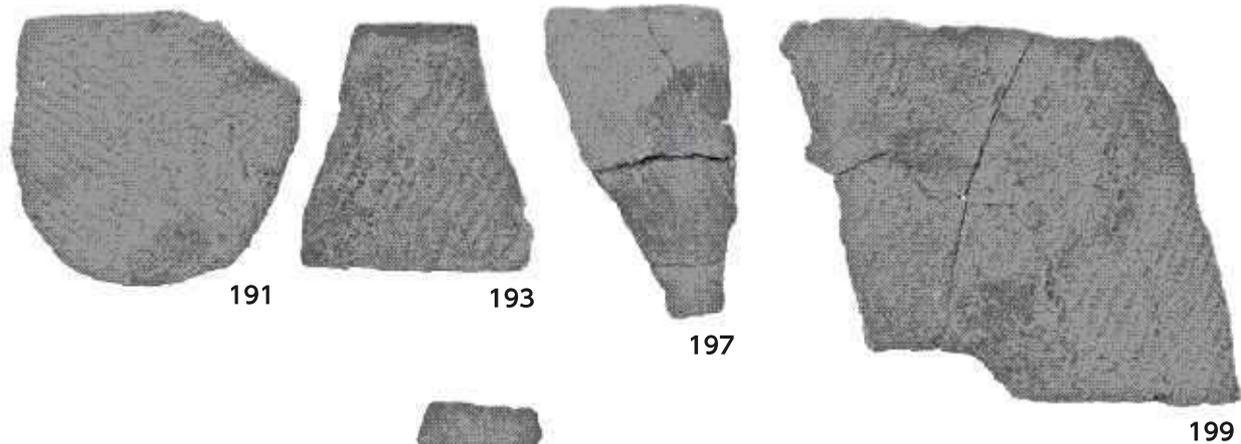


写真173 出土遺物(10)

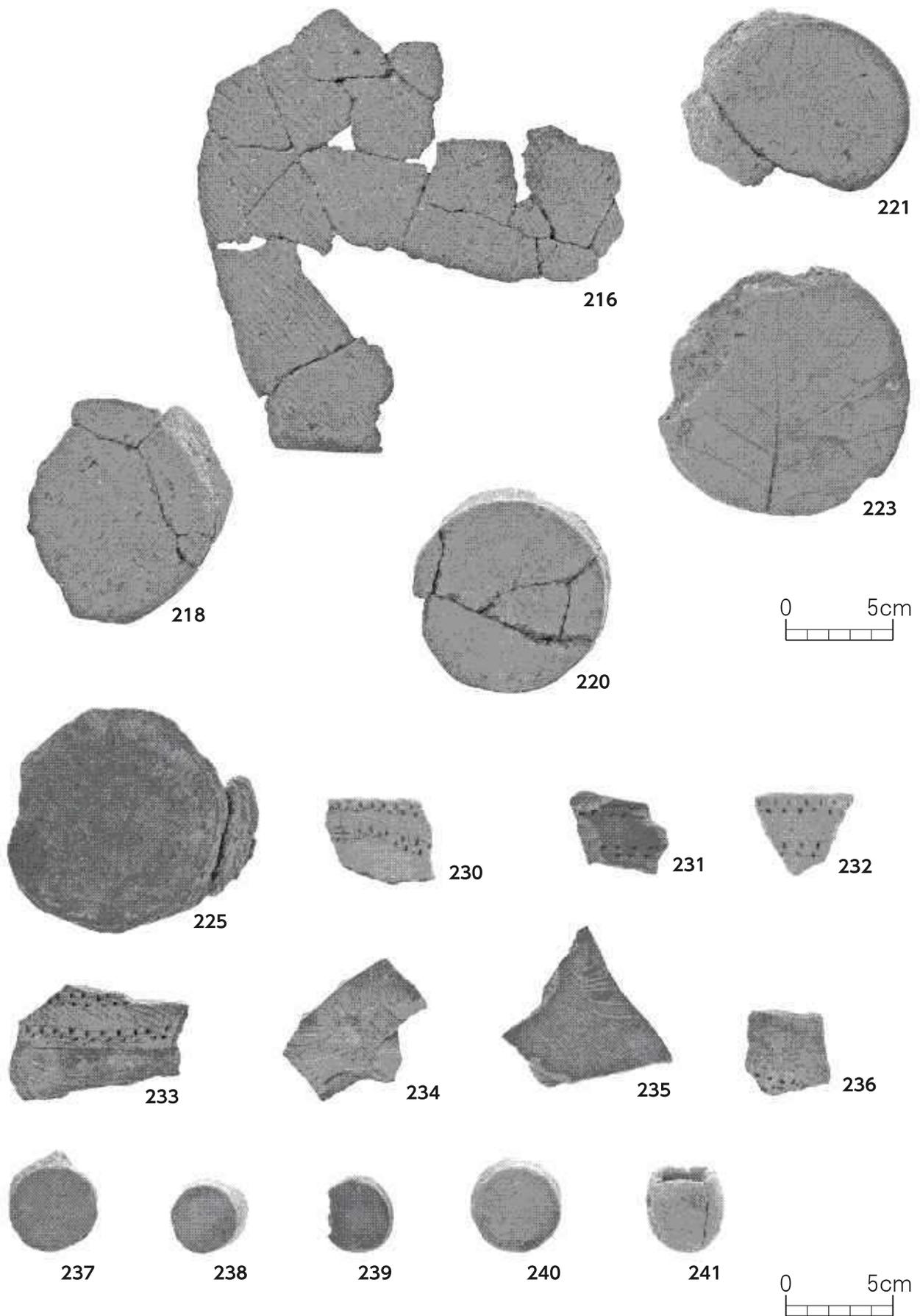
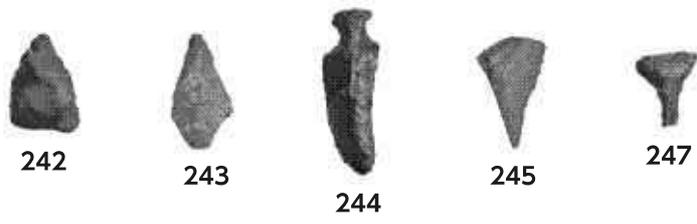


写真174 出土遺物(11)



242

243

244

245

247



246



249



248



250



251



252



253



254



255



256



257



258



259



260



261



262



263



264



写真175 出土遺物(12)

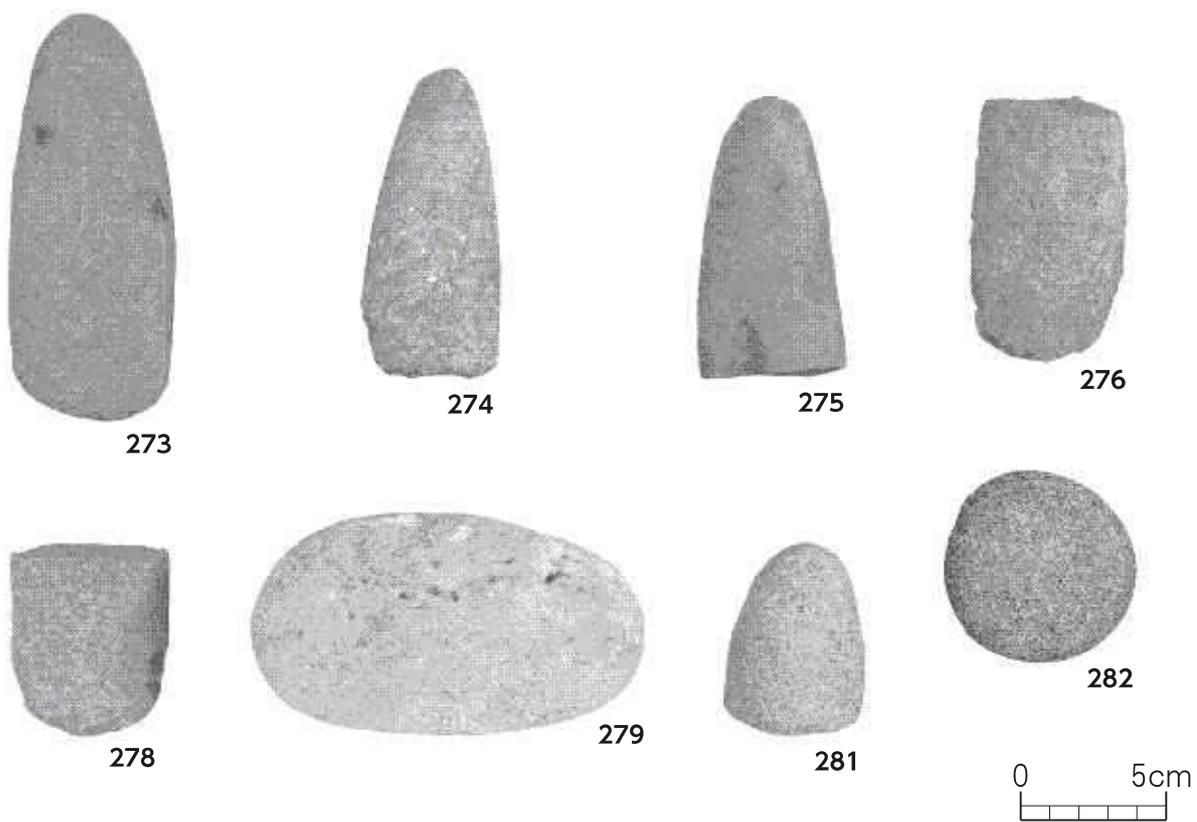
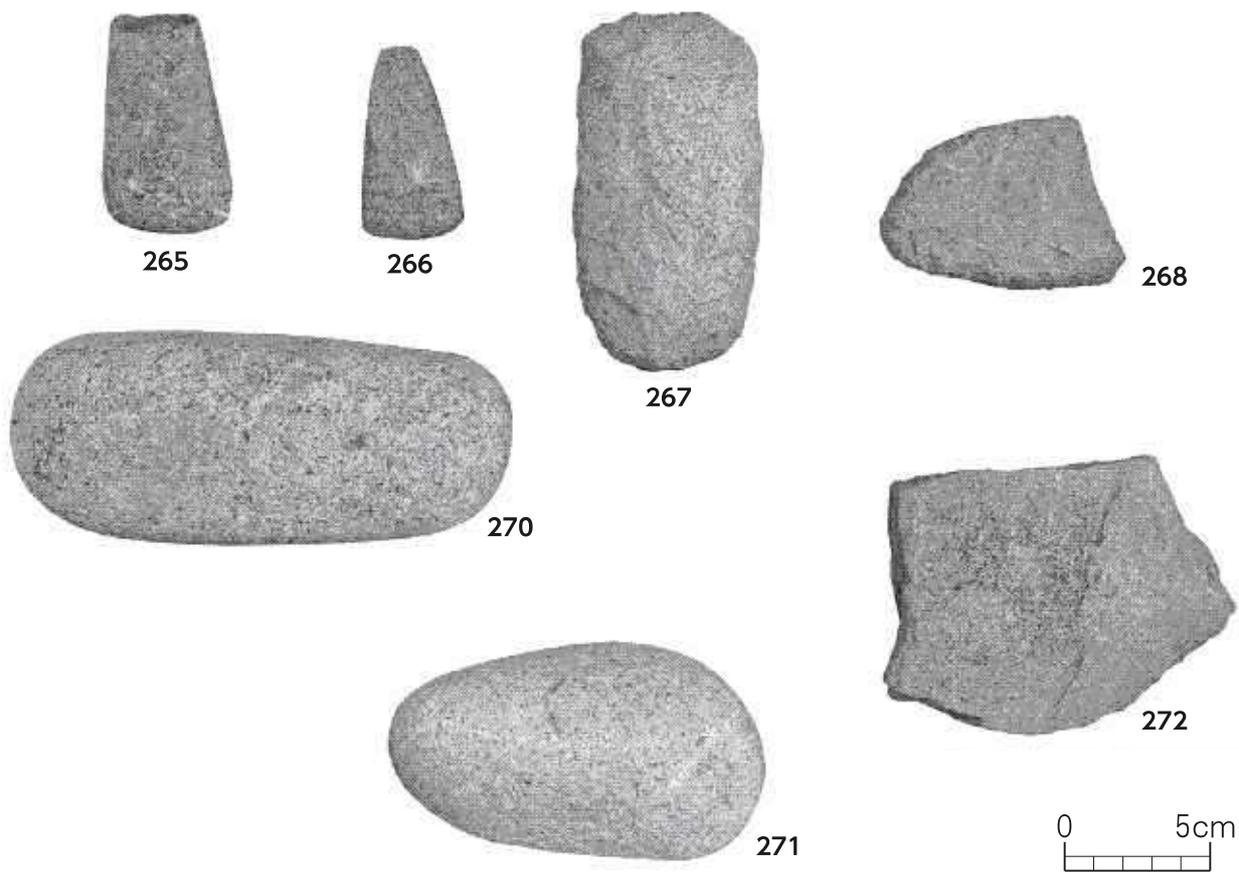


写真176 出土遺物(13)

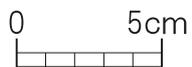
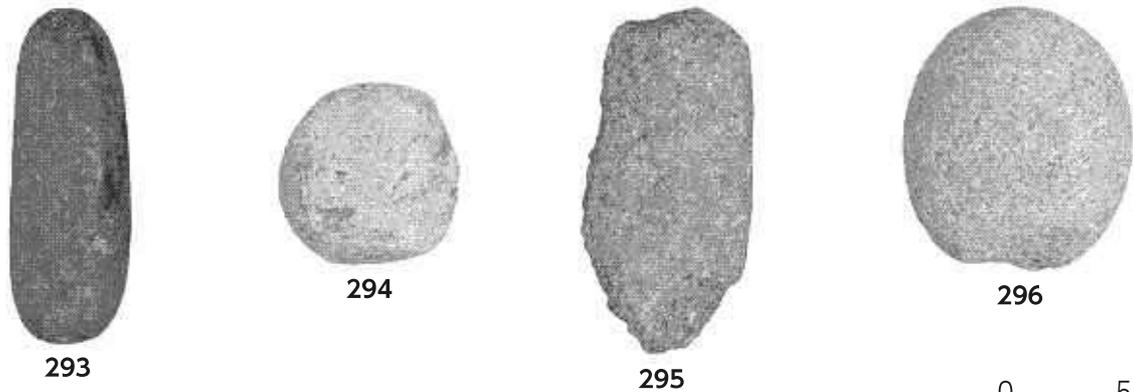
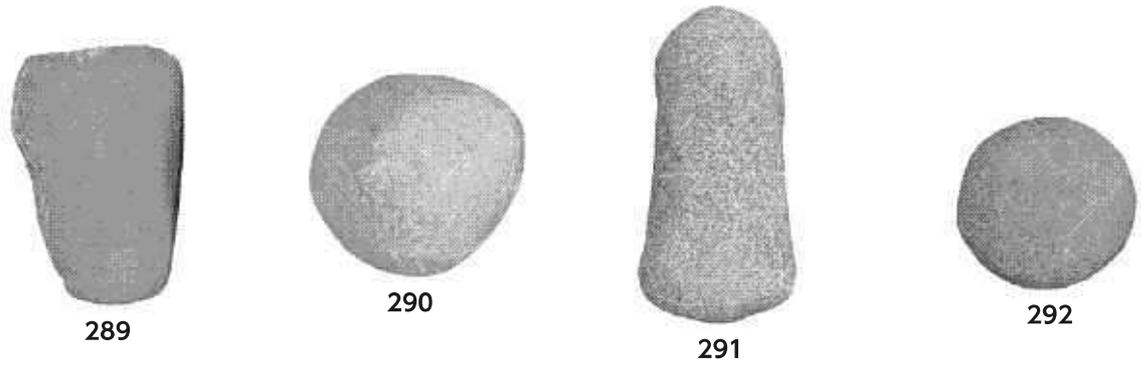
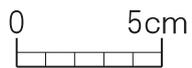
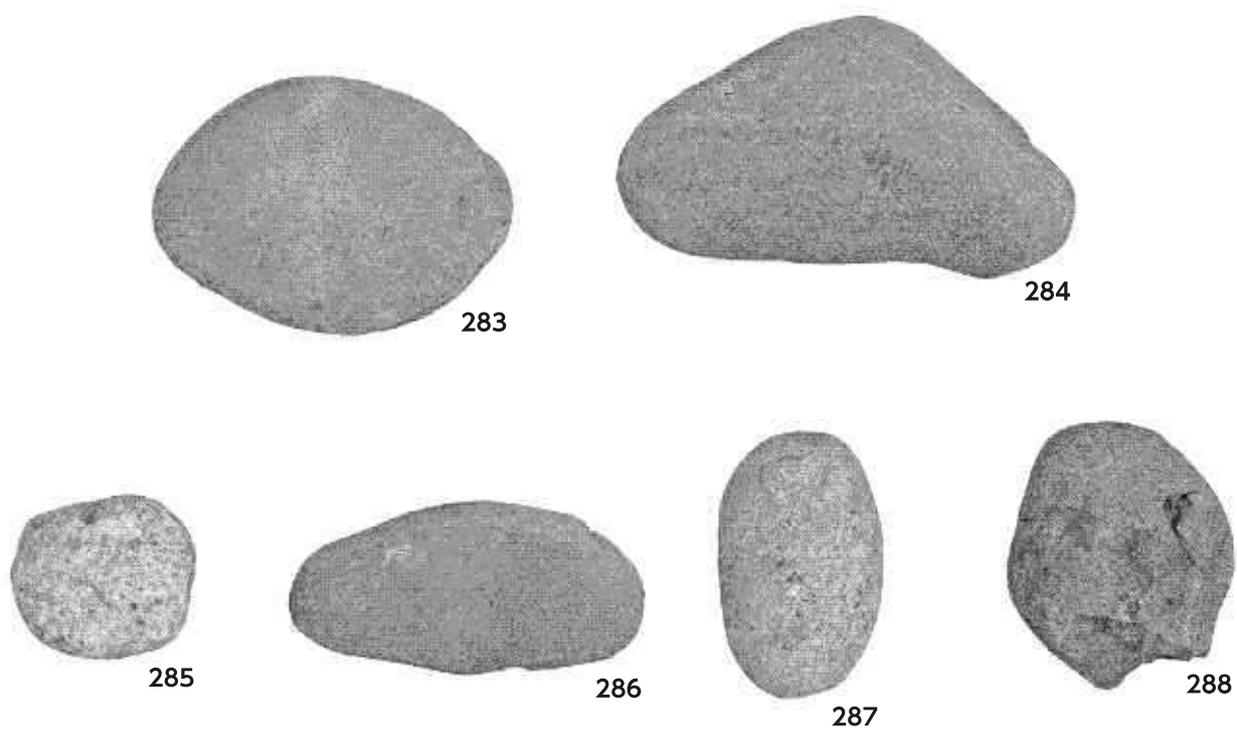


写真177 出土遺物(14)

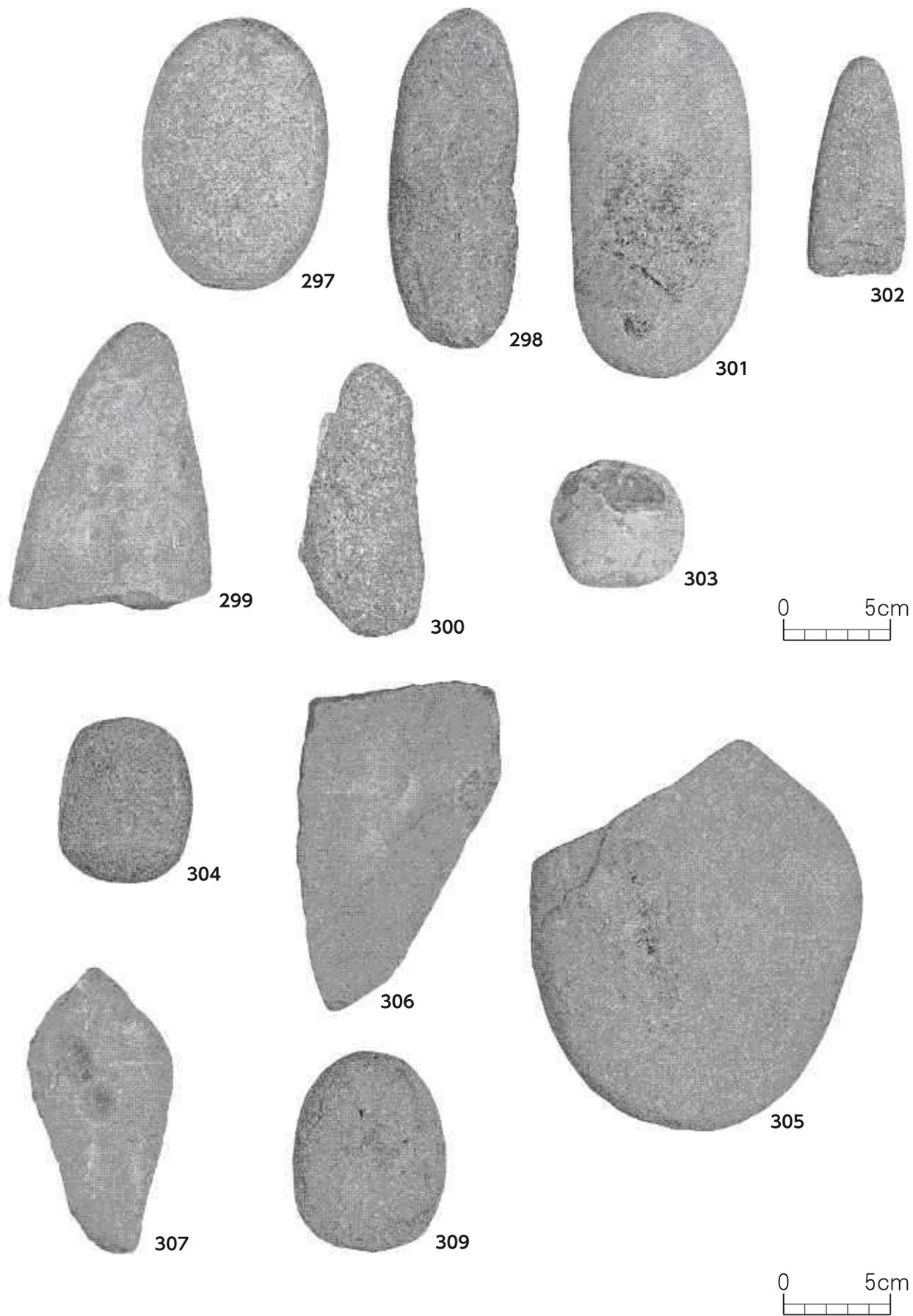


写真178 出土遺物(15)

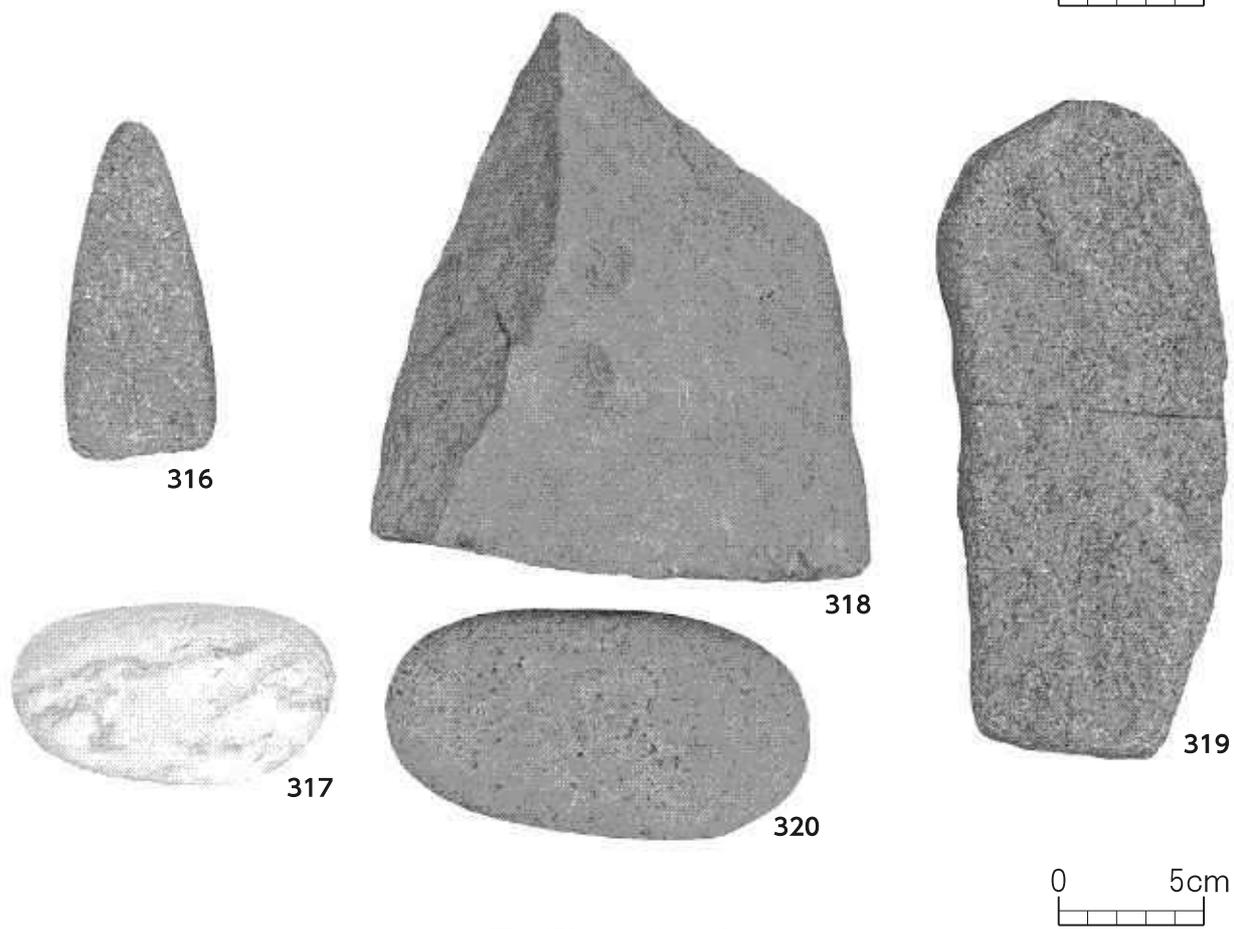
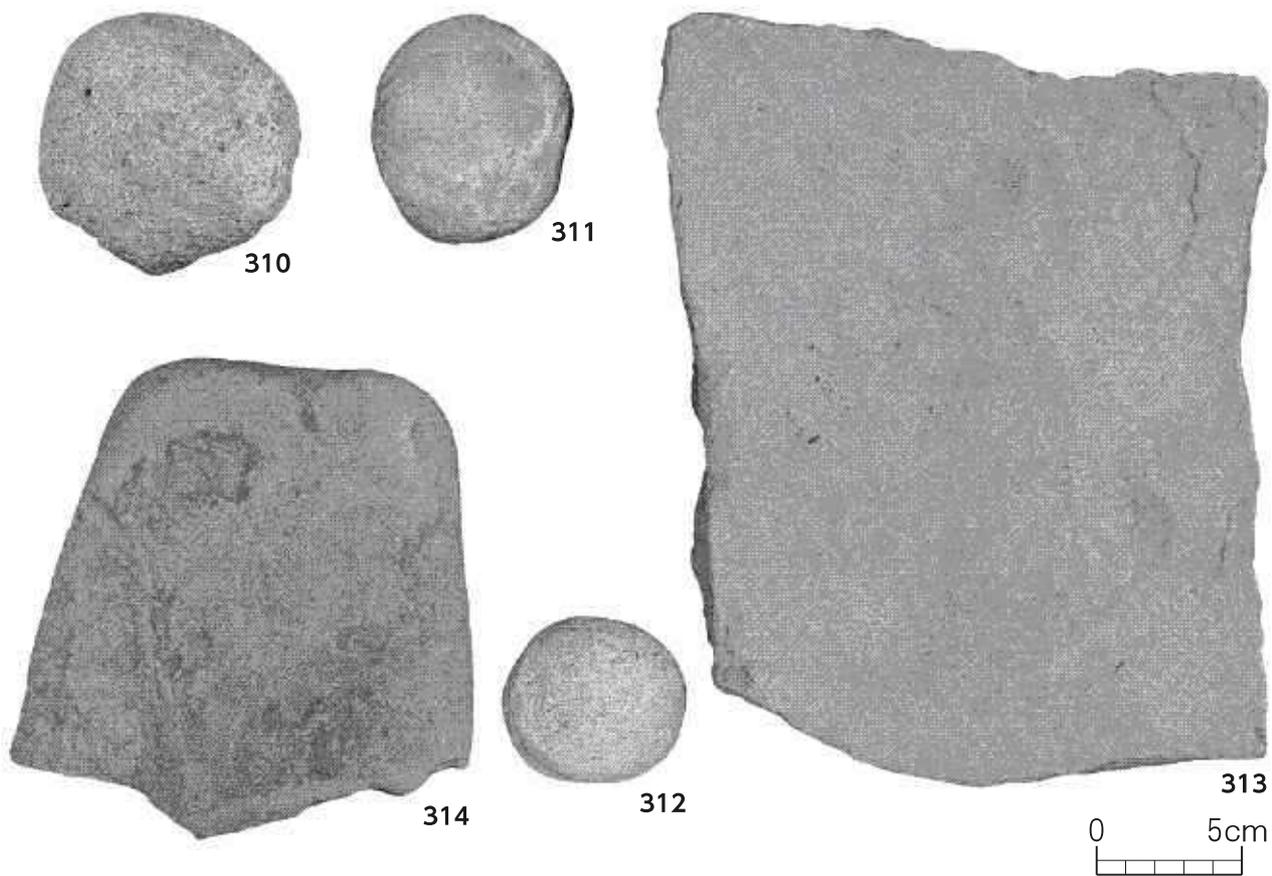


写真179 出土遺物(16)



321



322



323



324



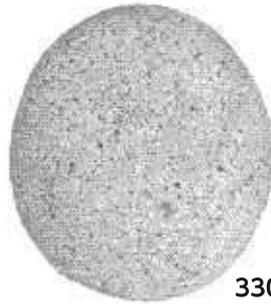
325



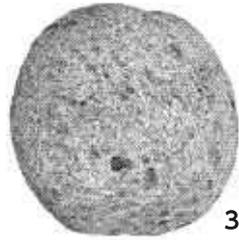
326



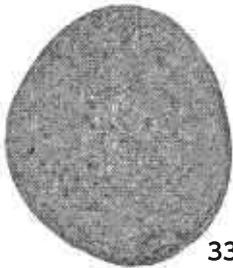
327



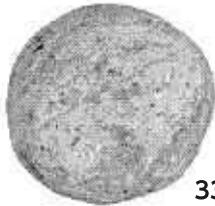
330



331



332



333



334



335



336



337



338



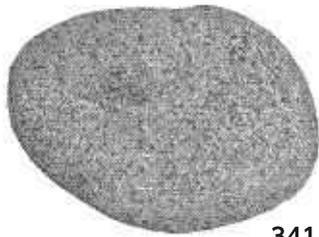
339



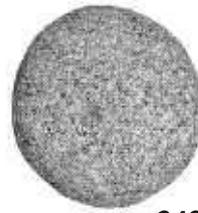
写真180 出土遺物(17)



340



341



342



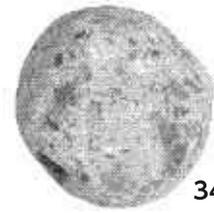
343



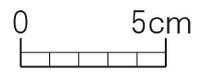
344



345



346



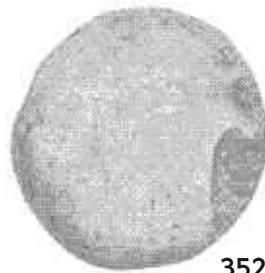
347



348



350



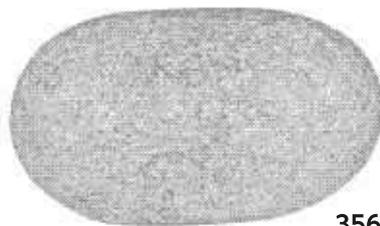
352



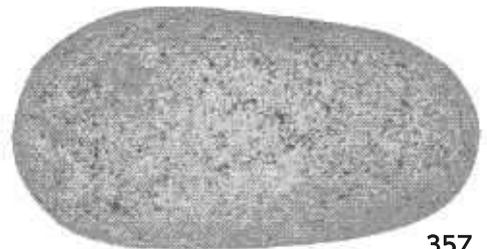
355



353



356



357



写真181 出土遺物(18)

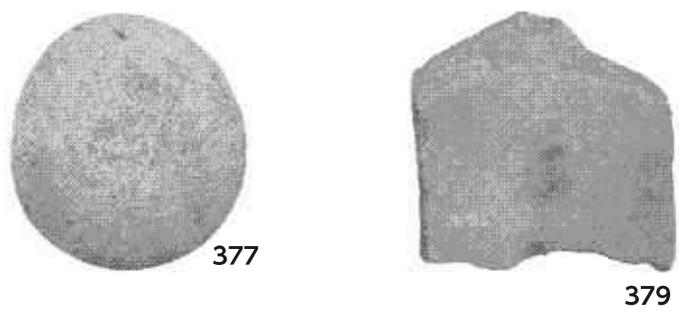
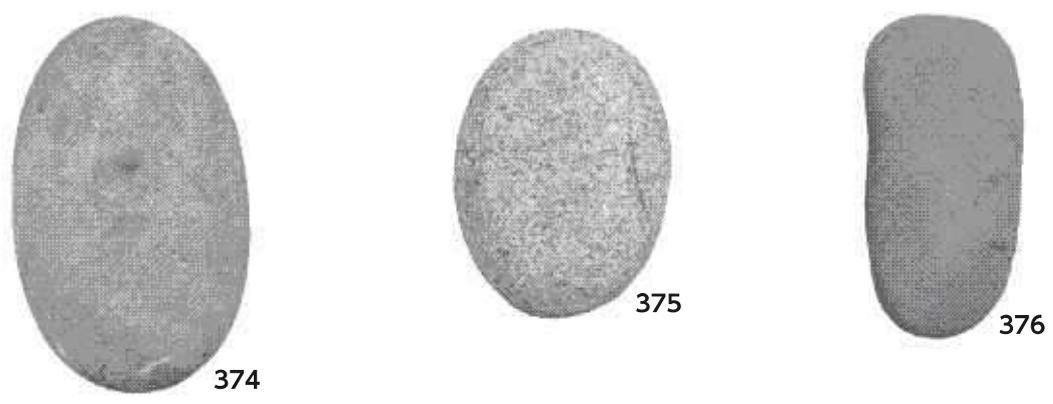
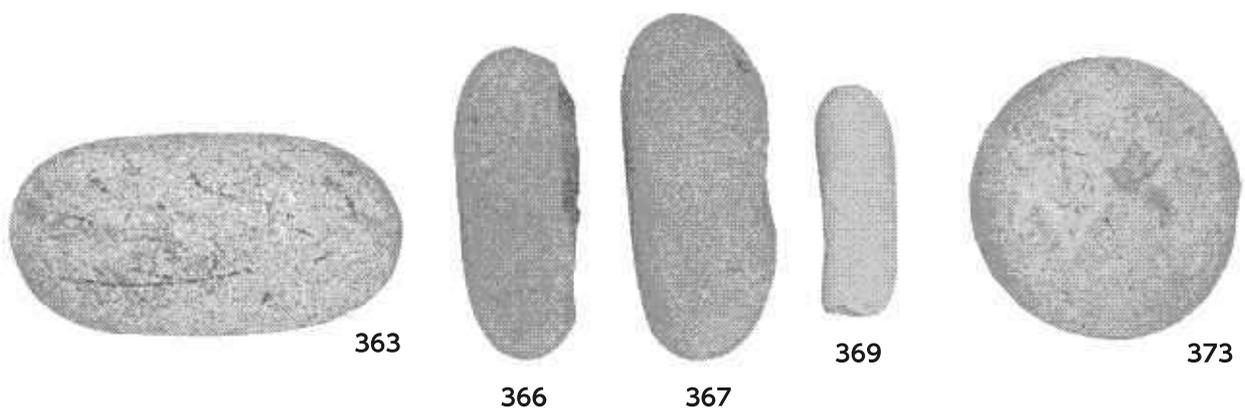
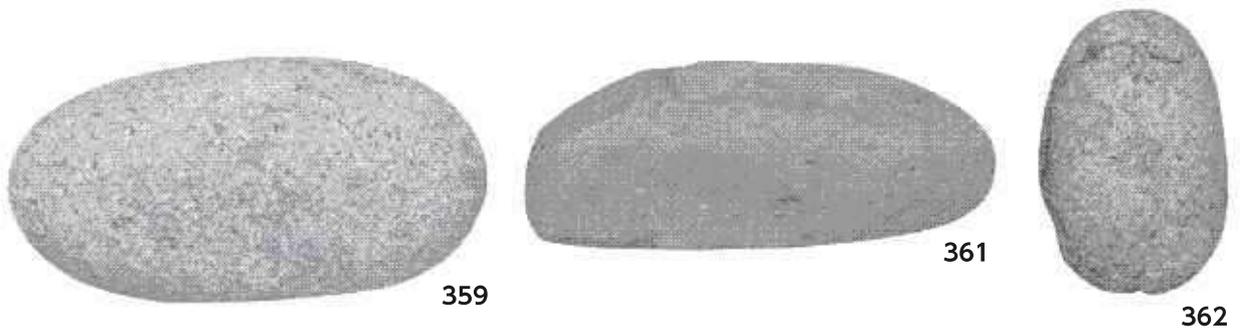


写真182 出土遺物(19)

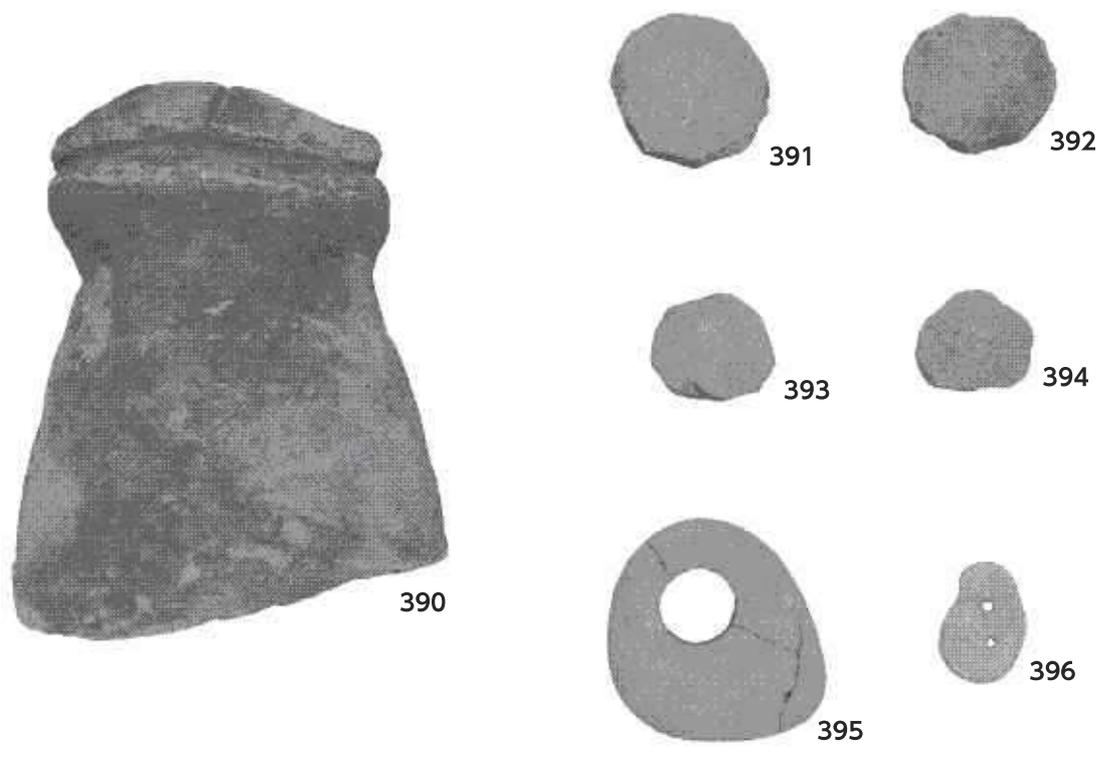
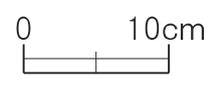
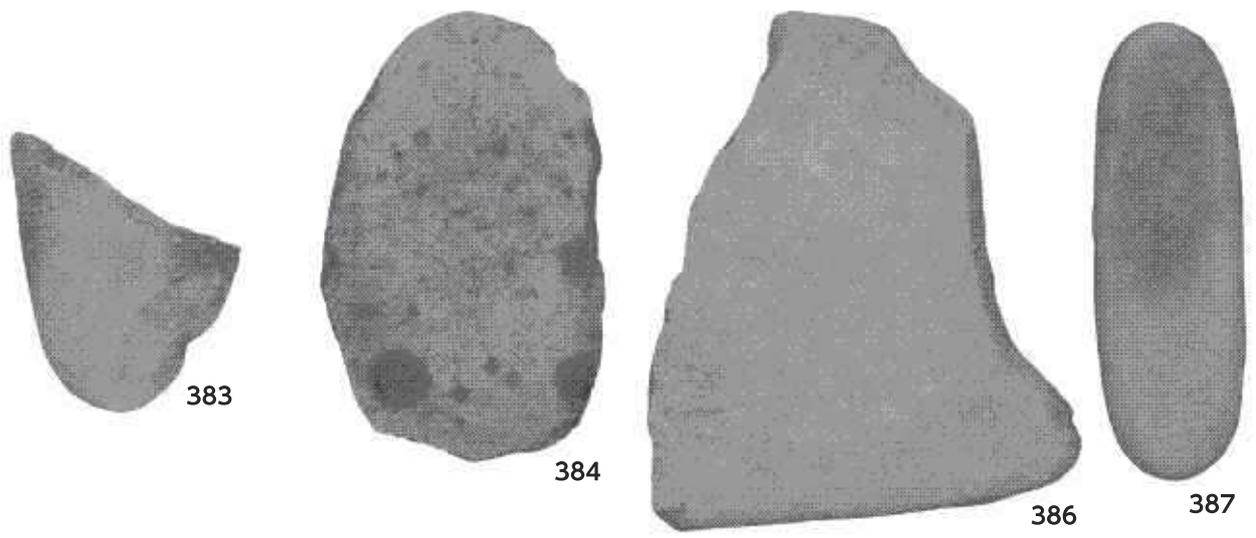


写真183 出土遺物(20)

報告書抄録

ふりがな	しろいしいせき (だい8じ・だい9じちょうさ)
書名	白石遺跡 (第8次・第9次調査)
副書名	崎山地区防災集団移転促進事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	
シリーズ名	宮古市埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	103
編著者名	江口 邦泰
編集機関	岩手県宮古市教育委員会文化課
所在地	〒027-0097 岩手県宮古市崎山第1地割16番地1
発行年月日	平成31年3月29日(2019年)

ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号	° ' "	° ' "			
しろいしいせき 白石遺跡	いわてけん 岩手県 宮古市 みやくし 崎山	3202	LG75-0284	39° 40' 22"	141° 57' 57"	第8次調査 241113～ 241221 第9次調査 250315～ 250606	4,900㎡	崎山地区 防災集団 移転促進 事業

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
白石遺跡	集落跡	縄文、弥生	竪穴住居跡棟24 土坑64基 焼土遺構12基 ピット10基	縄文土器 弥生土器 石器 土製品 石製品	縄文時代中期末～後期 初頭の集落を確認

宮古市埋蔵文化財調査報告書一覧

- 1 1979 『宮古市大付遺跡発掘調査報告書』
- 2 1980 『宮古市千徳遺跡発掘調査概報』
- 3 1983 『宮古市遺跡分布調査報告書1』
- 4 1984 『宮古市遺跡分布調査報告書2』
- 5 1984 『赤前遺跡群第1次・第2次発掘調査報告書』
- 6 1985 『宮古市遺跡分布調査報告書3』
- 7 1985 『金浜館跡発掘調査報告書』
- 8 1986 『宮古市遺跡分布調査報告書4』
- 9 1986 『宮古市遺跡分布図-昭和60年度版-』
- 10 1986 『中谷地・島田遺跡調査報告書』
- 11 1987 『崎山貝塚・トロノ木IV遺跡調査報告書』
- 12 1987 『寒風・早稲橋IV遺跡調査報告書』
- 13 1987 『崎山遺跡群Ⅰ-昭和60年度発掘調査概報-』
- 14 1988 『青猿Ⅰ・下在家Ⅱ・千徳城遺跡群(堀合館)-昭和62年度発掘調査報告書-』
- 15 1988 『崎山遺跡群Ⅱ-昭和62年度発掘調査概報-』
- 16 1989 『千鶴遺跡-昭和62年度発掘調査報告書-』
- 17 1989 『トロノ木Ⅰ遺跡-第1・7次発掘調査報告書-』
- 18 1989 『崎山遺跡群Ⅲ-昭和63年度発掘調査概報-』
- 19 1989 『高根遺跡-昭和63年度発掘調査報告書-』
- 20 1989 『狐崎Ⅱ遺跡-昭和63年度発掘調査報告書-』
- 21 1989 『崎山トロノ木IV遺跡-昭和63年度調査報告書-』
- 22 1990 『狐崎遺跡-平成元年年度発掘調査報告書-』
- 23 1990 『崎山遺跡群IV-平成元年年度発掘調査概報-』
- 24 1990 『磯鶴館山遺跡-昭和63年度発掘調査報告書-』
- 25 1990 『嶽ヶ崎館山貝塚-平成元年年度発掘調査報告書-』
- 26 1991 『崎山遺跡群V-平成2年度発掘調査報告書-』
- 27 1991 『青猿Ⅰ・千徳城遺跡群-平成元年・2年度発掘調査報告書-』
- 28 1990 『熊野町遺跡-昭和63年度発掘調査報告書-』
- 29 1991 『弘川Ⅰ遺跡-平成2年度発掘調査報告書-』
- 30 1992 『金浜Ⅰ遺跡(昭和58年度)・大付遺跡(平成2年度)発掘調査報告書』
- 31 1992 『重茂館遺跡群-第1次調査報告書-』
- 32 1992 『黒森町Ⅰ遺跡-平成2年度発掘調査報告書-』
- 33 1992 『高根遺跡-平成3年度発掘調査報告書-』
- 34 1992 『鰐沢遺跡-平成2年度発掘調査報告書-』
- 35 1992 『大付遺跡-平成3年度発掘調査報告書-』
- 36 1992 『細越Ⅰ遺跡・芋野Ⅱ遺跡-農林課関係田代地区埋蔵文化財発掘調査報告書-』
- 37 1992 『崎山遺跡群VI-平成3年度発掘調査概報-』
- 38 1993 『菰沢Ⅱ遺跡-平成4年度発掘調査報告書-』
- 39 1993 『早稲橋Ⅱ遺跡-第1次・第2次発掘調査報告書-』
- 40 1993 『崎山遺跡群VII-平成4年度発掘調査概報-』
- 41 1994 『崎山遺跡群VIII-平成5年度発掘調査概報-』
- 42 1995 『赤前Ⅰ牛子沢遺跡-平成4年度発掘調査報告書-』
- 43 1995 『磯鶴館山遺跡発掘調査報告書』
- 44 1995 『崎山貝塚-範圍確認調査報告書-』
- 45 1995 『笹沢Ⅰ・加村・仲組Ⅲ・塚ノ神遺跡-市道浦の沢線改良工事関係埋蔵文化財発掘調査報告書-』
- 46 1995 『花原市遺跡-平成4年度発掘調査報告書-』
- 47 1995 『宮古市内遺跡発掘調査概報Ⅰ 早稲橋Ⅱ遺跡・崎山貝塚』
- 48 1996 『大付遺跡-平成5年・6年度発掘調査報告書-』
- 49 1997 『花原市遺跡-平成8年度発掘調査報告書-』
- 50 1997 『白石遺跡-第6次発掘調査報告書-』
- 51 1998 『赤畑・天神山・山口館-北部環状線道路改良工事関係埋蔵文化財調査報告書-』
- 52 1998 『藤畑遺跡-平成9年度発掘調査報告書-』
- 53 1999 『赤前Ⅲ・赤前IV八枚田・赤前V柳沢・赤前VI釜屋ヶ沢・小堀内Ⅲ遺跡-水産課津軽石環境整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書-』
- 54 1999 『千鶴IV遺跡-水産課千鶴地区漁港漁村総合整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書-』
- 55 1999 『崎山貝塚-第12次・13次内容確認調査概報』
- 56 2000 『木戸井内Ⅱ・木戸井内Ⅲ・上村Ⅲ遺跡-特別高圧送電線ラサ工業宮古支線新設工事関係埋蔵文化財発掘調査報告書-』
- 57 2002 『山口館跡-北部環状線道路改良工事関係埋蔵文化財発掘調査報告書-』
- 58 2002 『小沢Ⅱ大上遺跡-市内遺跡発掘調査報告書2-』
- 59 2003 『大又沢VI遺跡-東北電力宮古へりポート移設工事関係発掘調査報告書-』
- 60 2003 『上根井沢Ⅱ遺跡・沼里遺跡-市内遺跡発掘調査報告書3-』
- 61 2003 『早稲橋Ⅱ遺跡第6次調査-市内遺跡発掘調査報告書4-』
- 62 2003 『下在家Ⅰ遺跡-平成14年度発掘調査報告書-』
- 63 2004 『大程Ⅱ遺跡・平浜遺跡-市道明伊崎線改良工事関係発掘調査報告書-』
- 64 2005 『弘川館跡-瑞雲寺裏庭整備関係発掘調査報告書-』
- 65 2006 『高浜VI地神遺跡-高浜四丁日宅地造成工事関係発掘調査報告書-』
- 66 2006 『崎山貝塚第20次調査・早稲橋Ⅱ遺跡第7次調査-市内遺跡発掘調査報告書5-』
- 67 2006 『八木沢古館・八木沢中田遺跡・八木沢駒込Ⅰ遺跡-市道岸ノ前ラントノ沢線道路工事関係発掘調査報告書-』
- 68 2006 『木戸井内IV遺跡-宮古市生活課市営火葬場整備事業関係発掘調査報告書-』
- 69 2006 『管ノ沢遺跡発掘調査-市内遺跡発掘調査報告書6-』
- 70 2007 『山口館跡-市道北部環状線道路改良工事関係埋蔵文化財調査報告書-』
- 71 2007 『近内館跡-宮古市都市計画課近内地区土地区画整理事業関係発掘調査報告書-』
- 72 2007 『牛沢遺跡・大付遺跡第11次調査-市内遺跡発掘調査報告書7-』
- 73 2007 『弘川館跡第2次調査-宗教法人瑞雲寺住宅建築工事地区発掘調査報告書-』
- 74 2008 『荷竹日向IV遺跡-市道向川原荷竹線道路工事関係発掘調査報告書』
- 75 2008 『宮古市遺跡分布調査報告書5』
- 76 2009 『国指定史跡崎山貝塚 第IV期内容確認調査概報(骨角器篇)』
- 77 2010 『宮古市遺跡分布調査報告書6』
- 78 2011 『宮古市遺跡分布調査報告書7』
- 79 2012 『重茂館遺跡群-第2次発掘調査報告書-』
- 80 2014 『八木沢駒込Ⅰ遺跡・八木沢駒込Ⅱ遺跡-市道磯鶴館山線道路改良工事関係発掘調査報告書-』
- 81 2014 『峰ヶ沢Ⅰ遺跡・山口駒込Ⅰ遺跡・山口駒込Ⅱ遺跡-市道峰ヶ沢線道路改良工事関係発掘調査報告書-』
- 82 2014 『赤畑東遺跡-山口病院新棟建設工事関係発掘調査報告書-』
- 83 2015 『千徳城遺跡群-一条工務店建設工事関係発掘調査報告書-』
- 84 2015 『黒森町Ⅰ遺跡-宗教法人「先天大道一貫道日本總天壇」研修施設建設工事関係発掘調査報告書-』
- 85 2015 『管ノ沢遺跡・欄館Ⅰ遺跡-市道長根岩船線道路改良工事関係発掘調査報告書-』
- 86 2016 『千徳城遺跡群-アパート建築関係埋蔵文化財発掘調査報告書-』
- 87 2016 『重茂館遺跡群-重茂小学校仮設グラウンド整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書-(第3次調査)』
- 88 2016 『重茂館遺跡群-重茂漁港地区漁業集落防災機能強化事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書-(第4次調査)』
- 89 2016 『重茂館遺跡群-重茂漁業協同組合重茂給油所建設関係に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-(第5次調査)』
- 90 2016 『下大谷地VI・大谷地Ⅰ遺跡-市道下大谷地花輪線道路改良事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書-』
- 91 2016 『千鶴Ⅲ遺跡-千鶴地区漁業集落防災機能強化事業関係発掘調査報告書-』
- 92 2016 『金浜館跡-市道磯鶴館山線(金浜工区)道路整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書-』
- 93 2016 『乙部Ⅱ遺跡-田老地区防災集団移転促進事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-』
- 94 2018 『高浜Ⅱ今ヶ洞遺跡-災害公営住宅整備事業(高浜)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-』
- 95 2018 『刈屋清水野・下刈屋Ⅰ遺跡-市道線道路改良事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書-』
- 96 2018 『沼里館跡-整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書-』
- 97 2018 『日の出町Ⅱ遺跡-災害公営住宅整備事業(日の出町)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-』
- 98 2018 『拝殿峠遺跡-市道北部環状線道路改良事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書-』
- 99 2018 『赤前Ⅲ遺跡・赤前IV八枚田遺跡-市道赤前上下線道路整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-』
- 100 2019 『千鶴IV遺跡(第2次調査)-東日本大震災復興関連発掘事業に伴う個人住宅関係発掘調査報告書1-』
- 101 2019 『折壁館・中里遺跡・弘川Ⅰ遺跡・和井内清水遺跡・重茂館遺跡群-上下水道部生活排水課市設浄化槽整備事業に伴う発掘調査報告書1-』
- 102 2019 『赤前Ⅰ牛子沢遺跡-東日本大震災復興関連発掘調査事業に伴う個人住宅関係発掘調査報告書2-』

宮古市埋蔵文化財調査報告書103

しろいしせき 白石遺跡

—崎山地区防災集団移転促進事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—

印刷・発行 平成31年3月29日(2019)
発行 岩手県宮古市教育委員会
〒028-2101 岩手県宮古市宮町1-1-30
TEL. 0193-72-2175
FAX. 0193-64-0212
編集 岩手県宮古市教育委員会 文化課
〒027-0097 岩手県宮古市崎山1-16-1
TEL. 0193-65-7527
FAX. 0193-65-7508
印刷 ショウジ印刷株式会社
〒027-0084 岩手県宮古市末広町4-10
TEL. 0193-62-1326